

リスト加除対象の候補種一覧 <動物(哺乳類)>

: 今回の検討から新たに候補として加わった種

-
- 継続

再検討

再検討(候補)

新規

新規(候補)
- : 現リストの掲載種

: 現リスト作成時に非掲載となった種で、今回も事務局としては非掲載と判断した種

: 現リスト作成時に非掲載となった種で、今回は事務局で掲載候補と判断した種

: 現リスト作成時に候補となっておらず、今回新たに検討対象としたが事務局で非掲載と判断した種

: 現リスト作成時に候補となっておらず、今回新たに検討対象とした結果、事務局で掲載候補と判断した種

【国外由来の外来種】

現リスト掲載種

2024.9.17版

検討区分	No	定着段階	和名(別名、流通名)	学名	選定理由	評価項目												備考	抽出方法						
						定着可能性		生態系被害				分布拡大		重要地域	特に問題となる被害		逸出・拡散		①外来法	②W100	③GISD	④各県	⑤意向調査	⑥その他	
						生物	導入	競合	交雑	捕食摂食	生態系改変	繁殖	気候		人体	経済産業	利用								付着混入
継続	1	未定着	フクロギツネ	<i>Trichosurus vulpecula</i>	I,Ⅳ	○	-	-	-	◎	-	-	○	-	-	○	-	-		特定	IUCN	○	北海道、長崎、沖縄		
継続	2	定着初期／限定分布	ハリネズミ属(アムールハリネズミ、マンシュウハリネズミなど)	<i>Erinaceus</i> spp.	I			○	-	○	-	-	○	○	-	-	-	-	静岡県伊豆地域(国立公園)に定着。	特定			北海道、静岡県府、長崎、沖縄		
継続	3	未定着	リスザル	<i>Saimiri sciureus</i>	Ⅳ	○	-	-	-	○	-	-	○	-	-	-	○	-	静岡県伊豆地域で脱柵個体が確認されたことがある。40～100万円程度で販売されている。感染症予防法により輸入は禁止。				静岡、長崎、沖縄		
継続	4	定着初期／限定分布	タイワンザル	<i>Macaca cyclopis</i>	I,Ⅲ			◎	◎	○	-	-	◎	○	-	◎	-	-	伊豆大島(国立公園)に定着。下北半島、和歌山県では根絶。	特定	日本		青森、栃木、静岡、滋賀、和歌山、長崎、沖縄		
継続	5	未定着	カニクイザル	<i>Macaca fascicularis</i>	I	○	-	○	◎	○	-	-	◎	-	-	○	-	-	千葉県房総半島でかつて野生化し、ニホンザルと交雑していた可能性が指摘されている。	特定	IUCN	○	長崎、沖縄		
継続	6	定着初期／限定分布	アカゲザル	<i>Macaca mulatta</i>	I,Ⅲ			○	◎	○	-	-	◎	-	-	◎	-	-	千葉県房総半島南部で定着し、ニホンザルと交雑している。	特定		○	栃木、千葉、長崎、沖縄		
継続	7	分布拡大大期～まん延期	ヌートリア	<i>Myocastor coypus</i>	I			-	-	○	-	-	○	○	-	◎	-	-	瀬戸内海国立公園内に定着。兵庫県加西市のため池にて水生植物群落を壊滅。ベッコウトンボの減少の原因となった。二枚貝を捕食することでタナゴ類の繁殖に影響を及ぼす。	特定	IUCN、日本	○	福島、茨城、栃木、静岡、愛知、滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山、鳥取、山口、香川、高知、福岡、長崎、沖縄		
継続	8	分布拡大大期～まん延期	クリハラリス(タイワンリス)	<i>Callosiurus erythraeus</i>	I,Ⅲ			○	-	○	-	-	○	-	-	◎	-	-	宇土半島の個体群は根絶に近い状態。伊豆半島、神奈川県、浜松市などでは分布が拡大傾向。	特定			茨城、栃木、静岡、滋賀、京都、大阪、兵庫、和歌山、福岡、長崎、大分、宮崎、沖縄		
継続	9	未定着	タイリクモモンガ	<i>Pteromys volans</i>	I	○	-	◎	◎	○	-	-	○	-	-	-	-	-		特定			北海道、京都、長崎、沖縄		
継続	10	未定着	トウブハイロリス	<i>Sciurus carolinensis</i>	I	○	-	◎	-	○	-	-	○	-	-	○	-	-		特定	IUCN	○	北海道、長崎、沖縄		
継続	11	定着初期／限定分布	キタリス	<i>Sciurus vulgaris</i>	I			○	◎	○	-	-	○	-	-	○	-	-	東京都狭山丘陵の個体群は環境省の防除によりほぼ根絶。	特定			北海道、栃木、長崎、沖縄		
継続	12	定着初期／限定分布	シマリス(チョウセンシマリス)	<i>Tamias sibiricus</i>	I			○	○	○	-	-	○	-	-	-	○	-	低価格(1万円程度)で販売されている。北海道札幌市周辺でかつて放獣され、在来種のシマリスとの交雑が確認されている			○	北海道、長野、滋賀、京都、鳥取、徳島、長崎、沖縄		
継続	13	定着初期／限定分布	マスカラット	<i>Ondatra ziberhicus</i>	I			-	-	○	-	-	○	-	-	○	-	-		特定		○	茨城、千葉、長崎、沖縄		
継続	14	分布拡大大期～まん延期	ドブネズミ	<i>Rattus norvegicus</i>	I,Ⅱ,Ⅲ			○	-	◎	-	○	○	◎	-	◎	◎	-	小笠原諸島、奄美・琉球諸島などに定着 実験動物、餌動物として利用されている			○	北海道、茨城、千葉、長野、静岡、滋賀、京都、兵庫、奈良、鳥取、山口県、徳島、香川、高知、長崎、大分、宮崎、鹿児島、沖縄		
継続	15	分布拡大大期～まん延期	クマネズミ	<i>Rattus rattus</i>	I,Ⅱ,Ⅲ			○	-	◎	-	○	○	◎	-	◎	-	-	小笠原諸島、奄美・琉球諸島などに定着			○	北海道、茨城、千葉、長野、静岡、滋賀、京都、兵庫、奈良、鳥取、山口、徳島、長県、香川、高知、大分、宮崎、鹿児島、沖縄		
継続	16	分布拡大大期～まん延期	ハツカネズミ	<i>Mus musculus</i>	I,Ⅲ			○	-	○	-	○	○	◎	-	◎	◎	-	小笠原諸島、奄美・琉球諸島などに定着 実験動物、餌動物として利用されている		IUCN	○	北海道、茨城、千葉、長野、静岡、滋賀、京都、兵庫、滋賀、奈良、鳥取、山口、徳島、香川、高知、長崎、大分、宮崎、鹿児島、沖縄		
継続	17	未定着	カニクイアライグマ	<i>Procyon cancrivorus</i>	I	○	-	○	-	◎	-	-	○	○	○	○	-	-		特定			北海道、長野、滋賀、長崎、沖縄		
継続	18	分布拡大大期～まん延期	アライグマ	<i>Procyon lotor</i>	I,Ⅲ			○	-	◎	-	-	○	◎	○	◎	-	-	知床などに定着 狂犬病等の媒介のおそれ	特定	日本	○	北海道、青森、福島、茨城、栃木、千葉、静岡、愛知、滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山、鳥取、山口、徳島、香川、高知、福岡、長崎、大分、宮崎、鹿児島、沖縄		
継続	19	未定着	フェレット	<i>Mustela furo</i>	I	○	◎	○	-	○	-	-	○	-	-	-	◎	-	5～6万円 北海道動物の愛護及び管理に関する条例で特定移入動物に指定されており、飼養には届出が必要			○	北海道、千葉、兵庫県、長崎、沖縄		
継続	20	分布拡大大期～まん延期	アメリカミンク(ミンク)	<i>Mustela vison</i>	I,Ⅱ,Ⅲ			○	-	◎	-	-	○	◎	-	◎	-	-	釧路湿原や知床に定着	特定		○	北海道、福島、茨城、栃木、長野、長崎、沖縄		

リスト加除対象の候補種一覧 <動物(哺乳類)>

: 今回の検討から新たに候補として加わった種

- 継続

再検討

再検討(候補)

新規

新規(候補)
- : 現リストの掲載種

: 現リスト作成時に非掲載となった種で、今回も事務局としては非掲載と判断した種

: 現リスト作成時に非掲載となった種で、今回は事務局で掲載候補と判断した種

: 現リスト作成時に候補となっておらず、今回新たに検討対象としたが事務局で非掲載と判断した種

: 現リスト作成時に候補となっておらず、今回新たに検討対象とした結果、事務局で掲載候補と判断した種

【国外由来の外来種】

現リスト掲載種

2024.9.17版

検討区分	No	定着段階	和名(別名、流通名)	学名	選定理由	評価項目													備考	抽出方法					
						定着可能性		生態系被害				分布拡大		重要地域	特に問題となる被害		逸出・拡散			①外来法	②W100	③GISD	④各県	⑤意向調査	⑥その他
						生物	導入	競合	交雑	捕食 摂食	生態系 改変	繁殖	気候		人体	経済 産業	利用	付着 混入							
継続	21	分布拡大期～まん延期	ハクビシン	<i>Paguma larvata</i>	I,Ⅲ			○	-	◎	-	-	○	◎	-	◎	-	-	白神山地に定着				北海道、青森、福島、茨城、栃木、千葉、長野、静岡、愛知、滋賀、京都、兵庫、奈良、和歌山、鳥取、徳島、香川、高知、福岡、長崎、鹿児島、沖縄	地方公共団体	
継続	22	定着初期／限定分布	フィリマングース	<i>Herpestes auropunctatus (Urva auropunctata)</i>	I,Ⅱ			○	-	◎	-	-	○	◎	-	◎	-	-	奄美大島、沖縄島に定着 奄美大島は根絶間近	特定			長崎、鹿児島、沖縄		
継続	23	未定着	ジャワマングース	<i>Herpestes javanicus</i>	I,Ⅳ	○	-	○	-	◎	-	-	○	-	-	○	-	-	JAZA加盟園館では飼育無し	特定	IUCN,日本	○	長崎、沖縄		
継続	24	未定着	シママングース	<i>Mungos mungos</i>	I	○	-	○	-	◎	-	-	○	-	-	○	-	-	JAZA加盟園館では飼育無し	特定			長崎、沖縄		
継続	25	未定着	アクシスジカ属	<i>Axis</i> spp.	I,Ⅳ	○	-	○	○	◎	-	-	○	-	-	○	-	-	ニホンジカとの交雑の可能性 飼育園館多数	特定		○	京都、長崎、沖縄		
継続	26	未定着	シカ属(国内産ニホンジカを除く)	<i>Cervus</i> spp.	I,Ⅳ			○	◎	◎	-	-	○	-	-	○	-	-	和歌山県友ヶ島においてサンバーなどとの交雑個体が野生化 富山県で亜種ヤクシカが野生化 IUCNワースト100はアカシカ	特定	IUCN	○	京都、和歌山、長崎、沖縄		
継続	27	未定着	ダマシカ属	<i>Dama</i> spp.	I,Ⅳ	○	-	○	◎	◎	-	-	○	-	-	○	-	-		特定		○	京都、長崎、沖縄		
継続	28	未定着	シフゾウ	<i>Elaphulrs davidlanus</i>	I	○	-	-	◎	-	-	-	○	-	-	-	-	-	国際的な希少動物であり、多摩動物園など極限られた動物園で飼育されているのみである。そのため、野外に逸出する可能性はほとんどないと考えられる。	特定			京都、長崎、沖縄		
継続	29	定着初期／限定分布	キョン	<i>Muntiacus reevesi</i>	I,Ⅱ,Ⅲ			○	-	○	-	-	○	○	-	◎	-	-	伊豆大島(国立公園)や千葉県に定着し、千葉県個体群は最近になって茨城県や埼玉県まで分布を拡大しつつあることが確認された	特定			茨城、千葉、長崎、沖縄		
継続	30	定着初期／限定分布	カイウサギ(アナウサギ)	<i>Oryctolagus cuniculus</i>	I,Ⅱ,Ⅲ			○	-	○	-	○	○	○	-	○	◎	-	渡島大島や大久野島に定着している、セツ島では根絶された海外では植生破壊や海鳥の繁殖攪乱等の影響が報告されている ペットとして大量に販売されている		日本,IUCN	○	北海道、千葉、愛知、京、徳島、香川、長崎、鹿児島、沖縄		
継続	31	定着初期／限定分布	フィンレイソンリス	<i>Callosciurus finlaysonii</i>	I,Ⅱ,Ⅲ			○	-	○	-	-	○	-	-	○	-	-	浜松市において定着し、クリハラリスと交雑した個体群が形成されている	特定			静岡、長崎、沖縄		
継続	32	分布拡大期～まん延期	ノネコ(イエネコの野生化したもの)	<i>Felis catus</i>	I,Ⅱ			○	○	◎	-	-	○	◎	-	-	◎	-	奄美大島、徳之島、小笠原など重要地域に定着しており、捕獲等の対策も実施されている		日本,IUCN	○	北海道、千葉、静岡、愛知、滋賀、京都、兵庫、奈良、徳島、高知、長崎、大分、宮崎、鹿児島、沖縄		
継続	33	定着初期／限定分布	ノヤギ(ヤギの野生化したもの)	<i>Capra hircus</i>	I,Ⅱ			-	-	◎	○	-	○	◎	-	○	◎	-	家畜由来(トカラ列島、奄美大島、西表島、父島)		日本,IUCN	○	山口、長崎、鹿児島、沖縄		
継続	34	分布拡大期～まん延期	ノイヌ(イヌの野生化したもの)	<i>Canis lupus</i>	I			-	-	◎	-	-	○	◎	-	-	◎	-	奄美大島や沖縄島などの重要地域で野犬が確認されることがある			○	北海道、千葉、静岡、愛知、滋賀、京都府、兵庫、奈良、徳島、高知、長崎、宮崎、鹿児島、沖縄		
継続	35	定着初期／限定分布	ノブタ・イノブタ(ノブタ・イノブタの野生化したもの)	<i>Sus scrofa</i>	I			-	-	◎	-	-	○	◎	-	○	◎	-	西表島(内離島、外離島)にはイノブタが定着している 小笠原諸島弟島では根絶された		日本,IUCN	○	栃木、千葉、静岡、愛知、滋賀、京都、兵庫、福岡、長崎、沖縄		

リスト加除対象の候補種一覧　＜動物(哺乳類)＞

◎ : 今回の検討から新たに候補として加わった種

- 継続

再検討

再検討(候補)

新規

新規(候補)
- : 現リストの掲載種

: 現リスト作成時に非掲載となった種で、今回も事務局としては非掲載と判断した種

: 現リスト作成時に非掲載となった種で、今回は事務局で**掲載候補と判断**した種

: 現リスト作成時に候補となっておらず、今回新たに検討対象としたが事務局で非掲載と判断した種

: 現リスト作成時に候補となっておらず、今回新たに検討対象とした結果、事務局で**掲載候補と判断**した種

【国外由来の外来種】

リスト作成後の情報追加により再検討を行う種(順不同)

2024.9.17版

検討区分	No	定着段階	和名(別名、流通名)	学名	選定理由	評価項目												備考	抽出方法						
						定着可能性		生態系被害				分布拡大		重要地域	特に問題となる被害		逸出・拡散		①外来法	②W100	③GISD	④各県	⑤意向調査	⑥その他	
						生物	導入	競合	交雑	捕食摂食	生態系改変	繁殖	気候		人体	経済産業	利用								付着混入
再検討(候補)	36	未定着	ポリネシアネズミ	<i>Rattus exulans</i>	I,Ⅲ	○	-	○	-	◎	-	○	○	-	-	○	-	-	かつて宮古島で標本が採取されているが、その後確認されていない 海外では海鳥類やは虫類への食害が知られている			○			
再検討	37	未定着	アメリカモモンガ	<i>Glaucomys volans</i>		○	-	○	○	-	-	-	○	-	-	-	○	-	国内繁殖と思われる個体が販売されている				北海道		
再検討	38	未定着	オオアメリカモモンガ	<i>Glaucomys sabrinus</i>		○	-	○	○	-	-	-	○	-	-	-	○	-	やや高価(10万円程度)販売量はすくない様子				北海道		
再検討	39	未定着	オグロプレーリードッグ	<i>Cynomys ludovicianus</i>		○	-	○	-	-	-	-	○	-	-	-	○	-	高価(20〜30万円程度)販売量は少ない様子				千葉		
再検討	40	未定着	ギンギツネ	<i>Vulpes vulpes</i>		○	-	○	○	-	-	-	○	-	-	-	-	-	日本在来のアカギツネの色素変異個体 GISDにはアカギツネとして掲載			○			
再検討(候補)	41	定着初期／限定分布	ジャコウネズミ	<i>Suncus murinus</i>	I	/	/	○	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-	実験動物として飼育されている 九州本土の個体群は国内移入と考えられる 南西諸島は自然分布とする説もある 海外ではトカゲ類の島嶼での絶滅に関与するなど、侵略性の高さが報告されている			○	鹿児島		
再検討	44	未定着	フクロギツネの一種	<i>Trichosurus</i> spp.		○	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-		未判定					
再検討	45	未定着	フクロモモンガの一種	<i>Petaurus</i> spp.		○	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	○	-	2〜3万円程度				北海道		
再検討	46	未定着	プレーリードッグの一種	<i>Cynomys</i> spp.		○	-	○	-	-	-	-	○	-	-	-	○	-	高価(20〜30万円程度)販売量は少ない様子				北海道、兵庫		
再検討	47	未定着	ワラビー類	<i>Macropodidae</i> sp.		○	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	○	-	高価(50万円程度)			○			

リスト加除対象の候補種一覧　＜動物(哺乳類)＞

 : 今回の検討から新たに候補として加わった種

- 継続

再検討

再検討(候補)

新規

新規(候補)
- : 現リストの掲載種

: 現リスト作成時に非掲載となった種で、今回も事務局としては非掲載と判断した種

: 現リスト作成時に非掲載となった種で、今回は事務局で**掲載候補と判断**した種

: 現リスト作成時に候補となっておらず、今回新たに検討対象としたが事務局で非掲載と判断した種

: 現リスト作成時に候補となっておらず、今回新たに検討対象とした結果、事務局で**掲載候補と判断**した種

【国外由来の外来種】

リスト作成後の情報追加により新たに検討を行う種(順不同)

2024.9.17版

検討区分	No	定着段階	和名(別名、流通名)	学名	選定理由	評価項目														備考	抽出方法					
						定着可能性		生態系被害				分布拡大		重要地域	特に問題となる被害		逸出・拡散		①外来法		②W100	③GISD	④各県	⑤意向調査	⑥その他	
						生物	導入	競合	交雑	捕食摂食	生態系改変	繁殖	気候		人体	経済産業	利用	付着混入								
新規(候補)	48	未定着	タイワンザル x ニホンザル	Macaca cyclopis x Macaca fuscata	I,Ⅲ	○	-	○	◎	○	-	-	◎	-	-	◎	-	-	和歌山県や青森県で定着していたが、いずれも根絶された。	特定			長崎			
新規(候補)	49	定着初期／限定分布	アカゲザル x ニホンザル	Macaca mulatta x Macaca fuscata	I,Ⅲ	／	／	○	◎	○	-	-	◎	-	-	◎	-	-	千葉県房総半島南部で定着している	特定			長崎			
新規(候補)	50	未定着	サンバー	Cervus unicolor	I	○	○	○	◎	○	-	-	○	-	-	-	○	-	和歌山県友ヶ島および大阪府岬町周辺に、本種とタイワンジカ、アカシカおよびニホンジカの交雑個体が野生化している 鹿牧場で飼育されている	特定		○				
新規(候補)	51	未定着	タイワンジカ	Cervus nippon taiouanus	I	○	○	○	◎	○	-	-	○	-	-	-	○	-	和歌山県友ヶ島および大阪府岬町周辺に、本種とサンバー、アカシカおよびニホンジカの交雑個体が野生化している 鹿牧場で飼育されている	特定		○				
新規(候補)	52	未定着	アカシカ	Cervus elaphus	I	○	○	○	◎	○	-	-	○	-	-	-	○	-	和歌山県友ヶ島および大阪府岬町周辺に、本種とサンバー、タイワンジカおよびニホンジカの交雑個体が野生化している 鹿牧場で飼育されている	特定		○				
新規(候補)	53	未定着	ダマジカ	Dama dama	I	○	○	○	○	○	-	-	○	-	-	-	○	-	鹿牧場で飼育されている。	特定						
新規(候補)	54	未定着	ワビチ	Cervus canadensis	I	○	○	○	◎	○	-	-	○	-	-	-	○	-	鹿牧場で飼育されている。	特定						
新規(候補)	55	未定着	アキシスジカ	Axis axis	I	○	○	○	◎	○	-	-	○	-	-	-	○	-	鹿牧場で飼育されている。	特定						
新規	56	未定着	Urocyon 属(リチャードソンジリスなど)に含まれる種	Urocyon spp.		○	○	-	-	-	-	-	○	-	-	○	-	-	ペットとしての利用情報がある。				北海道			
新規	57	未定着	バーバリーシープ	Ammotragus lervia		○	◎	○	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-	動物園で飼育されている。			○				
新規	58	未定着	ウシ	Bos taurus		／	／	-	-	-	-	○	-	○	-	-	-	-				○				
新規	59	未定着	スイギュウ	Bubalus bubalis		○	◎	-	-	-	-	○	-	○	-	-	-	-	動物園で飼育されている。			○				
新規	60	未定着	ジョフロウマーモセット	Callithrix geoffroyi		○	-	○	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-				○				
新規	61	未定着	コモンマーモセット	Callithrix jacchus		○	◎	○	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	動物園で飼育されている。			○				
新規	62	未定着	クロミミマーモセット	Callithrix penicillata		○	◎	○	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	動物園で飼育されている。			○				
新規	63	未定着	ヒトコブラクダ	Camelus dromedarius		○	◎	○	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	動物園で飼育されている。			○				
新規	64	未定着	コヨーテ	Canis latrans		○	-	-	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-				○				
新規	65	未定着	アメリカビーバー	Castor canadensis		○	◎	-	-	-	-	○	-	○	-	-	-	-	動物園で飼育されている。			○				
新規	66	未定着	モルモット(デンジクネズミ)	Cavia porcellus		○	◎	-	-	-	-	-	○	-	-	-	◎	-	ペットや実験動物、動物園で飼育されている。			○				
新規	67	未定着	モナモンキー	Cercopithecus mona		○	-	-	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-				○				
新規	68	未定着	アフリカジャコウネコ	Civettictis civetta		○	-	-	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-	過去に動植物園で飼育されていたことがある			○				
新規	69	未定着	サバンナアフリカオニネズミ	Cricetomys gambianus		○	-	-	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-	人獣共通感染症を媒介。			○				
新規	70	未定着	ジネズミ属の一種	Oryzomys suaveolens		○	-	○	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-				○				
新規	71	未定着	キイロマンゲース	Cynictis penicillata		○	-	○	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-				○				
新規	72	未定着	ロバ	Equus asinus		○	◎	○	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-	動植物園で飼育されている。			○				
新規	73	未定着	パタスザル	Erythrocebus patas		○	◎	-	-	○	-	-	○	-	-	-	○	-	動植物園で飼育されている。			○				
新規	74	未定着	ヨーロツバジェネット	Genetta genetta		○	-	-	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-				○				
新規	75	未定着	ヒマラヤタール	Hemitragus jemlahicus		○	◎	○	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	動植物園で飼育されている。			○				
新規	76	未定着	ケーブグレイマンゲース	Herpestes pulverulentus		○	-	-	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-				○				
新規	77	未定着	グアナコ	Lama guanicoe		○	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-				○				
新規	78	未定着	カンジキウサギ	Lepus americanus		○	-	-	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-				○				
新規	79	未定着	ヤブノウサギ	Lepus europaeus		○	-	○	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-				○				
新規	80	未定着	チコハイロギツネ	Lycalopex griseus		○	-	○	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-				○				
新規	81	未定着	アカハナグマ	Nasua nasua		○	◎	○	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	動植物園で飼育されている。			○				
新規	82	未定着	オジロジカ	Odocoileus virginianus		○	-	-	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-				○				
新規	83	未定着	アルガリ	Ovis ammon		○	-	-	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-				○				
新規	84	未定着	ヒツジ	Ovis aries		○	◎	-	-	◎	-	-	○	-	-	-	◎	-	家畜の他、動植物園で飼育されている。			○				
新規	85	未定着	Peromyscus の一種	Peromyscus fraterculus		○	-	○	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-				○				
新規	86	未定着	シカシロアシネズミ	Peromyscus maniculatus		○	-	-	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-				○				
新規	87	未定着	ハイイロクスクス	Phalanger orientalis		○	-	○	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-		未判定		○				
新規	88	未定着	トナカイ	Rangifer tarandus		○	◎	-	-	○	-	-	○	-	-	-	○	-	動植物園で飼育されている。海外では踏みつけが問題視されている。牧場で飼育されている。			○				
新規	89	未定着	シャモア	Rupicapra rupicapra		○	◎	○	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	動植物園で飼育されている。			○				
新規	90	未定着	テンレック	Tenrec ecaudatus		○	◎	-	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-	動植物園で飼育されている。			○				
新規	91	未定着	コジャコウネコ	Viverricula indica		○	◎	○	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-	動植物園で飼育されている。			○				
新規	92	未定着	ケーブギツネ	Vulpes chama		○	-	-	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-				○				
新規	93	未定着	デグー	Octodon degus		○	◎	-	-	○	-	-	○	-	-	-	◎	-	ペットとして多く飼育されている。			○				
新規	94	未定着	ヨツユビハリネズミ	Atelerix albiventris		○	◎	-	-	-	-	-	○	-	-	-	○	-	1〜3万円程度。							
新規	95	未定着	ブチクスクス	Spiloglossus maculatus		○	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	2021年に未判定外来生物であった本種について、本種の動きの遅さなどの特性から定着し生態系に影響を及ぼすことは無いと評価され、特定外来生物への指定は不要と判断された。	未判定						
新規	96	未定着	ウマ	Equus caballus		○	◎	-	-	-	-	-	○	-	-	-	○	-	北海道ユリイ島に放獣されており、植物への食害や海鳥の営巣阻害が確認されている。			○	北海道			

リスト加除対象の候補種一覧　＜動物(哺乳類)＞

 : 今回の検討から新たに候補として加わった種

- 継続

再検討

再検討(候補)

新規

新規(候補)
- : 現リストの掲載種

: 現リスト作成時に非掲載となった種で、今回も事務局としては非掲載と判断した種

: 現リスト作成時に非掲載となった種で、今回は事務局で掲載候補と判断した種

: 現リスト作成時に候補となっておらず、今回新たに検討対象としたが事務局で非掲載と判断した種

: 現リスト作成時に候補となっておらず、今回新たに検討対象とした結果、事務局で掲載候補と判断した種

【国内・家畜由来外来種、国内に自然分布域をもつ国外由来の外来種(その他の検討対象種)】

現リスト掲載種

2024.9.17版

検討区分	No	定着段階	和名(別名、流通名)	学名	選定理由	評価項目														備考	抽出方法					
						定着可能性		生態系被害				分布拡大		重要地域	特に問題となる被害		逸出・拡散		①外来法		②W100	③GISD	④各県	⑤意向調査	⑥その他	
						生物	導入	競合	交雑	捕食摂食	生態系改変	繁殖	気候		人体	経済産業	利用	付着混入								
継続	1	国内由来の外来種	奥尻島・屋久島のタヌキ	<i>Nyctereutes procyonoides viverrinus</i>	I, II			○	-	○	-	-	○	○	-	○	-	-	国内由来(屋久島) 知見の集積が必要				北海道、鹿児島県			
継続	2	国内由来の外来種	北海道・佐渡のテン	<i>Martes melampus</i>	I			○	○	○	-	-	○	○	-	○	-	-	国内由来(北海道、佐渡) 佐渡では順化ゲージに入れられていたトキが被害にあったトカラ列島の口之島では鳥類に食害がある				北海道、鹿児島県			
継続	3	国内由来の外来種	対馬以外のシベリアイタチ	<i>Mustela sibirica</i>	I			○	○	○	-	-	○	-	-	○	-	-	本州や九州に侵入のしている個体群は国外由来の可能性もある 知見の集積が必要				愛知県、滋賀県、京都府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、山口県、香川県、徳島県、愛媛県、高知県、福岡県、長崎県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県			
継続	4	国内由来の外来種	伊豆諸島などのニホンイタチ	<i>Mustela itasis</i>	I, II			-	-	◎	-	-	○	◎	-	○	-	-	国内由来(伊豆諸島、トカラ列島)				北海道、長崎県、鹿児島県、沖縄県			
継続	5	国内由来の外来種	徳之島などのニホンイノシシ	<i>Sus scrofa</i>	I, II			-	-	○	-	-	○	○	-	◎	-	-	国内由来		IUCN	○	北海道、千葉県、鹿児島県			
継続	6	国内由来の外来種	新島などのニホンジカ	<i>Cervus nippon</i>	I, II			-	-	○	-	-	○	○	-	◎	-	-	国内由来		IUCN	○	鹿児島県			

リスト作成後の情報追加により再検討を行う種(順不同)

2024.8.1版

検討区分	No	定着段階	和名(別名、流通名)	学名	選定理由	評価項目														備考	抽出方法					
						定着可能性		生態系被害				分布拡大		重要地域	特に問題と		逸出・拡散		①外来法		②W100	③GISD	④各県	⑤意向調査	⑥その他	
						生物	導入	競合	交雑	捕食摂食	生態系改変	繁殖	気候		人体	経済産業	利用	付着混入								
	7	国内由来の外来種	北海道などのジネズミ	<i>Crocidula dsinezumi</i>				-	-	○	-	-	○	○	-	-	-	-	国内由来 北海道ブルーリスト掲載種							
	8	国内由来の外来種	イエコウモリ(アブラコウモリ)	<i>Pipistrellus abramus</i>				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	国内由来				北海道			
	9	国内由来の外来種	キタキツネ	<i>Vulpes vulpes schrencki</i>				○	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	国内由来		IUCN		徳島県			
	10	国内由来の外来種	ニホンジネズミ	<i>Crocidula dsinezumi</i>				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	国内由来				北海道			
新規(候補)	11	国内由来の外来種	口永良部島のヤクシマザル	<i>Macaca fuscata yakui</i>	I			○	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-	口永良部島に国内外来種として定着しており、エラブオオコウモリとの競合が懸念されている				鹿児島県			

リスト作成後の情報追加により新たに検討を行う種(順不同)

検討区分	No	定着段階	和名(別名、流通名)	学名	選定理由	評価項目														備考	抽出方法					
						定着可能性		生態系被害				分布拡大		重要地域	特に問題と		逸出・拡散		①外来法		②W100	③GISD	④各県	⑤意向調査	⑥その他	
						生物	導入	競合	交雑	捕食摂食	生態系改変	繁殖	気候		人体	経済産業	利用	付着混入								
	12	国内由来の外來種	イイズナ	Mustela nivalis				○	-	-	-	○	-	-	-	-	-			○						
	13	国内由来の外來種	オコジョ	Mustela erminea				○	-	-	-	○	-	-	-	-	-			○						

リスト加除対象の候補種一覧 <動物(鳥類)>

: 今回の検討から新たに候補として加わった種

- 継続

再検討

再検討(候補)

新規

新規(候補)
- : 現リストの掲載種

: 現リスト作成時に非掲載となった種で、今回も事務局としては非掲載と判断した種

: 現リスト作成時に非掲載となった種で、今回は事務局で掲載候補と判断した種

: 現リスト作成時に候補となっておらず、今回新たに検討対象としたが事務局で非掲載と判断した種

: 現リスト作成時に候補となっておらず、今回新たに検討対象とした結果、事務局で掲載候補と判断した種

【国外由来の外来種】
現リスト掲載種

2024.9.17版

検討区分	No	定着段階	和名(別名、流通名)	学名	選定理由	評価項目													備考	抽出方法					
						定着可能性		生態系被害				分布拡大		重要地域	特に問題となる被害		逸出・拡散			①外来法	②W100	③GISD	④各県	⑤意向調査	⑥その他
						生物	導入	競合	交雑	捕食摂食	生態系改変	繁殖	気候		人体	経済産業	利用	付着混入							
継続	1	未定着	シリアカヒヨドリ	<i>Pycnonotus cafer</i>	I	○	-	○	-	-	-	○	-	-	○	○	-	神奈川県での観察事例がある。		IUCN	○	茨城、長崎、沖縄			
継続	2	未定着	外国産メジロ	<i>Zosterops</i> sp.	I	○	○	○	○	-	-	-	○	-	-	-	○	-	大陸産亜種 日本産メジロの別亜種のヒメメジロ <i>Z. japonicus simplex</i> 、チョウセンメジロ <i>Z. erythropleurus</i> 、ハイバラメジロ <i>Z. palpebrosus</i> など中国や東南アジア産の種の輸入は減少した(中国:禁輸政策、東南アジア:鳥インフルエンザの流行)ものの、アフリカ産の近縁種(キクユメジロ(アフリカヤマメジロ)、キイロメジロの名前で流通。キクユメジロの方がやや高額)が輸入されるようになった。 知見の集積が必要				茨城、滋賀、京都、長崎		
継続	3	定着初期／限定分布	コリンウズラ	<i>Colinus virginianus</i>	I			-	-	○	-	-	○	-	-	○	○	-	知見の集積が必要				北海道、茨城、千葉、神奈川県、長野、静岡、京都、山口、香川、高知、長崎、沖縄		
継続	4	分布拡大大期～まん延期	インドクジャク	<i>Pavo cristatus</i>	I、II、III			-	-	◎	-	◎	◎	◎	-	◎	○	-			○	茨城、栃木、千葉、長崎、宮崎、鹿児島、沖縄			
継続	5	分布拡大大期～まん延期	ガビチョウ	<i>Garrulax canorus</i>	I			◎	-	-	-	◎	◎	-	-	-	○	-	分布拡大大期	特定	日本		福島、茨城、千葉、神奈川県、長野、静岡、愛知、滋賀、山口、高知、福岡、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄		
継続	6	分布拡大大期～まん延期	カオグロガビチョウ	<i>Garrulax perspicillatus</i>	I			◎	-	-	-	○	○	-	-	○	○	-		特定			茨城、栃木、千葉、神奈川県、長野、長崎、沖縄		
継続	7	分布拡大大期～まん延期	カオジロガビチョウ	<i>Garrulax sannio</i>	I			◎	-	-	-	○	○	-	-	○	○	-		特定			茨城、千葉、長崎、沖縄		
継続	8	分布拡大大期～まん延期	ヒゲガビチョウ	<i>Garrulax cineraceus</i>	IV			-	-	-	-	○	○	-	-	-	○	-	知見の集積が必要	未判定			茨城、徳島、香川、高知、長崎		
継続	9	分布拡大大期～まん延期	ソウシチョウ	<i>Leiothrix lutea</i>	I			◎	-	-	-	◎	○	○	-	-	○	-	分布拡大大期	特定	日本	○	福島、茨城、千葉、神奈川県、石川、長野、静岡、愛知、滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山、鳥取、島根、山口、徳島、香川、高知、福岡、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄		
継続	10	分布拡大大期～まん延期	シロガシラ	<i>Pycnonotus sinensis</i> ssp.	III			○	-	-	-	◎	◎	-	-	◎	○	-	亜種不明:シロガシラ 定着の由来(自然分布、人為分布)が確定していない 2015年12月4日茨城県に野外分布していた2個体の捕獲が実施された結果、国内に生息していた野外個体はすべて捕獲されて根絶が完了した		日本		茨城、山口、長崎、沖縄		
継続	11	未定着	カナダガン	<i>Branta canadensis</i>	I			○	◎	○	-	◎	○	-	-	○	○	-			○	福島、茨城、千葉、神奈川県、長野、静岡、長崎、沖縄			
継続	12	分布拡大大期～まん延期	クロエリセイタカンギ	<i>Himantopus himantops mexicanus</i>	I			-	◎	-	-	○	○	-	-	-	-	-					茨城、滋賀、京都、長崎、沖縄		
継続	13	分布拡大大期～まん延期	コウライキジ(大陸産亜種)	<i>Phasianus colchicus karpowi</i>	III			-	○	-	-	◎	◎	○	-	◎	○	-	北海道では生息数減少。2013年、石垣市では農作物被害が拡大(新聞記事)。沖縄県ではやんばる地域への侵入が懸念されているほか、伊是名島及び石垣島、宮古島では農業被害が問題となっている。		日本		北海道、茨城、千葉、静岡県、山口、香川、高知、長崎、鹿児島、沖縄	川上委員	
継続	14	定着初期／限定分布	コブハクチョウ	<i>Cygnus olor</i>	I			○	-	○	-	○	○	○	-	-	○	-				○	北海道、青森、福島、茨城、千葉、神奈川県、静岡、愛知、滋賀、京都、和歌山、鳥取、山口、徳島、香川、福岡、長崎、宮崎、鹿児島、沖縄		
継続	15	定着初期／限定分布	(ワカケ)ホンセイインコ→ワカケホンセイインコ	<i>Psittacula krameri (manillensis)</i> → <i>Psittacula krameri manillensis</i>	I			○	-	○	-	○	○	-	-	○	○	-	安定して繁殖しているが、顕著な分布拡大大期などは報告されていない			○	茨城、愛知、長崎、宮崎、沖縄		

リスト加除対象の候補種一覧　＜動物（鳥類）＞

 : 今回の検討から新たに候補として加わった種

- 継続

再検討

再検討(候補)

新規

新規(候補)
- : 現リストの掲載種

: 現リスト作成時に非掲載となった種で、今回も事務局としては非掲載と判断した種

: 現リスト作成時に非掲載となった種で、今回は事務局で掲載候補と判断した種

: 現リスト作成時に候補となっておらず、今回新たに検討対象としたが事務局で非掲載と判断した種

: 現リスト作成時に候補となっておらず、今回新たに検討対象とした結果、事務局で掲載候補と判断した種

【国外由来の外来種】

リスト作成後の情報追加により再検討を行う種（順不同）

2024.9.17版

検討区分	No	定着段階	和名(別名、流通名)	学名	選定理由	評価項目													備考	抽出方法						
						定着可能性		生態系被害				分布拡大		重要地域	特に問題となる被害		逸出・拡散			①外来法	②W100	③GISD	④各県	⑤意向調査	⑥その他	
						生物	導入	競合	交雑	捕食摂食	生態系改変	繁殖	気候		人体	経済産業	利用	付着混入								
再検討	16	未定着	コウラウン	<i>Pycnonotus jocosus</i>		○	◎	○	-	-	-	-	○	-	○	○	○	-	園館飼育有			○				
再検討	17	未定着	コシジロキンバラ	<i>Lonchura striata</i>		○	○	-	-	-	-	-	○	-	-	○	○	-								
再検討	18	定着初期／限定分布	ベニスズメ	<i>Amandava amandava</i>		○	◎	-	-	-	-	-	○	-	-	○	○	-	園館飼育有				福島、茨城、千葉、愛知、滋賀、京都、奈良、山口、宮崎、鹿児島			
再検討(候補)	19	分布拡大期～まん延期	ハッカチョウ	<i>Acridotheres cristatellus cristatellus</i>	Ⅳ	/	/	○	-	-	-	◎	◎	-	-	-	-	-	兵庫県では定着し安定して繁殖している			○	茨城、千葉、滋賀、京都、兵庫、山口、徳島、香川	川上委員		
再検討(候補)	20	分布拡大期～まん延期	インドハッカ	<i>Acridotheres tristis</i>	Ⅱ、Ⅳ	/	/	○	-	-	-	◎	◎	○	-	○	-	-	八重山諸島に生息している個体は、台湾に移入し繁殖した個体が飛来していると考えられている。石垣島では2005年頃から見られるようになり、2009年に島内での繁殖が確認されたとされる。		日本	○	山口	環境省		
再検討	21	定着初期／限定分布	カササギ	<i>Pica pica</i>		/	/	○	-	-	-	○	○	-	-	○	-	-				○	北海道、兵庫、山口、宮崎			
再検討	22	定着初期／限定分布	シマキンバラ(アミハラ)	<i>Lonchura punctulata</i>		/	/	○	-	-	-	○	○	○	-	○	○	-	定着の由来(自然分布、人為分布)が確定していない				千葉、鹿児島、沖縄			
再検討	23	定着初期／限定分布	コクチョウ	<i>Cygnus atratus</i>		/	/	-	-	-	-	-	○	-	-	-	○	-				○	福島、茨城、千葉、和歌山、山口、宮崎			
再検討	24	定着初期／限定分布	テッケイ(タイワンコジュケイ)	<i>Bambusicola thoracicus sonorivox</i>		/	/	-	-	-	-	-	○	-	-	-		-	兵庫県にのみ定着							
	25	定着初期／限定分布	オオホンセイインコ	<i>Psittacula eupatria</i>		/	/	○	-	-	-	○	○	-	○	○	○	-				○				
再検討(候補)	26	まん延期	カワラバト	<i>Columba livia</i>	Ⅲ	/	/	-	-	-	-	◎	◎	-	○	○	-	-			日本	○	北海道、青森、福島、茨城、千葉、愛知、滋賀、京都、兵庫、奈良、和歌山、鳥取、山口、徳島、宮崎、鹿児島			
再検討	27	定着初期／限定分布	シラコバト	<i>Streptopelia decaocto</i>		/	/	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	国の天然記念物、埼玉県に指定されている。近年、減少傾向にあり、H24に埼玉県が生息状況を調査し、生息数が少ないことが判明。			○	山口			
再検討	28	まん延期	コジュケイ	<i>Bambusicola thoracicus thoracicus</i>		/	/	○	-	-	-	○	○	○	-	-	-	-	三宅島のアカコッコの減少に影響している可能性			○	福島、茨城、千葉、愛知、滋賀、京都、奈良、和歌山、鳥取、山口、福岡、宮崎、鹿児島			

リスト加除対象の候補種一覧　＜動物（鳥類）＞

 : 今回の検討から新たに候補として加わった種

- 継続

再検討

再検討(候補)

新規

新規(候補)
- : 現リストの掲載種

: 現リスト作成時に非掲載となった種で、今回も事務局としては非掲載と判断した種

: 現リスト作成時に非掲載となった種で、今回は事務局で掲載候補と判断した種

: 現リスト作成時に候補となっておらず、今回新たに検討対象としたが事務局で非掲載と判断した種

: 現リスト作成時に候補となっておらず、今回新たに検討対象とした結果、事務局で掲載候補と判断した種

【国外由来の外来種】

2024.9.17版

リスト作成後の情報追加により新たに検討を行う種(順不同)

検討区分	No	定着段階	和名(別名、流通名)	学名	選定理由	評価項目													備考	抽出方法					
						定着可能性		生態系被害				分布拡大		重要地域	特に問題となる被害		逸出・拡散			①外来法	②W100	③GISD	④各県	⑤意向調査	⑥その他
						生物	導入	競合	交雑	捕食摂食	生態系改変	繁殖	気候		人体	経済産業	利用	付着混入							
新規(候補)	104	定着初期／限定分布	サンジャク	<i>Urocissa erythroryncha</i>	Ⅳ	／	／	○	-	○	-	○	○	-	-	-	○	-	1999年頃、愛媛県南予地方の観光施設より逸出した複数個体が由来と考えられている。				茨城、愛媛、高知	川上委員、環境省、地方公共団体	
新規	105	未定着	ヤマムスメ	<i>Urocissa caerulea</i>		○	◎	-	-	-	-	-	○	-	-	-	○	-	園館飼育有			○	千葉		
新規	106	未定着	ルリハコバシチメドリ	<i>Siva cyanouroptera</i>		○	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	属名が専門リストで異なっている(Minla、Actinodura) 外来生物法の未判定外来生物に指定			○			
新規	107	未定着	ダルマエナガ	<i>Sinosuthora webbiana</i>		○	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-				○			
新規	108	未定着	ハイムネメジロ	<i>Zosterops lateralis</i>		○	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-				○			
新規	109	未定着	ピロードゴジュウカラ	<i>Sitta frontalis</i>		○	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-				○			
新規	110	未定着	マネシツグミ	<i>Mimus polyglottos</i>		○	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-				○			
新規	111	未定着	フナシマネシツグミ	<i>Mimus gilvus</i>		○	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-				○			
新規	112	未定着	ミドリカラスモドキ	<i>Aplonis panayensis</i>		○	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-				○			
新規	113	未定着	シロガシラムクドリ	<i>Acridotheres burmannicus</i>		○	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-				○			
新規	114	未定着	ニシクロウタドリ	<i>Turdus merula</i>		○	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	○	-	クロウタドリとして流通有			○			
新規	115	未定着	ウタツグミ	<i>Turdus philomelos</i>		○	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	○	-	流通有			○			
新規	116	未定着	アカハラシキチョウ	<i>Kittacincla malabarica</i>		○	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-				○			
新規	117	未定着	イエスズメ	<i>Passer domesticus</i>		○	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	在来種(迷鳥)			○			
新規	118	未定着	スペインスズメ	<i>Passer hispaniolensis</i>		○	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-				○			
新規	119	未定着	ズグロウロコハタオリ	<i>Ploceus cucullatus</i>		○	◎	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	園館飼育有			○			
新規	120	未定着	ズグロハタオリ	<i>Ploceus melanocephalus</i>		○	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-				○			
新規	121	未定着	オウゴンチョウ	<i>Euplectes afe</i>		○	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	○	-	流通有					茨城	
新規	122	未定着	オオキンランチョウ	<i>Euplectes orix</i>		○	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	○	-	流通有					福島、山口	
新規	123	未定着	メンハタオリドリ	<i>Ploceus intermedius</i>		○	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-					茨城		
新規	124	未定着	ベニノジロ	<i>Foudia madagascariensis</i>		○	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-				○			
新規	125	未定着	カエデチョウ	<i>Estrilda troglodytes</i>		○	◎	-	-	-	-	-	○	-	-	-	○	-	園館飼育有			○	千葉		
新規	126	未定着	オナガカエデチョウ	<i>Estrilda astrild</i>		○	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-				○			
新規	127	未定着	シマコキン	<i>Lonchura castaneothorax</i>		○	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	○	-				○			
新規	128	未定着	キンバラ	<i>Lonchura atricapilla</i>		○	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	○	-	流通有					千葉、山口	
新規	129	未定着	ギンバラ	<i>Lonchura malacca</i>		○	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	○	-	流通有					茨城、千葉、山口、沖縄	
新規	130	未定着	ヘキチョウ	<i>Lonchura maja</i>		○	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	○	-	流通有					茨城、千葉	
新規	131	未定着	ブンチョウ	<i>Lonchura oryzivora</i>		○	◎	-	-	-	-	-	○	-	-	-	○	-	園館飼育有、流通有					茨城、千葉、山口、宮崎	
新規	132	未定着	デンニンチョウ	<i>Vidua macroura</i>		○	◎	-	-	-	-	-	○	-	-	-	○	-	園館飼育有、流通有					茨城	
新規	133	未定着	ヨーロッパカヤクグリ	<i>Prunella modularis</i>		○	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-				○			
新規	134	未定着	メキシコマシコ	<i>Carpodacus mexicanus</i>		○	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-				○			
新規	135	未定着	ゴシキヒワ	<i>Carduelis carduelis</i>		○	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	○	-	流通有				○		
新規	136	未定着	テリハネコウウチョウ	<i>Molothrus bonariensis</i>		○	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-				○			
新規	137	未定着	コウウチョウ	<i>Molothrus ater</i>		○	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-				○			
新規	138	未定着	ジュウカチョウ	<i>Diuca diuca</i>		○	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-				○			
新規	139	未定着	キンノジロ	<i>Sicalis flaveola</i>		○	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	○	-				○			
新規	140	未定着	コウカンチョウ	<i>Paroaria coronata</i>		○	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	○	-	流通有					茨城、宮崎	

リスト加除対象の候補種一覧　＜動物（鳥類）＞

 : 今回の検討から新たに候補として加わった種

- 継続

再検討

再検討(候補)

新規

新規(候補)
- : 現リストの掲載種

: 現リスト作成時に非掲載となった種で、今回も事務局としては非掲載と判断した種

: 現リスト作成時に非掲載となった種で、今回は事務局で掲載候補と判断した種

: 現リスト作成時に候補となっておらず、今回新たに検討対象としたが事務局で非掲載と判断した種

: 現リスト作成時に候補となっておらず、今回新たに検討対象とした結果、事務局で掲載候補と判断した種

【国内・家畜由来外来種(その他の検討対象種)】2024.9.17版
リスト作成後の情報追加により再検討を行う種(順不同)

検討区分	No	定着段階	和名(別名、流通名)	学名	選定理由	評価項目												備考	抽出方法						
						定着可能性		生態系被害				分布拡大		重要地域	特に問題となる被害		逸出・拡散		①外来法	②W100	③GISD	④各県	⑤意向調査	⑥その他	
						生物	導入	競合	交雑	捕食摂食	生態系改変	繁殖	気候		人体	経済産業	利用								付着混入
再検討(候補)	1	定着初期／限定分布	アイガモ	Anas platyrhynchos × A. p. var. domesticus	Ⅳ		○	○	○			○	○				○						北海道、滋賀、兵庫、福岡		
再検討(候補)	2	定着初期／限定分布	アヒル	Anas platyrhynchos var. domesticus	Ⅳ		○	○	○			○	○				○						茨城、千葉、滋賀、京都、兵庫、山口、福岡	川上委員	
再検討	3	定着初期／限定分布	キジ	Phasianus colchicus			○	○	○			○	○				○	○					奈良、鹿児島		
再検討	4	定着初期／限定分布	ヤマドリ、ウスアカヤマドリ	Symaticus soemmerringii scintillans, Symaticus soemmerringii subrufus			○	○	○			○	○				○		亜種:ヤマドリ、ウスアカヤマドリ 1974年ごろ北海道に放鳥された。現状の生息状況不明(消滅している可能性アリ)				北海道		

リスト作成後の情報追加により新たに検討を行う種(順不同)

検討区分	No	定着段階	和名(別名、流通名)	学名	選定理由	評価項目												備考	抽出方法							
						定着可能性		生態系被害			分布拡大		重要地域	特に問題と		逸出・拡散			①外来法	②W100	③GISD	④各県	⑤意向調査	⑥その他		
						生物	導入	競合	交雑	捕食 摂食	生態系改 変	繁殖		気候	人体	経済 産業	利用								付着 混入	
新規 (候補)	5	定着初期／限定分布	バリケン	<i>Cairina moschata</i>	Ⅳ		○	○	○			○	○				○			○				川上委員		
新規	6	定着初期／限定分布	シナガチョウ	<i>Anser cygnoides var. orientalis</i>			○					○	○				○							茨城、千葉、山口		
新規	7	?	ウズラ	<i>Coturnix japonic</i>			○					○	○				○							沖縄		
新規	8	?	ニワトリ	<i>Gallus gallus var. domesticus</i>			○					○	○				○							千葉、山口		
新規	9	?	メジロ(県外)	<i>Zosterops ssp.</i>								○	○											沖縄		

リスト加除対象の候補種一覧 <動物(爬虫類)>

：今回の検討から新たに候補として加わった種

- 継続

再検討

再検討(候補)

新規

新規(候補)
- ：現リストの掲載種

：現リスト作成時に非掲載となった種で、今回も事務局としては非掲載と判断した種

：現リスト作成時に非掲載となった種で、今回は事務局で掲載候補と判断した種

：現リスト作成時に候補となっておらず、今回新たに検討対象としたが事務局で非掲載と判断した種

：現リスト作成時に候補となっておらず、今回新たに検討対象とした結果、事務局で掲載候補と判断した種

【国外由来の外来種】
現リスト掲載種(順不同)

2024.9.17版

検討区分	No	定着段階	和名(別名、流通名)	学名	選定理由	評価項目														備考	抽出方法					
						定着可能性		生態系被害				分布拡大		重要地域	特に問題となる被害		逸出・拡散		①外来法		②W100	③GISD	④各県	⑤意向調査	⑥その他	
						生物	導入	競合	交雑	捕食摂食	生態系改変	繁殖	気候		人体	経済産業	利用	付着混入								
継続	1	未定着	ワニガメ属	<i>Macrochelys</i> spp.	Ⅲ,Ⅳ	○	-	○	-	○	-	-	○	-	◎	-	-	-	動物愛護管理法で特定動物(危険な動物)に指定されている。特定動物への指定前はペット用の利用がなされていた。				茨城、栃木、千葉、長野、滋賀、京都、兵庫、和歌山、徳島、香川、福岡、佐賀、長崎、沖縄			
継続	2	未定着	ニシキガメ属	<i>Chrysemys</i> spp.	Ⅳ	○	○	○	-	○	-	-	○	-	-	-	○	-	アカミミガメ等の代用種となりうるおそれがある。				長崎、沖縄			
継続	3	未定着	チズガメ属3種(ミシシippチズガメ、フトマチズガメ(サビーンチズガメを含む)、ニセチズガメ)	<i>Graptemys</i> spp.	Ⅳ	○	○	○	-	○	-	-	○	-	-	-	○	-	ミシシippチズガメ <i>G. kohnii</i> 、フトマチズガメ <i>G. ouachitensis</i> (サビーンチズガメ <i>G. o. sabinensis</i> を含む)、ニセチズガメ <i>G. pseudogeographica</i> の3種。アカミミガメ等の代用種となりうるおそれがあるため留意が必要。				長崎、沖縄			
継続	4	未定着	クーターガメ属	<i>Pseudemys</i> spp.	Ⅳ	○	○	○	-	○	-	-	○	-	-	-	○	-	ほとんどの種がペットとして輸入されている。特にペニンシュラクーター <i>P. peninsularis</i> の輸入が多く、安価に販売されている。アカミミガメ等の代用種となりうるおそれがある。				滋賀、長崎、沖縄			
継続	5	未定着	チュウゴクセマルハコガメ	<i>Cuora flavomarginata flavomarginata</i>	Ⅳ	○	○	○	○	○	-	-	○	-	-	-	○	-	八重山諸島に亜種やエヤマセマルハコガメ <i>C. f. evelynae</i> が分布。沖縄島ではしばしば野外で個体が確認され、定着している可能性もあるが、これらの亜種は確定されていない。本亜種の属するインガメ科は属間交雑するため留意が必要。				長野、福岡、長崎、沖縄			
継続	6	未定着	ハナガメ	<i>Mauremys sinensis</i>	Ⅳ	○	-	○	○	○	-	-	○	-	-	-	-	-	遺棄されたと考えられる個体が野外で見つかったことがある。ニホンインガメを含む他インガメ属と雑種を形成するため遺伝的かく乱を生じる恐れがある。野外での交雑個体の確認例も報告されている。	特定外来			茨城、千葉、愛知、京都、長崎、沖縄			
継続	7	未定着	アメリカスッポン属	<i>Apalone</i> spp.	Ⅳ	○	◎	○	-	○	-	-	○	-	-	-	○	-	フロリダスッポン <i>A. ferox</i> 、スベスッポン <i>A. mutica</i> 、トゲスッポン <i>A. spinifera</i> が国内で多数販売されている。				北海道(トゲスッポンとして)、滋賀、長崎、沖縄			
継続	8	未定着	ブラウンアノール	<i>Anolis sagrei</i>	Ⅰ	○	-	○	-	◎	-	-	○	-	-	-	-	○	フロリダの侵入地では在来のグリーンアノールを駆逐している。特定外来生物に指定される以前はペット用などで利用されていた。	特定外来		○	長崎、沖縄			
継続	9	未定着	特定外来生物のアノール属(グリーンアノール、ブラウンアノール除く)	<i>Anolis</i> spp.	Ⅳ	○	○	○	-	○	-	-	○	-	-	-	-	○	<i>Anolis allogus</i> 、 <i>A. alutaceus</i> 、 <i>A. angusticeps</i> 、ナイトアノール <i>A. equestris</i> 、ガーマンアノール <i>A. garmani</i> 、 <i>A. homolechis</i> の6種。特定外来生物に指定される以前はペット用などで利用されていた。	特定外来		○	長崎、沖縄			
継続	10	未定着	ヒョウモントカゲモドキ	<i>Eublepharis macularius</i>	Ⅳ	○	◎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	◎	-	爬虫類に病原性を持ち、在来種オビトカゲモドキに致死性のある原虫 クリプトスポリジウム <i>Cryptosporidium</i> spp. に感染している場合があり、在来爬虫類への感染が懸念される。				長崎、沖縄			
継続	11	未定着	ミナミオオガシラ	<i>Boiga irregularis</i>	Ⅰ	○	○	○	-	◎	-	-	○	-	○	-	-	○	沖縄島で貨物への混入に由来すると考えられる個体が捕獲されたことがある。弱毒だが咬まれると重体になることもある。グアム島での定着事例等を考慮すると、ひとたび侵入定着すると排除は困難とする指摘がある。	特定外来	世界	○	長崎、沖縄			
継続	12	未定着	特定外来生物のオオガシラ属(ミナミオオガシラを除く)	<i>Boiga</i> spp.	Ⅳ	○	○	○	-	○	-	-	○	-	○	-	-	○	ミドリオオガシラ <i>B. cyanea</i> 、イヌバオオガシラ <i>B. cynodon</i> 、マンガロープヘビ <i>B. dendrophila</i> 、ボウシオオガシラ <i>B. nigriceps</i> の4種。グアム島でのミナミオオガシラの定着事例等を考慮すると、ひとたび侵入定着すると排除は困難と考えられる。	特定		○	長崎、沖縄			
継続	13	定着初期／限定分布	カミツキガメ	<i>Chelydra serpentina</i>	Ⅰ,Ⅲ			○	-	◎	-	-	○	-	◎	-	-	-	広義のカミツキガメを指す。4亜種(ホクベイカミツキガメ <i>C. s. serpentina</i> 、フロリダカミツキガメ <i>C. s. osceola</i> 、チュウベйкаミツキガメ <i>C. s. rossignoni</i> 、ナンベйкаミツキガメ <i>C. s. acutirostris</i>) から成る。ペットとして飼われていたものが遺棄されて定着したと考えられている。千葉県印旛沼水系では定着しており、推定個体数30000匹とされている。静岡県狩野川でも定着が確認されている。	特定	日本		北海道、茨城、栃木、千葉、神奈川、長野、静岡、愛知、滋賀、京都、大阪、兵庫、和歌山、鳥取、山口、徳島、香川、福岡、佐賀、長崎、鹿児島			
継続	14	分布拡大期～まん延期	アカミミガメ	<i>Trachemys scripta</i>	Ⅰ			◎	-	○	-	-	○	-	-	○	◎	-	3亜種(ミシシippアカミミガメ <i>T. s. elegans</i> 、キバラガメ <i>T. s. scripta</i> 、カンバーランドキミミガメ <i>T. s. troosti</i>) から成る。ペットとして安価に大量に販売され。遺棄や逸走が頻繁に生じていたと考えられる。2022年に飼育などは規制されない条件付き特定外来生物に指定され、輸入および販売は停止した。なお、現在でも全国各地で、多数が定着して野外での繁殖も確認されている。	条件付き特定	日本、世界	○	北海道、青森、福島、茨城、千葉、神奈川、長野、静岡、愛知、滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山、鳥取、山口、徳島、香川、高知、福岡、佐賀、長崎、大分、宮崎、鹿児島	地方公共団体(キバラガメとして)		
継続	15	小笠原・南西諸島	グリーンアノール	<i>Anolis carolinensis</i>	Ⅰ,Ⅱ			○	-	◎	-	-	○	◎	-	-	-	○	小笠原諸島で深刻な生態系被害を引き起こしている。2012年に兄島への侵入が確認され、根絶に向けた取組が進められている。沖縄島や周辺の離島でも定着している。特定外来生物に指定される以前はペット用などで利用されていた。	特定	日本	○	長崎、沖縄			
継続	16	小笠原・南西諸島	タイワンスジオ	<i>Elaphe taeniura friesei</i>	Ⅰ			-	○	◎	-	-	○	○	-	-	-	-	先島諸島には同種の別亜種サキシマスジオ <i>E. t. schmackeri</i> が生息し、交雑による遺伝的なかく乱の恐れがある。沖縄島では哺乳・鳥類を捕食する昼行性のヘビ類がいないため、定着した場合捕食による在来生物群への影響が懸念される。	特定	日本	○	長崎、沖縄			
継続	17	小笠原・南西諸島	タイワンハブ	<i>Protobothrops mucrosquamatus</i>	Ⅰ,Ⅲ			○	◎	◎	-	-	○	○	◎	-	-	-	ヘビを用いたショー及び薬用として、1970年代から1990年代半ばまで沖縄島に大量に輸入されていた。これらの逸出か遺棄に由来すると考えられる。	特定			長崎、沖縄			
継続	18	小笠原・南西諸島	グリーンイグアナ	<i>Iguana iguana</i>	Ⅳ			-	-	○	-	-	○	○	-	○	◎	-	石垣島では定着している。生息実態及び生態系等への影響に関する知見の集積が必要。			○	山口、福岡、長崎、宮崎、沖縄			

リスト加除対象の候補種一覧 <動物(爬虫類)>

 : 今回の検討から新たに候補として加わった種

- 継続

: 現リストの掲載種
- 再検討

: 現リスト作成時に非掲載となった種で、今回も事務局としては非掲載と判断した種
- 再検討(候補)

: 現リスト作成時に非掲載となった種で、今回は事務局で掲載候補と判断した種
- 新規

: 現リスト作成時に候補となっておらず、今回新たに検討対象としたが事務局で非掲載と判断した種
- 新規(候補)

: 現リスト作成時に候補となっておらず、今回新たに検討対象とした結果、事務局で掲載候補と判断した種

【国外由来の外来種】
現リスト掲載種(順不同)

2024.9.17版

検討区分	No	定着段階	和名(別名、流通名)	学名	選定理由	評価項目													備考	抽出方法					
						定着可能性		生態系被害				分布拡大		重要地域	特に問題となる被害		逸出・拡散			①外来法	②W100	③GISD	④各県	⑤意向調査	⑥その他
						生物	導入	競合	交雑	捕食摂食	生態系改変	繁殖	気候		人体	経済産業	利用	付着混入							
継続	19	定着初期／限定分布	ミナミイシガメ	Mauremys mutica mutica	Ⅳ			○	○	○	-	-	○	○	-	-	○	-	国内では京都や滋賀に定着。八重山諸島に亜種イエヤマイシガメ <i>M. m. kami</i> が分布。本亜種の属するイシガメ科は属間交雑のおそれもあるため、特に留意が必要。ペット用に流通することがある。				千葉、滋賀、京都、長崎、沖縄		
継続	20	分布拡大期～まん延期	チュウゴクスッポン	Pelodiscus sinensis	Ⅰ			○	-	◎	-	-	○	-	-	-	○	-	ニホンスッポンとの交雑が生じている可能性がある。生息実態及び生態系等への影響に関する知見の集積が必要。日本国内のチュウゴクスッポンの正確な分布状況は不明であるため知見の集積が必要。ただし、養殖用の遺棄、逃亡などにより全国に広がっている可能性がある。ニホンスッポンとは亜種関係にあったが、2023年それぞれ独立の種として分類に変更があった。				北海道、福島、茨城、兵庫、長崎、鹿児島、沖縄		
継続	21	定着初期／限定分布	スインホーキノボリトカゲ	Japalura swinhonis	Ⅳ			○	-	○	-	-	○	-	-	-	-	○	輸入植物への混入による侵入と推測されている。宮崎県日向市、静岡県浜松市、神奈川県厚木市にて定着が確認されている。生態系への影響については知見の収集が必要である。				静岡、長崎、宮崎、沖縄		

リスト加除対象の候補種一覧 <動物(爬虫類)>

：今回の検討から新たに候補として加わった種

- 継続

再検討

再検討(候補)

新規

新規(候補)
- : 現リストの掲載種

: 現リスト作成時に非掲載となった種で、今回も事務局としては非掲載と判断した種

: 現リスト作成時に非掲載となった種で、今回は事務局で掲載候補と判断した種

: 現リスト作成時に候補となっておらず、今回新たに検討対象としたが事務局で非掲載と判断した種

: 現リスト作成時に候補となっておらず、今回新たに検討対象とした結果、事務局で掲載候補と判断した種

【国外由来の外来種】

リスト作成後の情報追加により再検討を行う種

2024.9.17版

検討区分	No	定着段階	和名(別名、流通名)	学名	選定理由	評価項目														備考	抽出方法					
						定着可能性		生態系被害				分布拡大		重要地域	特に問題となる被害		逸出・拡散		①外来法		②W100	③GISD	④各県	⑤意向調査	⑥その他	
						生物	導入	競合	交雑	捕食摂食	生態系改変	繁殖	気候		人体	経済産業	利用	付着混入								
再検討(候補)	1	分布拡大大期～まん延期	クサガメ	Mauremys reevesii	I			○	◎	-	-	○	○	○	-	-	◎	-	在来種ニホンイシガメとの交雑が複数地域で報告され遺伝的かく乱が生じている。また、交雑個体も繁殖能があることから継続的に遺伝的かく乱が生じ続けることが考えられる。さらにニホンイシガメの雌個体に関する繁殖干渉も報告される。特に西日本、千葉県房総半島、神奈川県三浦半島、福井県中池見湿地などではクサガメとの交雑がニホンイシガメの減少要因の一つと考えられている。				北海道、青森、滋賀、兵庫、山口、鹿児島	環境省外来室、地方公共団体		
再検討(候補)	2	小笠原・南西諸島	ホオグロヤモリ	Hemidactylus frenatus	IV			◎	-	○	-	-	○	○	-	-	○	○	東南アジア原産。国内では琉球列島および小笠原諸島に分布。近年、奄美大島・喜界島・宝島でも確認され。奄美大島と喜界島では定着している。侵略的であり在来ヤモリ類との競合が懸念される。海外では寄生虫や細菌など媒介による在来種への影響も懸念されている。			○	鹿児島			
再検討	3	未定着		Hemidactylus mabouia			○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	アフリカ大陸原産。現在は北南米に広く分布し在来ヤモリ類と競合を生じている様子。			○				
再検討	4	小笠原・南西諸島	オガサワラヤモリ	Lepidodactylus lugubris				-	×	-	-	○	-	-	-	-	-	○	全世界的に広く分布し、国内では琉球列島や小笠原諸島に分布し、分布の北限。単為生殖を行う。単為生殖するので気候条件が適応すれば定着する可能性はある。							
再検討	5	未定着		Anolis aeneus			○	-	○	-	◎	-	-	○	-	-	-	○	定着した場合、在来昆虫類の捕食や在来トカゲ類との競合が症える恐れはある。現在は未判定外来種に指定されているため輸入・流通はほぼない。	未判定		○				
再検討	6	未定着		Anolis distichus			○	-	○	-	◎	-	-	○	-	-	-	○	定着した場合、在来昆虫類の捕食や在来トカゲ類との競合が症える恐れはある。現在は未判定外来種に指定されているため輸入・流通はほぼない。	未判定		○				
再検討	7	未定着		Anolis extremus			○	-	○	-	◎	-	-	○	-	-	-	○	定着した場合、在来昆虫類の捕食や在来トカゲ類との競合が症える恐れはある。現在は未判定外来種に指定されているため輸入・流通はほぼない。	未判定		○				
再検討	8	未定着		Anolis grahami (Norops grahami)			○	-	○	-	◎	-	-	○	-	-	-	○	定着した場合、在来昆虫類の捕食や在来トカゲ類との競合が症える恐れはある。現在は未判定外来種に指定されているため輸入・流通はほぼない。	未判定		○				
再検討	9	未定着		Anolis leachii			○	-	○	-	◎	-	-	○	-	-	-	○	定着した場合、在来昆虫類の捕食や在来トカゲ類との競合が症える恐れはある。現在は未判定外来種に指定されているため輸入・流通はほぼない。	未判定		○				
再検討	10	未定着		Anolis lineatus			○	-	○	-	◎	-	-	○	-	-	-	○	定着した場合、在来昆虫類の捕食や在来トカゲ類との競合が症える恐れはある。現在は未判定外来種に指定されているため輸入・流通はほぼない。	未判定		○				
再検討	11	未定着		Anolis maynardi			○	-	○	-	◎	-	-	○	-	-	-	○	定着した場合、在来昆虫類の捕食や在来トカゲ類との競合が症える恐れはある。現在は未判定外来種に指定されているため輸入・流通はほぼない。	未判定		○				
再検討	12	未定着		Anolis porcatus			○	-	○	-	◎	-	-	○	-	-	-	○	定着した場合、在来昆虫類の捕食や在来トカゲ類との競合が症える恐れはある。現在は未判定外来種に指定されているため輸入・流通はほぼない。	未判定		○				
再検討	13	未定着		Anolis richardii			○	-	○	-	◎	-	-	○	-	-	-	○	定着した場合、在来昆虫類の捕食や在来トカゲ類との競合が症える恐れはある。現在は未判定外来種に指定されているため輸入・流通はほぼない。	未判定		○				
再検討	14	未定着		Anolis trinitatis			○	-	○	-	◎	-	-	○	-	-	-	○	定着した場合、在来昆虫類の捕食や在来トカゲ類との競合が症える恐れはある。現在は未判定外来種に指定されているため輸入・流通はほぼない。	未判定		○				
再検討	15	未定着		Anolis watti			○	-	○	-	◎	-	-	○	-	-	-	○	定着した場合、在来昆虫類の捕食や在来トカゲ類との競合が症える恐れはある。現在は未判定外来種に指定されているため輸入・流通はほぼない。	未判定		○				
再検討	16	未定着	ジャクソンカメレオン	Chamaeleo jacksonii			-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	ハワイ島で定着。日本にはペットとして流通するが野外移出例などは報告がない。			○				
再検討	17	小笠原・南西諸島	キノボリヤモリ	Hemiphyllodactylus typus typus				-	×	○	-	-	○	-	-	-	-	-	日本では西表島、石垣島に生息。単為生殖するので気候条件が適応すれば定着する可能性はある。							
再検討	18	未定着	シクラカベカナヘビ	Podarcis sicula			○	-	○	-	○	-	-	○	-	-	-	-	イタリア等の地中海周辺原産のカベカナヘビ。スペイン諸島では定着例がある。日本ではペット利用のため少数が流通する。			○				
再検討	19	未定着	ツナギトゲオイグアナ	Ctenosaura similis			-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	コスタリカなど南米原産。北米、ベネズエラで定着例あり。日本では少数がペット用に流通する。			○				
再検討	20	未定着		Gymnophthalmus underwoodi			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	ベネズエラ、ガイアナなど南米原産。キューバ、サバ島などで定着。							
再検討	21	未定着	マングローブオオトカゲ	Varanus indicus			-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	日本では少数がペット用に流通する。オーストラリアやグアム島で定着。定着地では養鶏や卵に被害が発生している。			○				
再検討	22	未定着	ナイルオオトカゲ	Varanus niloticus			-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	日本では少数がペット用に流通する。フロリダでは定着し在来生物の捕食が問題視されている。			○				
再検討	23	未定着	ボアコンストリクター	Boa constrictor			-	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	特定動物に指定されており、流通はほぼない。メキシコ、ブルエルトリコ、東南アジアなどで定着例あり。			○				
再検討	24	未定着	コーンスネーク	Pantherophis guttatus			○	◎	○	-	○	-	-	○	-	-	○	-	北米原産。カリブ海地域の島では定着例がある。日本ではペットとして輸入・流通量は多いが、逸出例などは少ない。			○				
再検討	25	未定着	インドニシキヘビ	Python molurus			-	-	○	-	○	-	-	-	-	○	-	-	特定動物に指定されており、流通はごく少数。ワシントン条約附属書Ⅰ類。ビルマニシキヘビと交雑する。			○				
再検討	26	未定着	ビルマニシキヘビ	Python bivittatus			-	-	○	-	○	-	-	-	-	○	-	-	特定動物に指定されており、流通はごく少数。フロリダでは定着し在来生物の捕食が問題視されている。ワシントン条約附属書Ⅱ類。インドニシキヘビと交雑する。			○				

リスト加除対象の候補種一覧 <動物(爬虫類)>

 : 今回の検討から新たに候補として加わった種

- 継続

: 現リストの掲載種
- 再検討

: 現リスト作成時に非掲載となった種で、今回も事務局としては非掲載と判断した種
- 再検討(候補)

: 現リスト作成時に非掲載となった種で、今回は事務局で掲載候補と判断した種
- 新規

: 現リスト作成時に候補となっておらず、今回新たに検討対象としたが事務局で非掲載と判断した種
- 新規(候補)

: 現リスト作成時に候補となっておらず、今回新たに検討対象とした結果、事務局で掲載候補と判断した種

【国外由来の外来種】

2024.9.17版

リスト作成後の情報追加により再検討を行う種

検討区分	No	定着段階	和名(別名、流通名)	学名	選定理由	評価項目														備考	抽出方法					
						定着可能性		生態系被害				分布拡大		重要地域	特に問題となる被害		逸出・拡散		①外来法		②W100	③GISD	④各県	⑤意向調査	⑥その他	
						生物	導入	競合	交雑	捕食摂食	生態系改変	繁殖	気候		人体	経済産業	利用	付着混入								
再検討	27	定着初期/限定分布	ブラーミニメクラヘビ	Ramphotyphlops braminus				-	×	-	-	○	○	-	-	-	-	○	原産地は判然としない。植木鉢などに園芸用の土に紛れて拡散し世界中に広く分布。日本では琉球列島、鹿児島県で定着している。単為生殖し拡散能力は高い。アリ・シロアリ類などの小型の節足動物・卵を捕食するが生態系への影響は不明。				宮崎、鹿児島			
再検討	28	未定着	メガネカイマン	Caiman crocodilus		-	-	-	-	○	-	-	-	-	○	-	-	-	エクアドルなど南米原産。ワシントン条約附属書1種。特定動物のため、愛玩用の飼育は禁止されている。アメリカ、プエルトリコ、キューバで定着し、在来ワニ類との競合している。プエルトリコの地元魚種に感染する「カイマン舌虫」として知られる外来寄生虫の媒介とも考えられている。			○				

リスト加除対象の候補種一覧 <動物(爬虫類)>

 : 今回の検討から新たに候補として加わった種

- 継続

: 現リストの掲載種
- 再検討

: 現リスト作成時に非掲載となった種で、今回も事務局としては非掲載と判断した種
- 再検討(候補)

: 現リスト作成時に非掲載となった種で、今回は事務局で掲載候補と判断した種
- 新規

: 現リスト作成時に候補となっておらず、今回新たに検討対象としたが事務局で非掲載と判断した種
- 新規(候補)

: 現リスト作成時に候補となっておらず、今回新たに検討対象とした結果、事務局で掲載候補と判断した種

【国外由来の外来種】

2024.9.17版

リスト作成後の情報追加により新たに検討を行う種(順不同)

検討区分	No	定着段階	和名(別名、流通名)	学名	選定理由	評価項目													備考	抽出方法					
						定着可能性		生態系被害				分布拡大		重要地域	特に問題となる被害		逸出・拡散			①外来法	②W100	③GISD	④各県	⑤意向調査	⑥その他
						生物	導入	競合	交雑	捕食摂食	生態系改変	繁殖	気候		人体	経済産業	利用	付着混入							
新規	1	未定着	ブエルトリオアノール	Anolis cristatellus		○	-	○	-	◎	-	-	○	-	-	-	○	ブエルトリオ、米国および英国領バージン諸島に自生しており、カリブ海周辺にて定着例あり。他アノール類と同様に在来トカゲ類との競合、昆虫類の捕食が生じている。	未判定		○				
新規	2	未定着	クサリヤマカガシ	Natrix maura		○	-	○	-	○	-	-	○	-	-	-	-	スペイン、ポルトガルなどから北アフリカ原産。スペインにて定着。			○				
新規 (候補)	3	未定着	特定外来生物のハナガメ交雑種	Mauremys. sinensis × M. japonica、 M. sinensis × M. mutica、 M. sinensis × M. reevesii	I	○	-	○	◎	○	-	-	○	-	-	-	-	繁殖能は不明だが、カメ類の雑種の多くに繁殖能があることからニホンインシガメとの交雑が生じ、遺伝的かく乱が生じる恐れが指摘されている。散発的に野外での報告例もある。	特定			愛知			
新規	4	未定着	タテスジマブヤ	Eutropis multifasciata		○	-	○	-	○	-	-	○	-	-	-	-	インドネシア等原産。中型のスキנקであり、台湾では既に定着して分布域を拡大しており、沖縄県の対策外来種リストに掲載されている。台湾に定着した例から沖縄県や鹿児島県の離島などに定着することが懸念されている。在来トカゲ類との競合や昆虫類の捕食のおそれがあり、知見の収集が必要。				沖縄			

リスト加除対象の候補種一覧　＜動物(爬虫類)＞

 : 今回の検討から新たに候補として加わった種

- 継続

再検討

再検討(候補)

新規

新規(候補)
- : 現リストの掲載種

: 現リスト作成時に非掲載となった種で、今回も事務局としては非掲載と判断した種

: 現リスト作成時に非掲載となった種で、今回は事務局で**掲載候補と判断**した種

: 現リスト作成時に候補となっておらず、今回新たに検討対象としたが事務局で非掲載と判断した種

: 現リスト作成時に候補となっておらず、今回新たに検討対象とした結果、事務局で**掲載候補と判断**した種

【国内由来の外来種・国内に自然分布域を持つ国外由来の外来種】

2024.9.17版

現リスト掲載種

検討区分	No	定着段階	和名(別名、流通名)	学名	選定理由	評価項目														備考	抽出方法					
						定着可能性		生態系被害				分布拡大		重要地域	特に問題となる被害		逸出・拡散									
						生物	導入	競合	交雑	捕食摂食	生態系改変	繁殖	気候		人体	経済産業	利用	付着混入	①外来法		②W100	③GISD	④各県	⑤意向調査	⑥その他	
継続	1	国内由来の外来種	沖縄諸島及び宮古諸島のヤエヤマセマルハコガメ	<i>Cuora flavomarginata evelynae</i>	I			○	◎	-	-	-	○	○	-	-	-	-	生息実態及び生態系等への影響に関する知見の集積が必要。ヤエヤマセマルハコガメは国の天然記念物に指定されている。しばしば野外で個体が確認され、定着している可能性もあるが、これらの亜種は確定されていない。リュウキュウヤマガメとの雑種と思われる個体も確認されている。宮古諸島では移入個体群(移入経緯は不明)が定着しているが天然記念物であるため、保護もしくは駆除を行うために課題がある。				沖縄			
継続	2	国内由来の外来種	沖縄諸島及び宮古諸島のヤエマイシンガメ	<i>Mauremys mutica kami</i>	I			○	-	◎	-	-	○	○	-	-	○	-	生息実態及び生態系等への影響に関する知見の集積が必要。定着しているが、これらの亜種は確定されていない。宮古島ではミヤコサワガニを捕食する被害が指摘されている。				鹿児島、沖縄			
継続	3	国内由来の外来種	琉球列島のニホンスッポン	<i>Pelodiscus japonicus</i>	IV			○	-	○	-	-	○	-	-	-	○	-	生息実態及び生態系等への影響に関する知見の集積が必要。チュウゴクスッポンとは亜種関係にあったが、2023年それぞれ独立の種として分類に変更があった。P.japonicusとしての分布情報などは不明。				青森、福島、鹿児島、沖縄			
継続	4	国内由来の外来種	九州のオキナワキノボリトカゲ	<i>Japalura polygonata polygonata</i>	IV			-	-	○	-	-	○	-	-	-	○	-	生息実態及び生態系等への影響に関する知見の集積が必要。九州南部の個体群については生態、防除法等についての研究が行われている。				長崎、宮崎、鹿児島			
継続	5	国内由来の外来種	伊豆諸島のニホントカゲ	<i>Plestiodon japonicus</i>	I			○	◎	-	-	-	○	○	-	-	-	-	本種の分類が見直され、東日本とロシア沿海州のものは別種ヒガシニホントカゲ P. finitimus とされた。八丈島の外来個体群は狭義のニホントカゲ。オカダトカゲとの交雑が確認されている。							

リスト作成後の情報追加により再検討を行う種

検討区分	No	定着段階	和名(別名、流通名)	学名	選定理由	評価項目														備考	抽出方法					
						定着可能性		生態系被害				分布拡大		重要地域	特に問題となる被害		逸出・拡散									
						生物	導入	競合	交雑	捕食摂食	生態系改変	繁殖	気候		人体	経済産業	利用	付着混入	①外来法		②W100	③GISD	④各県	⑤意向調査	⑥その他	
再検討(候補)	1	国内由来の外来種	タワヤモリ・ニシヤモリ生息地域のニホンヤモリ	<i>Gekko japonicus</i>	I, II			○	○	○	-	-	○	○	-	-	-	○	交雑・競合による排除により在来ヤモリ類の排除。ニシヤモリ、タワヤモリの生息地減少が懸念される。また、淡路島ではニホンヤモリの侵入によりタワヤモリから置き換わった例がある。本州・四国・九州で定着。近年、約3000年前に大陸由来の個体が九州地方に入り、その後全国的に広がったと考えられる研究報告がなされた。			○	北海道、滋賀、鹿児島			
再検討(候補)	2	国内由来の外来種	屋久島・種子島のミナミヤモリ	<i>Gekko hokouensis</i>	I, II			○	○	○	-	-	○	○	-	-	-	○	屋久島の在来ヤモリ類はヤクヤモリのみであり、ミナミヤモリは外来集団である。交雑によるヤクヤモリへの遺伝的かく乱および置き換わりが生じている。近年、種子島にも定着が確認され同様の現象が生じる恐れが指摘されている。神奈川県、静岡県、和歌山県、東京都(八丈島)、長崎県(五島列島)でも定着している。				和歌山、鹿児島			
再検討	3	国内由来の外来種	八丈島のアオダイショウ	<i>Elaphe climacophora</i>				○	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-	東京都(八丈島)にて定着。生態系への影響は不明。							
再検討	4	国内由来の外来種	伊豆諸島のヒバカリ	<i>Amphiesma vibakari vibakari</i>				○	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	東京都(三宅島、御蔵島)にて定着。生態系への影響は不明。							
再検討	5	国内由来の外来種	沖縄県南部のサキシマハブ	<i>Protobothrops elegans</i>				○	○	○	-	-	○	-	○	-	-	○	沖縄県糸満市ほかで定着している。ハブとの交雑も報告されている。				沖縄			

リスト作成後の情報追加により新たに検討を行う種(順不同)

検討区分	No	定着段階	和名(別名、流通名)	学名	選定理由	評価項目										備考	抽出方法								
						定着可能性		生態系被害				分布拡大		重要地域	特に問題となる被害		逸出・拡散		①外来法	②W100	③GISD	④各県	⑤意向調査	⑥その他	
						生物	導入	競合	交雑	捕食摂食	生態系改変	繁殖	気候		人体		経済産業	利用							付着混入
新規	1	国内由来の外来種	栗国島のハブ	<i>Protobothrops flavoviridis</i>				-	-	○	-	○	○	-	○	-	-	○	栗国島にて定着が確認されている。ハブがいない島のため住民の生活に影響が出る可能性が指摘されている。				沖縄		

リスト加除対象の候補種一覧 <動物(両生類)>

：今回の検討から新たに候補として加わった種

- 継続

再検討

再検討(候補)

新規

新規(候補)
- ：現リストの掲載種

：現リスト作成時に非掲載となった種で、今回も事務局としては非掲載と判断した種

：現リスト作成時に非掲載となった種で、今回は事務局で掲載候補と判断した種

：現リスト作成時に候補となっておらず、今回新たに検討対象としたが事務局で非掲載と判断した種

：現リスト作成時に候補となっておらず、今回新たに検討対象とした結果、事務局で掲載候補と判断した種

【国外由来の外来種】

2024.9.17版

現リスト掲載種

検討区分	No	定着段階	和名(別名、流通名)	学名	選定理由	評価項目												備考	抽出方法						
						定着可能性		生態系被害				分布拡大		重要地域	特に問題となる被害		逸出・拡散		①外来法	②W100	③GISD	④各県	⑤意向調査	⑥その他	
						生物	導入	競合	交雑	捕食摂食	生態系改変	繁殖	気候		人体	経済産業	利用								付着混入
継続	1	未定着	コキーコヤスガエル	<i>Eleutherodactylus coqui</i>	I	○	◎	○	-	◎		◎	○	-	-	○	-	○	海外では貨物などに紛れて移動したと考えられている。導入されたハワイ島では高密度に生息し、観光ホテル等で鳴き声による騒音被害が発生している。	特定		○	長崎、沖縄		
継続	2	未定着	ジョンストンコヤスガエル	<i>Eleutherodactylus johnstonei</i>	IV	○	○	○	-	○		○	○	-	-	-	-	○	生息実態及び生態系等への影響に関する知見の集積が必要。	特定		○	長崎、沖縄		
継続	3	未定着	オンシツガエル	<i>Eleutherodactylus planirostris</i>	IV	○	○	○	-	○		○	○	-	-	-	-	○	生息実態及び生態系等への影響に関する知見の集積が必要。	特定	日本	○	長崎、沖縄		
継続	4	未定着	キューバズツキガエル(キューバアマガエル)	<i>Osteopilus septentrionalis</i>	I	○	◎	○	-	◎		-	○	-	-	-	-	○	皮膚粘液による上位捕食者への影響も考えられる。捕食性が強く、他のカエルも餌とする。	特定		○	長崎、沖縄		
継続	5	未定着	特定外来生物のヒキガエル属(オオヒキガエルを除く)	<i>Bufo</i> spp.	IV	○	◎	○	-	○		-	○	-	-	-	○	○	ブレーンズヒキガエル <i>B. cognatus</i> 、キンイロヒキガエル <i>B. guttatus</i> 、アカボシヒキガエル <i>B. punctatus</i> 、オークヒキガエル <i>B. quercicus</i> 、テキサスヒキガエル <i>B. speciosus</i> 、コノハヒキガエル <i>B. typhonius</i> 、アフリカヒキガエル <i>Bufo regularis</i> の7種。	特定		○	栃木、長崎、沖縄		
継続	6	未定着	ヨーロッパミドリヒキガエルなどヒキガエル属5種(ヨーロッパミドリヒキガエル、テキサスミドリヒキガエル、ナンブヒキガエル、ガルフコーストヒキガエル、ロココヒキガエル(キャハンヒキガエル))	<i>Bufo</i> spp.	IV	○	◎	○	-	○		-	○	-	-	-	○	○	ヨーロッパミドリヒキガエル <i>B. viridis</i> 、テキサスミドリヒキガエル <i>B. debilis</i> 、ナンブヒキガエル <i>B. terrestris</i> 、ガルフコーストヒキガエル <i>B. valliceps</i> 、ロココヒキガエル(キャハンヒキガエル) <i>B. paracnemis</i> の5種。				北海道、長崎、沖縄		
継続	7	未定着	アジアジムグリガエル	<i>Kaloula pulchra</i>	IV	○	◎	○	-	○		-	○	-	-	-	○	◎	輸入貨物への混入例が確認されている。	特定		○	長崎、沖縄		
継続	8	未定着	ヘリグロヒキガエル	<i>Bufo melanostictus</i>	IV	○	◎	○	-	○		-	○	-	-	-	○	◎	輸入貨物への混入例が確認されている。	特定		○	長崎、沖縄		
継続	9	小笠原・南西諸島	オオヒキガエル	<i>Bufo marinus (Rhinella marina)</i>	I、II			○	-	◎		◎	○	◎	○	-	○	◎	耳腺からの毒液により、カエルの捕食者が死亡することがある。	特定	日本	○	栃木、長崎、沖縄		
継続	10	定着初期／限定分布	チュウゴクオオサンショウウオ	<i>Andrias davidianus</i>	I			○	◎			-	○	-	-	-	-	-	遺伝的かく乱等によるオオサンショウウオへの被害が確認されており、特定外来生物に指定された。	特定			京都、兵庫、長崎、沖縄		
継続	11	分布拡大型～まん延期	ウシガエル	<i>Rana catesbeiana (Lithobates catesbeianus)</i>	I			○	-	◎		◎	○	-	-	-	◎	-	さまざまな小動物を広く捕食する他、カエルツボカビ症・ラナウイルス症病原体を媒介すると指摘されている。小笠原諸島では根絶された。	特定		○	北海道、青森、福島、茨城、千葉、神奈川、石川、長野、静岡、愛知、滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山、鳥取、山口、徳島、香川、高知、福岡、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄		
継続	12	小笠原・南西諸島	シロアゴガエル	<i>Polypedates leucomystax</i>	I、II			○	-	◎		-	○	○	-	-	○	◎	外来の寄生虫が確認されている。	特定		○	長崎、鹿児島、沖縄	松田委員	
継続	13	定着初期／限定分布	アフリカツメガエル	<i>Xenopus laevis</i>	IV			○	-	○		-	○	-	-	○	◎	-	カエルツボカビ症・ラナウイルス症病原体を媒介すると指摘されているが、評価未了。鯉養殖場でコイの幼魚が食べられる被害。			○	北海道、静岡、兵庫、和歌山、長崎、鹿児島、沖縄		

リスト加除対象の候補種一覧　＜動物(両生類)＞

 : 今回の検討から新たに候補として加わった種

- 継続

再検討

再検討(候補)

新規

新規(候補)
- : 現リストの掲載種

: 現リスト作成時に非掲載となった種で、今回も事務局としては非掲載と判断した種

: 現リスト作成時に非掲載となった種で、今回は事務局で**掲載候補と判断**した種

: 現リスト作成時に候補となっておらず、今回新たに検討対象としたが事務局で非掲載と判断した種

: 現リスト作成時に候補となっておらず、今回新たに検討対象とした結果、事務局で**掲載候補と判断**した種

【国外由来の外来種】

2024.9.17版

リスト作成後の情報追加により再検討を行う種

検討区分	No	定着段階	和名(別名、流通名)	学名	選定理由	評価項目													備考	抽出方法					
						定着可能性		生態系被害				分布拡大		重要地域	特に問題となる被害		逸出・拡散			①外来法	②W100	③GISD	④各県	⑤意向調査	⑥その他
						生物	導入	競合	交雑	捕食摂食	生態系改変	繁殖	気候		人体	経済産業	利用	付着混入							
再検討	1	未定着	キンスジアメガエル	<i>Litoria aurea</i>				-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	オーストラリア原産。ニュージーランドやニューカレドニアにて定着。GISDには“ <i>Ranoides aurea</i> ”として掲載されている。							
再検討	2	未定着	キアシナンベイアマガエル	<i>Scinax ruber</i>				-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	南米北部に分布し、プエルトリコ、マルティニーク、セントルシアでの野外記録があり、侵略的とされている。本種の分布域は広いが、真の本種はベネズエラ(ボリバル)、ガイアナ、スリナム、フランス領ギアナ及び上記外来集団のみで、他地域のものは未記載の別種とされる(Amphibians Species of the Worldの記述より)。			○				
再検討	3	未定着	Venezuela Snouted Treefrog	<i>Scinax x-signatus</i>				-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	南米北部から東部に自然分布し、ドミニカとグアデロープに侵入して侵略的とされる。			○				
再検討	4	未定着	トウブジムグリガエル	<i>Gastrophryne carolinensis</i>				-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	アメリカ合衆国の南東部に自然分布する。バハマとケイマン諸島に侵入して、グランドケイマン島では高密度化してアリ、シロアリ、甲虫を捕食して侵略的とされる。			○				

リスト加除対象の候補種一覧 <動物(両生類)>

: 今回の検討から新たに候補として加わった種

- 継続

再検討

再検討(候補)

新規

新規(候補)
- : 現リストの掲載種

: 現リスト作成時に非掲載となった種で、今回も事務局としては非掲載と判断した種

: 現リスト作成時に非掲載となった種で、今回は事務局で掲載候補と判断した種

: 現リスト作成時に候補となっておらず、今回新たに検討対象としたが事務局で非掲載と判断した種

: 現リスト作成時に候補となっておらず、今回新たに検討対象とした結果、事務局で掲載候補と判断した種

【国外由来の外来種】

2024.9.17版

リスト作成後の情報追加により新たに検討を行う種(定着段階以外は順不同)

検討区分	No	定着段階	和名(別名、流通名)	学名	選定理由	評価項目													備考	抽出方法					
						定着可能性		生態系被害				分布拡大		重要地域	特に問題となる被害		逸出・拡散			①外来法	②W100	③GISD	④各県	⑤意向調査	⑥その他
						生物	導入	競合	交雑	捕食摂食	生態系改変	繁殖	気候		人体	経済産業	利用	付着混入							
新規(候補)	1		Andrias属(A.japonicusを除く)の全種	Andrias spp.	I	○	-	○	◎	○	-	-	○	-	-	-	-	チュウゴクオオサンショウウオについては、遺伝的かく乱等によるオオサンショウウオへの被害が確認されていることから、他の外来種と合わせて特定外来生物に指定された。	特定						
新規(候補)	2		Andrias属の交雑個体		I	○	-	○	◎	○	-	-	○	-	-	-	-	遺伝的かく乱等によるオオサンショウウオへの被害が確認されており、特定外来生物に指定された。	特定			滋賀			
新規(候補)	3		ホンコンシロアゴガエル	Polypedates megacephalus	IV	○	-	○	-	○	-	○	○	-	-	-	○	中国大陸から台湾に2006年に侵入して分布拡大しており、生態系被害が指摘されている。2022年に沖縄島への5個体の侵入(台湾からのコンテナへの侵入)が確認されている。	未判定		○	沖縄			
新規	4		サンバガエル	Alytes obstetricans							-	-	○	-	-	-	-	ヨーロッパ大陸に自然分布し、イギリスでの野外記録がある。			○				
新規	5		ブルースポットサラマンダー	Ambystoma laterale							-	-	○	-	-	-	-	カナダ南東部からアメリカ合衆国北東部にかけて自然分布する。GISDIに掲載されているが侵入や侵略性の記載なし。			○				
新規	6		タイガーサラマンダー	Ambystoma tigrinum							-	-	○	-	-	-	○	アメリカ合衆国の中部から東部等に広く自然分布。釣り餌として利用されカリフォルニア等に侵入している。ラナウイルスの媒介が懸念され、在来種との交雑が確認されている。			○				
新規	7		アメリカヒキガエル	Anaxyrus americanus							-	-	○	-	-	-	-	アメリカ合衆国東部、カナダ東部に広く自然分布。GISDIに掲載されているが侵入や被害の記載なし。	未判定		○				
新規	8		ハイカイキノボリサラマンダー	Aneides vagrans							-	-	○	-	-	-	-	アメリカ合衆国に自然分布。カナダ・ブリティッシュコロンビアでの野外記録があるが侵略性については分かっていない。			○				
新規	9		ヨーロッパズガエル	Bombina bombina							-	-	○	-	-	-	-	ヨーロッパ中央部から西部にかけて自然分布する。フランス、オランダ、スウェーデン、イギリスでの野外記録がある。			○				
新規	10		チョウセンズガエル	Bombina orientalis							-	-	○	-	-	-	○	朝鮮半島、中国東部からロシア沿海州に自然分布する。ベルギー、中国・山東省での野外記録がある。			○	北海道			
新規	11		キバラスズガエル	Bombina variegata							-	-	○	-	-	-	-	ヨーロッパ大陸に自然分布し、イギリスでの野外記録がある。			○				
新規	12		ヨーロッパヒキガエル	Bufo bufo							-	○	○	-	-	-	-	ヨーロッパからロシア東部に広く自然分布しており、アイルランドでの野外記録がある。	未判定		○				
新規	13		アジアヒキガエル	Bufo gargarizans							-	○	○	-	-	-	-	中国東部から朝鮮半島、ロシア沿海州などに広く自然分布しており、日本産亜種(ミヤコヒキガエル)が大東諸島に定着している。ベトナムでも記録されているが、侵略性は不明とされている。	未判定		○	北海道			
新規	14		マダラヤドクガエル	Dendrobates auratus							-	-	○	-	-	-	○	ニカラグアからコロンビアまでの中南米に自然分布し、アメリカ合衆国ハワイ(オアフ島)に定着しており、エクアドルでも記録がある。			○				
新規	15		ダスキーサラマンダー	Desmognathus fuscus							-	-	○	-	-	-	-	アメリカ合衆国東部に自然分布し、カナダ・オンタリオ州とアメリカ合衆国・ミシガン州での野外記録がある。			○				
新規	16		アザラシサラマンダー	Desmognathus monticola							-	-	○	-	-	-	-	アメリカ合衆国東部のやや内陸部に自然分布しており、同国のオザーク高原での野外記録がある。アーカンソー州での記録もある(前記との関係は不明)。			○				
新規	17		ブラックベリーサラマンダー	Desmognathus quadramaculatus							-	-	○	-	-	-	-	アメリカ合衆国の東部に自然分布し、同国ジョージア州での野外記録があるが、侵略性は不明。近年はDesmognathus fuscusに含められている。			○				
新規	18		ミミナシガエル	Discoglossus pictus							-	-	○	-	-	-	-	自然分布域はモロッコ、イタリア。スペイン東部とフランス西部に定着しており、スペインでは在来種のカエルに対して侵略的である。			○				
新規	19		アメリカマガエル	Dryophytes cinereus							-	-	○	-	-	-	○	アメリカ合衆国東南部に自然分布し、バハマ、プエルトリコ、アメリカ合衆国のビッグ・バンド国立公園及びマサチューセッツ州での野外記録があるが、侵略的とはされていない、または不明である。			○				
新規	20		リスアマガエル	Dryophytes squirellus							-	-	○	-	-	-	-	アメリカ合衆国東南部に自然分布し、バハマでの野外記録がある。			○				
新規	21		オマーンヒキガエル	Duttaphrynus dhufarensis							-	-	○	-	-	-	-	アラブ首長国連邦に自然分布する。GISDIに掲載されているが移入や侵略性の記載なし。	未判定		○				
新規	22		アンチルコヤスガエル	Eleutherodactylus antillensis							-	-	○	-	-	-	-	プエルトルコ、バージン諸島に自然分布し、パナマとアメリカ領バージン諸島での野外記録がある。			○				
新規	23		リオグランデコヤスガエル	Eleutherodactylus cystignathoides							-	-	○	-	-	-	-	アメリカ合衆国南部からメキシコ東部に自然分布する。テキサス州の新たな場所での野外記録があるが、侵略的とはされていない。ルイジアナ州でも記録がある。			○				
新規	24		マルチニークコヤスガエル	Eleutherodactylus martinicensis							-	-	○	-	-	-	-	原産地はマルティニーク、及びアンティグア・セントルシア、ドミニカ。小アンティル諸島のアンティグア・バーブーダ、グアドループ、サン・バルテルミー島、セント・マーチン島及びドイツで記録がある。			○				
新規	25		トウンガラガエル	Engystomops pustulosus							-	-	○	-	-	-	-	メキシコ南部、中央アメリカから南アメリカ北部原産。GISDIに掲載されているが侵入や侵略性の記載なし。			○				

リスト加除対象の候補種一覧 <動物(両生類)>

: 今回の検討から新たに候補として加わった種

- 継続

再検討

再検討(候補)

新規

新規(候補)
- : 現リストの掲載種

: 現リスト作成時に非掲載となった種で、今回も事務局としては非掲載と判断した種

: 現リスト作成時に非掲載となった種で、今回は事務局で掲載候補と判断した種

: 現リスト作成時に候補となっておらず、今回新たに検討対象としたが事務局で非掲載と判断した種

: 現リスト作成時に候補となっておらず、今回新たに検討対象とした結果、事務局で掲載候補と判断した種

【国外由来の外来種】

2024.9.17版

リスト作成後の情報追加により新たに検討を行う種(定着段階以外は順不同)

検討区分	No	定着段階	和名(別名、流通名)	学名	選定理由	評価項目														備考	抽出方法					
						定着可能性		生態系被害				分布拡大		重要地域	特に問題となる被害		逸出・拡散		①外来法		②W100	③GISD	④各県	⑤意向調査	⑥その他	
						生物	導入	競合	交雑	捕食摂食	生態系改変	繁殖	気候		人体	経済産業	利用	付着混入								
新規	26		アラビアスキッパーガエル	<i>Euphylyctis ehrenbergii</i>				-	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-	サウジアラビア、イエメン原産。サウジアラビア中東部のリヤドに侵入している。侵略性は不明。			○				
新規	27		Southern two-lined salamander	<i>Eurycea cirrigera</i>				-	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-	アメリカ合衆国東部に広く自然分布。GISDに掲載されているが侵入や被害の記載なし。			○				
新規	28		カニウイガエル	<i>Fejervarya cancrivora</i>				-	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-	東南アジアに自然分布する。GISDに掲載されているが侵入や被害の記載なし。			○				
新規	29		ババトラフガエル	<i>Hoplobatrachus rugulosus</i>				-	-	○	-	-	○	-	-	-	○	-	中国南部から台湾、インドシナ半島、タイ、ミャンマーにかけて自然分布する。食用に利用され、マレーシア、フィリピンに侵入してフィリピンでは広く分布している。定着地では在来種の爬虫類、両生類への影響が懸念されている。最近では <i>Hoplobatrachus chinensis</i> という学名が用いられる。			○				
新規	30		トラフガエル	<i>Hoplobatrachus tigerinus</i>				-	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-	インド及び周辺国に自然分布する。食用に利用され、マダガスカル、モルディブ、アンダマン諸島に侵入しており、ブータンでも侵入の可能性がある。在来種の爬虫類、両生類への影響が懸念されており、飼育下で本種の幼生が在来カエル類の幼生を捕食して壊滅させることが示されている。			○				
新規	31		イタリアアマガエル	<i>Hyla intermedia</i>				-	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-	イタリア、スロベニアに自然分布する。スイス西部に侵入して、在来種ヨーロッパアマガエルに対して遺伝子かく乱を生じさせているとの報告がある。			○				
新規	32		チチュウカイアマガエル(仮)	<i>Hyla meridionalis</i>				-	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-	アフリカ北部、ヨーロッパ南西部に自然分布する。ベルギー、イタリア、スペイン・バレアレス諸島での野外記録がある。			○				
新規	33		ミヤマイモリ	<i>Ichthyosaura alpestris</i>				-	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-	ヨーロッパに広く分布する。ニュージーランド、フランス南部、スペイン中部、イギリスに侵入して定着している。スペインでは両生類の卵や絶滅危惧種のトンボに対する捕食の影響が懸念されている。			○				
新規	34		スンダインガーヒキガエル	<i>Ingerophrynus biporcatus</i>				-	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-	スマトラ島、ジャワ島などに自然分布する。スラウェシ島に侵入している。	未判定		○				
新規	35		ニシバンジョーヌマチガエル	<i>Limnodynastes dorsalis</i>				-	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-	オーストラリア南西部に自然分布。GISDに掲載されているが侵入や被害の記載なし。			○				
新規	36		ブチヌマチガエル	<i>Limnodynastes tasmaniensis</i>				-	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-	タスマニア、オーストラリア東部に自然分布する。オーストラリア北部や西部での野外確認がある。侵略性は未確定とされている。			○				
新規	37		キバライモリ	<i>Lissotriton montandoni</i>				-	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-	ルーマニア、ウクライナ、スロベキア等に自然分布し、ドイツに侵入している。			○				
新規	38		スベイモリ	<i>Lissotriton vulgaris</i>				-	-	○	-	-	○	-	-	-	○	-	ヨーロッパからロシア西部に広く自然分布し、オーストラリア南東部に持ち込まれ定着している。			○				
新規	39		リオグランデヒョウガエル	<i>Lithobates berlandieri</i>				-	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-	アメリカ合衆国南部からメキシコにかけて自然分布し、アリゾナ州やメキシコに侵入している。			○				
新規	40		ブロンズガエル	<i>Lithobates clamitans</i>				-	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-	アメリカ合衆国東部、カナダ南東部に自然分布し、合衆国、カナダの非分布域での野外記録がある。	未判定		○				
新規	41		ブタゴエガエル	<i>Lithobates grylio</i>				-	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-	アメリカ合衆国南東部に自然分布し、バハマ、中国での野外記録がある。	未判定		○				
新規	42		ヒョウガエル	<i>Lithobates pipiens</i>				-	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-	カナダ南部とアメリカ合衆国中北部に広く自然分布する。GISDに掲載されているが侵入や被害の記載なし。			○				
新規	43		ミンクガエル	<i>Lithobates septentrionalis</i>				-	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-	カナダ南東部とアメリカ合衆国北東部に自然分布し、カナダのニューファンドランドで野外記録がある。	未判定		○				
新規	44		ミナミヒョウガエル	<i>Lithobates sphenocephalus</i>				-	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-	アメリカ合衆国東南部に自然分布し、バハマと合衆国アリゾナ州での野外記録がある。			○				
新規	45		アメリカアカガエル	<i>Lithobates sylvaticus</i>				-	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-	カナダからアメリカ合衆国北部、東部にかけて広く自然分布する。カナダのニューファンドランドでの野外記録がある。			○				
新規	46		ヒガシヒメアマガエル	<i>Litoria fallax</i>				-	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-	オーストラリア東部に自然分布している。グアムに持ち込まれて定着している。			○				
新規	47		ハナヒメアマガエル	<i>Microhyla pulchra</i>				-	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-	中国南部からタイ、インドシナ半島に自然分布している。グアムでの野外記録がある。			○				
新規	48		マッドバビー	<i>Necturus maculosus</i>				-	-	○	-	-	○	-	-	-	○	-	アメリカ合衆国東部などに自然分布し、合衆国の非分布域での野外記録がある。			○				
新規	49		ナイルトノサマガエル	<i>Pelophylax bedriagae</i>				-	○	○	-	-	○	-	-	-	-	-	エーゲ海地方に自然分布する。観賞用、実験動物用、食用として北欧や西ヨーロッパなどに導入され、在来種との交雑、昆虫の捕食が問題となっている。本属の分類は複雑な歴史を有し、この種をワライガエルに包含するとのデータベースもある。			○				
新規	50		Italian pool frog	<i>Pelophylax bergeri</i>				-	○	○	-	-	○	-	-	-	-	-	ヨーロッパに自然分布する。フランス、スイス、イギリスにおいて侵略的外来種となっている。本属の分類は複雑な歴史を有し、この種をコガタトノサマガエルに包含するとしているデータベースもある。			○				
新規	51		コガタトノサマガエル	<i>Pelophylax lessonae</i>				-	○	○	-	-	○	-	-	-	-	-	ヨーロッパに自然分布する。スペイン、ノルウェー南部に侵入している。カエルツボカビの宿主であることが判明しており、伝播が懸念されている。			○				
新規	52		ペレスワライガエル	<i>Pelophylax perezi</i>				-	○	○	-	-	○	-	-	-	-	-	フランス南部からイベリア半島に自然分布する。ポルトガルのアゾレス諸島、スペインのカナリア諸島などに侵入している。			○				

リスト加除対象の候補種一覧 <動物(両生類)>

 : 今回の検討から新たに候補として加わった種

- 継続

再検討

再検討(候補)

新規

新規(候補)
- : 現リストの掲載種

: 現リスト作成時に非掲載となった種で、今回も事務局としては非掲載と判断した種

: 現リスト作成時に非掲載となった種で、今回は事務局で掲載候補と判断した種

: 現リスト作成時に候補となっておらず、今回新たに検討対象としたが事務局で非掲載と判断した種

: 現リスト作成時に候補となっておらず、今回新たに検討対象とした結果、事務局で掲載候補と判断した種

【国外由来の外来種】

2024.9.17版

リスト作成後の情報追加により新たに検討を行う種(定着段階以外は順不同)

検討区分	No	定着段階	和名(別名、流通名)	学名	選定理由	評価項目														備考	抽出方法					
						定着可能性		生態系被害				分布拡大		重要地域	特に問題となる被害		逸出・拡散		①外来法		②W100	③GISD	④各県	⑤意向調査	⑥その他	
						生物	導入	競合	交雑	捕食摂食	生態系改変	繁殖	気候		人体	経済産業	利用	付着混入								
新規	53		ワライガエル	<i>Pelophylax ridibundus</i>				-	○	○	-	-	○	-	-	-	-	-	中央ヨーロッパおよび南ヨーロッパに自然分布し、大型で食用などに利用されている。中央・西・北ヨーロッパ(スイス、ベルギー、イギリス、スウェーデン)、ロシア、アジアなどに侵入して一部では侵略的外来種とみなされている。無脊椎動物などを捕食し、同属の在来種と交雑する。			○				
新規	54		サハラノサマガエル	<i>Pelophylax saharicus</i>				-	○	○	-	-	○	-	-	-	-	-	アフリカ北部に自然分布し、スペインのカナリア諸島に侵入している。			○				
新規	55		カルバリヨビバ	<i>Pipa carvalhoi</i>				-	-	○	-	-	○	-	-	-	○	-	ブラジル東部に自然分布する。GISDに掲載されているが侵入や被害の記載なし。カルバルホコモリガエル、カルバルホビバとも呼ばれる。			○				
新規	56		コガタビバ	<i>Pipa parva</i>				-	-	○	-	-	○	-	-	-	○	-	コロンビアとベネズエラに自然分布する。ベネズエラの別水系に侵入しており、自然分布域との体サイズ組成の違いや食性などが報告されている。外来集団においては、稚魚や両生類の幼生への捕食の危険性が指摘されている。			○				
新規	57		セアカサラムダー	<i>Plethodon cinereus</i>				-	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-	アメリカ合衆国北東部とカナダ南東部に自然分布する。GISDに掲載されているが侵入や被害の記載なし。			○				
新規	58		Red-cheeked salamander	<i>Plethodon jordani</i>				-	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-	アメリカ合衆国のグレートスモーキー山脈の高標高地に自然分布する。1935年から1945年にバージニア州のマウンテンレイク生物学基地に導入され、潜在的な競争や交雑による同属別種の在来種への影響が懸念されており、これを検証した研究もなされている。			○				
新規	59		Shenandoah salamander	<i>Plethodon shenandoah</i>				-	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-	アメリカ合衆国バージニア州ののシェナンドー国立公園の標高900-1,143mの範囲のみに自然分布する。イリノイ州での野外記録がある。			○				
新規	60		バナマヨツメガエル	<i>Pleurodema brachyops</i>				-	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-	ガイアナなど南米の北部原産。サバ島やセント・マーティン島などでの野外記録がある。			○				
新規	61		タニマコダマガエル	<i>Pristimantis unistrigatus</i>				-	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-	コロンビア原産。エクアドルでの野外記録がある。			○				
新規	62		ホライモリ	<i>Proteus anguinus</i>				-	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-	イタリアの黒海沿岸に生息。オーストリアやフランスでの野外記録がある。			○				
新規	63		タイハイヨウコーラスアマガエル	<i>Pseudacris regilla</i>				-	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-	カナダ、アメリカ原産。北米内で移入・定着例がある。			○				
新規	64		マスカレンガエル	<i>Ptychadena mascareniensis</i>				-	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-	アフリカ北西部に広く分布。レユニオン島などで定着例がある。			○				
新規	65		アカアシガエル	<i>Rana aurora</i>				-	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-	カナダ、アメリカ原産。北米内での野外記録がある。			○				
新規	66		カリフォルニアアカアシガエル	<i>Rana draytonii</i>				-	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-	アメリカ合衆国原産。北米内での野外記録がある。			○				
新規	67		ヨーロッパアカガエル	<i>Rana temporaria</i>				-	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-	北西部を除くヨーロッパ地域原産。ロシアでの野外記録がある。			○				
新規	68		キンスジアメガエル	<i>Ranoidea aurea</i>				-	-	○	-	-	○	-	-	-	○	-	オーストラリア原産。ニュージーランドやニューカレドニアに定着している。			○				
新規	69		ブチアメガエル	<i>Ranoidea cyclorhynchus</i>				-	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-	オーストラリア西部原産。南部のエアー島での野外記録がある。			○				
新規	70		トノサマアメガエル	<i>Ranoidea raniformis</i>				-	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-	オーストラリア原産。ニュージーランドでの野外記録がある。			○				
新規	71		ナンベイヒキガエル属の一種	<i>Rhinella jimi</i>				-	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-	ボリビアやブラジルなど南米原産。ブラジル内で移入例あり。侵略性などは報告されていないため不明。	未判定		○				
新規	72		ナンベイアマガエル属の一種	<i>Scinax quinefasciatus</i>				-	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-	コロンビア、エクアドル、ペルー原産。エクアドル内で移入例あり。侵略性などは報告されていないため不明。			○				
新規	73		ミナミヒョウヒキガエル	<i>Sclerophrys gutturalis</i>				-	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-	アフリカ大陸に広く分布。レユニオン島などでの野外記録がある。	未判定		○				
新規	74		モーリタニアヒキガエル	<i>Sclerophrys mauritanica</i>				-	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-	アルジェリア、モロッコ、スペインなど原産。スペイン国内での野外記録がある。	未判定		○				
新規	75		Ambrosi's cave salamander	<i>Speleomantes ambrosii</i>				-	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-	イタリア原産。フランスでの野外記録がある。			○				
新規	76		Italian cave salamander	<i>Speleomantes italicus</i>				-	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-	イタリア原産。ドイツでの野外記録がある。			○				
新規	77		French cave salamander	<i>Speleomantes strinatii</i>				-	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-	フランス、イタリア、モロッコ原産。フランス国内での野外記録がある			○				
新規	78		グレイカチカチガエル	<i>Strongylopus grayii</i>				-	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-	南アフリカ原産。セントヘレナでの野外記録がある。			○				
新規	79		グンターガエル	<i>Sylvirana guentheri</i>				-	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-	中国、ベトナムなど東南アジア原産。シンガポール、グアム、ミクロネシアにて定着。ミクロネシアでは侵略的である。			○				
新規	80		アルプスクシイモリ	<i>Triturus carnifex</i>				-	-	○	-	-	○	-	-	-	○	-	イタリアなどアルプス山脈一帯に生息。オランダやドイツなどの近隣諸国に定着しており、定着地では交雑により在来種の個体数が減少することが報告されている。日本国内でペット用に流通する。			○				
新規	81		マダライモリ	<i>Triturus marmoratus</i>				-	-	○	-	-	○	-	-	-	○	-	フランス、ポルトガル、スペイン原産。ベルギー、ドイツ、オランダでの野外記録がある。日本国内ではペット用にしばしば流通している。			○				

リスト加除対象の候補種一覧　＜動物(両生類)＞

 : 今回の検討から新たに候補として加わった種

- 継続

再検討

再検討(候補)

新規

新規(候補)
- : 現リストの掲載種

: 現リスト作成時に非掲載となった種で、今回も事務局としては非掲載と判断した種

: 現リスト作成時に非掲載となった種で、今回は事務局で**掲載候補と判断**した種

: 現リスト作成時に候補となっておらず、今回新たに検討対象としたが事務局で非掲載と判断した種

: 現リスト作成時に候補となっておらず、今回新たに検討対象とした結果、事務局で**掲載候補と判断**した種

【国内由来の外来種・国内に自然分布域を持つ国外由来の外来種】

2024.9.17版

検討区分	No	定着段階	和名(別名、流通名)	学名	選定理由	評価項目												備考	抽出方法						
						定着可能性		生態系被害			分布拡大		重要地域	特に問題と		逸出・拡散			①外来法	②W100	③GISD	④各県	⑤意向調査	⑥その他	
						生物	導入	競合	交雑	捕食摂食	生態系改変	繁殖		気候	人体	経済産業	利用								付着混入
継続	1	国内由来の外来種	北海道、伊豆諸島などのアズマヒキガエル	<i>Bufo formosus</i>	I			○	-	◎		-	○	○	-	-	-	-	八丈島では駆除が実施されている。近年は北海道でも継続的な駆除が行われ、成果が報告されている。				北海道、長崎、		
継続	2	国内由来の外来種	関東以北及び島に侵入したヌマガエル	<i>Fejervarya kawamurai</i>	IV			○	-	○		-	○	-	-	-	-	-	日本在来のカエル類の中で近年の侵入が最も頻繁に生じている種であり、その貪欲な食性により他種に影響を与える可能性が示唆されているため注意を要する。生息実態及び生態系等への影響に関する知見の集積が必要。			○	関東(茨城県以外)、長崎(島嶼部)		

リスト作成後の情報追加により再検討を行う種

検討区分	No	定着段階	和名(別名、流通名)	学名	選定理由	評価項目												備考	抽出方法						
						定着可能性		生態系被害			分布拡大		重要地域	特に問題と		逸出・拡散			①外来法	②W100	③GISD	④各県	⑤意向調査	⑥その他	
						生物	導入	競合	交雑	捕食摂食	生態系改変	繁殖		気候	人体	経済産業	利用								付着混入
再検討	1		アカハライモリ	<i>Cynops pyrrhogaster</i>				-	○	○	-	-	○	-	-	-	○	-	東京都(八丈島)				北海道、沖縄		
再検討	2		ミヤコヒキガエル	<i>Bufo gargarizans miyakonis</i>				-	○	○	-	-	○	-	-	-	○	-	沖縄県(大東諸島)						
再検討	3		ニホンヒキガエル	<i>Bufo japonicus</i>				-	○	○	-	-	○	-	-	-	○	-	東京都(都市部)、宮城県仙台市						
再検討	4		サキシマヌマガエル	<i>Fejervarya sakishimensis</i>				-	○	○	-	-	○	-	-	-	-	-	国内由来(沖縄県(大東諸島、先島諸島))			○			
再検討	5		ニホンアマガエル	<i>Dryophytes japonicus</i>				-	○	○	-	-	○	-	-	-	○	-	東京都(八丈島)			○			
再検討	6		ヒメアマガエル	<i>Microhyla okinavensis</i>				-	○	○	-	-	○	-	-	-	-	-	鹿児島県(諏訪之瀬島)、沖縄県(先島諸島)			○	鹿児島(諏訪之瀬島)		
再検討	7		ツチガエル	<i>Glandirana rugosa</i>				-	○	○	-	-	○	-	-	-	-	-	北海道、東京都(大島、三宅島、新島)			○	北海道、鹿児島(中之島)		
再検討	8		トノサマガエル	<i>Pelophylax nigromaculatus</i>				-	○	○	-	-	○	-	-	-	-	-	北海道、長崎県(対馬)			○	北海道、千葉		
再検討	9		ニホンアカガエル	<i>Rana japonica</i>				-	○	○	-	-	○	-	-	-	-	-	東京都(八丈島)						
再検討	10		モリアオガエル	<i>Zhangixalus arboreus</i>				-	○	○	-	-	○	-	-	-	○	-	東京都(大島)			○	北海道、神奈川		

リスト作成後の情報追加により新たに検討を行う種

検討区分	No	定着段階	和名(別名、流通名)	学名	選定理由	評価項目												備考	抽出方法						
						定着可能性		生態系被害			分布拡大		重要地域	特に問題と		逸出・拡散			①外来法	②W100	③GISD	④各県	⑤意向調査	⑥その他	
						生物	導入	競合	交雑	捕食摂食	生態系改変	繁殖		気候	人体	経済産業	利用								付着混入
新規	1		ダルマガエル	<i>Pelophylax porosus</i>				-	○	○	-	-	○	-	-	-	-	-				○	北海道		
新規	2		オキナワアオガエル	<i>Zhangixalus viridis</i>				-	○	○	-	-	○	-	-	-	-	-				○			

リスト加除対象の候補種一覧 <動物(魚類)>

: 今回の検討から新たに候補として加わった種

- 継続

再検討

再検討(候補)

新規

新規(候補)
- : 現リストの掲載種

: 現リスト作成時に非掲載となった種で、今回も事務局としては非掲載と判断した種

: 現リスト作成時に非掲載となった種で、今回は事務局で掲載候補と判断した種

: 現リスト作成時に候補となっておらず、今回新たに検討対象としたが事務局で非掲載と判断した種

: 現リスト作成時に候補となっておらず、今回新たに検討対象とした結果、事務局で掲載候補と判断した種

【国外由来の外来種】

現リスト掲載種

2024.9.17版 魚類WGとその後の照会結果の反映版

検討区分	No	定着段階	和名(別名、流通名)	学名	選定理由	評価項目													備考	抽出方法								
						定着可能性		生態系被害				分布拡大		重要地域	特に問題となる被害		逸出・拡散			①外来法	②W100	③GISD	④各県	⑤意向調査	⑥その他			
						生物	導入	競合	交雑	捕食摂食	生態系改変	繁殖	気候		人体	経済産業	利用	付着混入										
継続	1	未定着	ガー科	<i>Atractosteus</i> , <i>Lepisosteus</i> の全種	I、IV	○	○	-	-	○	-	-	○	-	-	-	◎	-	国内で遺棄された大型個体の捕獲が相次ぎ、長期間生存できることは明らかであり、将来、繁殖に成功した場合、急速に増加し、捕食により在来生物相に影響を及ぼすおそれがある。複数個体が同じ水域で確認されたこともあり、定着の危険性が高まっている。ガー科全種が肉食性で、どの種も全長1-2mと非常に大型になるため、捕食による影響は大きいと思われる。生態系被害について、知見の集積が必要。	特定				北海道、茨城、長野、滋賀、京都、大阪、和歌山、山口、徳島、香川、高知、佐賀、長崎、沖縄				
継続	2	定着初期／限定分布	オオタナゴ	<i>Achelognathus macropterus</i>	I				◎	○	-	-	-	◎	-	-	-	○	○	茨城県霞ヶ浦、北浦に移入 在来タナゴ類と交雑の恐れがあるため、これらの生息域では特に侵入に留意が必要。 知見の集積が必要	特定				茨城、千葉、滋賀、長崎、沖縄			
継続	3	分布拡大型～まん延期	タイリクバラタナゴ	<i>Rhodeus ocellatus ocellatus</i>	I、II					○	◎	-	-	-	◎	◎	-	-	◎	○	ニッポンバラタナゴとの交雑が進行しているため、これらの生息範囲では本種の侵入に特に留意が必要。		日本			北海道、青森、福島、茨城、千葉、長野、静岡、愛知、滋賀、京都、兵庫、鳥取、奈良、和歌山、山口、徳島、香川、愛媛、高知、福岡、佐賀、長崎、大分、熊本、宮崎、鹿児島、沖縄	松田委員	
継続	4	定着初期／限定分布	ハクレン	<i>Hypophthalmichthys molitrix</i>	I					-	-	◎	○	-	◎	-	-	-	○	○	繁殖は利根川等大規模河川に限られる。海外では、生物多様性に影響を及ぼした事例がある。 プランクトン食のため、水域での生息密度が高まると、プランクトンが激減し、食物連鎖を通じて大きな影響を与える。アメリカでは深刻化した事例がある。				○	茨城、千葉、静岡、滋賀、鳥取、山口、徳島、高知、長崎、沖縄		
継続	5	定着初期／限定分布	コクレン	<i>Hypophthalmichthys nobilis</i>	I					-	-	◎	○	-	◎	-	-	-	○	○	<i>Hypophthalmichthys nobilis</i> としてGISD。繁殖は利根川等大規模河川に限られる。海外では、生物多様性に影響を及ぼした事例がある。プランクトン食のため、水域での生息密度が高まると、プランクトンが激減し、食物連鎖を通じて大きな影響を与える。アメリカでは深刻化した事例がある。				○	茨城、千葉、山口、長崎、沖縄		
継続	6	小笠原・南西諸島	パールダニオ	<i>Danio albolineatus</i>	I、IV					○	-	○	-	-	○	-	-	-	◎	-	沖縄でのみ定着。生態系等への影響に関する知見の集積が必要。 定着河川において、生息密度が局所的にかなり高くなることが確認されており、水生昆虫等への捕食の影響が危惧される。また、絶滅危惧種であるミナメダカとの競合も懸念される。					長崎、沖縄		
継続	7	小笠原・南西諸島	ゼブラダニオ	<i>Danio rerio</i>	I、IV					○	-	○	-	-	○	-	-	-	◎	-	沖縄でのみ定着。生態系等への影響に関する知見の集積が必要。 定着河川において、生息密度が局所的にかなり高くなることが確認されており、水生昆虫等への捕食の影響が危惧される。また、絶滅危惧種であるミナメダカとの競合も懸念される。					長崎、沖縄		
継続	8	小笠原・南西諸島	アカヒレ	<i>Tanichthys albonubes</i>	I、IV					○	-	○	-	-	◎	-	-	-	◎	-	沖縄でのみ定着。生態系等への影響に関する知見の集積が必要。 定着河川において、生息密度が局所的にかなり高くなることが確認されており、水生昆虫等への捕食の影響が危惧される。また、絶滅危惧種であるミナメダカとの競合も懸念される。					和歌山、長崎、沖縄		
継続	9	定着初期／限定分布	ソウギョ	<i>Ctenopharyngodon idellus</i>	I					-	-	◎	○	-	◎	-	-	-	◎	-	<i>Ctenopharyngodon idella</i> としてGISD。利根川・江戸川水系、霞ヶ浦・北浦に定着。繁殖は利根川等大規模河川に限られる		日本		○	北海道、青森、茨城、千葉、長野、静岡、滋賀、京都、兵庫、奈良、和歌山、鳥取、山口、徳島、香川、愛媛、高知、長崎、熊本、沖縄		
継続	10	定着初期／限定分布	アオウオ	<i>Mylopharyngodon piceus</i>	I、IV					-	-	○	-	-	◎	-	-	-	○	○	本種の繁殖には利根川のような大河川が必要。海外ではスクミリンゴガイなどの外来種の貝類の除去に利用されている例もある。ハンガリーでは捕食による在来生物相への影響の恐れが指摘され、アメリカやドイツでは生体での輸入が禁止されている。 全長1m以上になるため、捕食による影響は大きいと思われる。生態系影響について、知見の集積が必要。					北海道、茨城、千葉、滋賀、徳島、長崎、沖縄		
継続	11	未定着	レッドホースミノー	<i>Cyprinella lutrensis</i>	I		○	◎	◎	-	○	-	-	◎	-	-	-	-	◎	-	海外では近縁種と雑種を作ることや競合することによって、希少種を含む在来種の減少を引き起こしている。ただし、日本に同属種はいない。				○	沖縄		
継続	12	分布拡大型～まん延期	カラドジョウ	<i>Paramisgurnus dabryanus</i>	I、IV					○	○	-	-	-	◎	-	-	-	○	○	ドジョウとカラドジョウが混在する水域で、後者が優占する場所も知られている。カラドジョウとドジョウの雑種は生殖性で、その卵は受精能力があることが示唆されており、遺伝的攪乱が心配される。また、正常な繁殖相手を巡る競争が生じており、その影響が懸念される。生態系等への影響に関する知見の集積が必要。					青森、福島、茨城、千葉、長野、静岡、愛知、滋賀、和歌山、愛媛、高知、福岡、長崎、宮崎、鹿児島、沖縄	松田委員	

リスト加除対象の候補種一覧 <動物(魚類)>

 : 今回の検討から新たに候補として加わった種

- 継続

再検討

再検討(候補)

新規

新規(候補)
- : 現リストの掲載種

: 現リスト作成時に非掲載となった種で、今回も事務局としては非掲載と判断した種

: 現リスト作成時に非掲載となった種で、今回は事務局で掲載候補と判断した種

: 現リスト作成時に候補となっておらず、今回新たに検討対象としたが事務局で非掲載と判断した種

: 現リスト作成時に候補となっておらず、今回新たに検討対象とした結果、事務局で掲載候補と判断した種

【国外由来の外来種】

現リスト掲載種

2024.9.17版 魚類WGとその後の照会結果の反映版

検討区分	No	定着段階	和名(別名、流通名)	学名	選定理由	評価項目													備考	抽出方法						
						定着可能性		生態系被害				分布拡大		重要地域	特に問題となる被害		逸出・拡散			①外来法	②W100	③GISD	④各県	⑤意向調査	⑥その他	
						生物	導入	競合	交雑	捕食摂食	生態系改変	繁殖	気候		人体	経済産業	利用	付着混入								
継続	13	定着初期／限定分布	コウライギギ	<i>Pseudobagrus fulvidraco</i>	Ⅳ			○	-	○	-	-	◎	-	○	○	-	-	生態系への影響や漁業被害に関する知見の集積が必要。 生態系に基大な被害を及ぼすとして特定外来生物に指定されているチャネルキャットフィッシュと食性等が似ているため、在来生態系に被害を及ぼす可能性が高い。また、分布が拡大した際に、在来のギギ科魚類との競合、交雑が起こることが懸念され、今後の動向に注意する必要がある。 生態系影響について、知見の集積が必要。	特定				茨城、千葉、滋賀、長崎、沖縄		
継続	14	分布拡大大期～まん延期	チャネルキャットフィッシュ(アメリカナマズ)	<i>Ictalurus punctatus</i>	Ⅰ			○	-	◎	-	-	◎	-	○	○	○	-	霞ヶ浦ではイサザアミやハゼ類などの水産利用種を捕食し、これらの漁獲高を減少させている。ヒレにある鋭い棘で漁業者がけがをする被害がある。	特定				福島、茨城、千葉、静岡、愛知、滋賀、京都、大阪、長崎、熊本、宮崎、沖縄		
継続	15	未定着	ブラウンブルヘッド	<i>Ameiurus nebulosus</i>	Ⅰ、Ⅳ	○	-	-	-	◎	-	-	◎	-	-	-	-	-	アメリカでは移入された湖の在来のトゲウオを駆逐した例がある。	未判定		○		長崎、沖縄		
継続	16	未定着	フラットヘッドキャットフィッシュ	<i>Pylodictis olivaris</i>	Ⅰ、Ⅳ	○	-	◎	-	◎	-	-	◎	-	-	-	-	-	アメリカでは本種が侵入した水域で、同科の在来ナマズ類やザリガニ類などの減少が見られている。	未判定		○		長崎、沖縄		
継続	17	未定着	ヨーロッパナマズ	<i>Silurus glanis</i>	Ⅰ	○	○	○	○	◎	-	-	◎	-	-	-	◎	-	ヨーロッパの侵入地では在来種の減少を引き起こしたとされている。在来の同属種との交雑も懸念されている。 在来の同属種と交雑のおそれがあるため、これらの生息域では特に侵入に留意が必要。					滋賀、沖縄		
継続	18	小笠原・南西諸島	スノーブレコ	<i>Pterygoplichthys anisitsi</i>	Ⅰ、Ⅳ			○	-	○	-	-	○	-	-	○	○	-	定着実態及び生態系への影響や農業被害に関する知見の集積が必要。 沖縄島でマダラロリカリアとされているものの中に本種が含まれている可能性が高い。			○		長崎、沖縄		
継続	19	小笠原・南西諸島	マダラロリカリア	<i>Pterygoplichthys disjunctivus</i>	Ⅰ			◎	-	◎	-	-	○	-	-	-	◎	-	<i>Pterygoplichthys disjunctivus</i> としてGISD。沖縄でのみ30年以上前から確認。メキシコでは索餌行動による濁り等の水質の悪化や水底の植生の破壊とそれに伴う在来種の生息環境悪化と減少を引き起こしている。フィリピンでは刺し網などの漁具を壊すなどの漁業被害が知られている。			○		千葉、和歌山、長崎、沖縄		
継続	20	小笠原・南西諸島	アマゾンセイルフィンキャットフィッシュ	<i>Pterygoplichthys pardalis</i>	Ⅰ、Ⅳ			○	-	○	-	-	○	-	-	○	○	-	海外では同属種が索餌行動による濁り等の水質の悪化や水底の植生の破壊し、それに伴う在来種の生息環境悪化と減少を引き起こしている。生態系等への影響に関する知見の集積が必要。 沖縄島でマダラロリカリアとされているものの中に本種が含まれている可能性が高い。			○		長崎、沖縄		
継続	21	未定着	オリノコセイルフィンキャットフィッシュ	<i>Pterygoplichthys multiradiatus</i>	Ⅰ	○	○	◎	-	○	-	-	○	-	-	○	○	-	インドやプエルトリコでは本種が在来種の減少を引き起こした例が知られている。			○		長崎、沖縄		
継続	22	小笠原・南西諸島	ウォーキングキャットフィッシュ	<i>Clarias batrachus</i>	Ⅰ			◎	-	◎	-	-	○	-	-	-	◎	-	東南アジアやアメリカ南部では捕食や競争により魚類や甲殻類、カエル類を駆逐しており、特に乾季で水域が狭まった際に影響が大きくなるとされる。沖縄島に定着しているヒレナマズは本種の可能性がある。		IUCN	○		長崎、沖縄		
継続	23	小笠原・南西諸島	ヒレナマズ	<i>Clarias fuscus</i>	Ⅰ、Ⅳ			○	-	○	-	-	○	-	-	-	○	-	沖縄島、石垣島に移入。1960年代に石垣島へ輸入。沖縄島では1985年に南風原町で記録。生態系等への影響に関する知見の集積が必要。					長崎、沖縄		
継続	24	未定着	ノーザンバイク	<i>Esox lucius</i>	Ⅰ	○	-	◎	-	◎	-	-	○	-	-	-	-	-	アメリカのデービス湖では捕食や競争により在来魚類に影響を与えた事例がある。長寿命であり、最長24年生きた例がある。	特定		○		佐賀、沖縄		
継続	25	未定着	マスキーバイク	<i>Esox masquinongy</i>	Ⅰ	○	-	◎	-	◎	-	-	○	-	-	-	-	-	ウィスコンシン州の湖では同所的に生息するオオクチバスを駆逐するなどの被害が確認されている。長寿命であり、最長30年生きた例がある。	特定				佐賀、沖縄		
継続	26	未定着	バイク科	Esocidae spp.	Ⅰ	○	-	◎	-	◎	-	-	○	-	-	-	-	-	マスキーバイクやノーザンバイクと同じ科に属し、生態が似ているためにこれらの種と同様の影響を及ぼす可能性が高いと考えられる。	未判定				北海道、栃木、佐賀、長崎、沖縄		
継続	27	分布拡大大期～まん延期	ニジマス	<i>Oncorhynchus mykiss</i>	Ⅰ			◎	-	○	-	-	○	○	-	-	◎	-	北海道では多くの河川で定着しているが、本州以南では釣獲や増水による繁殖失敗でほとんど定着できていないとの見解がある。本種とヤマメの雑種は発生段階で死亡するため、遺伝的攪乱の可能性は低い。ただし、正常な繁殖が阻害される可能性はある。 漁業権が認められている地域もあるので、防除を行う際は確認する必要がある。		日本・IUCN	○		北海道、青森、福島、茨城、千葉、長野、静岡、愛知、滋賀、京都、奈良、和歌山、鳥取、山口、徳島、高知、、長崎熊本、宮崎		
継続	28	分布拡大大期～まん延期	ブラウントラウト	<i>Salmo trutta</i>	Ⅰ			◎	-	◎	-	-	○	-	-	-	◎	-	北海道では多くの河川で定着しているが、本州以南では放流なしでは資源を維持できないと考えられている。在来のイワナとの交雑個体が確認されているが、遺伝的攪乱の危険性は低いことが報告されている。ただし、正常な繁殖相手を巡る競争が生じており、その影響が指摘される。 北海道では他種を駆逐して優占種になっている水域もある。希少種であるニホンザリガニの捕食も確認されている。 北海道では漁業調整規則で移植が禁止されており、北海道での分布拡大は私的放流によるものと考えられている。		日本・IUCN	○		北海道、青森、福島、茨城、栃木、長野、愛知、滋賀、和歌山、鳥取、山口、長崎、宮崎		

リスト加除対象の候補種一覧 <動物(魚類)>

: 今回の検討から新たに候補として加わった種

- 継続

再検討

再検討(候補)

新規

新規(候補)
- : 現リストの掲載種

: 現リスト作成時に非掲載となった種で、今回も事務局としては非掲載と判断した種

: 現リスト作成時に非掲載となった種で、今回は事務局で掲載候補と判断した種

: 現リスト作成時に候補となっておらず、今回新たに検討対象としたが事務局で非掲載と判断した種

: 現リスト作成時に候補となっておらず、今回新たに検討対象とした結果、事務局で掲載候補と判断した種

【国外由来の外来種】

現リスト掲載種

2024.9.17版 魚類WGとその後の照会結果の反映版

検討区分	No	定着段階	和名(別名、流通名)	学名	選定理由	評価項目													備考	抽出方法					
						定着可能性		生態系被害				分布拡大		重要地域	特に問題となる被害		逸出・拡散			①外来法	②W100	③GISD	④各県	⑤意向調査	⑥その他
						生物	導入	競合	交雑	捕食摂食	生態系改変	繁殖	気候		人体	経済産業	利用	付着混入							
継続	29	定着初期／限定分布	カワマス	Salvelinus fontinalis	I			◎	-	◎	-	-	○	-	-	-	◎	-	定着はごく一部の地域に限られる。20年以上前から確認。北海道や長野県では在来種のイワナやアメマスとの雑種が確認されており、雑種が優占するなどの影響が出ている。雑種は稔性をもつものの雑種崩壊により遺伝子攪乱の危険は少ないことが報告されている。ただ、正常な繁殖の機会が失われ、持続しない雑種個体群が生じることによる在来種への影響が懸念される。定着できる地域が北海道や寒冷地に限られるため、対策を優先的に行う地域を選んで実施するのが効果的である。漁業権が認められている地域もあるので、防除を行う際は確認する必要がある。			○	北海道、青森、福島、茨城、長野、滋賀、山口、長崎、沖縄		
継続	30	定着初期／限定分布	レイクトラウト	Salvelinus namaycush	I			◎	-	◎	-	-	○	-	-	-	○	-	栃木県中禅寺湖のみで定着していたが、近年本栖湖でも確認された。海外では捕食や競争により在来種のサケ科魚類を駆逐する事例がある。長寿命。			○	長崎		
継続	31	定着初期／限定分布	ペヘレイ	Odontesthes bonariensis	I、Ⅳ			○	-	○	-	-	◎	-	-	-	○	-	生態系への影響や漁業被害に関する知見の集積が必要。霞ヶ浦・北浦では沖合生態系の優占種となるほど増殖しており、生態系に影響を及ぼしていると言われている。ワカサギやシラウオ等への漁業被害も懸念される。				茨城、千葉、山口、長崎、宮崎、沖縄		
継続	32	小笠原・南西諸島	ソードテール	Xiphophorus helleri	I、Ⅳ			○	-	○	-	○	○	-	-	-	◎	-	本州では温泉水に局所的に定着。沖縄では1960年代から定着。生態系等への影響に関する知見の集積が必要。沖縄島では河川で増加し、在来魚種への影響が懸念されている。			○	長崎、鹿児島、沖縄		
継続	33	分布拡大期～まん延期	カダヤシ	Gambusia affinis	I			◎	-	◎	-	○	◎	-	-	-	○	-	メダカの生息地に本種が侵入した場合、メダカが減少し、カダヤシに置き換わってしまうケースがある。卵胎生。	特定	日本・IUCN	○	茨城、千葉、長野、静岡、愛知、滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山、山口、徳島、香川、高知、福岡、佐賀、長崎、大分、熊本、宮崎、鹿児島、沖縄		
継続	34	未定着	ガンブシア・ホルブローキ	Gambusia holbrooki	I、Ⅳ	○	-	◎	-	◎	-	○	◎	-	-	-	○	-	オーストラリアでは希少種を含む在来魚の卵や仔稚魚の捕食、攻撃が確認されており、これらの減少につながっている。卵胎生。	未判定		○	長崎、沖縄		
継続	35	小笠原・南西諸島	グッピー	Poecilia reticulata	I			◎	-	◎	-	○	○	-	-	-	◎	-	温泉水地や温排水に局所的に定着。北海道、福島(内郷温泉)、長野(戸倉、上山田、浅間温泉)、静岡(蓮花寺温泉)、岡山(奥津温泉)、大分(別府温泉)、鹿児島(指宿温泉)、沖縄の各道県、小笠原に移入。海外の熱帯・亜熱帯域では、希少種を含むコイ科、カダヤシ科、メダカ科などの小型魚類を駆逐している。卵胎生。定着は、国内の亜熱帯地域のほかは、温泉水地や温排水などのごく一部に限られる。			○	北海道、茨城、千葉、長野、滋賀、和歌山、山口、徳島、高知、福岡、長崎、大分、熊本、鹿児島、沖縄		
継続	36	小笠原・南西諸島	インディアングラスフィッシュ	Pseudambassis ranga	I			○	-	○	-	-	○	-	-	-	◎	-	沖縄でのみ定着。動物食性が強く、生息水域が沖縄島内で拡大傾向にある。生態系等への影響に関する知見の集積が必要。				長崎、沖縄		
継続	37	未定着	ケツギョ	Siniperca chuatsi	I	○	-	○	-	◎	-	-	◎	-	-	-	○	-	原産地の気候が日本と近いため、日本の湖沼や河川に導入すれば広く定着し、捕食や競争により在来生物に影響を及ぼす恐れがある。中国では養殖池に紛れ込んだ場合に他種を捕食し害魚とされている。	特定			栃木、長崎、沖縄		
継続	38	未定着	コウライケツギョ	Siniperca scherzeri	I	○	-	○	-	◎	-	-	◎	-	-	-	○	-	原産地の気候が日本と近いため、日本の湖沼や河川に導入すれば広く定着し、捕食や競争により在来生物に影響を及ぼす恐れがある。	特定			長崎、沖縄		
継続	39	未定着	ナイルパーチ	Lates niloticus	I	○	-	-	-	◎	-	-	○	-	-	-	◎	-	肉食性が強く、捕食により在来種を駆逐する可能性がある。アフリカの湖で在来種のシクリッド200種以上が絶滅した事例がある。		IUCN	○	長崎、沖縄		
継続	40	未定着	ストライプトバス	Morone saxatilis	I	○	-	○	-	◎	-	-	○	-	-	-	○	-	肉食性が強く、捕食により在来種を駆逐するため、カリフォルニア州のデービス湖では駆除対象となっている。	特定			千葉、長崎、沖縄		
継続	41	未定着	ホワイトパーチ	Morone americana	I、Ⅳ	○	-	○	-	◎	-	-	○	-	-	-	-	-	肉食性が強く、捕食により在来種を駆逐する可能性がある。アメリカの各地で本種が在来種の卵を捕食することによる影響が報告されている。塩分耐性が強く、海を通じて水系を超えた移動が可能。国内では導入記録は無く、国内への定着可能性について知見の集積が必要。			○	長崎、沖縄		
継続	42	未定着	ホワイトバス	Morone chrysops	I	○	-	○	-	◎	-	-	○	-	-	-	-	-	肉食性が強く、捕食により在来種を駆逐するため、カリフォルニア州のカウエア湖とその下流では駆除対象となっている。	特定			茨城、長崎、沖縄		

リスト加除対象の候補種一覧　＜動物（魚類）＞

 : 今回の検討から新たに候補として加わった種

- 継続

再検討

再検討(候補)

新規

新規(候補)
- : 現リストの掲載種

: 現リスト作成時に非掲載となった種で、今回も事務局としては非掲載と判断した種

: 現リスト作成時に非掲載となった種で、今回は事務局で掲載候補と判断した種

: 現リスト作成時に候補となっておらず、今回新たに検討対象としたが事務局で非掲載と判断した種

: 現リスト作成時に候補となっておらず、今回新たに検討対象とした結果、事務局で掲載候補と判断した種

【国外由来の外来種】

現リスト掲載種

2024.9.17版　魚類WGとその後の照会結果の反映版

検討区分	No	定着段階	和名(別名、流通名)	学名	選定理由	評価項目													備考	抽出方法					
						定着可能性		生態系被害				分布拡大		重要地域	特に問題となる被害		逸出・拡散			①外来法	②W100	③GISD	④各県	⑤意向調査	⑥その他
						生物	導入	競合	交雑	捕食摂食	生態系改変	繁殖	気候		人体	経済産業	利用	付着混入							
継続	43	分布拡大型～まん延期	ブルーギル	<i>Lepomis macrochirus</i>	I、II			◎	-	◎	-	◎	◎	◎	-	○	◎	◎	捕食や競争により国内各地で在来種を駆逐し、優占種となっている。 卵や仔魚は親魚によって保護される。寿命は最長10年以上。	特定	日本		北海道、青森、福島、茨城、栃木、千葉、長野、静岡、愛知、滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山、鳥取、山口、徳島、香川、高知、福岡、佐賀、長崎、大分、熊本、宮崎、鹿児島、沖縄		
継続	44	分布拡大型～まん延期	コクチバス	<i>Micropterus dolomieu dolomieu</i>	I			○	-	◎	-	◎	◎	-	-	○	○	-	南アフリカでは在来種を捕食し、在来種の多くが見られなくなった例がある。ハワイでも在来種はもとより、オオクチバスやブルーギルを含む魚類を駆逐した。国内でも分布を拡大しており、オオクチバスより低温や流れに強いいため、より上流域での捕食や競合の被害が懸念されている。 卵や仔魚は親魚によって保護される。寿命は最長15年。	特定	日本		北海道、青森、福島、茨城、栃木、千葉、長野、静岡、滋賀、京都、兵庫、奈良、和歌山、佐賀、長崎、宮崎、沖縄		
継続	45	分布拡大型～まん延期	オオクチバス	<i>Micropterus nigricans</i>	I、II			◎	-	◎	-	◎	◎	◎	-	○	◎	-	国内各地で捕食や競合により在来種を駆逐するなど、在来魚類群集に様々な影響を及ぼしている。 卵や仔魚は親魚によって保護される。寿命は最長10年以上。	特定	日本・IUCN	○	北海道、青森、福島、茨城、栃木、千葉、長野、静岡、愛知、滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山、鳥取、山口、徳島、香川、高知、福岡、佐賀、長崎、大分、熊本、宮崎、鹿児島、沖縄		
継続	46	未定着	ラッフ	<i>Gymnocephalus cernuus</i>	I	○	-	◎	-	◎	-	-	◎	-	-	○	-	-	イギリスや北米のいくつかの地域で、捕食や競合によって在来種の減少などの悪影響を及ぼした事例がある。最長10年生きる。	未判定		○	長崎、沖縄		
継続	47	未定着	ヨーロッパアンバーチ	<i>Perca fluviatilis</i>	I	○	-	◎	-	◎	-	-	◎	-	-	○	-	-	オーストラリアで競合によって在来の希少種を絶滅させた事例がある。スペインのダムでも外来種を含む魚類を減少させた例がある。長寿命であり、最長10年生きた例がある。	特定		○	長崎、沖縄		
継続	48	未定着	パイクパーチ	<i>Sander lucioperca</i>	I	○	-	◎	-	◎	-	-	◎	-	-	○	-	-	トルコでは本種の導入後に在来種が見られなくなった例がある。デンマークやスペインなどのヨーロッパ諸国で在来のカワカマス科魚類などの減少を引き起こしているとされる。最長16年生きる。	特定			長崎、沖縄		
継続	49	小笠原・南西諸島	コンウ`ィクトシクリッド	<i>Cichlasoma nigrofasciatum</i>	I			○	-	○	-	○	○	-	-	-	○	-	沖縄では本種の多く生息する水域もあり、競合や卵・仔魚の捕食などによる在来種への影響が心配されている。生態系等への影響に関する知見の集積が必要。 繁殖力がかなり強く、生息水域も拡大傾向にある。				長崎、沖縄		
継続	50	小笠原・南西諸島	ブルーティラピア	<i>Oreochromis aureus</i>	I			◎	-	○	-	○	○	-	-	-	-	-	餌や生育環境の競合によって在来種の減少を引き起していると考え、アフリカや北米各地で侵入後に本種が優占種となった例がある。マウスブルーダー。沖縄島には本種と思われる表現形質を有する個体が確認されている。亜熱帯地域に生息する種であり、定着は、国内の亜熱帯地域のほかは、温泉地や温排水などのごく一部に限られる。ただし、本種は低温耐性が高いため、温帯の特に暖かい地域では注意を要する。			○	長崎、沖縄		
継続	51	定着初期／限定分布	カワスズメ	<i>Oreochromis mossambicus</i>	I			◎	-	◎	○	○	○	-	-	-	○	-	世界の熱帯・亜熱帯の河川や湖沼では競争により在来種や淡水カモ類を駆逐した例があるほか、付着藻類、デトリタス底生動物などを食べて食物網の基盤を改変している。局所的に長期間にわたって定着。マウスブルーダー。最長寿命は11年。定着は、国内の亜熱帯地域のほかは、温泉地や温排水などのごく一部に限られる。		IUCN	○	北海道、茨城、長野、和歌山、高知、長崎、宮崎、鹿児島、沖縄		
継続	52	定着初期／限定分布	ナイルティラピア	<i>Oreochromis niloticus</i>	I			◎	-	◎	○	○	○	-	-	-	○	-	世界の熱帯・亜熱帯域では競争により在来種を駆逐した例があるほか、付着藻類、デトリタス底生動物などを食べて食物網の基盤を改変している。マウスブルーダー。寿命は約7年。鹿児島県(池田湖)、沖縄、小笠原等に移入。局所的に長期間にわたって定着。			○	北海道、青森、長野、静岡、愛知、滋賀、京都、徳島、高知、福岡、長崎、大分、熊本、宮崎、鹿児島、沖縄		
継続	53	定着初期／限定分布	ジルティラピア	<i>Coptodon zillii</i>	I			◎	-	○	-	○	○	-	-	-	-	-	滋賀、鹿児島、南西諸島に移入。滋賀・鹿児島(南西諸島除く)では工場の温排水や湧水のある場所など、温度の安定した場所のみ。局所的に長期間にわたって定着。沖縄県で本種が侵入している水域では、在来種が見られなくなっているところがある。卵や仔魚は親魚に保護される。			○	滋賀、長崎、大分、宮崎、鹿児島、沖縄		
継続	54	未定着	スポットティラピア	<i>Tilapia mariae</i>	I、IV	○	-	◎	-	○	-	○	○	-	-	-	○	-	餌や産卵基質を巡る競争により在来種に悪影響を及ぼしている。巣で親魚が卵と仔魚を保護する。国内での定着可能性について、知見の集積が必要。			○	長崎、沖縄		
継続	55	未定着	ラウンドゴビー	<i>Neogobius melanostomus</i>	I	○	-	◎	-	◎	-	-	◎	-	-	-	-	-	アメリカの五大湖などで、産卵環境や餌の競合、卵の食害などによって、在来種の減少を引き起こしている。			○	長崎、沖縄		

リスト加除対象の候補種一覧　＜動物（魚類）＞

 : 今回の検討から新たに候補として加わった種

- 継続

再検討

再検討(候補)

新規

新規(候補)
- : 現リストの掲載種

: 現リスト作成時に非掲載となった種で、今回も事務局としては非掲載と判断した種

: 現リスト作成時に非掲載となった種で、今回は事務局で**掲載候補と判断**した種

: 現リスト作成時に候補となっておらず、今回新たに検討対象としたが事務局で非掲載と判断した種

: 現リスト作成時に候補となっておらず、今回新たに検討対象とした結果、事務局で**掲載候補と判断**した種

【国外由来の外来種】

2024.9.17版　魚類WGとその後の照会結果の反映版

リスト作成後の情報追加により再検討を行う種

検討区分	No	定着段階	和名(別名、流通名)	学名	選定理由	評価項目													備考	抽出方法					
						定着可能性		生態系被害				分布拡大		重要地域	特に問題となる被害		逸出・拡散								
						生物	導入	競合	交雑	捕食摂食	生態系改変	繁殖	気候		人体	経済産業	利用	付着混入		①外来法	②W100	③GISD	④各県	⑤意向調査	⑥その他
再検討	56	未定着	シーランブリー	<i>Petromyzon marinus</i>		○	-	-	-	○	-	-	-	-	○	-	-	五大湖で在来種の捕食による別の外来種の増加を引き起こしたとされる。			○				
再検討(候補)	57	小笠原・南西諸島	シルバーアロワナ	<i>Osteoglossum bicirrhosum</i>	I、IV	/	/	-	-	○?	-	-	○	-	-	-	◎	-	沖縄でのみ定着。分布は局所的。大型になる肉食魚で、沖縄県では生態系に影響があると考えられる防除対策外来種に選定されている。ポーランドの野外でも確認されており、在来生態系への影響がある可能性が指摘されている。生態系影響について、知見の集積が必要。				滋賀、徳島、沖縄		
再検討(候補)	58	未定着	エールワイフ	<i>Alosa pseudoharengus</i>	I	○	-	-	-	◎	-	-	-	-	-	○	-	-	五大湖では稚魚などの捕食により在来種や在来の漁業対象種の減少を引き起こした。この他、海外では、在来の底生動物群集に影響を及ぼした事例がある			○			
再検討(候補)	59	分布拡大型～まん延期	コイ(飼育型)	<i>Cyprinus carpio</i>	I	/	/	○	◎	○	○	-	○	○	-	-	◎	-	捕食行動によって底質を巻き上げることで水の透明度を低下させ、光がを阻害することで水草の成長を妨げるなど、生態系の改変を引き起こす。琵琶湖などの一部を除き在来のコイとの交雑が進んでいる。		IUCN	○	北海道、福島、茨城、千葉、栃木、愛知、滋賀、兵庫、奈良、和歌山、徳島、愛媛、高知、沖縄	中井委員、地方公共団体	
再検討	60	未定着	テンチ	<i>Tinca tinca</i>		○	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	オーストラリアでは、マスや在来魚と餌資源をめぐる直接競合していると考えられている。また、腹足類を選択的に捕食することで、藻類の生物量を増加させるため、水質悪化に関わっているとされる。国内ではほぼ利用されておらず、現状野外への導入の可能性は低い。			○	滋賀		
再検討	61	未定着		<i>Leuciscus idus</i>		○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	コイと同じ科であるということをもとに生態系影響を心配されているのみで、具体的な事例はない。			○			
再検討	62	未定着	ユーラシアンミノー	<i>Phoxinus phoxinus</i>		○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	ヨーロッパでは本種が定着した地域で、餌や生息場所を巡る競合によってブラウントラウトなどの在来サケ科魚類の減少がみられている。国内での利用は無い。			○			
再検討(候補)	63	定着初期／限定分布	ヒメドジョウ	<i>Lefua costata</i>	I、IV	/	/	○	○	-	-	-	○	-	-	-	-	-	徐々に分布を拡大しており、種間競争や交雑による影響が懸念されている。						現リスト時の検討種
再検討	64	未定着	ローチ	<i>Rutilus rutilus</i>		○	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	海外では、生態系の変化及び生息場所の改変の事例がある。動物プランクトンを大量に捕食することで藻類の大量発生による富栄養化を引き起こすことが室内実験で分かっている。アイルランドでは在来種との競合の可能性も指摘されている。			○			
再検討	65	未定着	ラッド	<i>Scardinius erythrophthalmus</i>		○	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	ニュージーランドの実験では、捕食により脆弱な在来水生植物群落を危機にさらしている可能性が示唆されている。			○	滋賀		
再検討	66	未定着	ピラニア類	<i>Catoprion</i> , <i>Pygocentrus</i> , <i>Serrasalmus</i> の全種		○	-	-	-	○	-	-	-	-	○	-	○	-	ブラジルでは <i>Pygocentrus nattereri</i> を含むいくつかの外来魚の侵入後に在来種が減少した事例がある。北米南部のいくつかの州で一時的に生息出来る可能性があるが、定着できる可能性は低いとされる。国内でも古くから観賞魚として利用されているが、現時点では定着はしていない。				滋賀、和歌山、山口		
再検討	67	未定着	セイルフィン・プレコ	<i>Glyptoperichthys gibbiceps</i>		○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	◎	-	生態系影響は不明。			○	滋賀、徳島		
再検討	68	未定着	Pterygoplichthys属	<i>Pterygoplichthys</i> spp.		○	○	○	-	◎	-	-	-	-	-	○	○	-	アメリカでは絶滅危惧種の卵を捕食していることが確認されているほか、在来種を追いやっている可能性が指摘されている。また、穴掘りにより産業への影響も指摘されている。			○			
再検討	69	未定着	シナノユキマス	<i>Coregonus lavaretus maraena</i>		○	○	-	-	-	-	-	○	-	-	○	○	-	<i>Coregonus peled</i> と <i>Coregonus lavaretus maraena</i> の2種が国内に導入されているが、どちらも和名シナノユキマスとして利用されている。				北海道		
再検討	70	未定着	タイセイヨウサケ	<i>Salmo salar</i>		○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	海外では、病気の伝播の事例がある。また在来種との競合による影響が懸念されている。ノルウェーでは大量に逃げ出した本種の養殖個体が、在来サケ類の資源量を上回った事態が起きたことがある。			○			
再検討	71	未定着		<i>Phalloceros caudimaculatus</i>		○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	競争により在来種を追いやる潜在的なリスクが指摘されている。			○			
再検討	72	定着初期／限定分布	コクチモーリー	<i>Poecilia sphenops</i>		/	/	-	-	-	-	-	○	-	-	-	◎	-	全身黒の品種がブラックモーリーとして流通している。				北海道		
再検討	73	定着初期／限定分布	スリコギモーリー	<i>Poecilia mexicana</i>		/	/	○	-	○	-	-	○	-	-	-	○	-	小型魚類や甲殻類水生昆虫への捕食や競合の恐れが指摘されている。				鹿児島		
再検討	74	未定着	ムーンフィッシュ	<i>Xiphophorus maculatus</i>		○	○	○	-	○	-	-	-	-	-	-	◎	-	小型魚類や甲殻類水生昆虫への捕食や競合によって在来種を駆逐する恐れが指摘されている。				和歌山、鹿児島		
再検討	75	分布拡大型～まん延期	タウナギ	<i>Monopterus albus</i>		/	/	○?	-	○?	-	-	○	-	-	○	-	-	東京、茨城、神奈川、静岡、愛知、三重、和歌山、京都、奈良、大阪、徳島、香川、愛媛、鹿児島県の各都府県に移入。生態系への影響が一定程度あると考えられている。			○	茨城、千葉、愛知、滋賀、京都、奈良、和歌山、愛媛、高知、鹿児島、沖縄		
再検討(候補)	76	未定着	マーレーコッド	<i>Maccullochella peelii</i>	I、IV	○	○	○	-	○	-	-	-	-	-	-	○	-	在来種に対する競争圧・捕食圧が生じる可能性がある。管理釣り場での利用が始まっており、今後逸出などによって野外へ定着する恐れが高まっている。今後の分布拡大などについて知見の集積が必要。旧要注意外来生物。					細谷委員、中井委員、立原委員	
再検討(候補)	77	未定着	ゴールデンパーチ	<i>Macquaria ambigua</i>	I、IV	○	○	○	-	○	-	-	-	-	-	-	○	-	在来の水棲動物を捕食する可能性がある。原産地ではマーレーコッドと同じく釣魚として人気があり、マーレーコッドの管理釣り場への導入に追随して野外の管理釣り場で利用される恐れがある。旧要注意外来生物。					細谷委員	
再検討	78	分布拡大型～まん延期	タイリクスズキ	<i>Lateolabrax</i> sp.		/	/	○		○	-								福島県～四国の太平洋側、瀬戸内海、秋田、福井の沿岸。養殖地は主に西日本、九州沿岸。在来種との競合や交雑の恐れがあるとされる。旧要注意外来生物。				茨城、千葉、京都、兵庫、和歌山、愛媛、高知、宮崎		
再検討	79	未定着	ヨーロッパヘダイ	<i>Sparus aurata</i>		○	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	北米大陸では養殖個体の逸出による在来種への遺伝的な影響や捕食による影響が懸念されている。			○			

リスト加除対象の候補種一覧 <動物(魚類)>

 : 今回の検討から新たに候補として加わった種

- 継続

再検討

再検討(候補)

新規

新規(候補)
- : 現リストの掲載種

: 現リスト作成時に非掲載となった種で、今回も事務局としては非掲載と判断した種

: 現リスト作成時に非掲載となった種で、今回は事務局で掲載候補と判断した種

: 現リスト作成時に候補となっておらず、今回新たに検討対象としたが事務局で非掲載と判断した種

: 現リスト作成時に候補となっておらず、今回新たに検討対象とした結果、事務局で掲載候補と判断した種

【国外由来の外来種】

2024.9.17版 魚類WGとその後の照会結果の反映版

リスト作成後の情報追加により再検討を行う種

検討区分	No	定着段階	和名(別名、流通名)	学名	選定理由	評価項目													備考	抽出方法					
						定着可能性		生態系被害				分布拡大		重要地域	特に問題となる被害		逸出・拡散			①外来法	②W100	③GISD	④各県	⑤意向調査	⑥その他
						生物	導入	競合	交雑	捕食摂食	生態系改変	繁殖	気候		人体	経済産業	利用	付着混入							
再検討	80	未定着	アイスボットシクリッド	<i>Cichla ocellaris</i>		○	-	○	-	◎	-	○	-	-	-	-	○	-	海外では本種とピラニアの導入後に、これらの餌となる種の多様性が減少した事例がある。競争や捕食による影響が指摘されている。卵や仔魚の保護を行う。			○			
再検討	81	未定着	メキシカンモハラ	<i>Cichlasoma urophthalmus</i>		○	-	○	-	◎	-	○	-	-	○	-	-	-	海外では、生態系への影響や病気の伝播の事例がある。フロリダでは在来魚類の巣への食害が確認されている。また、競争による影響も指摘されている。人にも感染するアニサキス科原虫の中間宿主となることが確認されている。			○			
再検討	82	小笠原・南西諸島	コバディクロミス	<i>Copadichromis</i> sp.				-	-	-	-	-	-	-	-	-	◎	-	沖縄でのみ定着。生態系影響は不明。						現リスト時の検討種
再検討	83	小笠原・南西諸島	ヘミクロミス属	<i>Hemichromis</i> spp.				-	-	-	-	-	-	-	-	-	◎	-	沖縄でのみ定着。生態系影響は不明。						現リスト時の検討種
再検討(候補)	84	定着初期／限定分布	カワスズメ属	<i>Oreochromis</i> spp.	I			◎	-	◎	-	○	○	-	-	-	○	-	本属にはカワスズメ、ナイルティラピア等を含むため、生態系影響などについてはこれらと同様。			○			
再検討	85	小笠原・南西諸島	オトファリンクス・リトバテス	<i>Otopharynx lithobates</i>				-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	沖縄でのみ定着。生態系影響は不明。						現リスト時の検討種
再検討	86	未定着		<i>Sarotherodon occidentalis</i>		○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	海外では他の数種の外来種とあわせて、在来の固有種の減少要因とされている。			○			
再検討	87	小笠原・南西諸島	ティラピア・ブッティコフェリ	<i>Tilapia buttikoferi</i>				-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	沖縄でのみ定着。生態系影響は不明。				滋賀		
再検討(候補)	88	定着初期／限定分布	ヨコシマドンコ	<i>Micropercops swinhonis</i>	I、IV			○	-	○	-	-	-	-	-	-	○	○	関東、東海地方に定着。在来種への競争や捕食の影響が懸念されている。梅田川では在来魚類の状況から特に在来種に著しい負の影響を与えていることは確認できないとの報告もある。釣りえさのエビ類に混入していたことがある。				茨城、愛知、和歌山		
再検討	89	分布拡大大期～まん延期	チョウセンブナ	<i>Macropodus chinensis</i>				-	-	○	-	○	-	-	-	-	○	-	新潟、茨城、長野、岡山の各県のいくつかの水域。局所的に長期間にわたって定着。在来生態系に壊滅的な影響を与える可能性は低いと考えられている。巣を作って卵や仔魚を保護する。				茨城、千葉、徳島		
再検討(候補)	90	分布拡大大期～まん延期	カムルチー	<i>Channa argus</i>	I、IV			○	-	○	-	○	-	-	-	-	○	-	北海道、本州、四国、九州のほぼ全域に分布。鳥の雛を捕食していることが報告されている。本種が多数生息する場所でも在来魚が極端に減少することはないともされている。卵や仔魚を保護する。			○	北海道、青森、茨城、千葉、愛知、滋賀、愛媛、京都、奈良、和歌山、鳥取、山口、徳島、香川、高知、福岡、熊本、鹿児島	地方公共団体	
再検討(候補)	91	分布拡大大期～まん延期	コウタイ	<i>Channa asiatica</i>	I、IV			○	-	○	-	○	-	-	-	-	○	-	大阪府、石垣島。石垣島の個体群は絶滅した可能性もある。局所的に長期間にわたって定着。卵や仔魚を保護する。				千葉、愛媛		
再検討(候補)	92	分布拡大大期～まん延期	タイワンドジョウ	<i>Channa maculata</i>	I、IV			○	-	○	-	○	-	-	-	-	○	-	和歌山、兵庫、石垣島に移入。局所的に長期間にわたり定着。捕食や競合による生態系影響が懸念されているが、生息数が減っており、影響はほとんどないとの見解もある。				千葉、愛媛、奈良、和歌山、山口、高知		
再検討(候補)	93	未定着	コブラスネークヘッド	<i>Channa marulius</i>	I、IV	○	◎	○	-	○	-	○	-				◎		海外では、本種が在来種と置き換わったと思われる事例がある。稚魚になるまで親が保護をする。			○			

リスト加除対象の候補種一覧 <動物(魚類)>

 : 今回の検討から新たに候補として加わった種

継続	: 現リストの掲載種
再検討	: 現リスト作成時に非掲載となった種で、今回も事務局としては非掲載と判断した種
再検討(候補)	: 現リスト作成時に非掲載となった種で、今回は事務局で 掲載候補と判断 した種
新規	: 現リスト作成時に候補となっておらず、今回新たに検討対象としたが事務局で非掲載と判断した種
新規(候補)	: 現リスト作成時に候補となっておらず、今回新たに検討対象とした結果、事務局で 掲載候補と判断 した種

【国外由来の外来種】

2024.9.17版 魚類WGとその後の照会結果の反映版

リスト作成後の情報追加により新たに検討を行う種(定着段階以外は順不同)

検討区分	No	定着段階	和名(別名、流通名)	学名	選定理由	評価項目														備考	抽出方法					
						定着可能性		生態系被害				分布拡大		重要地域	特に問題となる被害		逸出・拡散		①外来法		②W100	③GISD	④各県	⑤意向調査	⑥その他	
						生物	導入	競合	交雑	捕食摂食	生態系改変	繁殖	気候		人体	経済産業	利用	付着混入								
新規	94	未定着	ポリプテルス属の一種	<i>Polypterus</i> sp.		○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	紀の川水系で死体拾得記録有り。				和歌山				
新規	95	未定着	カラチョウザメ	<i>Acipenser sinensis</i>		○	○	○	○	-	-	-	○	-	-	-	-	チョウザメ類全般としてシベリアチョウザメの中国での大量逸出の例から在来チョウザメ類への影響が指摘されている。				徳島				
新規	96	未定着	チョウザメ科の一種	Acipenseridae sp.		○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	チョウザメ類全般としてシベリアチョウザメの中国での大量逸出の例から在来チョウザメ類への影響が指摘されている。				千葉、滋賀				
新規	97	未定着	シベリアチョウザメ	<i>Acipenser baeri baeri</i>		○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	中国で大量に逸出した個体が生態系に影響を及ぼすことが懸念されている。				宮崎				
新規	98	未定着	ノーザンバラムンディ	<i>Scleropages jardinii</i>		○	◎	-	-	-	-	-	-	-	-	◎	-	観賞魚として多く利用されている。遺棄された個体が野外で確認されたことがある。				滋賀				
新規	99	未定着	ナイフフィッシュの一種	Notopteridae sp.		○	◎	-	-	-	-	-	-	-	-	◎	-	観賞魚として多く利用されている。遺棄された個体が野外で確認されたことがある。				滋賀				
新規(候補)	100	未定着	ヨーロッパウナギ	<i>Anguilla anguilla</i>	I	×	○	-	○	◎	-	×	○	○	-	-	○	-	西湖でクニマスの卵を捕食している。ニホンウナギよりも低温耐性が高い。西湖では駆除が実施されている。				北海道、和歌山、山口、高知			
新規(候補)	101	未定着	トンキントゲタナゴ	<i>Acheilognathus tonkinensis</i>	I、IV	○	○	○	○	-	-	-	○	○	-	-	○	○	国内の野外で確認されたことがある。同属のオオタナゴが競争や交雑による被害の可能性が高いとして特定外来生物に指定されている。タナゴ類は比較的容易に異種間で雑種を作ることが知られる。タナゴ類の多くは絶滅危惧種であり、これらの生息地における被害の恐れがある。						国内での確認情報のある未判定外来生物	
新規(候補)	102	未定着	タイワンタナゴ	<i>Paratanakia himantegus</i>	I、IV	○	○	-	○	-	-	-	○	○	-	-	○	○	国内の野外で確認されたことがある。タナゴ類は比較的容易に異種間で雑種を作ることが知られる。タナゴ類の多くは絶滅危惧種であり、これらの生息地における被害の恐れがある。						観賞魚として流通。国内に近縁の絶滅危惧種が存在。国内での確認記録あり。	
新規(候補)	103	未定着	ロデウス・ノタータス(カラゼニタナゴ)	<i>Rhodeus notatus</i>	I、II	○	○	○	◎	-	-	○	○	◎	-	-	○	○	侵入地では交雑によってスイゲンゼニタナゴを駆逐している。在来タナゴ類との競合も懸念されている。在来種であるスイゲンゼニタナゴに比べて産卵数が非常に多く、繁殖力が強い可能性がある。					中井委員、鬼倉委員		
新規(候補)	104	未定着	外国産タナゴ亜科	Acheilognathinae spp.	I、IV	○	○	○	○	-	-	-	○	○	-	-	○	○	タナゴ類は比較的容易に異種間で雑種を作ることが知られる。タナゴ類の多くは絶滅危惧種であり、これらの生息地における被害の恐れがある。					中井委員、渡辺委員		
新規(候補)	105	定着初期／限定分布	キクチヒナモロコ	<i>Aphyocypris kikuchii</i>	I	／	／	-	◎	-	-	-	○	◎	-	-	○	-	九州のヒナモロコは本種との交雑によって絶滅した可能性が高い。静岡県に導入。静岡県での生態系影響は不明。						WGでの指摘。	
新規(候補)	106	定着初期／限定分布	ダントウボウ	<i>Megalobrama amblycephala</i>	I、IV			○?	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-	茨城県では定着とされている。挺水植物など在水生植物群落への影響が懸念されている。				茨城	加納委員		
新規(候補)	107	定着初期／限定分布	カワイワシ	<i>Hemiculter leucisculus</i>	I、IV	／	／	○	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	岡山県で定着。繁殖力が強いとされ、国内の広い範囲で定着する可能性が高いと考えられている。岡山県では近年分布が拡大している。在来の遊泳性魚類と競争する可能性が高いと考えられている。分布の拡大やそれに伴う生態系影響について、知見の集積が必要。					環境省中四国		
新規(候補)	108	未定着	ファットヘッドミノー	<i>Pimephales promelas</i>	I、IV	○	○	-	-	-	-	-	◎	-	-	-	○	-	実験生物や観賞魚として利用されている。高水温や低酸素に極めて強く、野外に放流された場合に容易に定着する可能性が高いと考えられている。						国内の一部に定着済み	
新規(候補)	109	分布拡大大期～まん延期	外国産ドジョウ	<i>Misgurnus anguillicaudatus</i>	I	／	／	-	◎	-	-	-	○	-	-	-	○	-	全国各地に定着している。特に関東北部や大阪平野などでは多くが外国産ドジョウが在来種との交雑集団に置き換わっている。				愛媛	地方公共団体		
新規	110	未定着	ブラックテトラ	<i>Gymnocorymbus ternetzi</i>		○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	生態系影響は不明。				滋賀			
新規	111	未定着	コロソマ属の一種	<i>Colossoma</i> sp.		○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	生態系影響は不明。				滋賀			
新規	112	未定着	オキシドラス	<i>Oxydoras niger</i>		○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	生態系影響は不明。				滋賀			
新規(候補)	113	未定着	アフリカンクララ	<i>Clarias gariepinus</i>	I	／	／	◎	-	○	-	-	-	-	-	-	○	-	インドでは本種を含むいくつかの外来種との競合によって絶滅危惧種への競合による影響が懸念されている。南アフリカ共和国での在来アカヒレ類の減少は本種の導入によるとされている。			○				
新規	114	未定着	コリドラス属	<i>Corydoras</i> spp.		○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	◎	-	生態系影響は不明。				和歌山			
新規	115	未定着	レッドテールキャット	<i>Phractocephalus hemiliopterus</i>		○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	◎	-	生態系影響は不明。				滋賀、和歌山			
新規	116	未定着	マスノスケ	<i>Oncorhynchus tshawytscha</i>		○	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	新潟県以北で迷入による河川への遡上記録がある。				北海道			
新規	117	未定着	ギンザケ	<i>Oncorhynchus kisutch</i>		○	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	○	-	他のサケ科魚類への病気の媒介が懸念されている。				北海道、千葉			
新規	118	未定着	コレゴヌス・ペレッド	<i>Coregonus peled</i>		○	○	-	-	-	-	-	○	-	-	-	○	○	<i>Coregonus peled</i> と <i>Coregonus lavaretus maraena</i> の2種が国内に導入されているが、どちらも和名シナノユキマスとして利用されている。				北海道			
新規(候補)	119	未定着	サンシャインバス	<i>Morone chrysops</i> × <i>M.chrysops</i>	I	○	○	○	-	○	-	-	○	-	-	-	○	-	国内の野外で確認されたことがある。一部の管理釣り場で利用されており、逸出の可能性がある。特定外来生物同士の交雑個体であり、親となる両種よりも成長が早く、水質悪化にも耐性がある。	特定						
新規(候補)	120	定着初期／限定分布	ロングイヤーサンフィッシュ	<i>Lepomis megalotis</i>	I	／	／	○	-	○	-	○	-	-	-	-	○	-	国内の一部の地域で定着していると思われる。北米大陸でも本来の生息域外で確認されているが、影響については不明。卵の保護を行うため繁殖力が強い。					細谷委員、中井委員		
新規(候補)	121	未定着	パンプキンシード	<i>Lepomis gibbosus</i>	I	○	○	○	-	◎	-	○	-	-	-	-	○	-	信憑性は不明だが国内で確認したという情報がある。北米大陸の本来の生息域外の他、ヨーロッパの多数の国に水産利用目的で導入されている。生態系への影響については明らかになっていないが、固有の軟体動物への捕食が確認されているほか、多様性の低下や在来種への攻撃性が指摘されている。						国内での確認情報のある未判定外来生物	

リスト加除対象の候補種一覧 <動物(魚類)>

 : 今回の検討から新たに候補として加わった種

- 継続

再検討

再検討(候補)

新規

新規(候補)
- : 現リストの掲載種

: 現リスト作成時に非掲載となった種で、今回も事務局としては非掲載と判断した種

: 現リスト作成時に非掲載となった種で、今回は事務局で掲載候補と判断した種

: 現リスト作成時に候補となっておらず、今回新たに検討対象としたが事務局で非掲載と判断した種

: 現リスト作成時に候補となっておらず、今回新たに検討対象とした結果、事務局で掲載候補と判断した種

【国外由来の外来種】

2024.9.17版 魚類WGとその後の照会結果の反映版

リスト作成後の情報追加により新たに検討を行う種(定着段階以外は順不同)

検討区分	No	定着段階	和名(別名、流通名)	学名	選定理由	評価項目														備考	抽出方法					
						定着可能性		生態系被害				分布拡大		重要地域	特に問題となる被害		逸出・拡散		①外来法		②W100	③GISD	④各県	⑤意向調査	⑥その他	
						生物	導入	競合	交雑	捕食摂食	生態系改変	繁殖	気候		人体	経済産業	利用	付着混入								
新規(候補)	122	未定着(一部の種は定着)	ブルーギル属	Lepomis spp.	I、IV	○	○	◎	-	◎	-	○	○	-	-	-	○	-	観賞魚としての価値があり、定着や分布を拡大する可能性がある。ブルーギルと同属であり、本属あるいは本科(サンフィッシュ科)に属す種は生態系への悪影響が危惧される。属全体としての影響の程度について知見の集積が必要。 ※生態系被害の評価項目については、本属に含まれる現リスト掲載種の評価を適用した					松田委員		
新規(候補)	123	未定着(一部の種は定着)	サンフィッシュ科	Centrarchidae spp.	I、IV	○	○	◎	-	◎	-	○	○	-	-	-	○	-	観賞魚としての価値があり、定着や分布を拡大する可能性がある。オオクチバスやブルーギルが含まれる科であり、同様の生態を持つ種が多いと思われるため生態系への悪影響が危惧される。科全体としての影響の程度について知見の集積が必要。 ※生態系被害の評価項目については、本科に含まれる現リスト掲載種の評価を適用した					渡辺委員		
新規(候補)	124	未定着	ペルクティス科(狭義)	Percichthyidae spp.	I、IV	○	○	○	-	○	-	-	-	-	-	-	○	-	釣魚や観賞魚としての価値があり、定着や分布を拡大する可能性がある。在来種に対する競争圧・捕食圧が生じる可能性があると考えられる種を含み、同様の生態を持つ種が多いと思われるため生態系への悪影響が危惧される。科全体としての影響の程度について知見の集積が必要。 ※生態系被害の評価項目については、本科に含まれるマーレーコッドの評価を適用した					渡辺委員		
新規(候補)	125	定着初期／限定分布	コウライオヤニラミ	Coreoperca herzi	I			◎	-	◎	-	-	-	-	-	-	-	-	一部の地域で定着していると思われる。環境DNAを用いた調査で、捕食や競合によって在来生態系に大きな影響を及ぼしていることが示された。				宮崎	細谷委員、中井委員、鬼倉委員、立原委員、松田委員、加納委員、渡辺委員		
新規(候補)	126	未定着(一部の種は定着)	ケツギョ科	Siniperidae spp.	I、IV	○	-	○	-	◎	-	-	-	-	-	-	○	-	観賞魚としての価値があり、定着や分布を拡大する可能性がある。ケツギョやコウライケツギョが含まれる科であり、同様の生態を持つ種が多いと思われるため生態系への悪影響が危惧される。科全体としての影響の程度について知見の集積が必要。 ※生態系被害の評価項目については、本科に含まれる現リスト掲載種の評価を適用した					渡辺委員		
新規	127	未定着	オスカー	Astronotus ocellatus		○	○	○	-	○	-	○	-	-	-	-	◎	-	アメリカの一部の州では侵略的とされる。競合や捕食による在来生態系へ影響を及ぼす可能性があると考えられる。卵を保護するため、繁殖力が種用。				滋賀、和歌山			
新規(候補)	128	定着初期／限定分布	カラドンコ	Odontobutis potamophila	I、IV			○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	○	利根川水系の一部で定着とされている。捕食や競合による被害が懸念されている。侵入経路は他魚種の養殖に混入した可能性も指摘されている。				茨城	地方公共団体、加納委員		
新規	129	未定着		Siganus luridus		○	-	○	-	◎	-	-	-	-	○	-	-	-	付着藻類等の底性生物群集に深刻な影響を及ぼす可能性がある。底生生物群集のバイオマスを減少させ、結果として生息地と生物多様性を消失させることがわかっている。毒のある棘を持つ。			○				
新規	130	定着初期／限定分布	タイワンキンギョ	Macropodus opercularis				-	-	-	-	○	-	-	-	-	○	-	巣を作って卵や仔魚を保護する。				和歌山、高知			
新規(候補)	131	未定着(一部の種は定着)	タイワンドジョウ属	Channa spp.	I、IV	○	◎	○	-	○	-	○	-	-	-	-	◎	-	国内で既に3種が定着しており、海外においても外来種として定着しているものが数種類ある。タイワンドジョウやブラーチョン、コプラスネークヘッドでは競争により在来種を駆逐する可能性があると考えられている。空気呼吸が可能で干出や低酸素に強く、卵や稚魚を保護するため、他種との競争で有利になり得る。観賞魚として様々な種が多く利用されている。					北村委員、松田委員		

リスト加除対象の候補種一覧 <動物(魚類)>

 : 今回の検討から新たに候補として加わった種

- 継続

再検討

再検討(候補)

新規

新規(候補)
- : 現リストの掲載種

: 現リスト作成時に非掲載となった種で、今回も事務局としては非掲載と判断した種

: 現リスト作成時に非掲載となった種で、今回は事務局で掲載候補と判断した種

: 現リスト作成時に候補となっておらず、今回新たに検討対象としたが事務局で非掲載と判断した種

: 現リスト作成時に候補となっておらず、今回新たに検討対象とした結果、事務局で掲載候補と判断した種

【国内由来の外来種・国内に自然分布域を持つ国外由来の外来種】

現リスト掲載種						2024.9.17版 魚類WGと今後の照会結果の反映版																			
検討区分	No	定着段階	和名(別名、流通名)	学名	選定理由	評価項目													備考	抽出方法					
						定着可能性		生態系被害				分布拡大		重要地域	特に問題となる被害		逸出・拡散			①外来法	②W100	③GISD	④各県	⑤意向調査	⑥その他
						生物	導入	競合	交雑	捕食摂食	生態系改変	繁殖	気候		人体	経済産業	利用	付着混入							
継続	1	国内由来の外来種	琵琶湖・淀川以外のハス	<i>Opsarichthys uncirostris uncirostris</i>	I			-	○	◎	-	-	○	○	-	-	-	○	魚食性のため、捕食による在来魚類への影響が懸念される。				茨城、千葉、長野、静岡、愛知、奈良、和歌山、鳥取、山口、徳島、愛媛、高知、福岡、長崎、宮崎、鹿児島		
継続	2	国内由来の外来種	東北地方などのモツゴ	<i>Pseudorasbora parva</i>	I、II			◎	-	-	-	-	○	◎	-	-	○	-	シナイモツゴ生息地に侵入後、シナイモツゴを駆逐して優占種となっている。雑種は不稔であり、遺伝子攪乱はないものの、繁殖に関する競合により正常な繁殖が阻害されることで影響を及ぼしている。				北海道、青森、福島、長野、沖縄		
継続	3	国内由来の外来種	九州北西部及び東海・北陸地方以東のギギ	<i>Pseudobagrus nudiceps</i>	IV			○	-	○	-	-	○	○	○	-	○	○	侵入年代は不明。 絶滅危惧種で国の天然記念物である東海地方固有のネコギギの生息する河川で分布を広げ、また九州西部ではアリアケギバチ生息地への影響が懸念されている。 生態系影響についての知見の集積が必要。				青森、茨城、千葉、長野、静岡、愛知、和歌山、高知、福岡、長崎、大分、宮崎		
継続	4	国内由来の外来種	近畿地方以東のオヤニラミ	<i>Coreoperca kawamebari</i>	IV			○	-	○	-	-	○	○	-	-	○	-	侵入年代は不明。 滋賀県と愛知県では条例で放流を規制しており、岐阜県美濃加茂市では自治体が研究者と協力して駆除を行っている。東海地方や東京都の移入地は絶滅危惧種の生息地にもなっており、影響が懸念されている。 近畿地方でも由良川水系、桂川水系以西には自然分布している。 生態系影響についての知見の集積が必要。				愛知、滋賀、奈良、和歌山、徳島、愛媛、宮崎		

リスト加除対象の候補種一覧　＜動物（魚類）＞

 : 今回の検討から新たに候補として加わった種

- 継続

再検討

再検討(候補)

新規

新規(候補)
- : 現リストの掲載種

: 現リスト作成時に非掲載となった種で、今回も事務局としては非掲載と判断した種

: 現リスト作成時に非掲載となった種で、今回は事務局で**掲載候補と判断**した種

: 現リスト作成時に候補となっておらず、今回新たに検討対象としたが事務局で非掲載と判断した種

: 現リスト作成時に候補となっておらず、今回新たに検討対象とした結果、事務局で**掲載候補と判断**した種

【国内由来の外来種・国内に自然分布域を持つ国外由来の外来種】

2024.9.17版　魚類WGとその後の照会結果の反映版

リスト作成後の情報追加により再検討を行う種

検討区分	No	定着段階	和名(別名、流通名)	学名	選定理由	評価項目														備考	抽出方法					
						定着可能性		生態系被害				分布拡大		重要地域	特に問題となる被害		逸出・拡散		①外来法		②W100	③GISD	④各県	⑤意向調査	⑥その他	
						生物	導入	競合	交雑	捕食摂食	生態系改変	繁殖	気候		人体	経済産業	利用	付着混入								
再検討(候補)	5	国内由来の外来種	ゲンゴロウブナ	<i>Carassius cuvieri</i>	I			○	○	○	-	-	○	-	-	-	◎	-	全国に釣り等の目的で放流された。植物プランクトン相への影響や交雑による影響があると考えられている。個体数のわりに生態系影響は少ないとの見解もある。				北海道、青森、茨城、千葉、愛知、滋賀、京都、奈良、和歌山、鳥取、山口、徳島愛媛、高知、福岡、宮崎、沖縄			
再検討(候補)	6	国内由来の外来種	ギンブナ	<i>Carassius</i> sp.	I			-	○	◎	-	-	○	-	-	-	-	-	自然分布との区別が困難。琉球列島は移入。栃木県ではクロサンショウウオやモリアオガエルへの食害が生じており、近年上陸個体が確認できていない。			○	栃木、鹿児島			
再検討	7	国内由来の外来種	ニゴロブナ	<i>Carassius buergeri grandoculis</i>				-	○?	○?	-	-	○	-	-	-	○	-	富山県に移入。青森県と鳥取県で未定着。侵入年代は不明。生態系影響が懸念されている。				青森、鳥取			
再検討	8	国内由来の外来種	イチモンジタナゴ	<i>Acheilognathus cyanostigma</i>				○	○	-	-	-	○	-	-	-	◎	○	富山、岡山、熊本の名県、四国に移入。侵入年代は不明。産卵母貝を巡る競合や交雑の恐れが指摘されている。九州北部の外来魚の侵略性評価では本種は潜在的な侵略性が高いとされている。				千葉、山口、徳島、高知、福岡	国内外来種のタナゴ類として環境省関東		
再検討	9	国内由来の外来種	カネヒラ	<i>Acheilognathus rhombeus</i>				○	○	-	-	-	○	-	-	-	◎	○	宮城県、茨城県。霞ヶ浦では30年以上前に定着。産卵母貝を巡る競合や交雑の恐れが指摘されている。				福島、茨城、千葉、愛知、山口、徳島	国内外来種のタナゴ類として環境省関東		
再検討	10	国内由来の外来種	アカヒレタビラ	<i>Acheilognathus tabira erythropterus</i>				○	○	-	-	-	○	-	-	-	◎	○	青森県に移入。侵入年代は不明。産卵母貝を巡る競合等の影響が懸念されている。					国内外来種のタナゴ類として環境省関東		
再検討	11	国内由来の外来種	シロヒレタビラ	<i>Acheilognathus tabira tabira</i>				○	○	-	-	-	○	-	-	-	◎	○	青森県、島根県に移入。侵入年代は不明。産卵母貝を巡る競合等の影響が懸念されている。				青森、千葉、山口、徳島、高知	国内外来種のタナゴ類として環境省関東		
再検討	12	国内由来の外来種	ゼニタナゴ	<i>Acheilognathus typus</i>				○	○	-	-	-	○	-	-	-	◎	○	諏訪湖、静岡県、河口湖に移入。侵入年代は不明。産卵母貝を巡る競合等の影響が懸念されている。					国内外来種のタナゴ類として環境省関東		
再検討(候補)	13	国内由来の外来種	ヤリタナゴ	<i>Tanakia lanceolata</i>	I			○	◎	-	-	-	○	-	-	-	◎	○	関東地方に移入。種内の地域個体群ではあるが、関東地方のヤリタナゴは東海地方の遺伝子を持つものと置き換わっている。				千葉、和歌山、鹿児島	国内外来種のタナゴ類として環境省関東		
再検討(候補)	14	国内由来の外来種	アブラボテ	<i>Tanakia limbata</i>	I			○	◎	-	-	-	○	-	-	-	◎	○	静岡県等に移入。愛媛県では本種が在来種のヤリタナゴと交雑し遺伝子浸透が起きている。				愛媛、高知	国内外来種のタナゴ類として環境省関東		
再検討	15	国内由来の外来種	ツチフキ	<i>Abbottina rivularis</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	○	○	宮城県、新潟県、関東平野、琵琶湖に移入。霞ヶ浦では1960年代に確認				茨城、千葉、愛知、滋賀、和歌山			
再検討(候補)	16	国内由来の外来種	ゼゼラ	<i>Biwia zezera</i>	I、IV			-	○	-	-	-	○	-	-	-	○	○	関東地方、新潟県、濃尾平野(琵琶湖由来)、九州(琵琶湖由来)で移入。霞ヶ浦では1960年代に初認。九州北西部では在来の同種集団と交雑。その他の影響は不明。九州では分布を拡大しており、さらなる分布の拡大やそれに伴う生態系影響について知見の集積が必要。				青森、茨城、千葉、和歌山、山口	鬼倉委員		
再検討(候補)	17	国内由来の外来種	ホンモロコ	<i>Gnathopogon caerulescens</i>	I			◎	◎	-	-	-	○	-	-	-	○	○	奥多摩湖、山中湖、河口湖、諏訪湖、湯原湖に移入。スワモロコの絶滅はホンモロコの移植による交雑もしくは競合が原因とされている。				茨城、千葉、愛知、奈良、和歌山、山口、愛媛、宮崎			
再検討(候補)	18	国内由来の外来種	タモロコ	<i>Gnathopogon elongatus</i>	I			○	◎	-	○	-	○	-	-	-	○	○	東北地方、九州。競合による影響が懸念されている。				北海道、青森、茨城、千葉			
再検討	19	国内由来の外来種	ニゴイ	<i>Hemibarbus barbus</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	○	静岡県で移入。侵入年代は不明				徳島			
再検討	20	国内由来の外来種	ズナガニゴイ	<i>Hemibarbus longirostris</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	山陰地方と静岡県(安部川、葦科川)で移入。				千葉、和歌山			
再検討	21	国内由来の外来種	カマツカ	<i>Pseudogobio esocinus</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	○	-	青森県、静岡県(中部以東)、兵庫県(円山川)、高知県の一部で移入。				青森、茨城、高知	地方公共団体		
再検討	22	国内由来の外来種	シナイモツゴ	<i>Pseudorasbora pumila pumila</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	○	-	北海道に移入。局所的に50年以上にわたって定着。生態系影響は不明。				北海道			
再検討	23	国内由来の外来種	ムギツク	<i>Pungtungia herzi</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	○	-	群馬県、東京都、千葉県、神奈川県に移入。生態系影響は不明。				茨城、千葉、愛知、愛媛、徳島、高知、宮崎			
再検討	24	国内由来の外来種	ビワヒガイ	<i>Sarcocheilichthys variegatus microoculus</i>				○	○	-	-	-	○	-	-	-	○	○	東北地方、関東平野、本栖湖、北陸地方、水崎湖、諏訪湖、高知県、九州北部。在来種ヒガイ類と交雑する可能性と産卵母貝を巡ってタナゴ類と競合する可能性が指摘されている。				青森、茨城、千葉、愛知、和歌山、山口、徳島、愛媛、高知、福岡、宮崎			
再検討	25	国内由来の外来種	スゴモロコ	<i>Squalidus chankaensis biwae</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	○	○	関東平野、静岡県、高知県で移入。生態系影響は不明。				茨城、千葉、愛知、鳥取、山口、徳島、高知			
再検討	26	国内由来の外来種	イトモロコ	<i>Squalidus gracilis gracilis</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	○	○	神奈川県(相模川)、静岡県、鹿児島県で定着。茨城県で確認。生態系影響は不明。				茨城、鳥取、高知、宮崎			
再検討	27	国内由来の外来種	ウグイ	<i>Tribolodon hakonensis</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	○	○	屋久島に移入。侵入年代は不明。生態系影響は不明。				鹿児島			
再検討	28	国内由来の外来種	アブラハヤ	<i>Rhynchocypris lagowskii</i>				○	○	-	-	-	○	-	-	-	◎	○	北海道(安野呂川)に移入。30年以上にわたって定着。北海道ではウグイ類と競合し、入れ替わってきているとの報告がある。				北海道、山口			
再検討(候補)	29	国内由来の外来種	タカハヤ	<i>Rhynchocypris oxycephalus</i>	I			○	◎	-	-	-	○	-	-	-	◎	○	神奈川県(大岡川)等に移入。多摩川では交雑によりアブラハヤと置き換わっている。						※現リスト時の検討種	

リスト加除対象の候補種一覧　＜動物（魚類）＞

：今回の検討から新たに候補として加わった種

- 継続

再検討

再検討(候補)

新規

新規(候補)
- ：現リストの掲載種

：現リスト作成時に非掲載となった種で、今回も事務局としては非掲載と判断した種

：現リスト作成時に非掲載となった種で、今回は事務局で掲載候補と判断した種

：現リスト作成時に候補となっておらず、今回新たに検討対象としたが事務局で非掲載と判断した種

：現リスト作成時に候補となっておらず、今回新たに検討対象とした結果、事務局で掲載候補と判断した種

【国内由来の外来種・国内に自然分布域を持つ国外由来の外来種】
リスト作成後の情報追加により再検討を行う種

2024.9.17版　魚類WGとその後の照会結果の反映版

検討区分	No	定着段階	和名(別名、流通名)	学名	選定理由	評価項目													備考	抽出方法					
						定着可能性		生態系被害				分布拡大		重要地域	特に問題となる被害		逸出・拡散			①外来法	②W100	③GISD	④各県	⑤意向調査	⑥その他
						生物	導入	競合	交雑	捕食摂食	生態系改変	繁殖	気候		人体	経済産業	利用	付着混入							
再検討	30	国内由来の外来種	ワタカ	<i>Ischikauia steenackeri</i>				-	-	-	-	○	-	-	-	-	○	関東、北陸地方、奈良、岡山、島根、山口、福岡の各県				茨城、千葉、奈良、和歌山、鳥取、山口、徳島、愛媛、高知			
再検討	31	国内由来の外来種	ヌマムツ	<i>Nipponocypris sieboldii</i>				-	○	-	-	○	-	-	-	-	○	関東地方。生態系影響は不明。自然環境下でカワムツ、ヌマムツ、オイカワの種間交雑が確認されている。				茨城			
再検討	32	国内由来の外来種	カワムツ	<i>Nipponocypris temminckii</i>				○	○	-	-	○	-	-	-	-	○	宮城県、関東地方。一旦侵入・定着するとカワムツは他魚を減少させ、それによって魚類群集の種組成を大きく変える恐れがあると考えられている。自然環境下でカワムツ、ヌマムツ、オイカワの種間交雑が確認されている。				茨城、千葉			
再検討(候補)	33	国内由来の外来種	オイカワ	<i>Opsariichthys platypus</i>	I、IV			○	○	-	-	-	-	-	-	-	◎	○	東北地方、神奈川、四国太平洋側、隠岐諸島島後、五島列島、中通島、種子島、徳之島、沖縄島で移入。ウグイと競合し、負の影響を与える。自然環境下でカワムツ、ヌマムツ、オイカワの種間交雑が確認されている。最近沖縄島で確認された。沖縄島北部に侵入すれば、絶滅危惧種の卵の被害などの影響が懸念されるため、今後の分布拡大や生態系被害についての知見の集積が必要。				北海道、青森、和歌山、徳島、高知、宮崎、鹿児島	鬼倉委員	
再検討	34	国内由来の外来種	オオガタスジシマドジョウ	<i>Cobitis magnostriata</i>				○	-	-	-	-	○	-	-	-	○	○	笛吹川(山梨)と奥多摩湖(東京)、静岡県、愛知県に移入。在来種のシマドジョウ類との競合が懸念される他、環境改変された場所でのコガタスジシマドジョウ類への繁殖干渉が知られている。				愛知、奈良、和歌山、山口		
再検討	35	国内由来の外来種	シマドジョウ	<i>Cobitis biwae</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	◎	○	栃木県、静岡県で移入。生態系影響は不明。						※現リスト時の検討種
再検討(候補)	36	国内由来の外来種	フクドジョウ	<i>Nemacheilus barbatulus toni</i>	I、IV			○	-	○	-	-	○	-	-	-	○	○	北海道石狩川より南西部、福島県、神奈川県、宮崎県に移入。水生昆虫への捕食や同所的に生息する底性魚類への競合が懸念されている。本州で分布拡大が顕著であり、今後の分布拡大や生態系被害についての知見の集積が必要。				福島、茨城		
再検討	37	国内由来の外来種	エゾホトケドジョウ	<i>Lefua nikkonis</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	○	-	青森県に移入。侵入年代は不明				青森		
再検討	38	国内由来の外来種	ナマズ	<i>Silurus asotus</i>				-	-	○	-	-	○	-	-	-	○	○	北海道、東北地方、関東地方。極端な競合や駆逐などの大きな影響を与える可能性は低いとの見解もある。				北海道、青森、茨城		
再検討	39	国内由来の外来種	アカザ	<i>Liobagrus reinii</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	○	-	岩手県、東京都に移入。カジカとの餌の競合の可能性がある。						※現リスト時の検討種
再検討	40	国内由来の外来種	ワカサギ	<i>Hypomesus nipponensis</i>				○	-	-	-	-	○	-	-	-	◎	-	九州以北の全国の湖、ダム湖。生態系影響は少ないとされるが、生息量によっては競合が生じる可能性もあると考えられている。				青森、千葉、愛知、滋賀、奈良、和歌山、徳島、愛媛、高知、宮崎		
再検討	41	国内由来の外来種	アユ	<i>Plecoglossus altivelis altivelis</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	◎	-	琵琶湖のアユが全国に移入。在来集団との識別は困難。琵琶湖個体群は河川個体群に比べて繁殖期が早いため交雑せず、水温の高い海水での仔稚魚の生存率が低いため、河川には定着しないと言われている。				和歌山、宮崎		
再検討	42	国内由来の外来種	リュウキュウアユ	<i>Plecoglossus altivelis ryukyuensis</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	沖縄の個体群は1970年代に絶滅。1992年に奄美大島の個体群が沖縄に再導入された。生態系影響は不明。						※現リスト時の検討種
再検討	43	国内由来の外来種	イワナ	<i>Salvelinus leucomaenis</i>				○	○	-	-	-	○	-	-	-	○	○	北海道、本州、四国、九州。在来のヤマメやアマゴとの競合やこれらの種及び在来イワナとの交雑が確認されている。				愛知、和歌山、山口、徳島、愛媛、高知、宮崎	地方公共団体	
再検討	44	国内由来の外来種	クニマス	<i>Oncorhynchus kawamurae</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	○	-	岩手県、山梨県(西湖・本栖湖)、長野県、富山県に導入。原産地の個体が絶滅している。						
再検討	45	国内由来の外来種	サケ	<i>Oncorhynchus keta</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	◎	-	千葉県(栗山川)、東京都(多摩川)ほか本州、北海道。				滋賀、兵庫		
再検討	46	国内由来の外来種	サツキマス(アマゴ)	<i>Oncorhynchus masou ishikawae</i>				○	○	-	-	-	○	-	-	-	◎	○	全国、詳細は不明。滋賀県では在来種のイワナと競合してイワナの個体数を減少させたといわれている。ヤマメとの交雑や同種の地域個体群への遺伝的かく乱が起こっている。				滋賀、京都、奈良、鳥取、和歌山、鳥取、宮崎		
再検討	47	国内由来の外来種	サクラマス(ヤマメ)	<i>Oncorhynchus masou masou</i>				○	○	-	-	-	○	-	-	-	◎	○	全国、詳細は不明。アマゴとの交雑が起こっている。				北海道、兵庫、鳥取、宮崎		
再検討	48	国内由来の外来種	ビワマス	<i>Oncorhynchus masou</i> subsp. 1				-	-	-	-	-	○	-	-	-	○	-	中禅寺湖と木崎湖に移入。中禅寺湖では1906年に移入の記録がある。木崎湖では明治時代。生態系影響は不明。						※現リスト時の検討種
再検討	49	国内由来の外来種	ベニザケ(ヒメマス)	<i>Oncorhynchus nerka nerka</i>				○	-	○	-	-	○	-	-	-	○	-	北海道、青森、秋田、栃木、福島、神奈川、山梨、長野などの各県に導入。在来魚との競合やプランクトンへの捕食の影響が懸念されている。				青森		
再検討(候補)	50	国内由来の外来種	イトヨ	<i>Gasterosteus aculeatus</i>	I			-	◎	-	-	-	○	-	-	-	○	-	青森県内の非分布地域と滋賀県へ移入。滋賀県ではハリヨとの交雑により地域的な在来遺伝子の消失が起こっている。滋賀県では強影響外来種として選定されている。				青森、滋賀	渡辺委員	
再検討	51	国内由来の外来種	ハリヨ	<i>Gasterosteus microcephalus</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	岐阜県で移入。生態系影響は不明。						※現リスト時の検討種
再検討(候補)	52	国内由来の外来種	ミナミメダカ	<i>Oryzias latipes</i>	I			-	◎	-	-	-	○	-	-	-	◎	-	北海道、関東地方、奈良県を含む全国(詳細不明)。各地で放流による遺伝子汚染が問題となっている。				北海道、千葉、滋賀、和歌山、徳島	地方公共団体	
再検討	53	国内由来の外来種	ドンコ	<i>Odontobutis obscura</i>				○	-	○	-	-	○	-	-	-	○	-	茨城県、神奈川県、長野県で移入。神奈川県は1998年に確認。捕食と餌料生物の競合の両面から影響を受けることが懸念されている。						※現リスト時の検討種

リスト加除対象の候補種一覧 <動物(魚類)>

 : 今回の検討から新たに候補として加わった種

- 継続

: 現リストの掲載種
- 再検討

: 現リスト作成時に非掲載となった種で、今回も事務局としては非掲載と判断した種
- 再検討(候補)

: 現リスト作成時に非掲載となった種で、今回は事務局で掲載候補と判断した種
- 新規

: 現リスト作成時に候補となっておらず、今回新たに検討対象としたが事務局で非掲載と判断した種
- 新規(候補)

: 現リスト作成時に候補となっておらず、今回新たに検討対象とした結果、事務局で掲載候補と判断した種

【国内由来の外来種・国内に自然分布域を持つ国外由来の外来種】
リスト作成後の情報追加により再検討を行う種

2024.9.17版 魚類WGとその後の照会結果の反映版

検討区分	No	定着段階	和名(別名、流通名)	学名	選定理由	評価項目												備考	抽出方法						
						定着可能性		生態系被害				分布拡大		重要地域	特に問題となる被害		逸出・拡散		①外来法	②W100	③GISD	④各県	⑤意向調査	⑥その他	
						生物	導入	競合	交雑	捕食摂食	生態系改変	繁殖	気候		人体	経済産業	利用								付着混入
再検討	54	国内由来の外来種	ビウヨシノボリ	<i>Rhinogobius</i> sp. BW.				○	○	-	-	-	○	-	-	-	○	-	在来種(特にヨシノボリ類)との競合、交雑による遺伝的かく乱等の影響が懸念されている。				愛知、徳島、愛媛		
再検討	55	国内由来の外来種	ヌマチチブ	<i>Tridentiger brevispinis</i>				○	-	○	-	-	○	-	-	-	○	-	奥多摩湖、芦ノ湖、富士五湖、愛知県鳳来湖、琵琶湖に移入。滋賀県と山梨県以外は在来集団も存在する。侵入年代は不明。魚卵や稚魚を捕食するなど動物食性の傾向が強いことから、在来魚類への影響が懸念される。				滋賀、京都、奈良		

リスト加除対象の候補種一覧　＜動物（魚類）＞

 : 今回の検討から新たに候補として加わった種

- 継続

再検討

再検討(候補)

新規

新規(候補)
- : 現リストの掲載種

: 現リスト作成時に非掲載となった種で、今回も事務局としては非掲載と判断した種

: 現リスト作成時に非掲載となった種で、今回は事務局で**掲載候補と判断**した種

: 現リスト作成時に候補となっておらず、今回新たに検討対象としたが事務局で非掲載と判断した種

: 現リスト作成時に候補となっておらず、今回新たに検討対象とした結果、事務局で**掲載候補と判断**した種

【国内由来の外来種・国内に自然分布域を持つ国外由来の外来種】

2024.9.17版　魚類WGとその後の照会結果の反映版

リスト作成後の情報追加により新たに検討を行う種（順不同）

検討区分	No	定着段階	和名(別名、流通名)	学名	選定理由	評価項目													備考	抽出方法					
						定着可能性		生態系被害				分布拡大		重要地域	特に問題となる被害		逸出・拡散			①外来法	②W100	③GISD	④各県	⑤意向調査	⑥その他
						生物	導入	競合	交雑	捕食摂食	生態系改変	繁殖	気候		人体	経済産業	利用	付着混入							
新規	56	国内由来の外来種	スナヤツメ(南方種)	<i>Lethenteron</i> sp. S.				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	生態系被害等の情報なし。				和歌山、高知		
新規	57	国内由来の外来種	スナヤツメ(北方種)	<i>Lethenteron</i> sp. N				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	生態系被害等の情報なし。				和歌山		
新規	58	国内由来の外来種	オオウナギ	<i>Anguilla marmorata</i>				-	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-	宮崎県では本種による捕食で在来魚が減少した可能性があると考えられるが、個体の由来は温暖化による来遊の増加。				宮崎		
新規(候補)	59	国内由来の外来種	キンギョ	<i>Carassius auratus auratus</i>	I、IV			○	○	-	-	-	○	-	-	-	◎	-	在来種との競合と駆逐の可能性、在来種との交雑による遺伝的攪乱の可能性が指摘されている。				北海道、茨城、滋賀		
新規	60	国内由来の外来種	キンブナ	<i>Carassius buergeri</i> subsp. 2				-	○	-	-	-	○	-	-	-	-	-	交雑による影響が懸念される。同所的に分布する在来魚は概ね日本の他地域で共存する関係にあり、競合や駆逐など直接的な影響は考えにくいとの見解もある。				北海道、山口、宮崎		
新規	61	国内由来の外来種	オオキンブナ	<i>Carassius buergeri burgeri</i>				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	生態系被害等の情報なし。				宮崎		
新規(候補)	62	国内由来の外来種	カゼトゲタナゴ	<i>Rhodeus atremius atremius</i>	I			○	◎	-	-	-	○	-	-	-	◎	○	岡山県、山口県に定着。千葉県でも確認。千葉県の外来種リストでは生態系へ不可逆的な影響を及ぼす可能性が高いとされてる。岡山県ではスイゲンゼニタナゴへの遺伝子浸透が生じている可能性が高い。				千葉、山口	国内外来種のタナゴ類として環境省関東	
新規	63	国内由来の外来種	ニッポンバラタナゴ	<i>Rhodeus ocellatus kurumeus</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	◎	○	生態系被害等の情報なし。				和歌山	国内外来種のタナゴ類として環境省関東	
新規	64	国内由来の外来種	ミヤコタナゴ	<i>Pseudorhodeus tanago</i>				◎?	◎?	-	-	-	○	-	-	-	-	○	千葉県の外来種リストでは生態系へ不可逆的な影響を及ぼす可能性が高いとされてる。基本的に流通はない。				千葉	国内外来種のタナゴ類として環境省関東	
新規(候補)	65	国内由来の外来種	日本産タナゴ亜科全種	Acheilognathinae spp.	I			○	◎	-	-	-	○	○	-	-	◎	○	ほぼ全種が国内外来種として本来の生息域外で確認されており、多くが絶滅危惧種であることもあり、交雑等による在来種に対する負の影響が大きいとされている。						
新規	66	国内由来の外来種	ゼゼラ属の一種	<i>Biwia</i> sp.				○	-	-	-	-	○	-	-	-	-	○	高知県外来種リストに競合の恐れが記されている。				高知		
新規	67	国内由来の外来種	ニゴイ属の一種	<i>Hemibarbus</i> sp.				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	高知県にはニゴイとコウライニゴイの雑種個体が移入されている。				高知		
新規	68	国内由来の外来種	カワヒガイ	<i>Sarcocheilichthys variegatus variegatus</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	○	○	生態系影響は不明。				千葉、和歌山、徳島、愛媛、宮崎		
新規(候補)	69	国内由来の外来種	コウライモロコ	<i>Squalidus chankaensis tsuchigae</i>	IV			-	-	-	-	-	○	-	-	-	○	○	生態系影響は不明。 九州では分布を拡大しており、さらなる分布の拡大やそれに伴う生態系影響について知見の集積が必要。				千葉、鳥取、高知		
新規	70	国内由来の外来種	デメモロコ	<i>Squalidus japonicus japonicus</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	○	○	山口県で確認。生態系影響は不明。				山口		
新規	71	国内由来の外来種	カワバタモロコ	<i>Hemigrammocypripis neglectus</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	○	-	和歌山県に移入され、定着初期とされている。生態系影響は不明。				和歌山		
新規	72	国内由来の外来種	アジメドジョウ	<i>Niwaella delicata</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	○	-	高知県で定着初期。生態系影響は不明。				高知		
新規(候補)	73	国内由来の外来種	ドジョウ	<i>Misgurnus anguillicaudatus</i>	I、IV			-	○	-	-	-	○	-	-	-	◎	○	沖縄県北部のヒョウモンドジョウ生息地に近接する地域に本州や中国由来のドジョウが確認されており、ヒョウモンドジョウに対する遺伝的かく乱が懸念されている。			○	北海道、奈良、鹿児島		
新規	74	国内由来の外来種	トミヨ	<i>Pungitius</i> sp.				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	に				和歌山		
新規	75	国内由来の外来種	ボラ	<i>Mugil cephalus cephalus</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	滋賀県で確認記録外来種。生態系影響や移入元などの詳細は不明。				滋賀		
新規(候補)	76	国内由来の外来種	ヒメダカ等のメダカ改良品種	<i>Oryzias latipes</i>	I			-	◎	-	-	-	○	-	-	-	◎	-	在来のみナミメダカやキタノメダカと容易に交雑して遺伝的かく乱を引き起こす。				青森、滋賀、奈良		
新規	77	国内由来の外来種	クルマサヨリ	<i>Hyporhamphus intermedius</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	滋賀県で確認記録外来種。生態系影響や移入元などの詳細は不明。				滋賀		
新規	78	国内由来の外来種	スズキ	<i>Lateolabrax japonicus</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	滋賀県で確認記録外来種。生態系影響や移入元などの詳細は不明。				滋賀		
新規	79	国内由来の外来種	カクレクマノミ	<i>Amphiprion ocellaris</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	○	-	串本町の海岸で明らかに観賞魚を遺棄した状況で見つけられた。繁殖は確認できていない。生態系影響は不明。				和歌山		
新規	80	国内由来の外来種	セジロクマノミ	<i>Amphiprion sandaracinos</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	○	-	串本町の海岸で明らかに観賞魚を遺棄した状況で見つけられた。繁殖は確認できていない。生態系影響は不明。				和歌山		
新規	81	国内由来の外来種	ウツセミカジカ	<i>Cottus reinii</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	吉野川流域で確認された。定着状況は不明。生態系影響は不明。				徳島		
新規	82	国内由来の外来種	ウキゴリ	<i>Gymnogobius urotaenia</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	○	-	生態系影響は不明。				高知		
新規	83	国内由来の外来種	イサザ	<i>Gymnogobius isaza</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	生態系影響は不明。				茨城		
新規	84	国内由来の外来種	ゴクラクハゼ					-	-	-	-	-	○	-	-	-	○	-	和歌山県のダム湖で定着。海外でも外来巢として定着している国がある。生態系影響は不明。				和歌山		
新規	85	国内由来の外来種	シマヒレヨシノボリ	<i>Rhinogobius</i> sp. BF				-	-	-	-	-	○	-	-	-	○	-	和歌山県の一部の河川で定着(県内に在来地域もある)。生態系影響は不明。				和歌山		
新規	86	国内由来の外来種	トウヨシノボリ類	<i>Rhinogobius</i> sp.				○	○	-	-	-	○	-	-	-	○	-	大規模な移動が生じているが、詳細不明。在来ヨシノボリ類との競合が懸念されている。トウカイヨシノボリとの交雑による置き換わりが生じている可能性がある。				和歌山、高知		
新規	87	国内由来の外来種	オウミヨシノボリ	<i>Rhinogobius</i> sp. OM				-	○	-	-	-	○	-	-	-	○	-	愛媛県内で広く定着。在来種との交雑のリスクが高いとされる。				愛媛		
新規	88	国内由来の外来種	カワヨシノボリ	<i>Rhinogobius flumineus</i>				○	-	-	-	-	○	-	-	-	○	-	本種が多く生息するようになった結果、在来ウキゴリ類が減少した地域がある。				和歌山		
新規	89	国内由来の外来種	チチブ	<i>Tridentiger obscurus</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	○	-	生態系影響は不明。				和歌山		

リスト加除対象の候補種一覧 <動物(昆虫類)>

 : 今回の検討から新たに候補として加わった種

- 継続

再検討

再検討(候補)

新規

新規(候補)
- : 現リストの掲載種

: 現リスト作成時に非掲載となった種で、今回も事務局としては非掲載と判断した種

: 現リスト作成時に非掲載となった種で、今回は事務局で掲載候補と判断した種

: 現リスト作成時に候補となっておらず、今回新たに検討対象としたが事務局で非掲載と判断した種

: 現リスト作成時に候補となっておらず、今回新たに検討対象とした結果、事務局で掲載候補と判断した種

【国外由来の外来種】

現リスト掲載種

2024.9.17版

検討区分	No	定着段階	和名(別名、流通名)	学名	選定理由	評価項目													備考	抽出方法					
						定着可能性		生態系被害				分布拡大		重要地域	特に問題となる被害		逸出・拡散			①外来法	②W100	③GISD	④各県	⑤意向調査	⑥その他
						生物	導入	競合	交雑	捕食摂食	生態系改変	繁殖	気候		人体	経済産業	利用	付着混入							
継続	1	未定着	外国産クワガタムシ (外国産マルバネクワガタ10種を除く)	Lucanidae Gen spp.	I	○	◎	○	◎	—	—	—	○	○	—	—	◎	—	大量に輸入・流通している、非有害動植物。				北海道、青森、茨城、千葉、長野、愛知、滋賀、京都、兵庫、愛媛、宮崎、鹿児島、沖縄		
継続	2	定着初期/限定分布	シロテンハナムグリ台湾亜種(サカイシロテンハナムグリ)	Protaetia orientalis sakaii	I	／	／	○	◎	—	—	—	○	—	—	—	—	○	検疫有害動物。				福岡、長崎、沖縄		
継続	3	未定着	外国産テナガコガネ属	Cheironotus spp.	I	○	—	◎	◎	—	—	—	○	○	—	—	○	—	多くは非有害動植物。	特定			長崎、沖縄		
継続	4	未定着	クモテナガコガネ属	Euchirus spp.	I	○	—	◎	—	—	—	—	○	○	—	—	○	—	いくつかの種は非有害動植物。	特定			長崎、沖縄		
継続	5	未定着	ヒメテナガコガネ属	Propomacrus spp.	I	○	—	◎	—	—	—	—	○	○	—	—	○	—	いくつかの種は非有害動植物。	特定			長崎、沖縄		
継続	6	未定着	外国産カブトムシ(サイカブトを除く)	Dynastinae Gen spp.	I	○	◎	○	—	—	—	—	○	○	—	—	◎	—	大量に輸入・流通している。検疫有害動物(輸入規制無の種もいる。「生きた昆虫・微生物などの規制に関するデータベース」を参照。)	特定	日本		茨城、長野、滋賀、京都、長崎、宮崎、沖縄		
継続	7	分布拡大大期～まん延期	クビアカツヤカミキリ(クロジャコウカミキリ)	Aromia bungii	I	／	／	—	—	○	—	—	○	—	—	○	—	○	サクラ等への影響が懸念、検疫有害動物。知見の集積が必要。	特定			茨城、栃木、愛知、滋賀、京都、大阪、兵庫、和歌山、徳島、香川、高知、長崎、沖縄		
継続	8	定着初期/限定分布	フェモラータオオモモトハムシ	Sagra femorata	IV	／	／	—	—	○	—	—	○	—	—	○	—	○	2008年頃三重に定着、分布拡大が目される。検疫有害動物、知見の集積が必要。				茨城、愛知、滋賀、愛媛、長崎、沖縄		
継続	9	定着初期/限定分布	カンショオサゾウムシ	Rhabdoscelus obscurus	I,II,III	／	／	—	—	◎	—	—	○	◎	—	◎	—	—	小笠原、大東諸島に侵入、小笠原固有種ノヤシを加害。検疫有害動物。		日本		長崎、沖縄		
継続	10	分布拡大大期～まん延期	ホソオチョウ(ホソオアゲハ)	Sericinus montela	I	／	／	◎	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	非検疫有害動物。				茨城、神奈川、長野、静岡、愛知、滋賀、京都、兵庫、奈良、山口、徳島、福岡、長崎、熊本、宮崎、沖縄		
継続	11	分布拡大大期～まん延期	アカボシゴマダラ大陸亜種(名義タイプ亜種)	Hestina assimilis assimilis	I	／	／	◎	—	—	—	—	◎	—	—	—	—	—	関東地方を中心に分布拡大大期、非検疫有害動物。	特定			北海道、福島、茨城、栃木、千葉、神奈川、長野、静岡、愛知、兵庫、徳島、長崎、沖縄		
継続	12	定着初期/限定分布	アカカミアリ	Solenopsis geminata	I,III	／	／	◎	—	◎	—	◎	○	○	◎	◎	—	◎	火山列島硫黄島に定着、検疫有害動物。	特定(要緊急)	IUCN	○	茨城、栃木、千葉、長野、愛知、滋賀、京都、大阪、山口、徳島、香川、高知、長崎、沖縄		
継続	13	未定着	ヒアリ(アカヒアリ)	Solenopsis invicta	I,III	○	◎	◎	—	◎	—	◎	○	—	◎	◎	—	◎	検疫有害動物。	特定(要緊急)	IUCN	○	茨城、栃木、千葉、愛知、滋賀、京都、大阪、兵庫、徳島、香川、高知、長崎、熊本、沖縄		
継続	14	分布拡大大期～まん延期	アルゼンチンアリ	Linepithema humile	I,III	／	／	◎	—	◎	—	○	○	—	—	◎	—	◎	検疫有害動物。	特定	日本・IUCN	○	神奈川、静岡、愛知、滋賀、京都、大阪、兵庫、山口、徳島、香川、高知、長崎、沖縄		
継続	15	未定着	コカミアリ	Wasmannia auropunctata	I,III	○	○	◎	—	◎	—	○	○	—	—	◎	—	○	非有害動植物。	特定	IUCN	○	栃木、徳島、長崎、沖縄		
継続	16	定着初期/限定分布	チャイロネツタイズバチ	Delta pyriforme	IV	／	／	—	—	○	—	—	○	○	—	—	—	○	小笠原諸島に定着、知見の集積が必要。				長崎、沖縄		
継続	17	定着初期/限定分布	ナンヨウチビアシナガバチ	Ropalidia marginata	IV	／	／	—	—	○	—	—	○	○	—	—	—	○	火山列島硫黄島に定着、知見の集積が必要。				長崎、沖縄		
継続	18	定着初期/限定分布	ツマアカスズメバチ	Vespa velutina	I,III	／	／	○	—	○	—	○	○	○	◎	—	—	○	キロスズメバチへの繁殖干渉の影響が懸念されている。	特定	日本		滋賀、大阪、徳島、香川、高知、長崎、熊本、宮崎、沖縄		
継続	19	未定着	アフリカミツバチとアフリカ化ミツバチ	Apis mellifera scutellata	III	○	○	—	—	—	—	—	○	—	◎	—	○	—	日本では家畜伝染予防法で輸入規制有。			○	長崎、沖縄		
継続	20	定着初期/限定分布	セイヨウオオマルハナバチ	Bombus terrestris	I	／	／	◎	○	—	—	—	○	○	◎	—	◎	—	北海道に定着、非有害動植物。	特定	日本		北海道、青森、福島、茨城、千葉、神奈川、長野、静岡、滋賀、京都、兵庫、高知、長崎、熊本、宮崎、沖縄		

リスト加除対象の候補種一覧　＜動物(昆虫類)＞

：今回の検討から新たに候補として加わった種

- 継続

再検討

再検討(候補)

新規

新規(候補)
- ：現リストの掲載種

：現リスト作成時に非掲載となった種で、今回も事務局としては非掲載と判断した種

：現リスト作成時に非掲載となった種で、今回は事務局で掲載候補と判断した種

：現リスト作成時に候補となっておらず、今回新たに検討対象としたが事務局で非掲載と判断した種

：現リスト作成時に候補となっておらず、今回新たに検討対象とした結果、事務局で掲載候補と判断した種

【国外由来の外来種】

2024.9.17版

リスト作成後の情報追加により再検討を行う種(順不同)

検討区分	No	定着段階	和名(別名、流通名)	学名	選定理由	評価項目													備考	抽出方法					
						定着可能性		生態系被害				分布拡大		重要地域	特に問題となる被害		逸出・拡散			①外来法	②W100	③GISD	④各県	⑤意向調査	⑥その他
						生物	導入	競合	交雑	捕食摂食	生態系改変	繁殖	気候		人体	経済産業	利用	付着混入							
再検討	21	定着初期/限定分布	アヤトビムシ科の一種	Entomobrya unostrigata				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	関東地方に定着か。			○			
再検討	22	分布拡大大期～まん延期	セイヨウシミ	Lepisma saccharina				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	家屋害虫、自然生態系への影響小。				北海道、青森、福島、滋賀、奈良、和歌山、鳥取、山口、福岡		
再検討	23	定着初期/限定分布	マダラシミ	Thermobia domestica				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	家屋害虫、自然生態系への影響小。						
再検討	24	小笠原・南西諸島	イエゴキブリ	Neostylopyga rhombifolia				-	-	-	-	-	○	-	-	-	○	-	九州南部・南西諸島等に定着、非有害動物植物？ペット利用あり(ハーレクインローチ)。				沖縄		
再検討	25	分布拡大大期～まん延期	ワモンゴキブリ	Periplaneta americana				-	-	-	-	-	○	-	-	○	○	-	家屋害虫。本土部太平洋岸の都市部・南西諸島・小笠原諸島に定着。非有害動物植物？実験動物として用いられる。ホワイトアイのペット流通を確認している。				北海道、千葉、愛知、滋賀、京都、和歌山、徳島、高知、宮崎		
再検討	26	分布拡大大期～まん延期	コワモンゴキブリ	Periplaneta australasiae				-	-	-	-	-	○	-	-	○	-	-	家屋害虫。九州南部・南西諸島、小笠原諸島に定着、非有害動物植物？				北海道、福島、千葉、愛知		
再検討	27	定着初期/限定分布	トビイロゴキブリ	Periplaneta brunnea				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	家屋害虫、自然生態系への影響小、非有害動物植物？				北海道、愛知、沖縄		
再検討	28	分布拡大大期～まん延期	クロゴキブリ	Periplaneta fluginosa				-	-	-	-	-	○	-	-	○	-	-	家屋害虫。西南日本では在来種の可能性あり、非有害動物植物？				北海道、青森、茨城、千葉、愛知、滋賀、奈良、和歌山、鳥取、山口、徳島、高知、宮崎		
再検討	29	定着初期/限定分布	トルキスタンゴキブリ	Shelfordella lateralis (Periplaneta lateralis)				-	-	-	-	-	○	-	-	-	○	-	家屋害虫、自然生態系への影響小、非有害動物植物？ペットと利用あり(レッドローチ)。				奈良		
再検討	30	分布拡大大期～まん延期	チャバネゴキブリ	Blattella germanica				-	-	-	-	-	○	-	-	○	-	○	家屋害虫、自然生態系への影響小、検疫有害動物植物。		日本		北海道、青森、福島、茨城、千葉、愛知、京都、奈良、和歌山、鳥取、山口、徳島、高知、福岡、宮崎、鹿児島		
再検討	31	定着初期/限定分布	ヨウランゴキブリ	Shelfordina orchidae				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	施設内のみの定着？、自然生態系への影響小、検疫有害動物植物。				北海道、千葉		
再検討	32	小笠原・南西諸島	チャオビゴキブリ	Supella longipalpa				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	家屋害虫、自然生態系への影響小、非有害動物植物。						
再検討	33	小笠原・南西諸島	ハイイロゴキブリ	Nauphoeta cinerea				-	-	-	-	-	○	-	-	○	○	-	家屋害虫、自然生態系への影響小、非有害動物植物？ 実験動物や餌としての利用あり。				沖縄		
再検討	34	未定着？ or 定着初期/限定分布	ニシインドカンザイシロアリ	Cryptotermes brevis				-	-	-	-	-	○	-	-	○	-	-	家屋害虫、自然生態系への影響小、検疫有害動物植物。						
再検討	35	定着初期/限定分布	ハワイシロアリ	Incisitermes immigrans				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	検疫有害動物植物。						
再検討	36	分布拡大大期～まん延期	アメリカカンザイシロアリ	Incisitermes minor				-	-	-	-	-	○	○	-	◎	-	-	家屋害虫、自然生態系への影響小、非有害動物植物。				千葉、和歌山、山口、福岡、宮崎、鹿児島		
再検討	37	分布拡大大期～まん延期	イエシロアリ	Coptotermes formosanus				-	-	-	-	-	○	○	-	◎	-	-	在来種とする説が有力、小笠原のは海外由来の外来種、非検疫有害動物植物。		日本・IUCN	○	愛知、和歌山、山口、高知、宮崎、鹿児島	地方公共団体	
再検討	38	定着初期/限定分布	カンモンシロアリ	Coptotermes kanmonensis				-	-	-	-	-	○	-	-	○	-	-	家屋害虫。検疫有害動物植物。				山口、福岡		
再検討	39	定着初期/限定分布	アメリカオオシロアリ	Zootermopsis angusticollis				-	-	-	-	-	○	-	-	○	-	-	家屋害虫。						
再検討	40	定着初期/限定分布	ネバダオオシロアリ	Zootermopsis nevadensis				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-							
再検討	41	小笠原・南西諸島	ナンヨウカマギリ	Orthodera ministralis				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	小笠原諸島のみに分布？						
再検討	42	小笠原・南西諸島	ナンヨウツユムシ	Phaneroptera furcicera				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	硫黄島に分布？検疫有害動物植物。						
再検討	43	分布拡大大期～まん延期？	ヨーロッパイエコオロギ(イエコオロギ)	Acheta domesticus				-	-	-	-	-	○	-	-	-	◎	-	検疫有害動物。非検疫有害動物植物、食品利用有(輸入物)。				北海道		
再検討	44	分布拡大大期～まん延期	カマドコオロギ(トウキョウコオロギ、ウスイロコバネコオロギ)	Gryllobes sigillatus				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	非有害動物植物。				愛知、山口、宮崎		
再検討	45	定着初期/限定分布	コモダスエンマコオロギ	Teleogryllus marni				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	検疫有害動物植物。						
再検討	46	分布拡大大期～まん延期	アオマツムシ	Trujalia hibernonis				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	検疫有害動物植物。				福島、茨城、千葉、愛知、滋賀、京都、奈良、和歌山、鳥取、山口、高知、福岡、熊本、宮崎、鹿児島		
再検討	47	定着初期/限定分布	フタイロヒバリ	Homoeoxipha lycoides				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	検疫有害動物植物。						
再検討	48	分布拡大大期～まん延期	ウスグモズ	Amusurgus genji				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	検疫有害動物植物。				福島、茨城、千葉、愛知、滋賀、京都、奈良、和歌山、高知、福岡	環境省関東	
再検討	49	分布拡大大期～まん延期	ヒラタチャタテ	Liposcelis bostrychophilus (Liposcelis bostrychophila)				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	家屋害虫、自然生態系への影響小。非有害動物植物(チャタテムシ目で非有害と判断)。				奈良、和歌山、高知、福岡		
再検討	50	？	ウスグロチャタテ	Liposcelis crrodens				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	家屋害虫、自然生態系への影響小。非有害動物植物(チャタテムシ目で非有害と判断)。						
再検討	51	？	カツブシチャタテ	Liposcelis entomophilus				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	家屋害虫、自然生態系への影響小。非有害動物植物(チャタテムシ目で非有害と判断)。				北海道		
再検討	52	分布拡大大期～まん延期	コナチャタテ	Liposcelis simulans				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	家屋害虫、自然生態系への影響小。非有害動物植物(チャタテムシ目で非有害と判断)。				山口		
再検討	53	？	ソウメンチャタテ	Liposcelis kidderi				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	家屋害虫、自然生態系への影響小。非有害動物植物(チャタテムシ目で非有害と判断)。						

リスト加除対象の候補種一覧　＜動物(昆虫類)＞

：今回の検討から新たに候補として加わった種

継続	：現リストの掲載種
再検討	：現リスト作成時に非掲載となった種で、今回も事務局としては非掲載と判断した種
再検討(候補)	：現リスト作成時に非掲載となった種で、今回は事務局で 掲載候補と判断 した種
新規	：現リスト作成時に候補となっておらず、今回新たに検討対象としたが事務局で非掲載と判断した種
新規(候補)	：現リスト作成時に候補となっておらず、今回新たに検討対象とした結果、事務局で 掲載候補と判断 した種

【国外由来の外来種】

2024.9.17版

リスト作成後の情報追加により再検討を行う種(順不同)

検討区分	No	定着段階	和名(別名、流通名)	学名	選定理由	評価項目														備考	抽出方法					
						定着可能性		生態系被害				分布拡大		重要地域	特に問題となる被害		逸出・拡散		①外来法		②W100	③GISD	④各県	⑤意向調査	⑥その他	
						生物	導入	競合	交雑	捕食摂食	生態系改変	繁殖	気候		人体	経済産業	利用	付着混入								
再検討	54	?	ツヤコチャタテ	<i>Lepinotus reticulatus</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	家屋害虫。自然生態系への影響小。非有害動植物(チャタテムシ目で非有害と判断)。								
再検討	55	分布拡大期～まん延期?	コチャタテ	<i>Trogium pulsatorium</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	家屋害虫。自然生態系への影響小。非有害動植物(チャタテムシ目で非有害と判断)。			和歌山					
再検討	56	定着初期/限定分布?	トガリチャタテ	<i>Tapinella africana</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	家屋害虫。自然生態系への影響小。非有害動植物(チャタテムシ目で非有害と判断)。								
再検討	57	定着初期/限定分布?	カトレアザミウマ	<i>Trichomothrips xanthius</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	農業害虫。自然生態系への影響小。検疫有害動物。								
再検討	58	分布拡大期～まん延期	モトジロアザミウマ	<i>Echinothrips americanus</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	○	-	農業害虫。自然生態系への影響小。非検疫有害動植物。				福島、愛知、高知、宮崎				
再検討	59	分布拡大期～まん延期	ミカンキイロアザミウマ	<i>Frankliniella occidentalis</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	◎	-	農業害虫。自然生態系への影響小。非検疫有害動植物(栽培用に供する植物に付着するものを除く)。		日本		北海道、青森、福島、茨城、千葉、愛知、滋賀、京都、奈良、和歌山、山口、高知、福岡、宮崎、鹿児島、沖縄				
再検討	60	分布拡大期～まん延期	クロトンアザミウマ	<i>Heliothrips haemorrhoidalis</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	○	-	農業害虫。自然生態系への影響小。非検疫有害動物。				福島、茨城、千葉、和歌山、高知、宮崎				
再検討	61	分布拡大期～まん延期?	クリバネアザミウマ	<i>Hercinothrips femoralis</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	○	-	農業害虫。自然生態系への影響小。非検疫有害動植物。				高知、宮崎				
再検討	62	分布拡大期～まん延期	チャノキイロアザミウマ	<i>Scirtothrips dorsalis</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	◎	-	農業害虫。自然生態系への影響小。非検疫有害動物(栽培の用に供する植物に付着するものを除く)。在来種の可能性有。				北海道、宮崎				
再検討	63	分布拡大期～まん延期	アカオビアザミウマ	<i>Selenothrips rubrocinctus</i>				-	-	-	-	-	○	○	-	○	-	農業害虫。自然生態系への影響小。非検疫有害動物。				高知、沖縄				
再検討	64	分布拡大期～まん延期	ナシアザミウマ	<i>Taeniothrips inconsequens</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	○	-	検疫有害動物。				福島、茨城、千葉				
再検討	65	分布拡大期～まん延期	ハナアザミウマ	<i>Thrips hawaiiensis</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	○	-	非検疫有害動植物。				青森、福島、茨城、千葉、愛知、奈良、和歌山、高知、福岡、宮崎				
再検討	66	分布拡大期～まん延期	ミナミキイロアザミウマ	<i>Thrips palmi</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	◎	-	農業害虫。自然生態系への影響小。非検疫有害動物(栽培の用に供する植物に付着するものを除く)。		日本		福島、茨城、千葉、愛知、滋賀、京都、奈良、和歌山、山口、高知、福岡、宮崎、沖縄				
再検討	67	分布拡大期～まん延期	グラジオラスアザミウマ	<i>Thrips simplex</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	○	-	農業害虫。自然生態系への影響小。非検疫有害動植物。				北海道、青森、茨城、千葉、愛知、京都、山口、宮崎、鹿児島、沖縄				
再検討	68	分布拡大期～まん延期	ネギアザミウマ	<i>Thrips tabaci</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	○	-	農業害虫。自然生態系への影響小。非検疫有害動植物。				青森、福島、茨城、千葉、愛知、滋賀、京都、奈良、和歌山、山口、高知、福岡、宮崎				
再検討	69	小笠原・南西諸島	ガジュマルクダアザミウマ	<i>Gynaikothrips ficorum</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	ガジュマルに寄生。検疫有害動物。								
再検討	70	分布拡大期～まん延期	カキクダアザミウマ	<i>Ponticulothrips diospyrosi</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	○	-	カキに寄生。農業害虫。自然生態系への影響小。検疫有害動物。				青森、福島、千葉、愛知、滋賀、京都、奈良、和歌山、山口、高知、宮崎、鹿児島				
再検討	71	分布拡大期～まん延期	スベスベメロアザミウマ	<i>Merothrips laevis</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	検疫有害動物。								
再検討	72	分布拡大期～まん延期?	フロリダメロアザミウマ	<i>Merothrips floridensis</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	検疫有害動物。				福島				
再検討	73	小笠原・南西諸島	アリガタシマアザミウマ	<i>Franklinothrips vespiformis</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	検疫有害動物。天敵農薬で使用されている。				奈良、沖縄				
再検討	74	小笠原・南西諸島	クロフツノウンカ(サトウノウシウンカ)	<i>Perkinsiella saccharicida</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	○	-	トウモロコシに寄生。自然生態系への影響小。検疫有害動物。				沖縄				
再検討	75	定着初期/限定分布	チュウゴクナシギジラミ	<i>Cacopsylla chinensis</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	◎	-	ナシに寄生。自然生態系への影響小。検疫有害動物。				山口				
再検討	76	分布拡大期～まん延期	マンゴーキジラミ	<i>Calophya mangiferae</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	○	-	マンゴーに寄生。自然生態系への影響小。検疫有害動物。				沖縄				
再検討	77	小笠原・南西諸島	ギンネムキジラミ	<i>Heteropsylla cubana</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	ギンネムに寄生。検疫有害動物。				沖縄				
再検討	78	分布拡大期～まん延期	チャトゲコナジラミ	<i>Aleurocanthus camelliae</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	○	-	検疫有害動物。				千葉、愛知、京都、奈良、和歌山、山口、福岡、宮崎				
再検討	79	分布拡大期～まん延期	ミカントゲコナジラミ	<i>Aleurocanthus spiniferus</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	○	-	非検疫有害動植物。				茨城、愛知、滋賀、奈良、和歌山、山口、高知、福岡、宮崎				
再検討	80	小笠原・南西諸島	ミカンワタコナジラミ(ウーリーコナジラミ)	<i>Aleurothrixus floccosus</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	○	-	農業害虫。自然生態系への影響小。検疫有害動物。				沖縄				
再検討	81	分布拡大期～まん延期	タバココナジラミ(ワタコナジラミ)	<i>Bemisia tabaci</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	◎	-	農業害虫。自然生態系への影響小。検疫有害動物。在来の系統と外来の系統があり、外来系統が大量虫。		IUCN		○	青森、福島、千葉、愛知、滋賀、京都、奈良、和歌山、鳥取、山口、高知、福岡、宮崎、鹿児島、沖縄			
再検討	82	分布拡大期～まん延期	イチゴコナジラミ	<i>Trialeurodes packardii</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	○	-	農業害虫。自然生態系への影響小。検疫有害動物。				北海道				
再検討	83	分布拡大期～まん延期	オンシツコナジラミ	<i>Trialeurodes vaporariorum</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	◎	-	農業害虫。自然生態系への影響小。非検疫有害動物(栽培の用に供する植物に付着するものを除く)。		日本		北海道、青森、福島、茨城、千葉、滋賀、京都、奈良、和歌山、山口、徳島、高知、福岡、宮崎、鹿児島、沖縄				
再検討	84		ジンチョウゲヒゲナガアブラムシ	<i>Acythosiphon argus</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	検疫有害動物。				千葉				
再検討	85		クサノオウヒゲナガアブラムシ	<i>Acythosiphon chelidonii</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	検疫有害動物。								
再検討	86	分布拡大期～まん延期	マメクロアブラムシ	<i>Aphis fabae fabae</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	非検疫有害動植物(栽培の用に供する植物に付着するものを除く)。								
再検討	87	分布拡大期～まん延期	イヌホオズキクロアブラムシ	<i>Aphis fabae solanella</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	非検疫有害動植物(栽培の用に供する植物に付着するものを除く)。				高知				
再検討	88		キヅタクロアブラムシ	<i>Aphis hederæ</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	検疫有害動物。								

リスト加除対象の候補種一覧　＜動物(昆虫類)＞

：今回の検討から新たに候補として加わった種

継続	：現リストの掲載種
再検討	：現リスト作成時に非掲載となった種で、今回も事務局としては非掲載と判断した種
再検討(候補)	：現リスト作成時に非掲載となった種で、今回は事務局で 掲載候補と判断 した種
新規	：現リスト作成時に候補となっておらず、今回新たに検討対象としたが事務局で非掲載と判断した種
新規(候補)	：現リスト作成時に候補となっておらず、今回新たに検討対象とした結果、事務局で 掲載候補と判断 した種

【国外由来の外来種】

2024.9.17版

リスト作成後の情報追加により再検討を行う種(順不同)

検討区分	No	定着段階	和名(別名、流通名)	学名	選定理由	評価項目														備考	抽出方法					
						定着可能性		生態系被害				分布拡大		重要地域	特に問題となる被害		逸出・拡散		①外来法		②W100	③GISD	④各県	⑤意向調査	⑥その他	
						生物	導入	競合	交雑	捕食摂食	生態系改変	繁殖	気候		人体	経済産業	利用	付着混入								
再検討	89	分布拡大期～まん延期	キョウチクトウアブラムシ	<i>Aphis nerii</i>				-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	非検疫有害動植物。				茨城、千葉、京都、福岡				
再検討	90		マンヨイグサアブラムシ	<i>Aphis oenotherae</i>				-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	検疫有害動物。								
再検討	91	分布拡大期～まん延期	タンポポアブラムシ	<i>Aphis taraxacicola</i>				-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	在来種の可能性あり。検疫有害動物。								
再検討	92	未定着	キナラ・カブレシ	<i>Cinara cupressi</i>		○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	検疫有害動物。		IUCN	○					
再検討	93		チューリップネアブラムシ	<i>Dysaphis tulipae</i>				-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	非検疫有害動植物。				千葉				
再検討	94	分布拡大期～まん延期	リンゴワタムシ(リンゴメンチュウ、メンチュウ)	<i>Eriosoma lanigerum</i>				-	-	-	-	○	-	-	○	-	-	非検疫有害動植物。				北海道、青森				
再検討	95		オヒシバクロアブラムシ(ホモノクロアブラムシ、エノコログササビロアブラムシ)	<i>Hysteroneura setariae</i>				-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	検疫有害動物。								
再検討	96		ツツジヒゲナガアブラムシ	<i>Illinoia lambersi</i>				-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	検疫有害動物。								
再検討	97		ユリノキヒゲナガアブラムシ	<i>Illinoia lirioidendri</i>				-	-	-	-	○	-	-	○	-	-	検疫有害動物。								
再検討	98		フウナガマダラオオアブラムシ	<i>Longistigma liquidambarus</i>				-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	検疫有害動物。				高知				
再検討	99	分布拡大期～まん延期	チューリップヒゲナガアブラムシ	<i>Macrosiphum euphorbiae</i>				-	-	-	-	○	-	-	○	-	-	非検疫有害動植物(栽培の用に供する植物に付着するものを除く。)				青森				
再検討	100		ムギウスイロアブラムシ	<i>Metopolophium dirhodum</i>				-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	在来種の可能性あり。検疫有害動物。								
再検討	101		ヘビイチゴコブアブラムシ	<i>Myzus ornatus</i>				-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	検疫有害動物。非検疫有害動植物(栽培の用に供する植物に付着するものを除く。)								
再検討	102		レタスヒゲナガアブラムシ	<i>Nasonovia ribisnigri</i>				-	-	-	-	○	-	-	○	-	-	検疫有害動物。				福岡				
再検討	103	分布拡大期～まん延期	ムギクビレアブラムシ(キビクビレアブラムシ)	<i>Rhopalosiphum padi</i>				-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	検疫有害動物。非検疫有害動植物(栽培の用に供する植物に付着するものを除く。)				青森、茨城、山口、高知、宮崎				
再検討	104	分布拡大期～まん延期	アルファルファアブラムシ	<i>Therioaphis trifolii</i>				-	-	-	-	○	-	-	○	-	-	検疫有害動物。				山口、福岡				
再検討	105	分布拡大期～まん延期	セイタカアワダチソウヒゲナガアブラムシ	<i>Uroleucon nigrotuberculatum</i>				-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	検疫有害動物。				福島、千葉、愛知、滋賀、京都、奈良、高知、福岡				
再検討	106		ヒメムカシヨモギヒゲナガアブラムシ(ピンボウグサヒゲナガアブラムシ)	<i>Uroleucon erigeronensis</i>				-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	検疫有害動物。								
再検討	107		タンポポヒゲナガアブラムシ	<i>Uroleucon taraxaci</i>				-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	検疫有害動物。								
再検討	108	未定着	アデルゲス・ビクアエ	<i>Adelges piceae</i>		○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	検疫有害動植物(省令で記載)。			○					
再検討	109		キナコネアブラムシ(キナコムシ)	<i>Aphanostigma iaksuiense</i>				-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	在来種の可能性あり。検疫有害動物。								
再検討	110		クリイガアブラムシ(クリキナコムシ)	<i>Moritziaella castaneivora</i>				-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	在来種の可能性あり、非検疫有害動植物。				山口、宮崎				
再検討	111		ブドウネアブラムシ(ブドウフィロキセラ)	<i>Viteus vitifoliae</i>				-	-	-	-	○	-	-	○	-	-	ブドウの害虫。検疫有害動物。				北海道、京都、鳥取				
再検討	112	未定着	オルテシア・インシグニス	<i>Orthezia insignis</i>		○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	検疫有害動物。			○					
再検討	113	分布拡大期～まん延期	イセリアカイガラムシ(ワタフキカイガラムシ)	<i>Icerya purchasi</i>				-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	非検疫有害動植物。			○	北海道、茨城、千葉、愛知、京都、奈良、和歌山、山口、高知、福岡、宮崎、沖縄				
再検討	114	分布拡大期～まん延期？	キイロワタフキカイガラムシ(オガタワタフキカイガラムシ)	<i>Icerya seychellarum</i>				-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	非検疫有害動植物。								
再検討	115	分布拡大期～まん延期	チガヤシロオカイガラムシ(カンジョノフクロカイガラムシ)	<i>Antonina graminis</i>				-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	検疫有害動物。				山口、福岡、宮崎				
再検討	116	分布拡大期～まん延期？	バイナツブルコナカイガラムシ(バインコナカイガラムシ)	<i>Dysmicoccus brevipes</i>				-	-	-	-	○	-	-	○	-	-	検疫有害動物。				沖縄				
再検討	117		サボテンコナカイガラムシ	<i>Hypogeococcus spinosus</i>				-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	検疫有害動物。								
再検討	118	未定着	オラケッラ・アキュータ	<i>Oracella acuta</i>		○	○	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	検疫有害動物。			○					
再検討	119	分布拡大期～まん延期	マデイラコナカイガラムシ(メキシココナカイガラムシ)	<i>Phenacoccus madeirensis</i>				-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	非検疫有害動植物。				千葉、高知、沖縄				
再検討	120	分布拡大期～まん延期？	ミカンコナカイガラムシ	<i>Planococcus citri</i>				-	-	-	-	○	-	-	○	-	-	検疫有害動物。				茨城、和歌山、宮崎				
再検討	121		サボテンネコナカイガラムシ	<i>Rhizoecus cacticans</i>				-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	検疫有害動植物(Rhizoecidaeとしても記載なし)。								
再検討	122		サボテンフクロカイガラムシ	<i>Rhizococcus coccineus</i>				-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	非検疫有害動植物。								
再検討	123	定着初期/限定分布	ピンオークタマカイガラムシ	<i>Allokermes galliformis</i>				-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	検疫有害動物。								
再検討	124	分布拡大期～まん延期	ルビーロウムシ(ルビーロウカイガラムシ、ルビーカイガラムシ)	<i>Ceroplastes rubens</i>				-	-	-	-	○	○	-	○	-	-	非検疫有害動植物。				茨城、愛知、奈良、和歌山、山口、高知、福岡、宮崎	環境省関東			
再検討	125	分布拡大期～まん延期？	フロリダロウムシ	<i>Ceroplastes floridensis</i>				-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	非検疫有害動植物。								
再検討	126	分布拡大期～まん延期？	ナガカタカイガラムシ(フトナガカイガラムシ)	<i>Coccus longulus</i>				-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	検疫有害動物。				和歌山				
再検討	127	分布拡大期～まん延期？	ミドリカタカイガラムシ	<i>Coccus viridis</i>				-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	非検疫有害動植物。								
再検討	128	定着初期/限定分布？	カメノコロウカタカイガラムシ(キッコウカタカイガラムシ)	<i>Eucalymnatus tessellatus</i>				-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	検疫有害動物。				和歌山				
再検討	129	分布拡大期～まん延期	クチナシカタカイガラムシ(マンゴーカタカイガラムシ)	<i>Milviscutulus mangiferae</i>				-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	非検疫有害動植物。				滋賀、京都、奈良、沖縄				
再検討	130	分布拡大期～まん延期？	クロカタカイガラムシ	<i>Parasaissetia nigra</i>				-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	非検疫有害動植物。								
再検討	131	定着初期/限定分布	イティカタカイガラムシ	<i>Parthenolecanium pomeranicum</i>				-	-	-	-	○	-	-	○	-	-	検疫有害動物。				北海道				
再検討	132	分布拡大期～まん延期？	ミドリワタカイガラムシ(サカキワタカイガラムシ)	<i>Pulvinaria psidii</i>				-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	非検疫有害動植物。				沖縄				
再検討	133	分布拡大期～まん延期？	オリーブカタカイガラムシ	<i>Saissetia oleae</i>				-	-	-	-	○	-	-	○	-	-	検疫有害動物。								

リスト加除対象の候補種一覧 <動物(昆虫類)>

：今回の検討から新たに候補として加わった種

継続	：現リストの掲載種
再検討	：現リスト作成時に非掲載となった種で、今回も事務局としては非掲載と判断した種
再検討(候補)	：現リスト作成時に非掲載となった種で、今回は事務局で掲載候補と判断した種
新規	：現リスト作成時に候補となっておらず、今回新たに検討対象としたが事務局で非掲載と判断した種
新規(候補)	：現リスト作成時に候補となっておらず、今回新たに検討対象とした結果、事務局で掲載候補と判断した種

【国外由来の外来種】

2024.9.17版

リスト作成後の情報追加により再検討を行う種(順不同)

検討区分	No	定着段階	和名(別名、流通名)	学名	選定理由	評価項目														備考	抽出方法					
						定着可能性		生態系被害				分布拡大		重要地域	特に問題となる被害		逸出・拡散		①外来法		②W100	③GISD	④各県	⑤意向調査	⑥その他	
						生物	導入	競合	交雑	捕食摂食	生態系改変	繁殖	気候		人体	経済産業	利用	付着混入								
再検討	134	分布拡大期～まん延期？	ハンエンカタカイガラムシ(ヤマタカカタカイガラムシ、ヤマタカイガラムシ)	Saissetia coffeae				—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	非検疫有害動植物。							
再検討	135	未定着	トウメイエツラ・バルビコルニス	Toumeyella parvicornis		○	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	検疫有害動物。			○				
再検討	136	分布拡大期～まん延期？	シュロマルカイガラムシ	Hemiberlesia cyanophylli				—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	非検疫有害動植物。							
再検討	137		ジャワマルカイガラムシ	Hemiberlesia palmae				—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	非検疫有害動植物。							
再検討	138	分布拡大期～まん延期？	マンゴーシロカイガラムシ	Aulacaspis tubercularis				—	—	—	—	—	○	—	—	○	—	—	検疫有害動物。				沖縄			
再検討	139	分布拡大期～まん延期？	ハワイカキカイガラムシ	Andaspis hawaiiensis				—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	検疫有害動物。							
再検討	140	分布拡大期～まん延期？	アカマルカイガラムシ	Aonidiella aurantii				—	—	—	—	—	○	—	—	○	—	—	非検疫有害動植物。				和歌山			
再検討	141	分布拡大期～まん延期？	キマルカイガラムシ	Aonidiella citrina				—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	非検疫有害動植物。							
再検討	142	定着初期/限定分布	インドアカマルカイガラムシ	Aonidiella comperei				—	—	—	—	—	○	—	—	○	—	—	マンゴーに寄生。自然生態系への影響小。検疫有害動物。				宮崎			
再検討	143	定着初期/限定分布？	オスベッキーマルカイガラムシ	Aonidiella orientalis				—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	非検疫有害動植物。							
再検討	144	定着初期/限定分布？	クサギウスマルカイガラムシ	Aspidiotus excisus				—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	非検疫有害動植物。							
再検討(候補)	145	定着初期/限定分布	ソテツシロカイガラムシ	Aulacaspis yasumatsui	IV			—	—	○	—	◎	○	○	—	—	—	◎	検疫有害動物。ソテツを加害。奄美、沖縄で確認。			○	沖縄	農林水産省、環境省、環境省沖縄奄美、地方公共団体		
再検討	146	分布拡大期～まん延期？	アカホシマルカイガラムシ	Chrysomphalus aonidum				—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	非検疫有害動植物。							
再検討	147	分布拡大期～まん延期？	オンシツマルカイガラムシ(ミカンノマルカイガラモドキ)	Chrysomphalus dictyospermi				—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	検疫有害動物。							
再検討	148		ランシロカイガラムシ(ランカイガラムシ)	Diaspis boisduvalii				—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	非検疫有害動植物。				沖縄			
再検討	149	定着初期/限定分布？	アナナスシロカイガラムシ(パイナップルシロカイガラムシ、バインシロカイガラムシ)	Diaspis bromeliae				—	—	—	—	—	○	—	—	○	—	—	パイナップルの害虫。非検疫有害動植物。				沖縄			
再検討	150		サボテンシロカイガラムシ(サボテンマルカイガラムシ)	Diaspis echinocacti				—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	非検疫有害動植物。							
再検討	151	分布拡大期～まん延期？	コノハカイガラムシ	Fiorinia florinae				—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	非検疫有害動物。							
再検討	152		アナナスクロホシカイガラムシ	Gymnaspis aechmeae				—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	検疫有害動物。							
再検討	153	定着初期/限定分布	マツノハマルカイガラムシ	Hemiberlesia pitysophila				—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	検疫有害動物。			○				
再検討	154	定着初期/限定分布？	クロイトカイガラムシ	Ischnaspis longirostris				—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	検疫有害動物。							
再検討	155	分布拡大期～まん延期	ハワードシロナガカイガラムシ	Kuwanaspis howardi				—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	検疫有害動物。							
再検討	156	小笠原諸島・南西諸島？	ミカンカキカイガラムシ	Lepidosaphes beckii				—	—	—	—	—	○	—	—	○	—	—	非検疫有害動植物。							
再検討	157	分布拡大期～まん延期	カキノカキカイガラムシ	Lepidosaphes cupressi				—	—	—	—	—	○	—	—	○	—	—	検疫有害動物。				沖縄			
再検討	158	分布拡大期～まん延期	リンゴカキカイガラムシ	Lepidosaphes ulmi				—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	検疫有害動物。				青森			
再検討	159	定着初期/限定分布？	パイナップルクロマルカイガラムシ	Melanaspis bromiliae				—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	非検疫有害動植物。				沖縄			
再検討	160	定着初期/限定分布	カシクロマルカイガラムシ	Melanaspis obscura				—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	検疫有害動物。							
再検討	161	分布拡大期～まん延期	イチジクマルカイガラムシ(カンキツノクロマルカイガラムシ)	Morganella longispina				—	—	—	—	—	○	—	—	○	—	—	検疫有害動物。							
再検討	162	定着初期/限定分布？	ナガクロホシカイガラムシ	Parlatoria proteus				—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	非検疫有害動植物。							
再検討	163	分布拡大期～まん延期	ヒメクロカイガラムシ(クロイロクロホシカイガラムシ)	Parlatoria ziziphi				—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	非検疫有害動植物。							
再検討	164	定着初期/限定分布？	ハイビスカスシロカイガラムシ	Pinnaspis hibisci				—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	検疫有害動物。				沖縄			
再検討	165		ランウスマルカイガラムシ	Pseudoparlatoria parlatorioides				—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	検疫有害動物。							
再検討	166	定着初期/限定分布？	リュウガンコノハカイガラムシ	Thysanofiorinia nephelii				—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	検疫有害動物。							
再検討	167	分布拡大期～まん延期	ヤノネカイガラムシ(ヤノネナガカイガラムシ)	Unaspis yanonensis				—	—	—	—	—	○	—	—	◎	—	—	非検疫有害動植物 カンキツの重要害虫。		日本		茨城、千葉、滋賀、京都、奈良、和歌山、鳥取、山口、高知、福岡、宮崎、沖縄			
再検討	168	未定着	バラタカルディナ・プセウドロバータ	Paratachardina pseudolobata		○	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	検疫有害動物。			○				
再検討	169	定着初期/限定分布	クロツノウンカ	Perkinsiella saccharicida				—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	検疫有害動物。							
再検討	170	定着初期/限定分布	スジアカクマゼミ	Cryptotympana atrata				—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	検疫有害動物。							
再検討	171	未定着	ホマロディスカ・ヴィトリペンニス	Homalodisca vitripennis		○	○	—	—	—	—	—	—	—	—	○	—	—	検疫有害動物(省令で記載)。				○			
再検討(候補)	172	分布拡大期～まん延期	トガリアメンボ	Rhagadotarsus kraepelini	IV			○	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	近畿、中国、四国、九州に定着。				福島、茨城、千葉、愛知、滋賀、京都、兵庫、奈良、和歌山、愛媛、福岡			

リスト加除対象の候補種一覧 <動物(昆虫類)>

 : 今回の検討から新たに候補として加わった種

継続	: 現リストの掲載種
再検討	: 現リスト作成時に非掲載となった種で、今回も事務局としては非掲載と判断した種
再検討(候補)	: 現リスト作成時に非掲載となった種で、今回は事務局で掲載候補と判断した種
新規	: 現リスト作成時に候補となっておらず、今回新たに検討対象としたが事務局で非掲載と判断した種
新規(候補)	: 現リスト作成時に候補となっておらず、今回新たに検討対象とした結果、事務局で掲載候補と判断した種

【国外由来の外来種】

2024.9.17版

リスト作成後の情報追加により再検討を行う種(順不同)

検討区分	No	定着段階	和名(別名、流通名)	学名	選定理由	評価項目														備考	抽出方法					
						定着可能性		生態系被害				分布拡大		重要地域	特に問題となる被害		逸出・拡散		①外来法		②W100	③GISD	④各県	⑤意向調査	⑥その他	
						生物	導入	競合	交雑	捕食摂食	生態系改変	繁殖	気候		人体	経済産業	利用	付着混入								
再検討	173	定着初期/限定分布	ヨツボシキノコカスミカメ(コトガリキノコメクラガメ)	<i>Fulvius anthocoroides</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	検疫有害動物。							
再検討	174	分布拡大期～まん延期?	トコジラミ	<i>Cimex letularius</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	衛生害虫。自然生態系への影響小。				青森、福島、愛知、高知、福岡、鹿児島			
再検討	175	分布拡大期～まん延期	プラタナスグンバイ	<i>Corythucha ciliata</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	プラタナスに寄生。自然生態系への影響小 検疫有害動物。				福島、千葉、愛知、滋賀、京都、奈良、徳島、愛媛、高知、福岡			
再検討	176	分布拡大期～まん延期	アワダチソウグンバイ	<i>Corythucha marmorata</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	検疫有害動物。				福島、千葉、愛知、滋賀、京都、奈良、鳥取、山口、徳島、愛媛、高知、福岡、宮崎			
再検討	177	分布拡大期～まん延期	ヘクソカズラグンバイ	<i>Dulinius conchatus</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	非検疫有害動植物。				千葉、愛知、滋賀、京都、奈良、山口、愛媛、高知、福岡			
再検討	178	分布拡大期～まん延期	ヨコヅナサシガメ	<i>Agriosphodrus dohrmi</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-					福島、茨城、千葉、神奈川、愛知、滋賀、京都、奈良、和歌山、鳥取、山口、愛媛、高知、福岡、熊本、宮崎			
再検討	179	定着初期/限定分布	ケブカサシガメ	<i>Pergrinator biannulipes</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	貯穀害虫の天敵。自然生態系への影響小。				沖縄			
再検討	180	定着初期/限定分布	コメグラサシガメ	<i>Amphibolus venator</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	貯穀害虫の天敵。自然生態系への影響小。				沖縄			
再検討	181	分布拡大期～まん延期	カンシャコバネナガカメムシ	<i>Cavelerius saccharivorus</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	○	-	-	検疫有害動物。サトウキビの有害動物(植防法別表十に記載有)。		日本		高知、宮崎、沖縄			
再検討	182	定着初期/限定分布	マツヘリカメムシ	<i>Leptoglossus occidentalis</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	検疫有害動物。クロマツ種子に影響?				福島、茨城、千葉、愛知、和歌山、島根、福岡			
再検討	183	小笠原・南西諸島	ヒゲナガヘリカメムシ	<i>Notobius meleagris</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	検疫有害動物。				沖縄			
再検討	184	分布拡大期～まん延期	キマダラカメムシ	<i>Erythesina fullo</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	○	検疫有害動物。				茨城、千葉、愛知、滋賀、京都、奈良、和歌山、山口、愛媛、高知、福岡、熊本			
再検討	185	分布拡大期～まん延期	チビナガヒラタムシ	<i>Micromalthus debilis</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-					青森、奈良、福岡			
再検討	186	小笠原・南西諸島	タイワンヤツボシハンミョウ	<i>Cosmodela batesi</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	非有害動植物。台湾からの外来種とされる。							
再検討	187	分布拡大期～まん延期	コルリアトキリゴミムシ	<i>Lebia viridis</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	北米原産といわれる。				北海道、青森、福島、茨城、千葉、愛知、滋賀、京都、和歌山、高知			
再検討	188	未定着	オオブテルス・ソレダディヌス	<i>Oopterus soledadinus</i>		○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				○				
再検討	189	未定着	トレキシブス・アンタークティクス	<i>Trechisibus antarcticus</i>		○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				○				
再検討	190	分布拡大期～まん延期	クロチビエンマムシ	<i>Carcinops pumilio</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	非有害動植物。				千葉、愛知、京都、和歌山、山口、高知、福岡			
再検討	191	分布拡大期～まん延期	コバネアシベセスジハネカクシ	<i>Anotylus amicus</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-					福岡			
再検討	192	定着初期/限定分布?	クロツヤヒメカワバハネカクシ	<i>Platystethus americanus</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-								
再検討	193	未定着	ホプロケルス・マルギナリス	<i>Hoplochelus marginalis</i>		○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	検疫有害動物。				○			
再検討	194	小笠原・南西諸島	クロマルカブト(クロマルコガネ)	<i>Alissonotum pauperum</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	◎	-	-	南西諸島に生息。在来種の可能性あり。検疫有害動物。				鹿児島			
再検討(候補)	195	小笠原・南西諸島	サイカブト(タイワンカブト)	<i>Oryctes rhinoceros</i>				○	-	◎	-	○	◎	◎	-	◎	-	○	検疫有害動物。ヒサマツサイカブトとの競合が懸念。				○	京都、宮崎、鹿児島、沖縄	環境省沖縄	
再検討	196	小笠原・南西諸島	ハイロハナムグリ	<i>Protaetia fusca</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	検疫有害動物。					沖縄		
再検討	197	分布拡大期～まん延期	マルトゲムシの一種(ミナミケモンマルトゲムシ)	<i>Microchaetes</i> sp.				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-					千葉、京都、山口			
再検討	198	定着初期/限定分布	ノハラボタル	<i>Pyropyga alticola</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-					茨城、千葉			
再検討	199	分布拡大期～まん延期?	オビヒメカツオブシムシ	<i>Attagenus fasciatus</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	○	-	-	家屋害虫。自然生態系への影響小。検疫有害動物。				沖縄			
再検討	200	分布拡大期～まん延期?	シラホシヒメカツオブシムシ	<i>Attagenus pellio</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	○	-	-	家屋害虫。自然生態系への影響小。検疫有害動物。				茨城、千葉、愛知、滋賀、京都			
再検討	201	分布拡大期～まん延期	トビカツオブシムシ	<i>Dermestes ater</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	○	-	-	家屋害虫。自然生態系への影響小。検疫有害動物。				茨城、千葉、愛知、京都、和歌山、山口、福岡			
再検討	202	分布拡大期～まん延期?	フイリカツオブシムシ	<i>Dermestes frischi</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	○	-	-	家屋害虫。自然生態系への影響小。検疫有害動物。				千葉、和歌山、山口			
再検討	203	分布拡大期～まん延期?	カドマルカツオブシムシ	<i>Dermestes haemorrhoidalis</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	○	-	-	家屋害虫。自然生態系への影響小。検疫有害動物。				茨城、千葉、愛知、滋賀、京都、和歌山、山口、福岡			
再検討	204	分布拡大期～まん延期	ハラジロカツオブシムシ	<i>Dermestes maculatus</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	○	-	-	家屋害虫。自然生態系への影響小。検疫有害動物。				茨城、千葉、愛知、京都、奈良、和歌山、福岡、宮崎			
再検討	205	分布拡大期～まん延期?	アカオビカツオブシムシ	<i>Dermestes vorax</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	○	-	-	家屋害虫。自然生態系への影響小。検疫有害動物。				青森、茨城、愛知、京都			
再検討	206	分布拡大期～まん延期	オビカツオブシムシ	<i>Dermestes lardarius</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	○	-	-	家屋害虫。自然生態系への影響小。検疫有害動物。				茨城			
再検討	207	未定着	ヒメアカカツオブシムシ	<i>Trogoderma granarium</i>		○	○	-	-	-	-	-	○	-	-	○	-	-	家屋害虫。国内で数回発生したが根絶された。自然生態系への影響小。検疫有害動植物(省令で記載)。		IUCN	○				

リスト加除対象の候補種一覧　＜動物(昆虫類)＞

：今回の検討から新たに候補として加わった種

継続	：現リストの掲載種
再検討	：現リスト作成時に非掲載となった種で、今回も事務局としては非掲載と判断した種
再検討(候補)	：現リスト作成時に非掲載となった種で、今回は事務局で 掲載候補と判断 した種
新規	：現リスト作成時に候補となっておらず、今回新たに検討対象としたが事務局で非掲載と判断した種
新規(候補)	：現リスト作成時に候補となっておらず、今回新たに検討対象とした結果、事務局で 掲載候補と判断 した種

【国外由来の外来種】

2024.9.17版

リスト作成後の情報追加により再検討を行う種(順不同)

検討区分	No	定着段階	和名(別名、流通名)	学名	選定理由	評価項目													備考	抽出方法					
						定着可能性		生態系被害				分布拡大		重要地域	特に問題となる被害		逸出・拡散			①外来法	②W100	③GISD	④各県	⑤意向調査	⑥その他
						生物	導入	競合	交雑	捕食摂食	生態系改変	繁殖	気候		人体	経済産業	利用	付着混入							
再検討	208	分布拡大期～まん延期？	ヒメマダラカツオブシムシ	<i>Trogoderma inclusum</i>				-	-	-	-	○	-	-	○	-	-	家屋害虫。自然生態系への影響小。非検疫有害動植物。				山口			
再検討	209	定着初期/限定分布	アカマダラカツオブシムシ	<i>Trogoderma varium</i>				-	-	-	-	○	-	-	○	-	-	家屋害虫。自然生態系への影響小。非検疫有害動物かつては蚕繭の害虫。現在はいまれ。在来の可能性あり。				千葉			
再検討	210	未定着	ヒメタケナガシクイ	<i>Dinoderus bifoveolatus</i>		○	○	-	-	-	-	○	-	-	○	-	-	国内で数回発見されている。検疫有害動物。							
再検討	211	分布拡大期～まん延期	チビタケナガシクイ	<i>Dinoderus minutus</i>				-	-	-	-	○	-	-	○	-	-	家屋害虫。自然生態系への影響小。非検疫有害動植物。				北海道、愛知、滋賀、京都、和歌山、福岡			
再検討	212	未定着？	ホソナガシクイ	<i>Heterobostrychus aequalis</i>		○	○	-	-	-	-	○	-	-	○	-	-	家屋害虫。自然生態系への影響小。検疫有害動植物(省令で記載)。							
再検討	213	分布拡大期～まん延期	コナナガシクイ	<i>Rhizopertha dominica</i>				-	-	-	-	○	-	-	○	-	-	家屋害虫。自然生態系への影響小。非検疫有害動植物。				千葉、京都、高知、福岡、宮崎			
再検討	214	分布拡大期～まん延期	アフリカヒラタクイムシ	<i>Lyctus africanus</i>				-	-	-	-	○	-	-	○	-	-	家屋害虫。自然生態系への影響小。検疫有害動物 非検疫有害動物。				京都、奈良			
再検討	215	分布拡大期～まん延期	ヒラタクイムシ	<i>Lyctus brunneus</i>				-	-	-	-	○	-	-	○	-	-	家屋害虫。自然生態系への影響小。非検疫有害動植物。				北海道、千葉、愛知、滋賀、京都、奈良、山口、高知、福岡、宮崎			
再検討	216	分布拡大期～まん延期	アラゲヒラタクイムシ	<i>Lyctoxylon dentatum</i>				-	-	-	-	○	-	-	○	-	-	検疫有害動物。				愛知、京都、和歌山			
再検討	217	分布拡大期～まん延期	ケフトヒラタクイムシ	<i>Minthea rugicollis</i>				-	-	-	-	○	-	-	○	-	-	家屋害虫。自然生態系への影響小。非検疫有害動植物。				北海道、愛知、京都、山口、福岡			
再検討	218	分布拡大期～まん延期？	セマルヒョウホムシ	<i>Gibbium psylloides</i>				-	-	-	-	○	-	-	○	-	-	家屋害虫。自然生態系への影響小。検疫有害動物。				青森、愛知、京都、和歌山、福岡			
再検討	219	分布拡大期～まん延期？	ヒメヒョウホムシ	<i>Ptinus latro</i>				-	-	-	-	○	-	-	○	-	-	家屋害虫。自然生態系への影響小。非検疫有害動植物。				愛知、京都、和歌山、鳥取、山口、福岡			
再検討	220	分布拡大期～まん延期	タバコシバンムシ	<i>Lasioderma serricorne</i>				-	-	-	-	○	-	-	○	-	-	家屋害虫。自然生態系への影響小。非検疫有害動植物。				茨城、千葉、愛知、滋賀、京都、奈良、和歌山、鳥取、山口、徳島、高知、福岡			
再検討	221	分布拡大期～まん延期	ケブカシバンムシ	<i>Nicobium hirtum</i>				-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	検疫有害動物。				福島、千葉、愛知、京都、和歌山、山口、徳島、福岡			
再検討	222	定着初期/限定分布	ヒゲナガホソシバンムシ	<i>Oligomerus ptilinoides</i>				-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	検疫有害動物。							
再検討	223	分布拡大期～まん延期	ジンサンシバンムシ	<i>Stegobium paniceum</i>				-	-	-	-	○	-	-	○	-	-	家屋害虫。自然生態系への影響小。非検疫有害動植物。				青森、福島、茨城、千葉、愛知、京都、奈良、和歌山、鳥取、山口、徳島、高知、福岡			
再検討	224	分布拡大期～まん延期？	ホソチビコクヌスト	<i>Lophocateres pusillus</i>				-	-	-	-	○	-	-	○	-	-	家屋害虫。自然生態系への影響小。非検疫有害動植物。				沖縄			
再検討	225	分布拡大期～まん延期	コクヌスト	<i>Tenebroides mauritanicus</i>				-	-	-	-	○	-	-	○	-	-	家屋害虫及びその天敵、自然生態系への影響小。非検疫有害動植物。				青森、茨城、千葉、愛知、京都、奈良、福岡			
再検討	226	分布拡大期～まん延期	アカアシホシカムシ	<i>Necrobia rufipes</i>				-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	非有害動植物。				千葉、愛知、京都、奈良、和歌山、山口、福岡			
再検討	227	分布拡大期～まん延期	アカクビホシカムシ	<i>Necrobia ruficollis</i>				-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	非有害動植物。				北海道、青森、福島、茨城、千葉、愛知、滋賀、京都、奈良、和歌山、山口、高知			
再検討	228	分布拡大期～まん延期	ルリホシカムシ	<i>Necrobia violacea</i>				-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	非有害動植物。				青森、茨城、愛知、京都			
再検討	229	分布拡大期～まん延期	ニセルリホシカムシ	<i>Korynetes caeruleus</i>				-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	非有害動植物。							
再検討	230	分布拡大期～まん延期	シロオビカクウムシ	<i>Tarsostenus univittatus</i>				-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	非有害動植物。				茨城、千葉、愛知、京都、和歌山、福岡			
再検討	231	分布拡大期～まん延期	サビカクウムシ	<i>Thaneroclerus buquet</i>				-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	非有害動植物。							
再検討	232		ホソムネデオネスイ	<i>Monotoma longicollis</i>				-	-	-	-	○	-	-	-	-	-					京都、高知、福岡			
再検討	233	分布拡大期～まん延期	トビイロデオネスイ	<i>Monotoma picipes</i>				-	-	-	-	○	-	-	-	-	-					福島、茨城、千葉、愛知、京都、和歌山、高知、福岡			
再検討	234		ヨツアナデオネスイ	<i>Monotoma quadrioveolata</i>				-	-	-	-	○	-	-	-	-	-					福岡			
再検討	235		トゲムネデオネスイ	<i>Monotoma spinicollis</i>				-	-	-	-	○	-	-	-	-	-					千葉、京都、和歌山、福岡			
再検討	236		トゲムネスイ	<i>Cryptophagus acutangulus</i>				-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	検疫有害動物。				愛知、和歌山			
再検討	237		ウスバキスイ	<i>Cryptophagus cellaris</i>				-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	検疫有害動物。				福島、茨城、千葉、愛知、京都、奈良、和歌山、山口、高知、福岡			
再検討	238		カドコブホソヒラタムシ	<i>Ahasverus advena</i>				-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	検疫有害動物。				福島、愛知、京都、和歌山、高知、福岡、宮崎			
再検討	239	分布拡大期～まん延期？	モンセマルホソヒラタムシ	<i>Cryptamorphia desjardinsii</i>				-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	検疫有害動物。							
再検討	240		チビセマルホソヒラタムシ	<i>Monanus concinnulus</i>				-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	検疫有害動物。							
再検討	241		オオメノコギリホソヒラタムシ	<i>Oryzaephilus mercator</i>				-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	非検疫有害動植物。				福岡、沖縄			
再検討	242	分布拡大期～まん延期	フタトゲホソヒラタムシ	<i>Silvanus bidentatus</i>				-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	検疫有害動物。				青森、福島、茨城、千葉、愛知、京都、奈良、和歌山、山口、高知、福岡			
再検討	243	分布拡大期～まん延期	ヒメフタトゲホソヒラタムシ	<i>Silvanus lewisi</i>				-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	検疫有害動物。				福島、茨城、千葉、愛知、京都、奈良、和歌山、山口、福岡			

リスト加除対象の候補種一覧　＜動物(昆虫類)＞

 : 今回の検討から新たに候補として加わった種

継続	: 現リストの掲載種
再検討	: 現リスト作成時に非掲載となった種で、今回も事務局としては非掲載と判断した種
再検討(候補)	: 現リスト作成時に非掲載となった種で、今回は事務局で 掲載候補と判断 した種
新規	: 現リスト作成時に候補となっておらず、今回新たに検討対象としたが事務局で非掲載と判断した種
新規(候補)	: 現リスト作成時に候補となっておらず、今回新たに検討対象とした結果、事務局で 掲載候補と判断 した種

【国外由来の外来種】

2024.9.17版

リスト作成後の情報追加により再検討を行う種(順不同)

検討区分	No	定着段階	和名(別名、流通名)	学名	選定理由	評価項目														備考	抽出方法					
						定着可能性		生態系被害				分布拡大		重要地域	特に問題となる被害		逸出・拡散		①外来法		②W100	③GISD	④各県	⑤意向調査	⑥その他	
						生物	導入	競合	交雑	捕食摂食	生態系改変	繁殖	気候		人体	経済産業	利用	付着混入								
再検討	244	分布拡大大期～まん延期	サビカクムネチビヒラタムシ	<i>Cryptolestes ferrugineus</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	非検疫有害動植物。				福島、千葉、愛知、京都、奈良、和歌山、山口、福岡			
再検討	245		ハウカクムネヒラタムシ (ニセカクムネチビヒラタムシ)	<i>Cryptolestes pusilloides</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	非検疫有害動植物。				福岡			
再検討	246		カクムネチビヒラタムシ	<i>Cryptolestes pusillus</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	非検疫有害動植物。				千葉、京都、和歌山、山口、高知			
再検討	247		トルコカクムネヒラタムシ	<i>Cryptolestes turcicus</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	非検疫有害動植物。				京都、福岡			
再検討	248	分布拡大大期～まん延期？ or 小笠原諸島・南西諸島？	ガイマイデオクスイ	<i>Carpophilus dimidiatus</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	検疫有害動物。				京都、和歌山、福岡			
再検討	249	分布拡大大期～まん延期	クリイロデオクスイ	<i>Carpophilus marginellus</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	検疫有害動物。				北海道、福島、茨城、千葉、愛知、京都、和歌山、山口、高知、福岡、宮崎			
再検討	250	分布拡大大期～まん延期	クリヤケシクスイ	<i>Carpophilus hemipterus</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	非検疫有害動植物。				茨城、千葉、愛知、京都、福岡			
再検討	251		キバナガデオクスイ	<i>Carpophilus mutilatus</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	検疫有害動物。				愛知、京都、和歌山、福岡			
再検討	252	分布拡大大期～まん延期	ウスチャデオクスイ	<i>Carpophilus nepos</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	検疫有害動物。				福島、京都、和歌山、福岡			
再検討	253	小笠原・南西諸島	パークホソカタムシ	<i>Euxestus parki</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-								
再検討	254		チビマルホソカタムシ	<i>Murmidius ovalis</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	貯穀害虫。自然生態系への影響小。検疫有害動物。				福岡			
再検討	255		ホソツヤヒメマキムシ	<i>Holoparamacus depressus</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	非有害動植物？							
再検討	256		ラグサツヤヒメマキムシ	<i>Holoparamacus regusae</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-								
再検討	257		フタモンテントウ	<i>Adalia bipunctata</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	非有害動植物？							
再検討	258		ミスジキイロテントウ	<i>Brumoides ohotai</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	検疫有害動物。				千葉、愛知、滋賀、京都、奈良、和歌山、山口、高知、福岡、沖縄			
再検討	259	小笠原・南西諸島？	カタボシテントウ	<i>Coelophora inaequalis</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	検疫有害動物。							
再検討	260	定着初期/限定分布	ツマアカオオヒメテントウ	<i>Cryptolaemus montrouzieri</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	非有害動植物？				愛知、滋賀、和歌山			
再検討	261	定着初期/限定分布	インゲンテントウ	<i>Epilachna varivestis</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	検疫有害動物。		日本					
再検討	262	小笠原・南西諸島	ミナミマダラテントウ	<i>Epilachna pusillanima</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	八重山諸島に侵入。							
再検討	263		ヨツボシツヤテントウ	<i>Hyperaspis leechi</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	検疫有害動物。							
再検討	264		ケブカメツブテントウ	<i>Jauravia limbata</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	検疫有害動物。				沖縄			
再検討	265		ハイロテントウ	<i>Olla v-nigrum</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	検疫有害動物。				沖縄			
再検討	266		クモガタテントウ	<i>Psyllobora vigintimaculata</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	検疫有害動物。				千葉、愛知、滋賀、京都、奈良、和歌山、山口、福岡			
再検討	267	分布拡大大期～まん延期	ベダリアテントウ	<i>Rodolia cardinalis</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	検疫有害動物。イセリアカイガラムシの天敵として台湾から導入し定着。				茨城、千葉、愛知、滋賀、京都、奈良、和歌山、山口、高知、福岡、宮崎、沖縄			
再検討	268		ハラアカクロテントウ	<i>Rhyzobius forestieri</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	検疫有害動物。				福岡			
再検討	269		ムネハラアカクロテントウ	<i>Rhyzobius lophanthae</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	検疫有害動物。				京都			
再検討	270		コブヒメマキムシ	<i>Cartodere nodifer</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	非有害動植物。							
再検討	271		キイロヒメマキムシ	<i>Cartodere elongata</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	非有害動植物。							
再検討	272		クビレヒメマキムシ	<i>Cartodere constricta</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	非有害動植物。				愛知、和歌山、福岡			
再検討	273		ホソヒメマキムシ	<i>Dienerella filum</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	非有害動植物。				千葉、愛知			
再検討	274		オオヒメマキムシ	<i>Dienerella argus</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	非有害動植物。							
再検討	275		ムナヒロヒメマキムシ	<i>Dienerella costulata</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	非有害動植物。							
再検討	276		チャイロコキノコムシ	<i>Typhaea stercorea</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	非有害動植物。				福島、茨城、千葉、京都、和歌山、山口、高知、福岡			
再検討	277		ガイマイゴミムシダマシ	<i>Alphitobius diaperinus</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	検疫有害動物。				茨城、千葉、愛知、京都、奈良、和歌山、高知、福岡、宮崎			
再検討	278		ヒメゴミムシダマシ	<i>Alphitobius laevigatus</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	検疫有害動物。							
再検討	279		フタオビツヤゴミムシダマシ	<i>Alphitophagus bifasciatus</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	検疫有害動物。				茨城、千葉、愛知、京都、山口、福岡			
再検討	280		ムネミゾコヌストモドキ	<i>Gaelepalorus feveicollis</i> <i>Ulolina carinata</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	検疫有害動物。				沖縄			
再検討	281		オオツノコヌストモドキ	<i>Gnathocerus cornutus</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	非検疫有害動植物。							
再検討	282		コゴメゴミムシダマシ	<i>Latheticus oryzae</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	検疫有害動物。				愛知、京都、福岡			
再検討	283		ヒメコクヌストモドキ	<i>Palorus ratzeburgi</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	検疫有害動物。				茨城			
再検討	284		コヒメコクヌストモドキ	<i>Palorus subdepressus</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	検疫有害動物。				京都、和歌山			
再検討	285	分布拡大大期～まん延期？	コメノゴミムシダマシ	<i>Tenebrio obscurus</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	家屋害虫。自然生態系への影響小。検疫有害動物。				北海道、茨城、千葉、愛知、京都、奈良、和歌山、山口、福岡			
再検討	286	分布拡大大期～まん延期？	チャイロコメノゴミムシダマシ	<i>Tenebrio molitor</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	○	◎	-	家屋害虫。餌(ミールワーム)として大量に輸入・流通。自然生態系への影響小。検疫有害動物。				茨城、千葉、愛知、京都、奈良、和歌山、高知			

リスト加除対象の候補種一覧 <動物(昆虫類)>

 : 今回の検討から新たに候補として加わった種

- 継続

再検討

再検討(候補)

新規

新規(候補)
- : 現リストの掲載種

: 現リスト作成時に非掲載となった種で、今回も事務局としては非掲載と判断した種

: 現リスト作成時に非掲載となった種で、今回は事務局で掲載候補と判断した種

: 現リスト作成時に候補となっておらず、今回新たに検討対象としたが事務局で非掲載と判断した種

: 現リスト作成時に候補となっておらず、今回新たに検討対象とした結果、事務局で掲載候補と判断した種

【国外由来の外来種】

2024.9.17版

リスト作成後の情報追加により再検討を行う種(順不同)

検討区分	No	定着段階	和名(別名、流通名)	学名	選定理由	評価項目														備考	抽出方法					
						定着可能性		生態系被害				分布拡大		重要地域	特に問題となる被害		逸出・拡散		①外来法		②W100	③GISD	④各県	⑤意向調査	⑥その他	
						生物	導入	競合	交雑	捕食摂食	生態系変化	繁殖	気候		人体	経済産業	利用	付着混入								
再検討	287	分布拡大期～まん延期？	ヒラタコクヌストモドキ	<i>Tribolium confusum</i>				—	—	—	—	—	○	—	—	○	—	—	家屋害虫。自然生態系への影響小。非検疫有害動植物。				茨城、愛知、奈良、山口			
再検討	288	未定着	トリボリウム・デストラクトール	<i>Tribolium destructor</i>		○	○	—	—	—	—	—	○	—	—	○	—	—	家屋害虫。自然生態系への影響小。検疫有害動物。							
再検討	289	未定着	トリボリウム・マデンス	<i>Tribolium madens</i>		○	○	—	—	—	—	—	○	—	—	○	—	—	家屋害虫。自然生態系への影響小。検疫有害動物。							
再検討	290	分布拡大期～まん延期？	カシミールコクヌストモドキ	<i>Tribolium freemani</i>				—	—	—	—	—	○	—	—	○	—	—	家屋害虫。自然生態系への影響小。検疫有害動物。							
再検討	291	分布拡大期～まん延期	ツマグロカミキリモドキ	<i>Necerdes melanura</i>				—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	検疫有害動物。				青森、茨城、千葉、愛知、京都、和歌山、山口、高知、福岡			
再検討	292	分布拡大期～まん延期？	アトグロホソアリモドキ	<i>Omonadus floralis</i>				—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—				茨城、千葉、愛知、滋賀、京都、和歌山、山口、高知、福岡				
再検討(候補)	293	分布拡大期～まん延期	ツヤハダゴマダラカミキリ	<i>Anoplophora glabripennis</i>	I, III			○	○	○	—	○	○	—	—	◎	—	○	一時的に神奈川で発生したが消滅。検疫有害動物(省令で記載)。	特定	IUCN	○	福島、茨城、大阪、兵庫	農林水産省、環境省東北、環境省中四国、地方公共団体		
再検討	294	小笠原・南西諸島	イチジクカミキリ	<i>Batocera rubus</i>				—	—	○	—	—	○	○	—	○	—	—	検疫有害動物。沖縄県ではガジュマルに被害。				沖縄			
再検討	295	未定着	ウスリーオオカミキリ	<i>Callipogon relictus</i>		○	○	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	1970年頃九州で複数確認、在来種との見解もあり 検疫有害動物。				宮崎			
再検討	296	分布拡大期～まん延期	テツイロヒメカミキリ	<i>Ceresium sinicum</i>				—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	検疫有害動物。				茨城、千葉、滋賀、京都、奈良、和歌山、山口、福岡、宮崎			
再検討	297	小笠原・南西諸島	マルクビヒメカミキリ	<i>Curtomerus flavus</i>				—	—	—	—	—	○	○	—	—	—	○	検疫有害動物。							
再検討	298	分布拡大期～まん延期	チャゴマフカミキリ	<i>Mesosa perplexa</i>				—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	検疫有害動物。				千葉、福岡、宮崎			
再検討	299	分布拡大期～まん延期	ラミーカミキリ	<i>Paraglenea fortunei</i>				—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	検疫有害動物。				茨城、千葉、愛知、滋賀、京都、奈良、和歌山、鳥取、山口、高知、福岡、熊本、宮崎、鹿児島			
再検討	300	小笠原・南西諸島	スジダカサビカミキリ	<i>Pterolophia bigibbera</i>				—	—	—	—	—	○	○	—	—	—	—	国内では小笠原諸島のみ、在来種との見解もあり 検疫有害動物。							
再検討	301	小笠原・南西諸島	クサマサビカミキリ	<i>Pterolophia kusamai</i>				—	—	—	—	—	○	○	—	—	—	—	検疫有害動物。							
再検討	302	or 小笠原・南西諸島？	ムラヤマムネコブサビカミキリ	<i>Rhytiphora bankii</i>				—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	検疫有害動物。							
再検討	303	定着初期/限定分布	タイリクフタホシサビカミキリ	<i>Ropica dorsalis</i>				—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	検疫有害動物。							
再検討	304	未定着？	トゲムネミヤマカミキリ	<i>Triachys orientalis</i>		○	○	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	一時的に長崎で発生、現在は消滅か？ 検疫有害動物。							
再検討	305	定着初期/限定分布？	インゲンマメゾウムシ	<i>Acanthoscelides obtectus</i>				—	—	—	—	—	○	—	—	◎	—	—	貯穀害虫、自然生態系への影響小、非検疫有害動物。				北海道、和歌山、沖縄			
再検討	306	分布拡大期～まん延期	イタチハギマメゾウムシ	<i>Acanthoscelides pallidipennis</i>				—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	外来種イタチハギに寄生、自然生態系への影響小 検疫有害動物。							
再検討	307	分布拡大期～まん延期	エンドウゾウムシ	<i>Bruchus pisorum</i>				—	—	—	—	—	○	—	—	○	—	—	貯穀害虫、自然生態系への影響小、非検疫有害動植物。				北海道、青森、福島、茨城、千葉、愛知、滋賀、京都、奈良、山口、福岡			
再検討	308	分布拡大期～まん延期	ソラマメゾウムシ	<i>Bruchus rufimanus</i>				—	—	—	—	—	○	—	—	◎	—	—	貯穀害虫、自然生態系への影響小、非検疫有害動植物。				茨城、千葉、愛知、京都、奈良、和歌山、山口、高知、福岡			
再検討	309	分布拡大期～まん延期	アズキマメゾウムシ	<i>Callosobruchus chinensis</i>				—	—	—	—	—	○	—	—	◎	—	—	貯穀害虫、自然生態系への影響小、非検疫有害動植物。				北海道、青森、福島、茨城、千葉、愛知、京都、奈良、山口、高知、福岡、宮崎			
再検討	310	分布拡大期～まん延期	ヨツモンマメゾウムシ	<i>Callosobruchus maculatus</i>				—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	検疫有害動物。				茨城、愛知、沖縄			
再検討	311	未定着？	ブラジルマメゾウムシ	<i>Zabrotes subfasciatus</i>		○	○	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	貯穀害虫、自然生態系への影響小、検疫有害動植物(省令で記載)。				沖縄			
再検討	312	小笠原・南西諸島	ナガヒラタハムシ(キムネクロナガハムシ)	<i>Brontispa longissima</i>				—	—	○	—	—	○	○	—	○	—	—	ココヤシなどヤシ類の害虫。検疫有害動物。			○	沖縄			
再検討	313	小笠原・南西諸島	ミカンカメノコハムシ	<i>Cassida obtusata</i>				—	—	—	—	—	○	—	—	○	—	—	検疫有害動物。				沖縄			
再検討	314	小笠原・南西諸島	ルリハムシ 名義タイプ亜種	<i>Plagiosterna aenea aenea</i>				—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	検疫有害動物。							
再検討	315	小笠原・南西諸島	ヒロヒゲツツハムシ	<i>Diachus auratus</i>				—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	非検疫有害動物。				沖縄			
再検討	316	分布拡大期～まん延期	ブタクサハムシ	<i>Ophraella communa</i>				—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	検疫有害動物。				青森、福島、茨城、千葉、愛知、滋賀、京都、奈良、和歌山、鳥取、山口、愛媛、高知、福岡、熊本、宮崎			
再検討	317	定着初期/限定分布	キベリハムシ	<i>Oides bowringii</i>				—	—	—	—	○	○	—	—	—	—	○	検疫有害動物。				京都			
再検討	318	分布拡大期～まん延期	ワタミヒゲナガゾウムシ	<i>Araecerus coffeae</i>				—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	非検疫有害動植物。				青森、福島、茨城、千葉、愛知、滋賀、京都、奈良、和歌山、高知、福岡、宮崎、沖縄			
再検討	319	分布拡大期～まん延期	ミツモンヒゲナガゾウムシ	<i>Trigonorhinus zeae</i>				—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	検疫有害動物。				和歌山			

リスト加除対象の候補種一覧 <動物(昆虫類)>

：今回の検討から新たに候補として加わった種

継続	：現リストの掲載種
再検討	：現リスト作成時に非掲載となった種で、今回も事務局としては非掲載と判断した種
再検討(候補)	：現リスト作成時に非掲載となった種で、今回は事務局で 掲載候補と判断 した種
新規	：現リスト作成時に候補となっておらず、今回新たに検討対象としたが事務局で非掲載と判断した種
新規(候補)	：現リスト作成時に候補となっておらず、今回新たに検討対象とした結果、事務局で 掲載候補と判断 した種

【国外由来の外来種】

リスト作成後の情報追加により再検討を行う種(順不同)

2024.9.17版

検討区分	No	定着段階	和名(別名、流通名)	学名	選定理由	評価項目														備考	抽出方法					
						定着可能性		生態系被害				分布拡大		重要地域	特に問題となる被害		逸出・拡散		①外来法		②W100	③GISD	④各県	⑤意向調査	⑥その他	
						生物	導入	競合	交雑	捕食摂食	生態系改変	繁殖	気候		人体	経済産業	利用	付着混入								
再検討	320	定着初期/限定分布 or 小笠原・南西諸島	アリモドキゾウムシ	Cylas formicarius				—	—	—	—	○	○	—	—	◎	—	◎	農業害虫、自然生態系への影響小、検疫有害動植物(省令で記載) 2022年に静岡県浜松市において確認。		日本		高知、鹿児島、沖縄			
再検討	321	分布拡大期～まん延期	バショウオオサゾウムシ	Cosmopolites sordidus				—	—	—	—	—	○	—	—	○	—	—	バナナを加害。非検疫有害動植物。				鹿児島、沖縄			
再検討	322	定着初期/限定分布	ヨツボシヤシコクゾウムシ	Diocalandra frumenti				—	—	—	—	—	○	○	—	—	—	—	検疫有害動物小笠原諸島父島で確認例があるが定着状態は不明。				沖縄			
再検討	323		サトウキビコクゾウムシ	Myocalandra exarata				—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	非検疫有害動植物。				沖縄			
再検討	324		バナナツヤオオサゾウムシ	Odoiporus longicollis				—	—	—	—	—	○	—	—	○	—	○	非検疫有害動植物。				鹿児島、沖縄			
再検討	325		バショウコクゾウムシ	Polytus mellerborgii				—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	検疫有害動物。				鹿児島、沖縄			
再検討	326		ヤシオオオサゾウムシ	Rhynchophorus ferrugineus				—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	○	検疫有害動物。				兵庫、和歌山、徳島、福岡、熊本、宮崎、鹿児島、沖縄			
再検討	327		シロスジオサゾウムシ	Rhabdoscelus lineatocollis				—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	○	検疫有害動物。				鹿児島、沖縄			
再検討	328	分布拡大期～まん延期？	コクゾウムシ	Sitophilus oryzae				—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	家屋害虫。自然生態系への影響小。非検疫有害動植物。				北海道、千葉、愛知、京都、和歌山、福岡、宮崎			
再検討	329		シバオサゾウムシ	Sphenophrus venatus				—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	検疫有害動物。				福島、茨城、千葉、愛知、滋賀、京都、奈良、和歌山、山口、高知、福岡、宮崎、鹿児島、沖縄			
再検討	330		ヒラヤマメナガゾウムシ	Aclees hirayamai				—	—	—	—	—	○	—	—	○	—	—	検疫有害動物。							
再検討	331		ワタデオゾウムシ	Amorphaidea lata				—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	検疫有害動物。							
再検討	332	未定着	ワタミハナゾウムシ	Anthonomus grandis			○	○	—	—	—	—	○	—	—	○	—	—	検疫有害動物。							
再検討	333		オオタコゾウムシ	Donus punctatus					○	—	—	—	—	○	—	—	—	○	検疫有害動物。				北海道、青森、福島、茨城、千葉、滋賀、京都、奈良、和歌山、山口、高知、福岡			
再検討	334		ケチビコフキゾウムシ	Sitona hispidulus					○	—	—	—	—	○	—	—	—	○	検疫有害動物。				北海道、福島、茨城、千葉、愛知、和歌山、福岡			
再検討	335		サビチビコフキゾウムシ	Sitona flavescens					○	—	—	—	—	○	—	—	—	—	検疫有害動物。				北海道			
再検討	336		ナガチビコフキゾウムシ	Sitona cylindricollis					—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	検疫有害動物。				沖縄			
再検討	337	小笠原・南西諸島	イモゾウムシ	Euscepes postfasciatus					—	—	—	—	—	○	—	—	○	—	○	検疫有害動植物(省令で記載)。		日本		鹿児島、沖縄		
再検討	338	未定着	ゴニプテルス・スキュテラータス	Gonipterus scutellatus			○	○	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	検疫有害動植物(省令で記載)。				○			
再検討	339	分布拡大期～まん延期	アルファルファタコゾウムシ	Hypera postica					—	—	—	—	—	○	—	—	○	—	○	検疫有害動物。		日本		福島、茨城、千葉、愛知、滋賀、京都、兵庫、奈良、和歌山、鳥取、山口、徳島、愛媛、高知、福岡、宮崎、鹿児島、沖縄	農林水産省	
再検討	340	分布拡大期～まん延期	イネミズゾウムシ	Lissorhoptrus oryzophilus					—	—	—	—	—	○	—	—	○	—	○	検疫有害動物。		日本		北海道、青森、福島、茨城、千葉、愛知、滋賀、京都、奈良、和歌山、鳥取、山口、徳島、高知、福岡、宮崎、鹿児島、沖縄		
再検討	341		ヤサイゾウムシ	Listroderes costirostris					—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	検疫有害動物。				福島、茨城、千葉、愛知、滋賀、京都、奈良、和歌山、山口、高知、福岡、宮崎、沖縄		
再検討	342		オオランヒメゾウムシ	Orchidophilus aterrimus					—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	○	検疫有害動物。				千葉		
再検討	343		ランヒメゾウムシ	Orchidophilus ran					—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	検疫有害動物。						
再検討	344		キンケクチフトゾウムシ	Otiorhynchus sulcatus					—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	○	検疫有害動物。				千葉		
再検討	345		フラーバラゾウムシ	Pantomorus cervinus					—	—	—	—	—	○	—	—	○	—	○	非検疫有害動植物。				北海道、宮崎		
再検討	346		ホソクチフトサルゾウムシ	Rhinoncus albicinctus					—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	検疫有害動物。				千葉		
再検討	347	未定着	スキフオフォルス・アキュプンクタートゥス	Scyphophorus acupunctatus			○	○	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	検疫有害動植物(省令で記載)。				○		
再検討	348	分布拡大期～まん延期	アカウキクサゾウムシ	Stenopelmus rufinasus					—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	検疫有害動物。				北海道、茨城、千葉、愛知、滋賀、和歌山		
再検討	349		ツメクサタネコバンゾウムシ	Tychius picirostris					—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	検疫有害動物。				茨城、千葉、和歌山		
再検討	350		トゲナガキクイムシ	Diapus aculeatus					—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	検疫有害動物。						
再検討	351	未定着	デントロクトヌス・バレンス	Dendroctonus valens			○	○	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	検疫有害動植物(省令で記載)。				○		
再検討	352	分布拡大期～まん延期？	マツノクロキクイムシ	Hylastes ater					—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	検疫有害動物。				○		
再検討	353	未定着	オルトミクス・エロース	Orthotomicus erosus			○	○	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	検疫有害動植物(省令で記載)。				○		
再検討	354	未定着	セスジキクイムシ	Scolytus multistriatus			○	○	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	検疫有害動物。						
再検討	355		ニワトリフトノミ	Echidnophaga gallinacea					—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—							
再検討	356		ヒトノミ	Pulex irritans					—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—							
再検討	357		ケオプスネズミノミ	Xenopsylla cheopis					—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—					愛知		
再検討	358	未定着	ネッタイシマカ	Aedes aegypti			○	○	—	—	—	—	—	○	—	—	○	—	○	各種感染症を媒介する。国内から根絶。非有害動植物。		日本		○		
再検討	359	未定着	アノフェレス・クアドリマクラタス	Anopheles quadrimaculatus			○	○	—	—	—	—	—	○	—	—	○	—	—	各種感染症を媒介する。非有害動植物。		IUCN		○		
再検討	360	分布拡大期～まん延期？	チカイエカ	Culex pipiens molestus					—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	非有害動植物。				青森、愛知		
再検討	361		ミナミユスリカ	Nilodorum tainanus					—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—							
再検討	362	未定着	アクネミア・ビフィダ	Acnemia bifida			—	—	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	南極圏に生息。				○		
再検討	363		オオチョウバエ	Clogmia albipunctatus					—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—					青森、茨城、愛知、奈良、和歌山、高知		
再検討	364		ホンチョウバエ	Tinearia alternata					—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—					青森、茨城、愛知、奈良、山口、高知		
再検討	365		ナガサキニセケバエ	Coboldia fuscipes					—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—					茨城、高知		
再検討	366		クロツヤニセケバエ	Scatpse notata					—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—							
再検討	367		ソルガムタマバエ	Stenodiplosis sorghicola					—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	検疫有害動物。						
再検討	368		ランツボミタマバエ	Contarina maculipennis					—	—	—	—	—	○	—	—	○	—	—	検疫有害動物。				福岡、宮崎、沖縄		

リスト加除対象の候補種一覧 <動物(昆虫類)>

：今回の検討から新たに候補として加わった種

継続	：現リストの掲載種
再検討	：現リスト作成時に非掲載となった種で、今回も事務局としては非掲載と判断した種
再検討(候補)	：現リスト作成時に非掲載となった種で、今回は事務局で 掲載候補と判断 した種
新規	：現リスト作成時に候補となっておらず、今回新たに検討対象としたが事務局で非掲載と判断した種
新規(候補)	：現リスト作成時に候補となっておらず、今回新たに検討対象とした結果、事務局で 掲載候補と判断 した種

【国外由来の外来種】

2024.9.17版

リスト作成後の情報追加により再検討を行う種(順不同)

検討区分	No	定着段階	和名(別名、流通名)	学名	選定理由	評価項目													備考	抽出方法					
						定着可能性		生態系被害				分布拡大		重要地域	特に問題となる被害		逸出・拡散			①外来法	②W100	③GISD	④各県	⑤意向調査	⑥その他
						生物	導入	競合	交雑	捕食摂食	生態系改変	繁殖	気候		人体	経済産業	利用	付着混入							
再検討	369		スベイヤークノコタマバエ	<i>Mycophila speyeri</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	○	検疫有害動物。						
再検討	370	小笠原・南西諸島	マンゴーハフクレタマバエ	<i>Procontarinia mangicola</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	○	-	-	検疫有害動物。				沖縄		
再検討	371		アメリカミズアブ	<i>Hermetia illucens</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	○	-				福島、茨城、千葉、愛知、滋賀、京都、奈良、和歌山、山口、高知、福岡、宮崎、鹿児島、沖縄			
再検討	372		コシアキノミバエ	<i>Diploneura cornuta</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-				青森、福岡			
再検討	373		ハイジマハナアブ	<i>Eumerus tuberculatus</i> (<i>Eumerus funeralis</i> ※古参異名)				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	検疫有害動物。						
再検討	374	分布拡大期～まん延期？	スイセンハナアブ	<i>Merodon equestris</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	○	検疫有害動物。				北海道、茨城		
再検討	375		チーズバエ	<i>Piophilidae casei</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	○							
再検討	376	未定着	ウリミバエ	<i>Bactrocera cucurbitae</i>		○	○	-	-	-	-	-	○	-	-	-	◎	-	国内から根絶。検疫有害動植物(省令で記載)。		日本		沖縄		
再検討	377	未定着	ミカンコミバエ	<i>Bactrocera dorsalis</i>		○	○	-	-	-	-	-	○	-	-	-	◎	-	国内から根絶。検疫有害動植物(省令で記載)。				沖縄		
再検討	378	未定着	クインスランドミバエ	<i>Bactrocera tryoni</i>		○	○	-	-	-	-	-	○	-	-	-	○	-	検疫有害動植物(省令で記載)。			○			
再検討	379	未定着	チチュウカイミバエ	<i>Ceratitis capitata</i>		○	○	-	-	-	-	-	○	-	-	-	○	-	検疫有害動植物(省令で記載)。			○			
再検討	380		カーネーションハモグリバエ	<i>Liriomyza dianthicola</i>		○	○	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	○	検疫有害動物。				北海道		
再検討	381	分布拡大期～まん延期	アングロハモグリバエ	<i>Liriomyza huidobrensis</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	○	-	-	検疫有害動物。				北海道、青森、山口		
再検討	382	分布拡大期～まん延期	トマトハモグリバエ	<i>Liriomyza sativae</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	○	-	-	非検疫有害動植物。		日本		福島、千葉、愛知、滋賀、京都、和歌山、山口、高知、福岡、宮崎、鹿児島、沖縄		
再検討	383	分布拡大期～まん延期	マメハモグリバエ	<i>Liriomyza trifolii</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	検疫有害動物。		日本		北海道、青森、福島、茨城、千葉、滋賀、京都、奈良、和歌山、山口、高知、福岡、宮崎、鹿児島、沖縄		
再検討	384	定着初期/限定分布	インゲンモグリバエ	<i>Ophiomyia phaseoli</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	検疫有害動物。				鹿児島		
再検討	385		カケメクロコバエ	<i>Milichiella lacteipennis</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-							
再検討	386		ハマベハヤトビバエ	<i>Leptocera fuscipennis</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-							
再検討	387		キロショウジョウバエ	<i>Drosophila melanogaster</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	非有害動植物。				青森、茨城、千葉、愛知、京都、奈良、和歌山、鳥取、高知、福岡		
再検討	388		オナジショウジョウバエ	<i>Drosophila simulans</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	非有害動植物。				北海道、千葉、京都、奈良、高知		
再検討	389		ヒメイエバエ	<i>Fannia canicularis</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-					青森、茨城、愛知、奈良、山口、高知		
再検討	390		クチフトイエバエ	<i>Musca crassirostris</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	検疫有害動物。						
再検討	391	未定着	フィロルニス・ダウンシイ	<i>Philornis downsi</i>		○	○	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	検疫有害動物。			○			
再検討	392	未定着	ホホアカクロバエ	<i>Calliphora vicina</i>		○	○	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	非有害動植物。			○	北海道		
再検討	393		クロキンバエ	<i>Phormia regina</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	非有害動植物。				愛知		
再検討	394		ルリキンバエ	<i>Protophormia terraenovae</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	非有害動植物。				青森		
再検討	395	未定着	ウシヒバエ(ウシバエ)	<i>Hypoderma bovis</i>		○	○	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	ウシに寄生する。国内で記録あり。				北海道		
再検討	396	未定着	キスジウシバエ	<i>Hypoderma lineatum</i>		○	○	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	ウシに寄生する。国内で記録あり。						
再検討	397		オオミノガヤドリバエ	<i>Nealsomyia rufella</i>				-	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-					京都、高知、福岡、宮崎		
再検討	398		コクガ	<i>Nemapogon granelli</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	検疫有害動物。				山口		
再検討	399	定着初期/限定分布	クロテンオオメンコガ	<i>Opogona sacchari</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	○	-	-	検疫有害動物。				千葉、愛知、沖縄		
再検討	400	分布拡大期～まん延期	イガ	<i>Tinea translucens</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	家屋害虫。自然生態系への影響小。検疫有害動物。				北海道、愛知、山口		
再検討	401		コイガ	<i>Tineola bisselliella</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	家屋害虫。自然生態系への影響小。検疫有害動物。				愛知		
再検討	402		ジュウタンガ	<i>Trichophaga tapetzella</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	家屋害虫。自然生態系への影響小。検疫有害動物。						
再検討	403	定着初期/限定分布	レイシホソガ	<i>Conopomorpha litchiella</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	検疫有害動物。				沖縄		
再検討	404	定着初期/限定分布	レイシシロズホソガ	<i>Conopomorpha sinensis</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	検疫有害動物。				沖縄		
再検討	405		リンゴスガ	<i>Yponomeuta orientalis</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	検疫有害動物。				千葉		
再検討	406		コクマルハキバガ	<i>Martyringa xeraula</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	検疫有害動物。				愛知、滋賀、奈良、和歌山、山口、福岡		
再検討	407	定着初期/限定分布	トウモロコシガリホソガ	<i>Anatrachyntis rileyi</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-							
再検討	408		ジャガイモキバガ(ジャガイモガ)	<i>Phthorimaea operculella</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	非検疫有害動植物。				愛知、滋賀、京都、山口、沖縄		
再検討	409		バクガ	<i>Sitotroga cerealella</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	非検疫有害動植物。				北海道、青森、千葉、愛知、京都、山口、宮崎		
再検討	410		ハスオビイラガ	<i>Darna pallivitta</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	検疫有害動物。				沖縄		
再検討	411	分布拡大期～まん延期	ヒロヘリアオイラガ	<i>Parasa lepida</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	検疫有害動物。		日本		福島、千葉、愛知、滋賀、京都、兵庫、奈良、和歌山、鳥取、山口、徳島、愛媛、高知、福岡、熊本、宮崎、沖縄		
再検討	412	定着初期/限定分布	スグリコスカシバ	<i>Synanthedon tipuliformis</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	検疫有害動物。				北海道		
再検討	413	分布拡大期～まん延期	ナシヒメシンクイ	<i>Grapholita molesta</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	非検疫有害動植物。				北海道、青森、千葉、愛知、滋賀、京都、和歌山、山口、徳島、福岡、宮崎		
再検討	414	分布拡大期～まん延期	スモモヒメシンクイガ(ボケヒメシンクイ)	<i>Grapholita dimorpha</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	検疫有害動物。				北海道		
再検討	415	定着初期/限定分布	レイシヒメハマキ	<i>Statherotis discana</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	検疫有害動物。				沖縄		

リスト加除対象の候補種一覧 <動物(昆虫類)>

：今回の検討から新たに候補として加わった種

- 継続

再検討

再検討(候補)

新規

新規(候補)
- ：現リストの掲載種

：現リスト作成時に非掲載となった種で、今回も事務局としては非掲載と判断した種

：現リスト作成時に非掲載となった種で、今回は事務局で掲載候補と判断した種

：現リスト作成時に候補となっておらず、今回新たに検討対象としたが事務局で非掲載と判断した種

：現リスト作成時に候補となっておらず、今回新たに検討対象とした結果、事務局で掲載候補と判断した種

【国外由来の外来種】

2024.9.17版

リスト作成後の情報追加により再検討を行う種(順不同)

検討区分	No	定着段階	和名(別名、流通名)	学名	選定理由	評価項目														備考	抽出方法					
						定着可能性		生態系被害				分布拡大		重要地域	特に問題となる被害		逸出・拡散		①外来法		②W100	③GISD	④各県	⑤意向調査	⑥その他	
						生物	導入	競合	交雑	捕食摂食	生態系改変	繁殖	気候		人体	経済産業	利用	付着混入								
再検討	416	定着初期/限定分布	ゴレンシトリバ	<i>Diacrotricha fasciola</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	検疫有害動物。							
再検討	417	小笠原・南西諸島	バナナセセリ	<i>Erionota torus</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	南西諸島に定着。非検疫有害動物。				鹿児島、沖縄			
再検討	418	定着初期/限定分布	カラフトセセリ	<i>Thymelicus lineola</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	検疫有害動物。				北海道			
再検討	419	定着初期/限定分布	オオモンシロチョウ	<i>Pieris brassicae</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	自然分布拡散の可能性が高い。				北海道、青森			
再検討	420		コメノシマメイガ	<i>Aglossa dimidiata</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	検疫有害動物。				北海道、愛知、滋賀、京都、和歌山、山口			
再検討	421	未定着	カクトブラスティス・カクトルム	<i>Cactoblastis cactorum</i>		○	○	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	検疫有害動物。			○				
再検討	422	小笠原・南西諸島	ガイマイツツリガ	<i>Corcyra cephalonica</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	検疫有害動物。				沖縄			
再検討	423	定着初期/限定分布	ケブカニセノメイガ	<i>Crociodolomia pavonana</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	検疫有害動物。				沖縄			
再検討	424		ミドリツツリガ	<i>Doloessa viridis</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	検疫有害動物。							
再検討	425		チャマダラメイガ	<i>Ephestia elutella</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	非検疫有害動物。							
再検討	426	分布拡大期～まん延期？	スジコナマダラメイガ	<i>Ephestia kuehniella</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	検疫有害動物。				北海道、山口、高知			
再検討	427	分布拡大期～まん延期？	スジマダラメイガ	<i>Cadra Ephestia cautella</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	検疫有害動物。				北海道、千葉、滋賀、和歌山、山口、高知、福岡、沖縄			
再検討	428		ナスノメイガ	<i>Leucinodes orbonalis</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	検疫有害動物。				沖縄			
再検討	429		サツマイモノメイガ	<i>Omphisia anastomosalis</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	検疫有害動物(省令で記載)。				鹿児島、沖縄			
再検討	430		ツツリガ	<i>Paralipsa gularis</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	非検疫有害動物。				千葉、愛知、滋賀、和歌山、山口、高知			
再検討	431		シバントガ	<i>Parapediasia teterr ella</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	検疫有害動物。				千葉、愛知、滋賀、京都、奈良、和歌山、山口、高知、福岡、宮崎、沖縄			
再検討	432		ノシメダラメイガ	<i>Plodia interpunctella</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	検疫有害動物。				北海道、千葉、愛知、滋賀、奈良、和歌山、山口、高知、福岡			
再検討	433		カシノシマメイガ	<i>Pyralis farinalis</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	検疫有害動物。				北海道、千葉、愛知、滋賀、京都、和歌山、山口			
再検討	434		イッテンオオメイガ(サンカメイガ)	<i>Scripophaga incertulas</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	検疫有害動物。				愛知、和歌山、山口、高知、福岡			
再検討	435	未定着	デンドロリムス・シビリクス	<i>Dendrolimus sibiricus</i>		○	○	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	検疫有害動物。			○				
再検討	436	分布拡大期～まん延期	アメリカシロヒトリ	<i>Hyphantria cunea</i>				-	-	○	-	-	○	○	-	-	-	-	検疫有害動物。		日本	○				
再検討	437	分布拡大期～まん延期	ガマキンウワバ(ガンマキンウワバ)	<i>Autographa gamma</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	非検疫有害動物。				京都、山口			
再検討	438	定着初期/限定分布	マンゴーフサヤガ	<i>Chlumetia brevisigna</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	八重山諸島で定着。農業害虫。自然生態系への影響小 検疫有害動物。				沖縄			
再検討	439	分布拡大期～まん延期	オオタバコガ	<i>Helicoverpa armigera</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	在来種の可能性あり。検疫有害動物。				千葉、愛知、滋賀、京都、奈良、和歌山、山口、高知			
再検討	440		シロモンアシブトクチバ	<i>Parallelia palumba</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	検疫有害動物。				沖縄			
再検討	441	未定着	タウマトボエア・ピティオカンバ	<i>Thaumetopoea pityocampa</i>		○	○	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	検疫有害動物(省令で記載)。			○				
再検討	442	分布拡大期～まん延期	オウトウナメクジハバチ	<i>Caliroa cerasi</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	検疫有害動物。				北海道、青森			
再検討	443	未定着	ノクチリオキバチ	<i>Sirex noctilio</i>		○	○	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	検疫有害動物。			○				
再検討	444	小笠原・南西諸島	ウリミバエコムバチ	<i>Phytalia fletcheri</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	非有害動物。							
再検討	445	分布拡大期～まん延期？	カンシャコバネカメムシタマゴバチ	<i>Eumicrosoma blissae</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	非有害動物。							
再検討	446	分布拡大期～まん延期？	クリタマバチ	<i>Dryocosmus kuriphilus</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	検疫有害動物。				北海道、青森、茨城、千葉、愛知、滋賀、京都、奈良、鳥取、山口、高知、福岡、宮崎			
再検討	447	定着初期/限定分布	クローバータネコバチ	<i>Bruchophagus gibbus</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	北海道。岩手。神奈川で確認。検疫有害動物。				北海道、山口			
再検討	448		チュウゴクオナゴコバチ	<i>Torymus sinensis</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	非有害動物。				茨城、千葉、山口、高知、福岡、宮崎			
再検討	449	小笠原・南西諸島	ガジュマルコバチ	<i>Eupristina verticillata</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-								
再検討	450		ルビーアカヤドリトビコバチ	<i>Anicetus beneficus</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	非有害動物。				和歌山、山口、高知、福岡、宮崎			
再検討	451	定着初期/限定分布	アネリストウス・ケロブラスタエ	<i>Aneristus ceroplastae</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	非有害動物。							
再検討	452		ヤノネキイロコバチ	<i>Aphytis yanonensis</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	非有害動物。				和歌山、山口、高知、福岡、沖縄			
再検討	453		ヤノネツヤコバチ	<i>Coccobius fulvus</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	非有害動物。				和歌山、山口、高知、福岡、宮崎、沖縄			
再検討	454		オンシツツヤコバチ	<i>Encarsia formosa</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	非有害動物。				青森、千葉、京都、高知、宮崎			
再検討	455		シルベストリコバチ	<i>Encarsia smithi</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	非有害動物。				和歌山、山口、高知、宮崎			

リスト加除対象の候補種一覧　＜動物(昆虫類)＞

 : 今回の検討から新たに候補として加わった種

- 継続

再検討

再検討(候補)

新規

新規(候補)
- : 現リストの掲載種

: 現リスト作成時に非掲載となった種で、今回も事務局としては非掲載と判断した種

: 現リスト作成時に非掲載となった種で、今回は事務局で掲載候補と判断した種

: 現リスト作成時に候補となっておらず、今回新たに検討対象としたが事務局で非掲載と判断した種

: 現リスト作成時に候補となっておらず、今回新たに検討対象とした結果、事務局で掲載候補と判断した種

【国外由来の外来種】

2024.9.17版

リスト作成後の情報追加により再検討を行う種(順不同)

検討区分	No	定着段階	和名(別名、流通名)	学名	選定理由	評価項目													備考	抽出方法					
						定着可能性		生態系被害				分布拡大		重要地域	特に問題となる被害		逸出・拡散			①外来法	②W100	③GISD	④各県	⑤意向調査	⑥その他
						生物	導入	競合	交雑	捕食摂食	生態系改変	繁殖	気候		人体	経済産業	利用	付着混入							
再検討	456	分布拡大期～まん延期？	ワタムシヤドリコバチ	<i>Aphelinus mali</i>				-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	非有害動植物。				北海道、青森、愛知			
再検討	457		ミカンキジラミヒメコバチ	<i>Tamarixia radiata</i>				-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	非有害動植物。							
再検討	458	定着初期/限定分布	デイゴヒメコバチ	<i>Quadrastichus erythrinae</i>				-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	南西諸島に定着。検疫有害動物。			○	鹿児島			
再検討	459	分布拡大期～まん延期？	シバンムシアリガタバチ	<i>Cephalonomia gallicola</i>				-	-	-	-	○	-	-	-	-	○	家屋害虫の天敵。自然生態系への影響小。非有害動植物。				京都、鳥取、徳島、福岡、宮崎			
再検討	460		イラガセイボウ	<i>Chrysis shanghaiensis</i>				-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	非有害動植物。				茨城、千葉、愛知、京都、奈良、鳥取、山口、宮崎			
再検討	461		ツマアカベッコウ	<i>Tachypompilus analis</i>				-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	非有害動植物。				奈良			
再検討	462	未定着	ラドゥメリス・タスマニエンシス	<i>Radumeris tasmaniensis</i>		○	○	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-				○				
再検討	463	未定着	アクロミルメクス・オクトスピノースス	<i>Acromyrmex octospinosus</i>		○	○	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	検疫有害動物。				○			
再検討(候補)	464	定着初期/限定分布	アシナガキアリ	<i>Anoplolepis gracilipes</i>	I			○	-	○	-	○	-	-	○	-	-	在来種の可能性あり、検疫有害動物。			IUCN	○	鹿児島		
再検討	465	未定着	ラシウス・ネグレクトウス	<i>Lasius neglectus</i>		○	○	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	非有害動植物。				○			
再検討	466	分布拡大期～まん延期	イエヒメアリ	<i>Monomorium pharaonis</i>				-	-	-	-	○	-	-	-	-	○	検疫有害動物。				○	愛知、京都、奈良、高知、福岡、宮崎、鹿児島		
再検討	467	未定着	キイロクシケアリ	<i>Myrmica rubra</i>		○	○	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	非有害動植物。				○			
再検討	468	未定着	ニランデリア・プベンス	<i>Nylanderia pubens</i>		○	○	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	検疫有害動物。				○			
再検討	469	分布拡大期～まん延期	ヒゲナガアメイロアリ	<i>Paratrechina longicornis</i>				-	-	-	-	○	-	-	-	-	◎	検疫有害動物。				○	奈良、高知、鹿児島		
再検討(候補)	470	未定着	ヒアリ類及びその交雑個体(ヒアリ、アカミアリを除く)	<i>Solenopsis papuana</i>	I, III	○	○	◎	-	◎	-	○	-	◎	◎	-	○	検疫有害動物。	特定			○			
再検討	471	分布拡大期～まん延期	アワテコムカアリ	<i>Tapinoma melanocephalum</i>				-	-	-	-	○	-	-	-	-	○	検疫有害動物。				○	山口、高知、宮崎、鹿児島		
再検討(候補)	472	定着初期/限定分布	ツヤオオズアリ	<i>Pheidole megacephala</i>	I, II			○	-	-	-	○	○	◎	-	-	-	○	検疫有害動物。小笠原において影響大。			IUCN	○	宮崎、鹿児島、沖縄	環境省関東、環境省沖縄奄美、地方公共団体
再検討	473		サトセナガアナバチ	<i>Ampulex dissector</i>				-	-	-	-	○	-	-	-	-	-								
再検討	474	定着初期/限定分布	オキナワアナバチ	<i>Prionyx viduatus</i>				-	-	-	-	○	-	-	-	-	-								
再検討	475	分布拡大期～まん延期？	アメリカジガバチ	<i>Sceliphron caementarium</i>				○	-	-	-	○	-	-	-	-	-					茨城、千葉、愛知、滋賀、奈良、和歌山、鳥取、山口、高知、福岡			
再検討	476	未定着	ヴェスプーラ・ゲルマニカ	<i>Vespula germanica</i>		○	○	-	-	○	-	○	-	◎	-	-	-					○			
再検討	477	未定着	ヴェスプーラ・ペンシルバニカ	<i>Vespula pensylvanica</i>		○	○	-	-	○	-	○	-	◎	-	-	-					○			
再検討	478	定着初期/限定分布	ムラカミツツハナバチ	<i>Osmia submicans</i>				-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	中国地方に定着。							
再検討	479	未定着	オオミツバチ	<i>Apis dorsata</i>		○	○	-	-	-	-	○	○	-	◎	-	-	-	国内で確認例あり。						
再検討	480	分布拡大期～まん延期	セイヨウミツバチ	<i>Apis mellifera</i>				-	-	-	-	○	○	-	-	-	-					青森、福島、茨城、千葉、愛知、滋賀、京都、奈良、鳥取、山口、高知、福岡、熊本、宮崎、沖縄			
再検討	481	定着初期/限定分布	ソノラクマバチ	<i>Xylocopa sonorina</i>				-	-	-	-	○	○	-	-	-	-	火山列島硫黄島に定着。					環境省関東		
再検討	482	分布拡大期～まん延期	タイワンタケクマバチ	<i>Xylocopa tranquebarorum</i>				-	-	-	-	○	○	-	◎	-	-	○	東海地方に定着。近年分布を拡大。寄生性ダニのホスト。				愛知、滋賀、京都、奈良		

リスト加除対象の候補種一覧　＜動物(昆虫類)＞

：今回の検討から新たに候補として加わった種

- 継続

再検討

再検討(候補)

新規

新規(候補)
- ：現リストの掲載種

：現リスト作成時に非掲載となった種で、今回も事務局としては非掲載と判断した種

：現リスト作成時に非掲載となった種で、今回は事務局で掲載候補と判断した種

：現リスト作成時に候補となっておらず、今回新たに検討対象としたが事務局で非掲載と判断した種

：現リスト作成時に候補となっておらず、今回新たに検討対象とした結果、事務局で掲載候補と判断した種

【国外由来の外来種】

2024.9.17版

リスト作成後の情報追加により新たに検討を行う種(順不同)

検討区分	No	定着段階	和名(別名、流通名)	学名	選定理由	評価項目													備考	抽出方法						
						定着可能性		生態系被害				分布拡大		重要地域	特に問題となる被害		逸出・拡散			①外来法	②W100	③GISD	④各県	⑤意向調査	⑥その他	
						生物	導入	競合	交雑	捕食摂食	生態系改変	繁殖	気候		人体	経済産業	利用	付着混入								
新規	483	定着初期/限定分布	スジハサミムシモドキ	<i>Elauon bipartitus</i>				—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	大発生して家屋に浸入した記録あり。				千葉				
新規(候補)	484	分布拡大大期～まん延期	ムネアカハラビロカマキリ	<i>Hierodula</i> sp.	IV			◎	—	—	—	—	○	—	—	—	◎	在来ハラビロカマキリとの関係は複数の報告あり。市販の竹箒に卵付着の事例あり。				福島、茨城、千葉、愛知、京都	環境省関東、環境省中四国			
新規	485	分布拡大大期～まん延期	カンタン	<i>Oecanthus longicauda</i>				—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	バッタ・コオロギ・ギリギリス大図鑑において在来種と指摘されている。				青森、鳥取、山口、高知、宮崎				
新規	486	分布拡大大期～まん延期	シバスズ	<i>Polionemobius mikado</i>				—	—	—	—	—	○	—	—	—	—					青森、山口、高知				
新規	487	定着初期/限定分布	タイリククサキリモドキ	<i>Phyllomimus klapperichi</i>				?	—	—	—	—	○	?	—	—	—					愛知				
新規	488	分布拡大大期～まん延期	ヒロバネカンタン	<i>Oecanthus euryelytra</i>				—	—	—	—	—	○	—	—	—	—					高知				
新規	489	分布拡大大期～まん延期	アレウロドスリプス・ファスシアベニス	<i>Aleurododthrips fasciapennis</i>				?	—	—	—	—	○	—	—	—	—					京都				
新規	490	分布拡大大期～まん延期	キミガヨランクダアザミウマ	<i>Bagnalliella yuccae</i>				—	—	—	—	—	○	—	—	—	—					福島				
新規	491	分布拡大大期～まん延期?	サンゴジュクダアザミウマ	<i>Liothrips kuwayamai</i>				—	—	—	—	—	○	—	—	—	—					京都				
新規	492	分布拡大大期～まん延期?	シロスリプス・フロンタリス	<i>Chirothrips frontalis</i>				—	—	—	—	—	○	—	—	—	—					福島				
新規	493	分布拡大大期～まん延期	テノスリプス・フリキ	<i>Tenothrips frici</i>				—	—	—	—	—	○	—	—	—	—					福島				
新規	494	分布拡大大期～まん延期	トラファザミウマ	<i>Neohydatothrips samayunkur</i>				—	—	—	—	—	○	—	—	○	—					福島				
新規	495	定着初期/限定分布?	ハブロスリプス・ニグリコルニス	<i>Haplothrips nigricornis</i>				—	—	—	—	—	○	—	—	—	—					京都				
新規	496	分布拡大大期～まん延期	アシビロヘリカメムシ	<i>Leptoglossus gonagra</i>				—	—	—	—	—	○	—	—	○	—					宮崎				
新規	497	定着初期/限定分布	アジロサシガメ	<i>Yolinus albopustulatus</i>				—	—	—	—	—	○	—	?	—	—					京都、奈良				
新規	498		アミガサハゴロモ近似種	<i>Pochazia</i> sp.				—	—	—	—	—	?	—	—	—	—	チュウゴクアミガサハゴロモの可能性?				愛知				
新規	499	分布拡大大期～まん延期	ウメシロヒメヨコバイ	<i>Singapora shinshana</i>				—	—	—	—	—	○	—	—	○	—					徳島				
新規	500		オオシラホシハゴロモ	<i>Ricania quadrimaculata</i>				—	—	—	—	—	○	—	—	—	—					愛知				
新規	501	分布拡大大期～まん延期	カラマツカサアブラムシ	<i>Adelges laricis</i>				—	—	—	—	—	○	—	—	○	—					北海道				
新規	502	分布拡大大期～まん延期	クスベニヒラタカスミカメ	<i>Mansoniella cinnamomi</i>				—	—	—	—	—	○	—	—	○	—					愛知、滋賀、京都、和歌山、愛媛、高知				
新規	503	定着初期/限定分布	クロセスジハナカメムシ	<i>Dufouriellus ater</i>				—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	○					千葉			
新規	504	分布拡大大期～まん延期?	クロテンコナカイガラムシ	<i>Phenacoccus solenopsis</i>				—	—	—	—	—	○	—	—	○	—					山口				
新規	505	分布拡大大期～まん延期	コガシラコバネナガカメムシ	<i>Pirkimerus japonicus</i>				—	—	—	—	—	○	○	—	—	—					福島、茨城、愛知				
新規	506	定着初期/限定分布?	ザクシロトゲコナジラミ	<i>Siphoninus phillyraeae</i>				—	—	—	—	—	○	—	—	?	—					福岡				
新規	507	未定着?	セジロウンカ	<i>Sogatella furcifera</i>		—?	—	—	—	—	—	—	—	—	—	◎	—	イネ、イネ科牧草の害虫。					高知			
新規	508	定着初期/限定分布	タケオオツクツク	<i>Platylomia pleti</i>				—	—	—	—	—	○	—	—	—	—					愛知				
新規	509	定着初期/限定分布?	ツマベニヒメナガカメムシ	<i>Neortholomus scolopax</i>				—	—	—	—	—	○	—	—	—	—					千葉				
新規	510	未定着?	トビイロウンカ	<i>Nilaparvata lugens</i>		—?	—	—	—	—	—	—	—	—	—	◎	—	イネ、イネ科牧草の害虫。					高知			
新規	511		ナシマルカイガラムシ	<i>Comstockaspis perniciososa</i>				—	—	—	—	—	○	—	—	○	—	農林有害動物・昆虫名鑑：果樹、観賞用植物の害虫。				北海道、青森、茨城、和歌山、山口				
新規	512	分布拡大大期～まん延期?	ナスコナカイガラムシ	<i>Phenacoccus solani</i>				—	—	—	—	—	○	—	—	○	—					奈良、高知				
新規	513	定着初期/限定分布	ビワキジラミ	<i>Cacopsylla biwa</i>				—	—	—	—	—	○	—	—	○	—	○					和歌山、徳島、香川、高知			
新規	514	分布拡大大期～まん延期	フタデンヒメヨコバイ	<i>Arboridia apicalis</i>				—	—	—	—	—	○	—	—	○	—					高知				
新規	515	定着初期/限定分布	ヘリチャハゴロモ	<i>Salurnis marginella</i>				—	—	—	—	—	○	—	—	—	—					愛知				
新規	516	分布拡大大期～まん延期?	アメリカアカヘリタムシ	<i>Buprestis aurulenta</i>				—	—	—	—	—	○	—	—	—	—					滋賀				
新規	517		オーストラリアマルトゲムシの一種	<i>Microchaetes</i> sp.				—	—	—	—	—	○	—	—	—	—					京都				
新規	518	分布拡大大期～まん延期	オオナガシンクイ	<i>Heterobostrychus hamatipennis</i>				—	—	—	—	—	○	—	—	○	—	乾材の害虫。					千葉、愛知、和歌山、山口、高知、福岡			
新規	519	分布拡大大期～まん延期?	カドコブデオネスイ	<i>Monotoma brevicollis brevicollis</i>				—	—	—	—	—	○	—	—	?	—					千葉				
新規	520	分布拡大大期～まん延期	カバイロヒョウホンムシ	<i>Pseudeurostus hilleri</i>				—	—	—	—	—	○	—	—	—	—					千葉、愛知、京都、和歌山				
新規	521	定着初期/限定分布	カラタチトビハムシ	<i>Podagricomela weisei</i>				—	—	—	—	—	○	—	—	○?	—					千葉				
新規	522	分布拡大大期～まん延期	キイロケシマキムシ	<i>Corticaria elongata</i>				—	—	—	—	—	○	—	—	?	—					和歌山				
新規	523	分布拡大大期～まん延期	キュウリュウゴミムシシダマシ	<i>Palembus dermestoides</i>				—	—	—	—	—	○	—	—	○	—	貯穀・貯蔵食品の害虫。					京都			

リスト加除対象の候補種一覧 <動物(昆虫類)>

 : 今回の検討から新たに候補として加わった種

継続	: 現リストの掲載種
再検討	: 現リスト作成時に非掲載となった種で、今回も事務局としては非掲載と判断した種
再検討(候補)	: 現リスト作成時に非掲載となった種で、今回は事務局で 掲載候補と判断 した種
新規	: 現リスト作成時に候補となっておらず、今回新たに検討対象としたが事務局で非掲載と判断した種
新規(候補)	: 現リスト作成時に候補となっておらず、今回新たに検討対象とした結果、事務局で 掲載候補と判断 した種

【国外由来の外来種】

2024.9.17版

リスト作成後の情報追加により新たに検討を行う種(順不同)

検討区分	No	定着段階	和名(別名、流通名)	学名	選定理由	評価項目													備考	抽出方法						
						定着可能性		生態系被害				分布拡大		重要地域	特に問題となる被害		逸出・拡散			①外来法	②W100	③GISD	④各県	⑤意向調査	⑥その他	
						生物	導入	競合	交雑	捕食摂食	生態系改変	繁殖	気候		人体	経済産業	利用	付着混入								
新規	524	分布拡大期～まん延期	クビアカルリヒラタカミキリ(チャイロホソヒラタカミキリ)	Phymatodes testaceus					-	-	-	-	-	○	-	-	○	-	-	乾材の害虫。				京都		
新規	525	分布拡大期～まん延期	クリノミキウイムシ	Poecilips cardamomi					-	-	-	-	-	○	-	-	○	-	-				宮崎			
新規	526	分布拡大期～まん延期	ケヤキヒラタキウイムシ	Lyctus sinensis					-	-	-	-	-	○	-	-	○	-	-	乾材の害虫。				京都		
新規	527	分布拡大期～まん延期	コクゾウムシ	Sitophilus zeamais					-	-	-	-	-	○	-	-	○	-	-	コメ、ムギ、トウモロコシなどの重要害虫。				福島、茨城、千葉、山口、高知		
新規	528	分布拡大期～まん延期	コクヌストモドキ	Tribolium castaneum					-	-	-	-	-	○	-	-	○	-	-				福島、茨城、千葉、愛知、京都、和歌山、山口、高知、福岡、宮崎			
新規	529	定着初期/限定分布	サツマイモヒサゴトビハムシ	Chaetocnema confinis					-	-	-	-	-	○	-	-	○	-	-				宮崎			
新規(候補)	530	定着初期/限定分布	サビイロクワカミキリ	Apriona swainsoni swainsoni	I, III				○	-	○	-	○	-	-	○	-	-		特定			福島	農林水産省、環境省東北、地方公共団体		
新規	531	分布拡大期～まん延期	サビカッコウムシ	Thaneroclerus buquet					-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-				京都			
新規	532	未定着?	ジュウシホシキイロオオハムシ	Podontia quatuordecimpunctata		?	?		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				愛知			
新規	533	分布拡大期～まん延期	シロオビマルカツオブシムシ	Anthrenus nipponensis					-	-	-	-	-	○	-	-	○	-	-				茨城、千葉、愛知、京都、和歌山、山口、福岡			
新規	534	分布拡大期～まん延期	シロスジタコゾウムシ	Hypera conmaculata					-	-	-	-	-	○	-	-	?	-	-				福島			
新規	535	定着初期/限定分布	タイワンゴマダラカミキリ	Anoplophora macularia					-	-	-	-	-	○	-	-	?	-	-				沖縄			
新規	536	定着初期/限定分布?	タイワンヤツボシハンミョウ	Cosmodela batesi					-	-	○?	-	-	○	-	-	-	-	-	第11回特定外来生物等分類群専門家グループ会合(昆虫類等陸生節足動物)で荒谷委員が言及。				沖縄		
新規	537	分布拡大期～まん延期	タバコノミハムシ	Epitrix hirtipennis					-	-	-	-	-	○	-	-	○	-	-				福島、茨城、千葉、愛知			
新規	538	分布拡大期～まん延期	ツシママダラテントウ	Epilachna chinensis tsushimana					-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-				福岡			
新規	539	分布拡大期～まん延期	ツメクサタコゾウムシ	Hypera nigrirostris					-	-	-	-	-	○	-	-	○	-	-	マメ科牧草の害虫。				福島、千葉		
新規	540	定着初期/限定分布	ツヤケシオオゴミシダマシ	Zophobas atratus					-	-	-	-	-	?	-	-	-	○?	-	通称ジャイアントミルワーム?				和歌山		
新規	541	定着初期/限定分布?	トウキョウヒメハンミョウ	Cicindela kaleea yedoensis					-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-				和歌山			
新規	542	分布拡大期～まん延期	ナガヒョウホンムシ	Ptinus japonicus					-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-				青森、茨城、千葉、愛知、滋賀、京都、和歌山、山口、福岡			
新規	543	分布拡大期～まん延期	ナガフトヒゲナガゾウムシ	Xylina striatifrons					-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-				京都、奈良、和歌山			
新規	544	分布拡大期～まん延期	ナラヒラタキウイムシ	Lyctus linearis					-	-	-	-	-	○	-	-	○	-	-	乾材の害虫。				北海道、和歌山		
新規	545	分布拡大期～まん延期	ニセキボシヒラタケシキスイ	Omosita japonica					-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-				福島、茨城、千葉			
新規	546	分布拡大期～まん延期	ノコギリヒラタムシ	Oryzaephilus surinamensis					-	-	-	-	-	○	-	-	○	-	-	貯穀・貯蔵食品の害虫。				愛知、京都、和歌山、高知、福岡		
新規	547	分布拡大期～まん延期	ヒメカツオブシムシ	Attagenus japonicus					-	-	-	-	-	○	-	-	○	-	-	貯穀・貯蔵食品の害虫。				千葉、愛知、京都、和歌山、鳥取、山口、福岡		
新規	548	分布拡大期～まん延期	ヒメマルカツオブシムシ	Anthrenus verbasci					-	-	-	-	-	○	-	-	○	-	-	養蚕で害虫、農林有害動物、貯蔵食品の害虫。				和歌山		
新規	549	分布拡大期～まん延期	ヘリグロヒラタケシキスイ	Omosita discoidea					-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-				福島、茨城、千葉			
新規	550	分布拡大期～まん延期	ホホビロホソヒラタムシ	Silvanoprus longicollis					-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	○				滋賀			
新規(候補)	551	未定着	特定外来生物のマルバネクワガタ属10種	Lucanidae Gen spp.	I	○	◎	○	◎	-	-	-	-	○	○	-	-	◎	-	国内希少種の在来マルバネクワガタとの交雑や競合が懸念される。	特定			長崎		
新規	552	分布拡大期～まん延期	ミヤコグサマメゾウムシ	Bruchus loti					-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-				千葉			
新規	553	定着初期/限定分布	ムネアカオオクロテントウ	Synona consanguinea					-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-				京都、和歌山			
新規	554	分布拡大期～まん延期	ムネアカヒメマキムシ	Dienerella ruficollis					-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-				和歌山			
新規	555	分布拡大期～まん延期	モンクチビルテントウ	Platynaspidius maculosus					-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-				茨城、千葉、愛知、福岡			
新規	556	分布拡大期～まん延期	ヤマトオサムシダマシ	Blaps japonensis					-	-	-	-	-	○	-	-	○	-	-	京都府RL掲載種、農林有害動物・昆虫名鑑:貯穀・貯蔵食品の害虫。				京都		
新規	557	分布拡大期～まん延期	ユーカリハムシ	Trachymela sloanei					-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-				茨城、千葉、京都			
新規	558	分布拡大期～まん延期	リュウキュウホソシバンムシ	Oligomerus chujo					-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-				京都			
新規	560	分布拡大期～まん延期	クサビノミバエ	Megaselia scalaris					-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-				福岡			
新規	561		ショクガタマバエ	Aphidoletes aphidimyza					-	?	-	-	-	-	-	-	-	○	-	定着や日本個体群との交雑などは不明。				京都		
新規	562		バラハオレタマバエ	Contarinia sp					-	-	-	-	-	○	-	-	○	-	-				宮崎			
新規	563	分布拡大期～まん延期	ハリエンジュハベリマキタマバエ	Obolodiplosis robiniae					-	-	-	-	-	○	-	-	○	-	-	被害の有無については相反する報告があり、要調査という情報がある。				福岡		

リスト加除対象の候補種一覧 <動物(昆虫類)>

 : 今回の検討から新たに候補として加わった種

継続	: 現リストの掲載種
再検討	: 現リスト作成時に非掲載となった種で、今回も事務局としては非掲載と判断した種
再検討(候補)	: 現リスト作成時に非掲載となった種で、今回は事務局で 掲載候補と判断 した種
新規	: 現リスト作成時に候補となっておらず、今回新たに検討対象としたが事務局で非掲載と判断した種
新規(候補)	: 現リスト作成時に候補となっておらず、今回新たに検討対象とした結果、事務局で 掲載候補と判断 した種

【国外由来の外来種】

2024.9.17版

リスト作成後の情報追加により新たに検討を行う種(順不同)

検討区分	No	定着段階	和名(別名、流通名)	学名	選定理由	評価項目													備考	抽出方法					
						定着可能性		生態系被害				分布拡大		重要地域	特に問題となる被害		逸出・拡散			①外来法	②W100	③GISD	④各県	⑤意向調査	⑥その他
						生物	導入	競合	交雑	捕食摂食	生態系改変	繁殖	気候		人体	経済産業	利用	付着混入							
新規	564	分布拡大期～まん延期？	ヒツジバエ	<i>Oestrus ovis</i>				－	－	－	－	－	○	－	－	○	－	－					北海道		
新規	565	分布拡大期～まん延期	オオミノガ	<i>Eumeta japonica</i>				－	－	－	－	－	○	－	－	－	－	－					愛知		
新規	566	分布拡大期～まん延期	カラマツミキモグリガ	<i>Cidia laricicolana</i>				－	－	－	－	－	○	－	－	○	－	－	カラマツの害虫。				北海道		
新規	567	定着初期/限定分布？	キキョウトリバ	<i>Stenoptilia zophodactyla</i>				－	－	－	－	－	○？	－	－	○	－	－					山口		
新規	568	分布拡大期～まん延期	キョウチクトウスズメ	<i>Daphnis nerii</i>				－	－	－	－	○	○	－	－	－	－	－	過去に静岡で大発生した記録がある。				千葉、愛知、山口、福岡		
新規	569	分布拡大期～まん延期	クロボシセセリ	<i>Suastus gremius</i>				－	－	－	－	－	○	－	－	－	－	－					宮崎、鹿児島		
新規	570	定着初期/限定分布？	クロマダラソテツシジミ	<i>Chilades pandava</i>				－	－	○	－	－	○？	－	－	○	－	－	ソテツの害虫。侵入については複数の報告あり。				茨城、千葉、滋賀、奈良、高知		
新規	571	分布拡大期～まん延期	コナガ	<i>Plutella xylostella</i>				－	－	－	－	－	○	－	－	○	－	－	アブラナ科の害虫。				京都		
新規	572	分布拡大期～まん延期	シロイチモジヨトウ	<i>Spodoptera exigua</i>				－	－	－	－	－	○	－	－	○	－	－	農林有害動物・昆虫名鑑：マメ類、ネギ、テンサイなどの害虫。				千葉、京都、奈良、和歌山、宮崎		
新規	573	分布拡大期～まん延期	ツマジロクサヨトウ	<i>Spodoptera frugiperda</i>				－	－	－	－	○	○	－	－	○	－	－					福島、千葉、愛知、高知		
新規	574	分布拡大期～まん延期	ニカメイガ	<i>Chilo suppressalis</i>				－	－	－	－	－	○	－	－	○	－	－	イネの害虫。				北海道		
新規	575	分布拡大期～まん延期	ニセタマナヤガ	<i>Peridroma saucia</i>				－	－	－	－	－	○	－	－	－	－	－					青森、和歌山、山口、高知		
新規	576	未定着	ヘレナキシタアゲハ	<i>Troides helenae</i>		？	？	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－					千葉		
新規	577	分布拡大期～まん延期	ボケヒメシンクイまたはスモモヒメシンクイ	<i>Grapholitha dimorpha</i>				－	－	－	－	－	○	－	－	○	－	－	モモ、リンゴの害虫。				北海道		
新規	578	定着初期/限定分布？	ムシャクツバメシジミ	<i>Tongeia filicaudis</i>				－	－	－	－	－	○	－	－	－	－	○？					愛知		
新規	579	分布拡大期～まん延期	モンシロチョウ	<i>Pieris rapae</i>				－	－	－	－	－	○	－	－	－	－	－	沖縄県へは1958年に侵入。				愛知、鳥取、山口、高知		
新規	580	分布拡大期～まん延期	ワモンノメイガ	<i>Nomophila noctuella</i>				－	－	－	－	－	○	－	－	○？	－	－	マツや野菜を食害。				宮崎		
新規	581	定着初期/限定分布？	アシジロヒラフシアリ	<i>Technomyrmex brunneus</i>				○	－	－	－	－	○	○	－	○	－	○	放浪種。				宮崎、鹿児島	環境省関東	
新規	582		イサエアヒメコバチ(ヨーロッパ個体群)	<i>Diglyphus isaea</i>				－	－	－	－	－	○	－	－	－	○	－	生物農薬として販売されている。				京都		
新規	583		イマイツツハナバチ	<i>Osmia jacoti</i>				－	－	－	－	－	○	－	－	－	－	－					千葉、滋賀		
新規	584	分布拡大期～まん延期	インドオオズアリ	<i>Pheidole indica</i>				－	－	－	－	－	○	－	－	－	－	－					山口、宮崎		
新規	585		ウスヒメキアリ	<i>Plagiolepis alluaudi</i>				－	－	－	－	－	○	－	－	－	－	－	放浪種。				沖縄		
新規	586		オオシワアリ	<i>Tetramorium bicarinatum</i>				－	－	－	－	－	○	－	－	－	－	－					山口、宮崎		
新規	587		カドフシニセハリアリ	<i>Hypoponera opaciceps</i>				－	－	－	－	－	○	－	－	－	－	－					鹿児島		
新規	588		キイロハダカアリ	<i>Cardiocondyla obscurior</i>				－	－	－	－	－	○	－	－	－	－	－					鹿児島		
新規	589		キゴシジガバチ	<i>Sceliphron madraspatanum</i>				－	－	－	－	－	○	－	－	－	－	－					山口		
新規	590		クビレハリアリ	<i>Ooceraea biroi</i>				－	－	－	－	－	○	－	－	－	－	－					鹿児島		
新規	591		クロヒメアリ	<i>Monomorium chinense</i>				－	－	－	－	－	○	－	－	－	－	－					山口、宮崎		
新規	592		ケブカアメイロアリ	<i>Nylanderia amia</i>				－	－	－	－	－	○	－	－	－	－	－					福島、京都、山口、宮崎		
新規	593		ゴキブリヤセバチ	<i>Evania appendigaster</i>				－	－	－	－	－	○	－	－	－	－	－					千葉		
新規	594		コレマンアブラバチ	<i>Aphidius colemani</i>				－	－	－	－	－	○	－	－	－	○	－	生物農薬として販売されている。				京都		
新規	595		サバクツヤコバチ	<i>Eretmocerus eremicus</i>				－	－	－	－	－	○	－	－	－	○	－	生物農薬として販売されている。				京都		
新規	596		シフヒメアリ	<i>Monomorium latinode</i>				－	－	－	－	－	○	－	－	－	－	－	放浪種。				鹿児島		
新規	597		トカラウロコアリ	<i>Pyramica membranifera</i>				－	－	－	－	－	○	－	－	－	－	－					鹿児島		
新規	598		ナンヨウテンコクオオズアリ	<i>Pheidole parva</i>				－	－	－	－	－	○	－	－	－	－	○					鹿児島		
新規	599		ニッポンモンキジガバチ	<i>Sceliphron deforme nipponicum</i>				－	－	－	－	－	○	－	－	－	－	－					青森		
新規	600		ハダカアリ属の一種	<i>Cardiocondyla</i> sp.				－	－	－	－	－	○	－	－	－	－	－	ハダカアリ属に放浪種が複数存在。				山口		
新規	601		ハモグリコムユバチ	<i>Daenusa sibirica</i>				－	－	－	－	－	○	－	－	－	－	－					京都		
新規(候補)	602	定着初期/限定分布	ハヤトゲフシアリ	<i>Lepisiota frauenfeldi</i>	I			○	－	○	○	－	○	－	－	○	－	－		特定			愛知、大阪、沖縄	環境省沖縄奄美、地方公共団体	
新規	603		ハリエンジュノハバチ	<i>Euura tibialis</i>				－	－	－	－	－	○	－	－	－	－	－					愛知		
新規	604		フタイロヒメアリ	<i>Monomorium floricola</i>				－	－	－	－	－	○	－	－	－	－	－				○	山口、鹿児島		
新規	605		モンキジガバチ名義タイプ亜種	<i>Sceliphron deforme deforme</i>				－	－	－	－	－	○	－	－	－	－	－					千葉		
新規	606		ヨーロッパトビチビアメバチ	<i>Bathyplectes anurus</i>				－	－	－	－	－	○	－	－	－	－	－					福岡		
新規	607		ルリトガリヒメバチ	<i>Chlorocryptus purpuratus</i>				－	－	－	－	－	○	－	－	－	－	－					奈良		
新規	608	定着初期/限定分布？	ムツスジアシナガゾウムシ	<i>Merus waltoni</i>				－	－	－	－	－	－	－	－	○	－	－						地方公共団体	
新規	609	定着初期/限定分布	アカギヒメヨコバイ	<i>Coloana arcuata</i>				－	－	－	－	－	－	－	－	○	－	－						農林水産省	
新規	610	分布拡大期～まん延期	シタベニハゴロモ	<i>Lycorma delicatula</i>				－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－						環境省関東	
新規	611	定着初期/限定分布？	ビサヤアカアシカタゾウムシ	<i>Metapocyrtus adspersus</i>				－	－	○	－	－	－	－	－	○	－	－						環境省沖縄奄美	
新規	612	定着初期/限定分布？	ヘデラアカアシカタゾウムシ	<i>Metapocyrtus hederæphilus</i>				－	－	○	－	－	－	－	－	－	－	－						環境省沖縄奄美	

リスト加除対象の候補種一覧 <動物(昆虫類)>

 : 今回の検討から新たに候補として加わった種

継続

再検討

再検討(候補)

新規

新規(候補)

: 現リストの掲載種

: 現リスト作成時に非掲載となった種で、今回も事務局としては非掲載と判断した種

: 現リスト作成時に非掲載となった種で、今回は事務局で掲載候補と判断した種

: 現リスト作成時に候補となっておらず、今回新たに検討対象としたが事務局で非掲載と判断した種

: 現リスト作成時に候補となっておらず、今回新たに検討対象とした結果、事務局で掲載候補と判断した種

【国外由来の外来種】

リスト作成後の情報追加により新たに検討を行う種(順不同)

2024.9.17版

検討区分	No	定着段階	和名(別名、流通名)	学名	選定理由	評価項目												備考	抽出方法						
						定着可能性		生態系被害				分布拡大		重要地域	特に問題となる被害		逸出・拡散		①外来法	②W100	③GISD	④各県	⑤意向調査	⑥その他	
						生物	導入	競合	交雑	捕食摂食	生態系改変	繁殖	気候		人体	経済産業	利用								付着混入
新規	613	定着初期/限定分布	ツマキトゲナシクモバチ	Lissocnemis brevipennis				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-								
新規	614	未定着	ハチノスムクゲケシキスイ	Aethina tumida		○	○	-	-	-	-	-	-	-	○		○								
新規	615	未定着	ラズベリークレイジーアント	Nylanderia fulva		○	○	○	-	-	-	○	-	-	○		○								

リスト加除対象の候補種一覧　＜動物(昆虫類)＞

 : 今回の検討から新たに候補として加わった種

- 継続

再検討

再検討(候補)

新規

新規(候補)
- : 現リストの掲載種

: 現リスト作成時に非掲載となった種で、今回も事務局としては非掲載と判断した種

: 現リスト作成時に非掲載となった種で、今回は事務局で掲載候補と判断した種

: 現リスト作成時に候補となっておらず、今回新たに検討対象としたが事務局で非掲載と判断した種

: 現リスト作成時に候補となっておらず、今回新たに検討対象とした結果、事務局で掲載候補と判断した種

【国内由来の外来種・国内に自然分布域を持つ国外由来の外来種】

2024.9.17版

検討区分	No	定着段階	和名(別名、流通名)	学名	選定理由	評価項目										備考	抽出方法								
						定着可能性		生態系被害				分布拡大		重要地域	特に問題となる被害		逸出・拡散		①外来法	②W100	③GISD	④各県	⑤意向調査	⑥その他	
						生物	導入	競合	交雑	捕食摂食	生態系改変	繁殖	気候		人体		経済産業	利用							付着混入
継続	1	国内由来の外来種	伊豆諸島などのリュウキュウツヤハナムグリ	<i>Protaetia pryeri</i>	IV			○	－	－	－	○	○	○	－	－	－	－	生息実態及び生態系への影響に関する知見の集積が必要。						
継続	2	国内由来の外来種	北海道・沖縄のカトムシ本土亜種	<i>Trypoxylus dichotomus septentrionalis</i>	I			○	◎	－	－	－	○	－	－	－	○	－	飼育下では沖縄亜種との交雑が確認され、野外での交雑による固有遺伝子への影響が懸念されている。北海道では知見の集積が必要。				北海道、鹿児島、沖縄		

リスト作成後の情報追加により再検討を行う種(順不同)

検討区分	No	定着段階	和名(別名、流通名)	学名	選定理由	評価項目												備考	抽出方法						
						定着可能性		生態系被害			分布拡大		特に問題と 逸出・拡散	備考	抽出方法										
						生物	導入	競合	交雑	捕食 摂食	生態系改 変	繁殖			気候	重要 地域	人体		経済 産業	利用	付着 混入	①外来法	②W100	③GISD	④各県
再検討	3	国内由来の外来種	カラマツイボオアブラムシ	<i>Cinara laricis</i>				—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	カラマツが宿主。				北海道			
再検討	4	国内由来の外来種	アオオサムシ	<i>Carabus insulicola</i>				—	—	—	—	—	—	—	—	—	—					北海道			
再検討	5	国内由来の外来種	イネクビボソムシ	<i>Oulema oryzae</i>				—	—	—	—	—	—	—	—	—	—					京都、山口、高知、宮崎、沖縄			
再検討	6	国内由来の外来種	オリーブアナアキゾウムシ	<i>Dyscerus perforatus</i>				—	—	—	—	—	—	—	—	—	—					北海道			
再検討	7	国内由来の外来種	カラマツイトヒキハマキ	<i>Ptycholomoides aeriferana</i>				—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	カラマツが宿主。					北海道、青森		
再検討	8	国内由来の外来種	カワラケアリ	<i>Lasius sakagami</i>				—	—	—	—	—	—	—	—	—	—					青森、高知、沖縄			
再検討	9	国内由来の外来種	アギトアリ	<i>Odontomachus monticola</i>				—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	非検疫有害動物。							
再検討	10	国内由来の外来種	タケノホソクロバ	<i>Artona martini</i>				—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	小笠原に侵入、非検疫有害動物。					千葉、愛知、和歌山、山口、高知、福岡		

リスト加除対象の候補種一覧 <動物(昆虫類)>

 : 今回の検討から新たに候補として加わった種

- 継続

再検討

再検討(候補)

新規

新規(候補)
- : 現リストの掲載種

: 現リスト作成時に非掲載となった種で、今回も事務局としては非掲載と判断した種

: 現リスト作成時に非掲載となった種で、今回は事務局で掲載候補と判断した種

: 現リスト作成時に候補となっておらず、今回新たに検討対象としたが事務局で非掲載と判断した種

: 現リスト作成時に候補となっておらず、今回新たに検討対象とした結果、事務局で掲載候補と判断した種

【国内由来の外来種・国内に自然分布域を持つ国外由来の外来種】

2024.9.17版

リスト作成後の情報追加により新たに検討を行う種(順不同)

検討区分	No	定着段階	和名(別名、流通名)	学名	選定理由	評価項目													備考	抽出方法					
						定着可能性		生態系被害				分布拡大		重要地域	特に問題となる被害		逸出・拡散			①外来法	②W100	③GISD	④各県	⑤意向調査	⑥その他
						生物	導入	競合	交雑	捕食摂食	生態系改変	繁殖	気候		人体	経済産業	利用	付着混入							
新規	11	国内由来の外来種	リュウキュウベニイトトンボ	<i>Ceriagrion auranticum ryukyuanum</i>				—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—					高知		
新規	12	国内由来の外来種	スジハサミムシ	<i>Proreus simulans</i>				—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—					愛知		
新規	13	国内由来の外来種	ウルシゴキブリ	<i>Periplaneta japanna</i>				—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—					北海道		
新規	14	国内由来の外来種	オオゴキブリ	<i>Panesthia angustipennis spadica</i>				—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—					山口		
新規	15	国内由来の外来種	サツマゴキブリ	<i>Opisthoplatia orientalis</i>				—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	○					千葉、愛知、和歌山、高知		
新規	16	国内由来の外来種	ヒメクロゴキブリ	<i>Chorisoneura nigra</i>				—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—					千葉		
新規	17	国内由来の外来種	アカハネオンブバッタ	<i>Atractomorpha sinensis</i>				○	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	在来オンブバッタとの競合が示唆されている。				滋賀、京都、奈良、和歌山		
新規	18	国内由来の外来種	タイワンクツワムシ	<i>Mecopoda elongata</i>				—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—					高知		
新規	19	国内由来の外来種	アカギカメムシ	<i>Cantao ocellatus</i>				—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—					高知		
新規	20	国内由来の外来種	ウスリーカキカイガラムシ	<i>Lepidosaphes ussuriensis</i>				—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—					宮崎		
新規	21	国内由来の外来種	カツラマルカイガラムシ	<i>Comstockaspis macroporana</i>				—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—					滋賀、宮崎		
新規	22	国内由来の外来種	カラマツオオアブラムシ	<i>Cinara laricicola</i>				—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—					北海道		
新規	23	国内由来の外来種	カラマツチビオオアブラムシ	<i>Cinara chibi</i>				—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	○					北海道		
新規	24	国内由来の外来種	カラマツミキオオアブラムシ	<i>Cinara kochi</i>				—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—					北海道		
新規	25	国内由来の外来種	キノカワハゴロモ	<i>Atracis formosana</i>				—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—					千葉		
新規	26	国内由来の外来種	クマゼミ	<i>Cryptotympana facialis</i>				—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—					鹿児島		
新規	27	国内由来の外来種	クロイワツクツク	<i>Meimuna kuroiwa</i>				—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—					千葉		
新規	28	国内由来の外来種	ヒメゲンバイ	<i>Uhlirites debilis</i>				—	—	—	—	—	○	—	—	○	—	—	カンキツグリーニング病菌の媒介昆虫。				宮崎		
新規	29	国内由来の外来種	ミカンキジラミ	<i>Diaphorina citri</i>				—	—	—	—	—	○	—	—	○	—	—				○	高知、鹿児島		
新規	30	国内由来の外来種	ミナミアオカメムシ	<i>Nezara viridula</i>				—	—	—	—	—	○	—	—	○	—	—	水稲や大豆の害虫として知られる。				千葉、滋賀、福岡		
新規	31	国内由来の外来種	ミナミトゲヘリカメムシ	<i>Paradasynus spinosus</i>				—	—	—	—	—	○	—	—	○	—	—	柑橘類の害虫として知られる。				千葉		
新規	32	国内由来の外来種	アオドウガネ	<i>Anomala albopiosa</i>				○	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	元々は西日本に生息している種。関東地方ではドウガネブイブイやヤマトアオドウガネとの競合が示唆されている。				茨城	地方公共団体	
新規	33	国内由来の外来種	アカアシクワガタ	<i>Dorcus rubrofemoratus rubrofemoratus</i>				—	—	—	—	—	○	—	—	—	○	—	インターネット上で野生個体及び養殖個体の販売がされている。				千葉		
新規	34	国内由来の外来種	ウスグロトラカミキリ	<i>Chlorophorus signaticollis</i>				—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—					京都		
新規	35	国内由来の外来種	オオクワガタ(本州産)	<i>Dorcus hopei binodulosus</i>				—	○	—	—	—	○	—	—	—	◎	—	インターネット上で野生個体及び養殖個体の販売がされている。また、一部の地域では屋内で繁殖させた個体を野外へ放虫する問題が発生している。				北海道	地方公共団体	
新規	36	国内由来の外来種	オキナワイチモンジハムシ	<i>Morphosphaera coerulea</i>				—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—					千葉、鹿児島		
新規	37	国内由来の外来種	オキナフスジボタル	<i>Curtos okinawanus</i>				—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—					宮崎、鹿児島		
新規	38	国内由来の外来種	カシノナガキクイムシ	<i>Platypus quercivorus</i>				—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—					茨城		
新規	39	国内由来の外来種	キボシカミキリ	<i>Psacothoe hilaris hilaris</i>				—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—					福島、千葉、徳島、高知、福岡、宮崎		
新規	40	国内由来の外来種	クワカミキリ	<i>Apriona japonica</i>				—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—					鹿児島		
新規	41	国内由来の外来種	ケブカトラカミキリ	<i>Hirticlytus comosus</i>				—	—	—	—	—	○	—	—	○	—	—					茨城、千葉	農林水産省	
新規	42	国内由来の外来種	ゲンジボタル	<i>Luciola cruciata</i>				—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—					北海道、青森、鹿児島	地方公共団体	
新規	43	国内由来の外来種	ゴマダラカミキリ	<i>Anoplophora malasiaca</i>				—	—	—	—	—	○	—	—	○	—	—					鹿児島		
新規	44	国内由来の外来種	ゴモクムシダマシ	<i>Blindus strigosus</i>				—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—					茨城、千葉		
新規	45	国内由来の外来種	サビナカボソタマムシ	<i>Coraeus ishiharae</i>				—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—					愛知		
新規	46	国内由来の外来種	シロヘリトラカミキリ	<i>Anaglyptus colobotheoides</i>				—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—					京都		
新規	47	国内由来の外来種	ツシマムナクボカミキリ	<i>Cephalallus unicolor unicolor</i>				—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—					福島、愛知、滋賀、京都、高知、福岡		
新規	48	国内由来の外来種	ナエドコチャイロコガネ	<i>Sericania mimica</i>				—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—					和歌山		
新規	49	国内由来の外来種	ハコベタコゾウムシ	<i>Hypera basalis</i>				—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—					福島		
新規	50	国内由来の外来種	ハマゴウハムシ	<i>Phola octodecimguttata</i>				—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—					千葉		
新規	51	国内由来の外来種	ハラアカコブカミキリ	<i>Moechotypa diphysis</i>				—	—	—	—	—	○	—	—	○	—	○					茨城、千葉、愛知、山口、福岡、宮崎	農林水産省	
新規	52	国内由来の外来種	ヒメスギカミキリ	<i>Callidiellum rufipenne</i>				—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—					鹿児島		
新規	53	国内由来の外来種	ヘイケボタル	<i>Luciola lateralis</i>				—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—					北海道		
新規	54	国内由来の外来種	ヘリアカゴミムシダマシ	<i>Genoscelis lateralis</i>				—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—					愛知		
新規	55	国内由来の外来種	ホシベニカミキリ	<i>Eupromus ruber</i>				—	—	○	—	—	○	—	—	—	—	—					奈良、鹿児島	地方公共団体	
新規	56	国内由来の外来種	マツノマダラカミキリ	<i>Monochamus alternatus</i>				—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	マツノザイセンチュウの媒介昆虫。				青森、鹿児島	環境省中四国	
新規	57	国内由来の外来種	マメコガネ	<i>Popillia japonica</i>				—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—					鹿児島		
新規(候補)	58	国内由来の外来種	ヤエヤママドボタル(オオシママドボタル)	<i>Pyrocoelia atripennis</i>	I, IV			—	—	○	—	—	○	○	—	—	—	○	沖縄本島へ侵入・分布を拡大し、国内希少野生動植物種であるアマノヤマカタマイマイへの影響が懸念されている。				沖縄	環境省関東、環境省沖縄奄美	
新規	59	国内由来の外来種	ヨツスジカミキリ	<i>Notomulciber quadrisignatus</i>				—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—					宮崎		
新規	60	国内由来の外来種	ヨツモンカメノコハムシ	<i>Laccolptera quadrimaculata</i>				—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—					愛知、山口、高知、福岡、宮崎、鹿児島		
新規	61	国内由来の外来種	カラマツタネバエ	<i>Strobilomyia laricicola</i>				—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—					北海道		
新規	62	国内由来の外来種	ショウガクロバネキノコバエ	<i>Phytosciara zingiberis</i>				—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—					宮崎		
新規	63	国内由来の外来種	ダイコンバエ	<i>Delia floralis</i>				—	—	—	—	—	○	—	—	○	—	—					青森		

リスト加除対象の候補種一覧　＜動物(昆虫類)＞

 : 今回の検討から新たに候補として加わった種

- 継続

再検討

再検討(候補)

新規

新規(候補)
- : 現リストの掲載種

: 現リスト作成時に非掲載となった種で、今回も事務局としては非掲載と判断した種

: 現リスト作成時に非掲載となった種で、今回は事務局で掲載候補と判断した種

: 現リスト作成時に候補となっておらず、今回新たに検討対象としたが事務局で非掲載と判断した種

: 現リスト作成時に候補となっておらず、今回新たに検討対象とした結果、事務局で掲載候補と判断した種

【国内由来の外来種・国内に自然分布域を持つ国外由来の外来種】

2024.9.17版

リスト作成後の情報追加により新たに検討を行う種(順不同)

検討区分	No	定着段階	和名(別名、流通名)	学名	選定理由	評価項目													備考	抽出方法						
						定着可能性		生態系被害				分布拡大		重要地域	特に問題となる被害		逸出・拡散			①外来法	②W100	③GISD	④各県	⑤意向調査	⑥その他	
						生物	導入	競合	交雑	捕食摂食	生態系改変	繁殖	気候		人体	経済産業	利用	付着混入								
新規	64	国内由来の外來種	ヒトスジシマカ	<i>Aedes albopictus</i>				—	—	—	—	○	—	—	—	—	—					茨城				
新規	65	国内由来の外來種	イチジクヒトリモドキ	<i>Asota ficus</i>				—	—	—	—	○	—	—	—	—	—					滋賀、京都、奈良、高知、宮崎				
新規	66	国内由来の外來種	カラマツチャイロヒメハマキ	<i>Zeiraphera lariciana</i>				—	—	—	—	○	—	—	—	—	—					北海道				
新規	67	国内由来の外來種	カラマツツツミノガ	<i>Coleophora longisignella</i>				—	—	—	—	○	—	—	—	—	—					北海道				
新規	68	国内由来の外來種	カラマツヒメハマキ	<i>Spilonota eremitana</i>				—	—	—	—	○	—	—	—	—	—					北海道				
新規	69	国内由来の外來種	ギフチョウ	<i>Luehdorfia japonica</i>				—	—	—	—	○	—	—	—	—	—					神奈川、和歌山				
新規	70	国内由来の外來種	クロセセリ	<i>Notocrypta curvifascia curvifascia</i>				—	—	—	—	○	—	—	—	—	—					高知				
新規	71	国内由来の外來種	クロメンガタスズメ	<i>Acherontia lachesis</i>				—	—	—	—	○	—	—	—	—	—					福島、千葉、高知				
新規	72	国内由来の外來種	コノハチョウ	<i>Kallima inachus eucerca</i>				—	—	—	—	○	—	—	—	—	—					鹿児島				
新規	73	国内由来の外來種	シルビアシジミ	<i>Zizina emelina emelina</i>				—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	高知県リストに絶滅後の他県産個体の放蝶との記載あり。				高知				
新規	74	国内由来の外來種	ツマグロヒョウモン	<i>Argyreus hyperbius</i>				—	—	—	—	○	—	—	—	—	—					千葉				
新規	75	国内由来の外來種	ナガサキアゲハ	<i>Papilio memnon</i>				—	—	—	—	○	—	—	—	—	—					千葉				
新規	76	国内由来の外來種	ハマオモトヨトウ	<i>Brithys crini</i>				—	—	—	—	○	—	—	—	—	—					京都				
新規	77	国内由来の外來種	ヒメボクトウ	<i>Cossus insularis</i>				—	—	—	—	○	—	—	○	—	—					千葉				
新規	78	国内由来の外來種	ムラサキツバメ	<i>Narathura bazalus</i>				—	—	—	—	○	—	—	—	—	—					鳥取				
新規	79	国内由来の外來種	ヤクシマヒメキシタバ	<i>Catocala tokui</i>				—	—	—	—	○	—	—	—	—	—					高知				
新規	80	国内由来の外來種	ヤマダカレハ	<i>Kunugia yamadae</i>				—	—	—	—	○	—	—	—	—	—					宮崎				
新規	81	国内由来の外來種	ワタヘリクロノメイガ	<i>Diaphania indica</i>				—	—	—	—	○	—	—	○	—	—					千葉、京都				
新規	82	国内由来の外來種	オオマルハナバチ	<i>Bombus hypocrita hypocrita</i>				—	○	—	—	—	○	—	—	—	—					北海道				
新規	83	国内由来の外來種	カラマツギハラハバチ	<i>Pristiphora takagai</i>				—	—	—	—	—	○	—	—	—	—					北海道				
新規	84	国内由来の外來種	カラマツハラアカハバチ	<i>Pristiphora erichsoni</i>				—	—	—	—	—	○	—	—	—	—					北海道、青森				
新規	85	国内由来の外來種	カラマツヒラタハバチ	<i>Cephalcia koebelei</i>				—	—	—	—	—	○	—	—	—	—					北海道				
新規	86	国内由来の外來種	クリハバチ	<i>Apethymus kuri</i>				—	—	—	—	—	○	—	—	—	—					宮崎				
新規	87	国内由来の外來種	クロマルハナバチ	<i>Bombus ignitus</i>				—	—	○	—	—	○	—	—	—	○	—	農業利用(益虫)されている。				沖縄			
新規	88	国内由来の外來種	クワコナカイガラトビコバチ	<i>Pseudaphycus malinus</i>				—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	天敵農薬として利用された過去がある。				青森				
新規	89	国内由来の外來種	コマルハナバチ	<i>Bombus ardens ardens</i>				—	—	—	—	—	○	—	—	—	—					北海道				
新規	90	国内由来の外來種	トビイロケアリ	<i>Lasius japonicus</i>				—	—	—	—	—	○	—	—	—	—					青森、高知				
新規	91	国内由来の外來種	ニホンカラマツヒラタハバチ	<i>Cephalcia lariciphila japonica</i>				—	—	—	—	—	○	—	—	—	—					北海道				
新規	92	国内由来の外來種	ハモグリミドリヒメコバチ(沖縄、九州個体群)	<i>Neochrysocharis formosa</i>				—	—	—	—	—	○	—	—	—	○	—	天敵農薬として利用されている。				京都			
新規	93	国内由来の外來種	ミスジヒメカラマツハバチ	<i>Anoplonyx orientis</i>				—	—	—	—	—	○	—	—	—	—					北海道				
新規	94	?	タネクサコバンゾウムシ	学名の記載なし				—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	該当する種がいない。「ツメクサタネコバンゾウムシTychius(Tychius) picrostris」の事を指している可能性が高い。その場合、既にリストに名前あり。				滋賀				
新規	95	?	チバクロバネキノコバエ	<i>Bradysia impatiens</i>				—	—	—	—	—	○	—	—	○	—	○				宮崎				
新規	96	国内由来の外來種	キオビエダシヤク	<i>Milonia basalis</i>				—	—	○	—	—	—	—	—	—	—						地方公共団体			
新規	97	国内由来の外來種	シラホシハナムグリ	<i>Protaetia brevitarsis</i>				○	—	—	—	—	—	—	—	—	—						地方公共団体			
新規	98	国内由来の外來種	シロアリ類(ヤマト、ダイコク等)	Termitidae spp.				—	—	—	—	—	—	—	—	○	—	—						地方公共団体		
新規	99	国内由来の外來種	ヒラタクワガタ(自然分布域以外の亜種)	<i>Dorcus titanus</i> subssp.				○	○	—	—	—	—	—	—	—	—						地方公共団体			
新規	100	国内由来の外來種?	ネツタイアカクビソハムシ	<i>Lema lacertosa</i>				—	—	○	—	—	—	—	—	—	—						地方公共団体			

リスト加除対象の候補種一覧 <動物(陸生節足動物類)>

: 今回の検討から新たに候補として加わった種

- 継続

再検討

再検討(候補)

新規

新規(候補)
- : 現リストの掲載種

: 現リスト作成時に非掲載となった種で、今回も事務局としては非掲載と判断した種

: 現リスト作成時に非掲載となった種で、今回は事務局で掲載候補と判断した種

: 現リスト作成時に候補となっておらず、今回新たに検討対象としたが事務局で非掲載と判断した種

: 現リスト作成時に候補となっておらず、今回新たに検討対象とした結果、事務局で掲載候補と判断した種

【国外由来の外来種】

2024.9.17版

現リスト掲載種

検討区分	No	定着段階	和名(別名、流通名)	学名	選定理由	評価項目												備考	抽出方法						
						定着可能性		生態系被害				分布拡大		重要地域	特に問題となる被害		逸出・拡散		①外来法	②W100	③GISD	④各県	⑤意向調査	⑥その他	
						生物	導入	競合	交雑	捕食摂食	生態系改変	繁殖	気候		人体	経済産業	利用								付着混入
継続	1	未定着	アトラクス属	<i>Atrax</i> spp.	Ⅲ	○	-	-	-	-	-	○	-	◎	-	-	-	壊死性の強い毒を持ち、原産地では人体への咬症被害がしばしば起きる。	特定			栃木、長崎、沖縄			
継続	2	未定着	ハドロニユケ属	<i>Hadronyche</i> spp.	Ⅲ	○	-	-	-	-	-	○	-	◎	-	-	-	壊死性の強い毒を持ち、原産地では人体への咬症被害がしばしば起きる。	特定			栃木、長崎、沖縄			
継続	3	未定着	イトグモ属3種	<i>Loxosceles</i> spp.	Ⅲ	○	-	-	-	-	-	○	-	◎	-	-	-	<i>Loxosceles reclusa</i> 、 <i>L. laeta</i> 、 <i>L. gaucho</i> の3種。 壊死性の強い毒を持ち、原産地では人体への咬症被害がしばしば起きる。	特定			長崎、沖縄			
継続	4	分布拡大型～まん延期	ハイロゴケグモ	<i>Latrodectus geometricus</i>	Ⅲ			-	-	-	-	○	-	◎	-	-	◎	強い神経毒を持つが人の死亡例は報告されていない。セアカゴケグモよりも攻撃性は弱いと言われている。	特定			茨城、栃木、滋賀、京都、大阪、山口、兵庫、高知、福岡、長崎、宮崎、鹿児島、沖縄			
継続	5	分布拡大型～まん延期	セアカゴケグモ	<i>Latrodectus hasseltii</i>	Ⅲ			-	-	○	-	○	-	◎	-	-	◎	強い神経毒を持ちオーストラリアで死亡例がある。国内では死亡例はない。	特定	日本		福島、茨城、栃木、千葉、石川、長野、愛知、滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山、島根、山口、徳島、香川、高知、福岡、長崎、宮城、鹿児島、沖縄			
継続	6	定着初期／限定分布	クロゴケグモ	<i>Latrodectus mactans</i>	Ⅲ	○	◎	-	-	-	-	○	-	◎	-	-	◎	米軍岩国基地とその周囲で発見される。	特定			栃木、滋賀、山口、高知、長崎、沖縄			
継続	7	未定着	ジュウサンボシゴケグモ	<i>Latrodectus tredecimguttatus</i>	Ⅲ	○	○	-	-	-	-	○	-	◎	-	-	○		特定			栃木、長崎、沖縄			
継続	8	未定着	キョクトウサソリ科	Buthidae Gen. spp.	Ⅲ	○	◎	-	-	-	-	○	-	◎	-	○	○	本科に属するマダラサソリ <i>Isometrus maculatus</i> が先島諸島に生息しているが、在来種もしくは古い時代の外来種の両方の可能性があり、近年、スリランカ原産である可能性が示唆されている。 2006年、沖縄県にて輸入した衣服に付着して侵入したサソリに刺されたという被害が報告されている。	特定			栃木、長崎、沖縄			
継続	9	分布拡大型～まん延期	ヤンバルトサカヤスデ	<i>Chamberlinius hualienensis</i>	Ⅳ			○	-	-	-	○	-	-	○	-	○	大量発生し不快害虫となる他、農業被害や毒を持つことの影響が大きい。在来種のヤスデ類を排除している可能性が示唆されている。知見の集積が必要。				茨城、長崎、鹿児島、沖縄			

リスト加除対象の候補種一覧 <動物(陸生節足動物類)>

：今回の検討から新たに候補として加わった種

- 継続

再検討

再検討(候補)

新規

新規(候補)
- : 現リストの掲載種

: 現リスト作成時に非掲載となった種で、今回も事務局としては非掲載と判断した種

: 現リスト作成時に非掲載となった種で、今回は事務局で掲載候補と判断した種

: 現リスト作成時に候補となっておらず、今回新たに検討対象としたが事務局で非掲載と判断した種

: 現リスト作成時に候補となっておらず、今回新たに検討対象とした結果、事務局で掲載候補と判断した種

【国外由来の外來種】

2024.9.17版

リスト作成後の情報追加により再検討を行う種

検討区分	No	定着段階	和名(別名、流通名)	学名	選定理由	評価項目														備考	抽出方法					
						定着可能性		生態系被害				分布拡大		重要地域	特に問題となる被害		逸出・拡散		①外来法		②W100	③GISD	④各県	⑤意向調査	⑥その他	
						生物	導入	競合	交雑	捕食摂食	生態系改変	繁殖	気候		人体	経済産業	利用	付着混入								
再検討	1	分布拡大期～まん延期	シクラメンホコリダニ	<i>Phytonemus pallidus</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	◎	-	○	農業害虫、自然生態系への影響小				茨城			
再検討	2	分布拡大期～まん延期	オンシツヒメハダニ	<i>Brevipalpus californicus</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	○	-	○	農業害虫、ラン類に寄生。温室のみで定着、自然生態系への影響小 非検疫有害動植物(栽培の用に供する植物に付着するものを除く)(告示で記載)							
再検討	3	分布拡大期～まん延期	サボテンヒメハダニ	<i>Brevipalpus russulus</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	○	-	○	サボテン等に寄生、自然生態系への影響小 非検疫有害動植物(告示で記載)							
再検討	4	小笠原・南西諸島	パイナップルヒメハダニ	<i>Dolichotetranychus flordanus</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	○	-	○	パイナップルに寄生、自然生態系への影響小 非検疫有害動植物(告示で記載)							
再検討	5	未定着		<i>Raoiella indica</i>		○	○	-	-	-	-	-	○	-	-	◎	-	○	ヤシ類に寄生			○				
再検討	6	定着初期／限定分布	ランヒメハダニ	<i>Tenuipalpus pacificus</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	○	-	○	洋ランに寄生、自然生態系への影響小 非検疫有害動植物				千葉			
再検討	7	分布拡大期～まん延期	タイリクヒラタハダニ(タイリクハダニ)	<i>Aponychus firmianae</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	◎	-	○	アオギリに寄生、自然生態系への影響小				茨城			
再検討	8	分布拡大期～まん延期	モクセイマルハダニ	<i>Panonychus osmanthi</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	○	-	○	モクセイ科に寄生、自然生態系への影響小				千葉、茨城			
再検討	9	分布拡大期～まん延期	ルイスアケハダニ	<i>Eotetranychus lewisi</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	○	-	○	農業害虫、自然生態系への影響小				茨城、千葉			
再検討	10	小笠原・南西諸島	トウヨウハダニ	<i>Eutetranychus africanus</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	○	-	○	農業害虫、自然生態系への影響小							
再検討	11	小笠原・南西諸島	サトウキビツメハダニ	<i>Oligonychus orthius</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	○	-	○	農業害虫、自然生態系への影響小							
再検討	12	小笠原・南西諸島	マンゴーツメハダニ	<i>Oligonychus coffeae</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	◎	-	○	マンゴー等に寄生、自然生態系への影響小				千葉			
再検討	13	小笠原・南西諸島	ナンセイハダニ	<i>Tetranychus neocaledonicus</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	○	-	○	農業害虫、自然生態系への影響小							
再検討	14	分布拡大期～まん延期	ミツユビナミハダニ	<i>Tetranychus evansi</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	◎	-	○	ナス科植物に寄生、自然生態系への影響小				茨城			
再検討	15	分布拡大期～まん延期	コノテフシダニ	<i>Trisetacus thujivagrans</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	○	-	○	コノテガシワに寄生、自然生態系への影響小							
再検討	16	分布拡大期～まん延期	カキシビダニ	<i>Aceria diospyri</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	◎	-	○	カキに寄生、自然生態系への影響小							
再検討	17	分布拡大期～まん延期	イチジクモンサビダニ	<i>Aceria ficus</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	○	-	○	イチジクに寄生、自然生態系への影響小				千葉			
再検討	18	小笠原・南西諸島	レイシフシダニ	<i>Aceria litchii</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	○	-	○	レイシに寄生、自然生態系への影響小							
再検討	19	分布拡大期～まん延期	チューリップサビダニ	<i>Aceria tulipae</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	◎	-	○	農業害虫、自然生態系への影響は小 非検疫有害動植物(栽培の用に供する植物に付着するものを除く。)(告示で記載)				茨城			
再検討	20	分布拡大期～まん延期	カーネーションサビダニ	<i>Aceria paradianthi</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	○	-	○	カーネーションに寄生、自然生態系への影響は小							
再検討	21	分布拡大期～まん延期	モモサビダニ	<i>Aculus fockeui</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	○	-	○	モモ等に寄生、自然生態系への影響は小							
再検討	22	分布拡大期～まん延期	リンゴサビダニ	<i>Aculus schlechtendali</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	○	-	○	リンゴ等に寄生、自然生態系への影響は小							
再検討	23	分布拡大期～まん延期	トマトサビダニ	<i>Aculops lycopersici</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	◎	-	○	トマト等に寄生、自然生態系への影響は小				千葉、茨城、滋賀			
再検討	24	小笠原・南西諸島	マンゴーサビダニ	<i>Cisaberoptus kenyae</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	○	-	○	マンゴーに寄生、自然生態系への影響小							
再検討	25	小笠原・南西諸島	マンゴーケフトサビダニ	<i>Spinacus pagonis</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	○								

リスト加除対象の候補種一覧 <動物(陸生節足動物類)>

：今回の検討から新たに候補として加わった種

- 継続

再検討

再検討(候補)

新規

新規(候補)
- : 現リストの掲載種

: 現リスト作成時に非掲載となった種で、今回も事務局としては非掲載と判断した種

: 現リスト作成時に非掲載となった種で、今回は事務局で掲載候補と判断した種

: 現リスト作成時に候補となっておらず、今回新たに検討対象としたが事務局で非掲載と判断した種

: 現リスト作成時に候補となっておらず、今回新たに検討対象とした結果、事務局で掲載候補と判断した種

【国外由来の外來種】

2024.9.17版

リスト作成後の情報追加により再検討を行う種

検討区分	No	定着段階	和名(別名、流通名)	学名	選定理由	評価項目												備考	抽出方法						
						定着可能性		生態系被害				分布拡大		重要地域	特に問題となる被害		逸出・拡散		①外来法	②W100	③GISD	④各県	⑤意向調査	⑥その他	
						生物	導入	競合	交雑	捕食摂食	生態系改変	繁殖	気候		人体	経済産業	利用								付着混入
再検討	26	定着初期／限定分布	ニッポンサラセニアヒゲダニ	<i>Sarraceniopus nipponensis</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	○	温室内のサラセニアに依存、自然生態系への影響はなし						
再検討	27	定着初期／限定分布	ヒューズサラセニアヒゲダニ	<i>Sarraceniopus hughesi</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	○	温室内のサラセニアに依存、自然生態系への影響はなし						
再検討	28	未定着	イノシシグモ	<i>Dysdera crocata</i>		○	○	-	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-	咬傷被害は報告されていないが、咬まれた場合強い痛みを受ける可能性が高い。毒性は小。			○			
再検討	29	分布拡大大期～まん延期	オダカユウレイグモ	<i>Crossopriza lyoni</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	○	特出した被害は確認されていない。益虫として扱われる場合も多い。				愛知、熊本、山口		
再検討	30	分布拡大大期～まん延期	クロガケシグモ	<i>Badumna insignis</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	○	特出した被害は確認されていない。				愛知、京都、兵庫、鳥取、熊本、滋賀、京都、奈良、和歌山、福岡		
再検討	31	未定着		<i>Linyphia triangularis</i>		○	○	○	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	侵入した地域では高密度化し、在来のカモ類と競合して悪影響を与える可能性が示唆されている。			○			
再検討	32	分布拡大大期～まん延期	マダラヒメグモ	<i>Steatoda triangulosa</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	○	特出した被害は確認されていない。				愛知、滋賀、京都、福岡、熊本		
再検討	33	分布拡大大期～まん延期	ナガワラジムシ	<i>Haplophthalmus danicus</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	○	特出した被害は確認されていない。				千葉、茨城、鳥取、滋賀、和歌山		
再検討	34	分布拡大大期～まん延期	ワラジムシ	<i>Porcellio scaber</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	○	セントヘレナでの生態系影響 輸入規制有り(生きた昆虫・微生物などの規制に関するデータベース)			○	茨城、千葉、滋賀、鳥取、福岡、		
再検討	35	分布拡大大期～まん延期	クマワラジムシ	<i>Porcellio laevis</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	○	輸入規制有り(生きた昆虫・微生物などの規制に関するデータベース)				千葉、滋賀、和歌山、福岡		
再検討	36	分布拡大大期～まん延期	オビワラジムシ	<i>Porcellio dilatatus</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	○	特出した被害は確認されていない。				千葉、茨城		
再検討	37	分布拡大大期～まん延期	ホソワラジムシ	<i>Porcellionides prionosus</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	○	輸入規制有り(生きた昆虫・微生物などの規制に関するデータベース)				千葉、茨城、滋賀、鳥取、和歌山、福岡		
再検討	38	定着初期／限定分布	ハナダカダンゴムシ	<i>Armadillidium nasatum</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	○	特出した被害は確認されていない。				滋賀		
再検討	39	分布拡大大期～まん延期	オカダンゴムシ	<i>Armadillidium vulgare</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	○	非検疫有害動物				千葉、茨城、鳥取、滋賀、和歌山、山口、福岡、		
再検討	40	小笠原・南西諸島	ミナミヤスデ	<i>Trigoniulus lumbricinus</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	○	特出した被害は確認されていない。				沖縄		
再検討	41	未定着		<i>Cylindoiulus latestriatus</i>		○	○	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	特出した被害は確認されていない。			○			
再検討	42	未定着		<i>Scolopendra morsitans</i>		○	○	○	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	特出した被害は確認されていない。			○			

リスト加除対象の候補種一覧　＜動物（陸生節足動物類）＞

：今回の検討から新たに候補として加わった種

-
- 継続

再検討

再検討（候補）

新規

新規（候補）
- : 現リストの掲載種

: 現リスト作成時に非掲載となった種で、今回も事務局としては非掲載と判断した種

: 現リスト作成時に非掲載となった種で、今回は事務局で掲載候補と判断した種

: 現リスト作成時に候補となっておらず、今回新たに検討対象としたが事務局で非掲載と判断した種

: 現リスト作成時に候補となっておらず、今回新たに検討対象とした結果、事務局で掲載候補と判断した種

【国外由来の外来種】

2024.9.17版

リスト作成後の情報追加により新たに検討を行う種（定着段階以外は順不同）

検討区分	No	定着段階	和名(別名、流通名)	学名	選定理由	評価項目											備考	抽出方法							
						定着可能性		生態系被害				分布拡大		重要地域	特に問題となる被害			逸出・拡散		①外来法	②W100	③GISD	④各県	⑤意向調査	⑥その他
						生物	導入	競合	交雑	捕食摂食	生態系改変	繁殖	気候		人体	経済産業		利用	付着混入						
新規	1	分布拡大期～まん延期	シロホシヒメグモ	Steatoda grossa				-	-	-	-	○	-	-	-	-	○	特出した被害は確認されていない。				千葉、愛知			
新規	2	分布拡大期～まん延期	ナナホシヒメグモ	Steatoda erigoniformis				-	-	-	-	○	-	-	-	-	○	特出した被害は確認されていない。				静岡、愛知			
新規	3	分布拡大期～まん延期	ハルカガケジグモ	Badumna longinqua				-	-	-	-	○	-	-	-	-	○	特出した被害は確認されていない。				愛知			
新規 (候補)	4	未定着	特定外来生物のゴケグモ属の全種(セアカゴケグモ、ハイイロゴケグモ、クロゴケグモ、ジュウサンボシゴケグモを除く)	Latrodectus spp.	Ⅲ	○	○	-	-	○	-	○	-	◎	-	-	-	ゴケグモ属の種は基本的にα-ラトロトキシンという強い神経毒を持つ。	特定						

リスト加除対象の候補種一覧　＜動物（陸生節足動物類）＞

 : 今回の検討から新たに候補として加わった種

- 継続

: 現リストの掲載種
- 再検討

: 現リスト作成時に非掲載となった種で、今回も事務局としては非掲載と判断した種
- 再検討(候補)

: 現リスト作成時に非掲載となった種で、今回は事務局で掲載候補と判断した種
- 新規

: 現リスト作成時に候補となっておらず、今回新たに検討対象としたが事務局で非掲載と判断した種
- 新規(候補)

: 現リスト作成時に候補となっておらず、今回新たに検討対象とした結果、事務局で掲載候補と判断した種

【国内由来の外来種・国内に自然分布域を持つ国外由来の外来種】

2024.9.17版

リスト作成後の情報追加により再検討を行う種

検討区分	No	定着段階	和名(別名、流通名)	学名	選定理由	評価項目											備考	抽出方法								
						定着可能性		生態系被害				分布拡大		重要地域	特に問題となる被害			逸出・拡散			①外来法	②W100	③GISD	④各県	⑤意向調査	⑥その他
						生物	導入	競合	交雑	捕食摂食	生態系改変	繁殖	気候		人体	経済産業		利用	付着混入							
再検討	1	定着初期／限定分布	アマミサソリモドキ	<i>Typopeltis stimpsonii</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	○	八丈島等に定着				滋賀、和歌山			
再検討	2	小笠原・南西諸島	エゾフジヤスデ	<i>Trichopachyiulus niponicus</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	沖縄島に移入							

リスト加除対象の候補種一覧<動物(その他無脊椎動物)>

：今回の検討から新たに候補として加わった種

- 継続

再検討

再検討(候補)

新規

新規(候補)
- ：現リストの掲載種

：現リスト作成時に非掲載となった種で、今回も事務局としては非掲載と判断した種

：現リスト作成時に非掲載となった種で、今回は事務局で掲載候補と判断した種

：現リスト作成時に候補となっておらず、今回新たに検討対象としたが事務局で非掲載と判断した種

：現リスト作成時に候補となっておらず、今回新たに検討対象とした結果、事務局で掲載候補と判断した種

【国外由来の外来種】

2024.9.17版

現リスト掲載種

検討 区分	No	定着段階	和名	学名	選定理由	評価項目												備考	抽出方法						
						定着可能性		生態系被害				分布拡大		重要 地域	特に問題と なる被害		逸出・拡散		①外来法	②W100	③GISD	④各県	⑤意向調査	⑥その他	
						生物	導入	競合	交雑	捕食 摂食	生態 系改 変	繁殖	気候		人体	経済 産業	利用								付着 混入
継続	1	未定着	ムネミオブシス・レイディ	Mnemiopsis leidyi	I	◎	○	-	-	◎	-	-	○	-	-	○	-	-	動物プランクトンや小魚の捕食。			○	長崎、沖縄		
継続	2	分布拡大型～まん延期	マツノザイセンチュウ	Bursaphelenchus xylophilus	I,Ⅲ	/	/	-	-	◎	-	-	◎	○	-	◎	-	◎	マツノマダラカミキリに運ばれて、マツ類の樹体内に侵入することによりマツ類を枯死させる（松枯れ・松くい虫被害）。輸入について植物防疫法上の規制あり。また、森林病害虫等防除法に基づき防除を実施。			○	福島、茨城、千葉、長野、静岡、滋賀、京都、鳥取、香川、高知、福岡、長崎、宮崎、沖縄		
継続	3	未定着	カワホトギスガイ	Dreissena polymorpha	I,Ⅲ	○	○	◎	-	-	○	-	○	-	-	◎	-	○	付着基盤を被覆することで在来生物相に大きな影響。	特定		○	長崎、沖縄		
継続	4	未定着	クワツカガイ	Dreissena bugensis	I,Ⅲ	○	○	◎	-	-	○	-	○	-	-	◎	-	○	付着基盤を被覆することで在来生物相に大きな影響。	特定		○	長崎、沖縄		
継続	5	分布拡大型～まん延期	カワヒバリガイ属	Limnoperna spp.	I,Ⅲ	/	/	◎	-	-	○	-	○	-	-	◎	-	○	付着基盤を被覆することで在来生物相に大きな影響。				栃木、静岡、長崎、宮崎、沖縄		
継続	6	分布拡大型～まん延期	スクミリンゴガイ	Pomacea canaliculata	Ⅲ	/	/	○	-	-	-	-	○	-	-	◎	-	-	広東住血線虫の中間宿主となる。		日本・IUCN	○	北海道、茨城、千葉、長野、静岡、愛知、兵庫、奈良、和歌山、鳥取、山口、徳島、香川、愛媛、高知、福岡、大分、宮崎、鹿児島、沖縄	地方公共団体	
継続	7	分布拡大型～まん延期	ラブラタリンゴガイ	Pomacea insularum	Ⅲ	/	/	○	-	-	-	-	○	-	-	◎	-	-	輸入について植物防疫法上の規制あり。広東住血線虫の中間宿主となる。				静岡、長崎、鹿児島、沖縄		
継続	8	定着初期／限定分布	アフリカマイマイ	Achatina fulica	I,Ⅱ,Ⅲ	/	/	-	-	◎	-	-	○	◎	-	◎	-	○	輸入について植物防疫法上の規制あり。国内移動について植物防疫法上の規制あり。広東住血線虫の中間宿主となる広東住血線虫の中間宿主となる。小笠原で国内希少野生動物植物種であるタイヨウフウトウカズラを食害する。		日本・IUCN	○	長崎、鹿児島、沖縄		
継続	9	小笠原・南西諸島	ヤマヒタチオビ	Euglandina rosea	I,Ⅱ	/	/	-	-	◎	-	-	○	◎	-	-	-	○	現在、小笠原ではニューギニアヤリガタリクウズムシの侵入により激減し、ほとんど見られないが注意が必要。広東住血吸虫の中間宿主となる可能性。	特定	日本・IUCN	○	長崎、沖縄		
継続	10	分布拡大型～まん延期	シマメノウフネガイ	Crepidula onyx	Ⅳ	/	/	○	-	-	-	-	○	-	-	○		○	水産利用種のサザエやアワビに付着し、商品価値の低下等を引き起こし、取り除きのためのコスト増大でも問題視されている。生態系等への影響については知見の集積が必要。				北海道、茨城、千葉、静岡、愛知、京都、兵庫、和歌山、香川、愛媛、高知、福岡、長崎、大分、宮崎、鹿児島、沖縄		
継続	11	分布拡大型～まん延期	コモチカワツボ	Potamopyrgus antipodarum	Ⅳ	/	/	○	-	-	-	-	○	-	-	-	○	○	無性生殖で増殖し、繁殖力が極めて強く、非常に高密度で生息している地域が報告されている。知見の集積が必要。			○	北海道、青森、福島、茨城、千葉、神奈川、長野、静岡、愛知、京都、兵庫、和歌山、香川、長崎、宮崎、鹿児島、沖縄		
継続	12	定着初期／限定分布	カラムシロ	Nassarius sinarus	I,Ⅲ	/	/	◎	-	◎	-	-	○	-	-	◎	-	○	輸入漁業資源に混入して侵入したと考えられている。				京都、香川、福岡、長崎、沖縄		
継続	13	分布拡大型～まん延期	ハブタエモノアラガイ	Lymnaea columella	Ⅳ	/	/	○	-	-	-	-	○	-	-	-	-	○	在来モノアラガイとの置き換わりの事例が確認されている。肝蛭等の吸虫類の中間宿主になりうる。知見の集積が必要。				北海道、福島、茨城、千葉、静岡、愛知、滋賀、京都、奈良、和歌山、鳥取、山口、香川、高知、福岡、長崎、宮崎、鹿児島、沖縄		
継続	14	分布拡大型～まん延期	オオクビキレガイ	Rumina decollata	Ⅳ	/	/	○	-	○	-	-	◎	-	-	○	-	○	農作物、園芸植物への影響が懸念されている。また、海外では他の陸産貝類を捕食することが知られている。自家受精で繁殖可能。知見の集積が必要。輸入について植物防疫法上の規制あり。				千葉、静岡、愛知、滋賀、京都、兵庫、和歌山、山口、福岡、長崎、大分、沖縄		
継続	15	定着初期／限定分布	マダラコウラナメクジ	Limax maximus	Ⅳ	/	/	○	-	○	-	-	○	-	-	○	-	○	海外では他種のナメクジに対して高い攻撃性を持つことや、園芸植物や農作物への被害の報告がある。知見の集積が必要。輸入について植物防疫法上の規制あり。				福島、茨城、長野、滋賀、京都、長崎、沖縄		
継続	16	分布拡大型～まん延期	ムラサキイガイ	Mytilus galloprovincialis	I,Ⅲ	/	/	◎	◎	-	○	-	○	-	-	◎	○	○	付着基盤を被覆することで在来生物相に大きな影響。大発生年にはカキ養殖に甚大な被害を与える。北海道では在来種キタムラサキイガイとの交雑個体がほぼ全域で確認されている。		日本・IUCN	○	北海道、茨城、千葉、静岡、愛知、京都、兵庫、和歌山、鳥取、徳島、香川、愛媛、高知、福岡、長崎、大分、宮崎、鹿児島、沖縄		
継続	17	分布拡大型～まん延期	ミドリイガイ	Perna viridis	I,Ⅲ	/	/	◎	-	-	○	-	○	-	-	◎	○	○	付着基盤を被覆することで在来生物相に大きな影響。			○	静岡、愛知、京都、兵庫、和歌山、徳島、香川、高知、福岡、長崎、大分、宮崎、鹿児島、沖縄		
継続	18	分布拡大型～まん延期	コウロエンカワヒバリガイ	Xenostrobus securis	I,Ⅲ	/	/	◎	-	-	○	-	○	-	-	◎	-	○	付着基盤を被覆することで在来生物相に大きな影響。		日本		北海道、茨城、千葉、静岡、愛知、京都、兵庫、和歌山、鳥取、徳島、香川、高知、福岡、長崎、大分、宮崎、沖縄		

リスト加除対象の候補種一覧＜動物(その他無脊椎動物)＞

：今回の検討から新たに候補として加わった種

- 継続
- 再検討
- 再検討(候補)
- 新規
- 新規(候補)
- ：現リストの掲載種
- ：現リスト作成時に非掲載となった種で、今回も事務局としては非掲載と判断した種
- ：現リスト作成時に非掲載となった種で、今回は事務局で掲載候補と判断した種
- ：現リスト作成時に候補となっておらず、今回新たに検討対象としたが事務局で非掲載と判断した種
- ：現リスト作成時に候補となっておらず、今回新たに検討対象とした結果、事務局で掲載候補と判断した種

【国外由来の外来種】

2024.9.17版

現リスト掲載種

検討区分	No	定着段階	和名	学名	選定理由	評価項目														備考	抽出方法					
						定着可能性		生態系被害				分布拡大		重要地域	特に問題となる被害		逸出・拡散		①外来法		②W100	③GISD	④各県	⑤意向調査	⑥その他	
						生物	導入	競合	交雑	捕食摂食	生態系改変	繁殖	気候		人体	経済産業	利用	付着混入								
継続	19	分布拡大期～まん延期	タイワンシジミ	<i>Corbicula fluminea</i>	I			◎	◎	-	-	-	○	-	-	○	○	○	カネツケシジミf. insularisとされるものを含む。在来のマシジミと交雑し、外見上区別ができない状態になっている。食味は在来のヤマシジミに比べて劣るとされる。			○	茨城、千葉、長野、静岡県、愛知、京都、和歌山、島根、山口、徳島、香川、愛媛、福岡、長崎、宮崎			
継続	20	分布拡大期～まん延期	イガイダマシ	<i>Mytilopsis sallei</i>	I,Ⅲ			◎		-	○	-	○	-	-	◎	-	○	付着基盤を被覆することで在来生物相に大きな影響。				北海道、千葉、静岡県、愛知、京都、和歌山、高知、福岡、長崎、沖縄			
継続	21	定着初期／限定分布	ホンビノスガイ	<i>Mercenaria mercenaria</i>	Ⅳ			○	-	-	-	-	○	-	-	-	○	-	生態系等への影響に関する知見の集積が必要。				北海道、千葉、愛知、京都、和歌山、高知、長崎、沖縄			
継続	22	定着初期／限定分布	シナハマグリ	<i>Meretrix petechialis</i>	I,Ⅲ			-	◎	-	-	-	○	-	-	○	○	○	環境省レッドリストで絶滅危惧Ⅱ類とされた、在来種かつ食用二枚貝であるハマグリとの交雑個体が瀬戸内海で確認されており、ハマグリ個体群へのさらなる遺伝子浸透と希少個体群の衰退が懸念される。		日本		千葉、京都、和歌山、香川、愛媛、高知、長崎、鹿児島、沖縄			
継続	23	分布拡大期～まん延期	カニヤドリカンザシ	<i>Ficopomatus enigmaticus</i>	I,Ⅲ			◎	-	-	○	-	○	-	-	◎	-	○	付着基盤を被覆することで在来生物相に大きな影響。浜名湖で大発生してカキ養殖に被害を与えた。				茨城、静岡、愛知、京都、和歌山、鳥取、福岡、長崎、沖縄			
継続	24	分布拡大期～まん延期	カサネカンザシ	<i>Hydroides elegans</i>	Ⅲ			○	-	-	○	-	○	-	-	◎	-	○	付着基盤を被覆することで在来生物相に大きな影響。瀬戸内海のカキ養殖に大きな被害を与えた。		日本		茨城、静岡、愛知、京都、和歌山、愛媛、高知、福岡、長崎、鹿児島、沖縄			
継続	25	未定着	ディケログマルス・ヴィロロス	<i>Dikerogammarus vilosus</i>	I	○	-	-	-	◎	○	-	○	-	-	-	-	-	幅広い水域に侵入し、他のヨコエビをはじめとする多種の水生生物を捕食。栄養段階を大きく変貌させる。							
継続	26	未定着	ヨーロッパミドリガニ	<i>Carcinus maenus</i>	I	○	○	○	-	◎	○	-	○	-	-	○	-	◎	バラスト水への幼生の混入だけでなく、船舶のシーチェストに混入していた事例も知られている。侵入地では、被食者である在来巻貝の殻を厚くするなどの表現型変異を短期間で引き起こし、二枚貝群集の組成を大きく変化させたことなどが知られる。		IUCN	○	長崎、沖縄			
継続	27	未定着	アスタクス属	<i>Astacus</i> spp.	I	○	-	-	-	◎	-	-	○	-	-	-	○	-	<i>Astacus astacus</i> 、 <i>A. leptodactylus</i> 、 <i>A. pachypus</i> の3種が含まれる。	特定			長崎、沖縄			
継続	28	未定着	ミステリークレイフィッシュ	<i>Procambarus fallax</i>	Ⅳ	○	○	-	-	○	-	-	○	-	-	-	○	-	単為生殖をおこなう。ザリガニカビ病を媒介する可能性がある。	特定			北海道、長崎、宮崎、沖縄			
継続	29	未定着	ラスティークレイフィッシュ	<i>Orconectes rusticus</i>	I	○	-	-	-	◎	-	-	○	-	-	-	○	-	様々な水生生物を捕食し、摂食量が多い。	特定		○	静岡、長崎、沖縄			
継続	30	未定着	ケラクス属	<i>Cherax</i> spp.	I	○	○	-	-	◎	-	-	○	-	-	-	○	-	本属は45種を含む。マロン C. tenuimanus、レッドクロー C. quadricarinatus、ヤビー C. destructor 等が国内で流通していた。マロンは南アフリカに侵入。				長崎、沖縄			
継続	31	未定着	外国産モクスガニ属	<i>Eriocheir</i> spp.	I	○	◎	◎	○	-	-	-	○	-	-	◎	-	-	侵入地では、造巣による土手の破壊や川底の浸食によって生息場所の物理的構造を大きく変え、漁網内の漁獲物への食害等の漁業被害を発生させていることが知られる。	特定	IUCN	○	静岡、長崎、沖縄			
継続	32	定着初期／限定分布	ウチダザリガニ(タンカイザリガニを含む)	<i>Pacifastacus leniusculus</i>	I			-	-	◎	◎	-	○	-	-	-	○	-	ザリガニカビ病を媒介する可能性がある。	特定	日本	○	長野、長崎、沖縄			
継続	33	分布拡大期～まん延期	アメリカザリガニ	<i>Procambarus clarkii</i>	I			-	-	◎	◎	-	○	-	-	-	◎	-		特定	日本	○	北海道、青森、福島、茨城、栃木、千葉、神奈川、石川、長野、静岡県、愛知、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山、鳥取、島根、山口、香川、高知、福岡、長崎、大分、宮崎、鹿児島、沖縄			
継続	34	小笠原・南西諸島	ニューギニアヤリガタリクウズムシ	<i>Platydemus manokwari</i>	I,Ⅱ			-	-	◎	-	-	○	◎	-	-	-	○	小笠原父島の固有陸貝類に壊滅的な捕食の影響を与えている。広東住血線虫の中間待機宿主となる。	特定	IUCN	○	長崎、鹿児島、沖縄			
継続	35	分布拡大期～まん延期	タテジマフジツボ	<i>Amphibalanus amphitrite</i>	Ⅲ			◎	-	-	-	-	○	-	-	○	-	○	在来フジツボを被覆して内湾の潮間帯の帯状分布を大きく改変する。船舶、発電所、工場等の取水施設や養殖カキに付着し汚損被害を引き起こす。				茨城、千葉、静岡県、愛知、京都、和歌山、高知、福岡、長崎、大分、宮崎、鹿児島、沖縄			
継続	36	分布拡大期～まん延期	アメリカフジツボ	<i>Amphibalanus eburneus</i>	Ⅳ			○	-	-	-	-	○	-	-	-	-	○	船舶や養殖カキに付着し汚損被害を引き起こす。知見の集積が必要。				茨城、千葉、静岡県、愛知、京都、兵庫、和歌山、高知、福岡、長崎、宮崎、沖縄			
継続	37	分布拡大期～まん延期	ヨーロッパフジツボ	<i>Amphibalanus improvisus</i>	Ⅳ			○	-	-	-	-	○	-	-	-	-	○	船舶や養殖カキに付着し汚損被害を引き起こす。知見の集積が必要。				茨城、千葉、静岡県、愛知、京都、兵庫、和歌山、高知、福岡、長崎、沖縄			
継続	38	分布拡大期～まん延期	キタアメリカフジツボ	<i>Balanus glandula</i>	Ⅳ			○	-	-	-	-	○	-	-	-	-	○	潮間帯の中部で濃密に生息することから、そこに付着する在来の固着生物を駆逐するおそれがある。知見の集積が必要。				北海道、茨城、長崎、沖縄			
継続	39	分布拡大期～まん延期	フロリダマミズヨコエビ	<i>Crangonyx floridanus</i>	Ⅳ			○	-	-	○	-	○	-	-	-	-	◎	侵入後20年程度で日本各地に分布を拡大した。ペットショップで販売されているホテイアオイから検出されている。本種の侵入地で他種のヨコエビが見られなくなる地域が報告されている。知見の集積が必要。				福島、茨城、千葉、長野、静岡、滋賀、京都、奈良、和歌山、高知、福岡、長崎、沖縄			

リスト加除対象の候補種一覧＜動物（その他無脊椎動物）＞

 : 今回の検討から新たに候補として加わった種

- 継続

再検討

再検討（候補）

新規

新規（候補）
- : 現リストの掲載種

: 現リスト作成時に非掲載となった種で、今回も事務局としては非掲載と判断した種

: 現リスト作成時に非掲載となった種で、今回は事務局で掲載候補と判断した種

: 現リスト作成時に候補となっておらず、今回新たに検討対象としたが事務局で非掲載と判断した種

: 現リスト作成時に候補となっておらず、今回新たに検討対象とした結果、事務局で掲載候補と判断した種

【国外由来の外来種】

2024.9.17版

現リスト掲載種																										
検討 区分	No	定着段階	和名	学名	選定理由	評価項目														備考	抽出方法					
						定着可能性		生態系被害				分布拡大		重要 地域	特に問題と なる被害		逸出・拡散		①外来法		②W100	③GISD	④各県	⑤意向調査	⑥その他	
						生物	導入	競合	交雑	捕食 摂食	生態 系改 変	繁殖	気候		人体	経済 産業	利用	付着 混入								
継続	40	分布拡大期～まん延期	チチュウカイミドリガニ	<i>Carcinus aestuarii</i>	Ⅳ			-	-	○	-	-	○	-	-	-	-	○	形態形質から国内定着個体群に同属種のヨーロッパミドリガニ <i>C. maenus</i> との雑種の存在する可能性も指摘されている。知見の集積が必要。		日本		茨城、千葉、静岡、愛知、京都、兵庫、和歌山、福岡、長崎、沖縄			
継続	41	定着初期／限定分布	ヨーロッパザラボヤ	<i>Ascidella aspersa</i>	Ⅲ			○	-	-	-	-	○	-	-	◎	-	○	北海道噴火湾でホタテガイ養殖に甚大な経済的被害を与えた。				茨城、長崎、沖縄			

リスト加除対象の候補種一覧<動物(その他無脊椎動物)>

：今回の検討から新たに候補として加わった種

- 継続

再検討

再検討(候補)

新規

新規(候補)
- ：現リストの掲載種

：現リスト作成時に非掲載となった種で、今回も事務局としては非掲載と判断した種

：現リスト作成時に非掲載となった種で、今回は事務局で掲載候補と判断した種

：現リスト作成時に候補となっており、今回新たに検討対象としたが事務局で非掲載と判断した種

：現リスト作成時に候補となっており、今回新たに検討対象とした結果、事務局で掲載候補と判断した種

【国外由来の外来種】

2024.9.17版

リスト作成後の情報追加により再検討を行う種

検討区分	No	定着段階	和名	学名	選定理由	評価項目													備考	抽出方法						
						定着可能性		生態系被害				分布拡大		重要地域	特に問題となる被害		逸出・拡散			①外来法	②W100	③GISD	④各県	⑤意向調査	⑥その他	
						生物	導入	競合	交雑	捕食摂食	生態系改変	繁殖	気候		人体	経済産業	利用	付着混入								
再検討	42	分布拡大期～まん延期	マミズクラゲ	<i>Craspedacusta sowerbyi</i>				○	-	○	-	-	○	-	-	-	-	○					青森、茨城、京都、奈良、和歌山、鳥取			
再検討(候補)	43	定着初期／限定分布	トウナンアジアウズムシ	<i>Dugesia austroasiatica</i>	Ⅳ			○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	○	河川水辺の国勢調査等により、近年、急速な分布域の拡大と個体数の増加が確認されているとの情報、しかし、国勢調査の結果には本種を確認できず。				滋賀、京都	中井委員		
再検討(候補)	44	分布拡大期～まん延期	アメリカナミウズムシ	<i>Girardina tigrina</i>	Ⅳ			○	-	○	-	-	-	-	○	-	○	河川水辺の国勢調査により、近年、急速な分布域の拡大と個体数の増加が確認されている。ウズムシ類は捕食性であり、在来水生動物に影響が懸念される。				福島、茨城、滋賀、京都、奈良、和歌山、高知、福岡	中井委員			
再検討	45	分布拡大期～まん延期	オオミスジコウガイビル	<i>Bipalium nobile</i>				-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	○					茨城、福岡			
再検討	46	分布拡大期～まん延期	ワタリコウガイビル	<i>Bipalium kewense</i>				-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	○					福岡			
再検討	47		ダクテロギルス科の一種	<i>Actinocleidus fusiformis</i>		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	情報不足							
再検討	48		ダクテロギルス科の一種	<i>Cichlidogyrus scleosus</i>		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	情報不足							
再検討	49		ダクテロギルス科の一種	<i>Haploclleidus furcatus</i>		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	情報不足							
再検討	50		ダクテロギルス科の一種	<i>Onchocleidus ferox</i>		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	情報不足							
再検討	51		ダクテロギルス科の一種	<i>Onchocleidus helicus</i>		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	情報不足							
再検討	52		ナマズ腹口吸虫	<i>Parabucephalopsis parasiluri</i>		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	情報不足							
再検討	53		尾崎腹口吸虫	<i>Prosorhynchoides ozakii</i>		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	情報不足							
再検討	54		アニサキス科の一種	<i>Raphidascaris acus</i>		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	情報不足							
再検討	55		ピンギス科の一種	<i>Pingis sinensis</i>		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	情報不足							
再検討	56	定着初期／限定分布	ジャガイモシストセンチュウ	<i>Globodera rostchiensis</i>				-	-	-	-	-	-	-	◎	-	○	検疫有害動物		日本			茨城			
再検討	57		タバコシストセンチュウ	<i>Globodera tabacum</i>		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○								
再検討	58	定着初期／限定分布	カワニナ属の1種	<i>Semisulcospira</i> sp. cf. <i>forticosta</i>				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○					茨城			
再検討	59	未定着	ネコゼフネガイ	<i>Crepidula fornicata</i>		○	○	○	-	○	○	-	-	-	-	○	-	○				○				
再検討	60	未定着	ヨロツパタマキビ	<i>Littorina littorea</i>		○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○				○				
再検討	61	定着初期／限定分布	トラミズゴマツボ	<i>Stenothyra</i> sp.				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○					福岡			
再検討	62	未定着	イリアネッサ・オブソレタ	<i>Ilyanassa obsoleta</i>		○	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	○				○				
再検討	63	未定着	カキナカセ	<i>Urosalpinx cinerea</i>		○	-	○	-	○	-	-	-	-	-	○	○	○				○				
再検討	64	未定着	ボ-ネア・ビスチュラリス	<i>Boonea bisuturalis</i>		○	-	-	-	○	-	-	-	-	-	○	-	○				○				
再検討	65	定着初期／限定分布	ミノウミウシの1種	<i>Cuthona perca</i>				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○								
再検討	66	分布拡大期～まん延期	サカマキガイ	<i>Physa acuta</i>				○	-	○	-	-	-	-	○	-	○		日本				北海道、青森、福島、茨城、千葉、神奈川、愛知、滋賀、京都、奈良、和歌山、鳥取、島根、山口、愛媛、高知、福岡、宮崎、鹿児島			
再検討	67	分布拡大期～まん延期	コンダカヒメモノアラガイ	<i>Galba truncatula</i>				○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○					茨城、千葉、愛知、京都、山口、高知			
再検討	68		ナガヒメモノアラガイ	<i>Austropeplea</i> sp.		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	情報不足							
再検討	69		モノアラガイの1種	<i>Lymnaea</i> sp.		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	情報不足							
再検討	70		オカモノアラガイの1種	<i>Succineidae</i> gen. et sp.		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	情報不足							
再検討	71		チャーリー・サナギモドキ	<i>Pupoides albilabris</i>		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	情報不足							
再検討	72		メリ-ランドスナガイ	<i>Gastrocopta procera</i>		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	情報不足							
再検討	73		ナタネガイ類の1種	<i>"Punctum" sp.</i>		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	情報不足							
再検討	74		キバサナギガイ属の1種	<i>Vertigo</i> sp.		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	情報不足							
再検討	75		ツヤミジンマイマイ(ウツクシミジンマイマイ)	<i>Vallonia pulchella</i>		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	情報不足							
再検討	76	定着初期／限定分布	オカクチキレガイ	<i>Subulina octona</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	○					茨城			
再検討	77	分布拡大期～まん延期	トクサオカチョウジガイ	<i>Paropeas achatinaceum</i>				○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○					北海道、茨城、千葉、愛知、滋賀、京都、山口、高知、福岡、宮崎、鹿児島			
再検討	78	定着初期／限定分布	オオオカチョウジガイ	<i>Lamellaxis gracilis</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	○					沖縄			
再検討(候補)	79	分布拡大期～まん延期	コハクガイ	<i>Zonitoides arboreus</i>	Ⅱ			○	-	◎	-	-	-	◎	-	○	-	○	農作物や家庭菜園の植物の食害や観賞用の花卉類、特に高価なラン類の花芽を食害する種として知られている。在来陸産貝類(野外飼育されている生息域外保全個体)の卵を捕食、高密度になり保全に影響を及ぼす。				北海道、茨城、千葉、愛知、滋賀、京都、奈良、鳥取、山口、高知、福岡、宮崎、沖縄	環境省関東		
再検討	80	分布拡大期～まん延期	ヒメコハクガイ	<i>Hawaia minuscula</i>				○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○					茨城、千葉、山口、高知、宮崎			
再検討	81	定着初期／限定分布	ウスグチベッコウ	<i>Oxychilus cellaria</i>				-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	○					北海道			
再検討	82	定着初期／限定分布	ノハライシノシタ	<i>Helicodiscus inermis</i>				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○					千葉、滋賀、茨城、山口			
再検討	83		モリイシノシタ	<i>Helicodiscus</i> sp.		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○								
再検討	84		ヒナノイシノシタ	<i>Helicodiscus</i> sp.		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○								

リスト加除対象の候補種一覧<動物(その他無脊椎動物)>

：今回の検討から新たに候補として加わった種

- 継続

再検討

再検討(候補)

新規

新規(候補)
- ：現リストの掲載種

：現リスト作成時に非掲載となった種で、今回も事務局としては非掲載と判断した種

：現リスト作成時に非掲載となった種で、今回は事務局で掲載候補と判断した種

：現リスト作成時に候補となっておらず、今回新たに検討対象としたが事務局で非掲載と判断した種

：現リスト作成時に候補となっておらず、今回新たに検討対象とした結果、事務局で掲載候補と判断した種

【国外由来の外来種】

2024.9.17版

リスト作成後の情報追加により再検討を行う種

検討 区分	No	定着段階	和名	学名	選定理由	評価項目													備考	抽出方法					
						定着可能性		生態系被害				分布拡大		重要 地域	特に問題と なる被害		逸出・拡散			①外来法	②W100	③GISD	④各県	⑤意向調査	⑥その他
						生物	導入	競合	交雑	捕食 摂食	生態 系改 変	繁殖	気候		人体	経済 産業	利用	付着 混入							
再検討	85	分布拡大期～ま ん延期	コウラナメクジ	<i>Limax flavus</i>				○	-	-	-	-	-	-	-	-	○	コウラナメクジ科は検疫有害動物				北海道、千葉、京都、鳥 取			
再検討	86	分布拡大期～ま ん延期	ノハラナメクジ	<i>Deroceras laeve</i>				-	-	-	-	-	-	-	○	-	○				北海道、茨城、千葉、愛 知、山口、宮崎				
再検討	87	分布拡大期～ま ん延期	チャコウラナメクジ	<i>Lehmannia valentiana</i>				○	-	-	-	-	-	-	○	-	○	コウラナメクジ科は検疫有害動物		日本		北海道、福島、茨城、千 葉、愛知、京都、兵庫、 和歌山、鳥取、山口、徳 島、愛媛、高知、福岡、 宮崎、鹿児島、沖縄			
再検討	88	分布拡大期～ま ん延期	ニヨリチャコウラナメクジ	<i>Ambigolimax nyctelius</i>				-	-	-	-	-	-	-	○	-	○	コウラナメクジ科は検疫有害動物 <i>Lehmannia nyctelia</i> はシノニム			○				
再検討	89		チャコウラナメクジの1種	<i>Lehmannia</i> sp.		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○								
再検討	90	定着初期／限定 分布	アシヒダナメクジ	<i>Eleutherocaulis alte</i>				○	-	-	-	-	-	○	-	-	-	○	広東住血線虫の中間宿主。				鹿児島		
再検討	91	定着初期／限定 分布	ヒラコウラベッコウガイ	<i>Parmarion martensi</i>				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	広東住血線虫の中間宿主。				沖縄		
再検討	92	定着初期／限定 分布	ヒメリンゴマイマイ	<i>Helix asperata</i>				○	-	-	-	-	-	-	○	○	○				○	茨城、京都			
再検討	93	定着初期／限定 分布	ヨーロッパヒラガキ	<i>Ostrea edulis</i>				○	-	-	-	-	-	-	-	○	-	岩手県内で主に養殖ホタテやマガキに付着して定着。			○				
再検討 (候補)	94	分布拡大期～ま ん延期	ヒレイケチョウガイ	<i>Hyriopsis cumingii</i>	I			-	◎	-	-	-	-	-	-	○	○	ヒレイケチョウガイ交雑種(イケチョウガイ(琵琶湖固有種)とヒ レイケチョウガイ(中国産)との交雑種)が真珠養殖に用いら れ、遺伝的攪乱が広域に生じている。				茨城、滋賀			
再検討	95		シジミ類	<i>Corbicula</i> spp.				-	-	-	-	-	-	-	-	-	○								
再検討	96	未定着	マメツブガイ	<i>Gemma gemma</i>		○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	米国西部では、侵略的外来種のヨーロッパミドリガニ(<i>Carcinus maenas</i>)が在来種の二枚貝の生息数を減少させた。別の外 来種のマメツブガイ(<i>Gemma gemma</i>)は、それまで在来種の 二枚貝と競合し て50年以上もの間局所的に少数分布するのみであったが、在 来種の二枚貝の減少によって爆発的に増加、拡散した			○				
再検討	97	分布拡大期～ま ん延期	ウスカラシオツガイ	<i>Petricola</i> sp. cf. <i>lithophaga</i>				○	-	-	-	-	-	-	○	-	○					千葉、愛知、京都、和歌 山			
再検討	98	定着初期／限定 分布	ヌマコダキガイの1種	<i>Potamocorbula</i> sp.				-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	情報不足							
再検討	99	未定着	ゴカイ科の1種	<i>Alitta virens</i>		○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	情報不足						
再検討	100	定着初期／限定 分布	ナデシコカンザシ	<i>Hydroides dianthus</i>				○	-	-	-	-	-	-	-	○	-	○	情報不足						
再検討	101		ヤマトジュズイミズ	<i>Drawida japonica</i>		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	情報不足						
再検討	102		ヒモミズ科の一種	<i>Pontoscolex corethrurus</i>		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	情報不足						
再検討	103		カッショクツリミズ	<i>Aporrectodea caliginosa</i>		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	情報不足						
再検討	104		バライロツリミズ	<i>Aporrectodea rosea</i>		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	情報不足						
再検討	105		クロイロツリミズ属の一 種	<i>Aporrectodea trapezoides</i>		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	情報不足						
再検討	106		クロイロツリミズ属の一 種	<i>Aporrectodea tuberculata</i>		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	情報不足						
再検討	107		キタフクロナシツリミズ	<i>Bimastos parvus</i>		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	情報不足						
再検討	108		ムラサキツリミズ	<i>Dendrobaena octaedra</i>		-	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-	-	○				○			
再検討	109		フクロナシツリミズ属の一 種	<i>Dendrodrilus rubidus rubidus</i>		-	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-	-	○				○			
再検討	110		フクロナシツリミズ属の一 種	<i>Dendrodrilus rubidus tenuis</i>		-	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-	-	○				○			
再検討	111		シマミズ属の一種	<i>Eisenia andrei</i>		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○							
再検討	112		シマミズ	<i>Eisenia fetida</i>		-	-	○	-	-	-	-	○	-	-	-	○	○	釣り餌として流通しており、逸出が懸念される。生息適地は限 られ、森林生態系内からはほとんど採集されず、大きな影響は ないと考えている。				和歌山		
再検討	113		サクラミズ	<i>Eisenia japonica</i>		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○							
再検討	114		カイヨウミズ	<i>Ocnodrilus occidentalis</i>		-	-	○	-	-	-	-	○	-	-	-	-	○	全国的にも記録が少ない。リストに掲載した和歌山県では、 1945年以前の1例の記録があるのみ。その後の調査がほとん ど行われていないため、現状は不明。				和歌山		
再検討	115		ホタルミズ	<i>Microscolex phosphoreus</i>				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○					奈良		
再検討	116		イソミズ	<i>Pontodrilus litoralis</i>		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	情報不足						
再検討	117		ハラメノウミズ	<i>Perionyx excavatus</i>		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	情報不足						
再検討	118		アズマフトミズ属の一種	<i>Amyntas corticis</i>		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	情報不足						
再検討	119		アズマフトミズ属の一種	<i>Amyntas glabrus</i>		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	情報不足						
再検討	120		アズマフトミズ属の一種	<i>Amyntas gracilis</i>		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	情報不足						
再検討	121		クソミズ	<i>Amyntas hupeiensis</i>		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	情報不足						
再検討	122		アズマフトミズ属の一種	<i>Amyntas minimus</i>		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	情報不足						
再検討	123		アズマフトミズ属の一種	<i>Amyntas morrisi</i>		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	情報不足						
再検討	124		アズマフトミズ属の一種	<i>Amyntas papulosus</i>		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	情報不足						
再検討	125		アズマフトミズ属の一種	<i>Amyntas robustus</i>		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	情報不足						
再検討	126		フトミズ科の一種	<i>Duplodocodrilus schmardae macrochaeta</i>		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	情報不足						
再検討	127		フトミズ科の一種	<i>Duplodocodrilus schmardae schmardae</i>		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	情報不足						

リスト加除対象の候補種一覧<動物(その他無脊椎動物)>

：今回の検討から新たに候補として加わった種

- 継続

再検討

再検討(候補)

新規

新規(候補)
- ：現リストの掲載種

：現リスト作成時に非掲載となった種で、今回も事務局としては非掲載と判断した種

：現リスト作成時に非掲載となった種で、今回は事務局で掲載候補と判断した種

：現リスト作成時に候補となっておらず、今回新たに検討対象としたが事務局で非掲載と判断した種

：現リスト作成時に候補となっておらず、今回新たに検討対象とした結果、事務局で掲載候補と判断した種

【国外由来の外来種】

2024.9.17版

リスト作成後の情報追加により再検討を行う種

検討 区分	No	定着段階	和名	学名	選定理由	評価項目													備考	抽出方法					
						定着可能性		生態系被害			分布拡大		重要 地域	特に問題と なる被害		逸出・拡散		①外来法		②W100	③GISD	④各県	⑤意向調査	⑥その他	
						生物	導入	競合	交雑	捕食 摂食	生態 系改 変	繁殖		気候	人体	経済 産業	利用								付着 混入
再検討	128		フクロフトミズ属の一種	<i>Metaphire californica</i>		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	情報不足								
再検討	129		フクロフトミズ属の一種	<i>Metaphire peguana</i>		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	情報不足								
再検討	130		アオキミズ	<i>Metaphire soulensis</i>		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	情報不足								
再検討	131		コガタフトミズ	<i>Pithemera bicincta</i>		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	情報不足								
再検討	132		ネッタイフトミズ属の一 種	<i>Polypheretima elongata</i>		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	情報不足								
再検討	133		ヤドリミズ	<i>Cambarincola okadai</i>		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	情報不足								
再検討	134	分布拡大期～ま ん延期	シグナルヒルミズ	<i>Sathodrillus attenuatus</i>				-	-	-	-	-	-	-	-	○									
再検討	135	定着初期／限定 分布	キシロノギトン属の一種	<i>Xironogiton victoriensis</i>				-	-	-	-	-	-	-	-	○									
再検討	136	定着初期／限定 分布	ホルトドリルス属の一種	<i>Holtodrillus truncatus</i>				-	-	-	-	-	-	-	-	○	情報不足								
再検討	137	未定着	アルテミア・フランキスカ ナ	<i>Artemia franciscana</i>		○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-									
再検討	138	未定着	ダフニア・ルムホルツィ	<i>Daphnia lumholtzi</i>		○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				○					
再検討	139	未定着	ビトトレフェス・ロンギマヌ ス	<i>Bythotrephes longimanus</i>		○	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-				○					
再検討	140	未定着	ケルゴパギス・ベンゴイ	<i>Cercopagis pengoi</i>		○	-	○	-	○	-	-	-	-	○	-				○					
再検討	141	分布拡大期～ま ん延期	アメリカカブトエビ	<i>Triops longicaudatus</i>				-	-	○	-	-	-	-	-	○	摂餌や産卵により土壌を攪拌し、植物の芽生えの生育を阻害。ある程度生育した苗を植える日本の稲作においては実害は出ていない。				茨城、愛知、滋賀、京 都、奈良、和歌山、鳥 取、高知、福岡				
再検討	142	分布拡大期～ま ん延期	アジアカブトエビ	<i>Triops granarius</i>				-	-	○	-	-	-	-	-	○	摂餌や産卵により土壌を攪拌し、植物の芽生えの生育を阻害。ある程度生育した苗を植える日本の稲作においては実害は出ていない。				滋賀、奈良、鳥取、福岡				
再検討	143	定着初期／限定 分布	ヨ-ロッパカブトエビ	<i>Triops cancriformis</i>				-	-	○	-	-	-	-	-	○	摂餌や産卵により土壌を攪拌し、植物の芽生えの生育を阻害。ある程度生育した苗を植える日本の稲作においては実害は出ていない。				茨城、滋賀				
再検討	144	定着初期／限定 分布	ヒメイカリムシ	<i>Lamproglena chinensis</i>				-	-	-	-	-	-	-	-	○									
再検討	145	未定着	クタマルス・プロテウス	<i>Chthamalus proteus</i>		○	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-				○					
再検討	146	定着初期／限定 分布	ズ-ジャンフジツボ	<i>Amphibalanus zhujiangensis</i>				○	-	-	-	-	-	-	-	-									
再検討	147	定着初期／限定 分布	アカシマフジツボ	<i>Amphibalanus venustus</i>				-	-	-	-	-	-	-	-	○									
再検討	148	未定着	オ-ストロバラヌス属の1 種	<i>Austrobalanus imperator</i>		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-									
再検討	149	未定着	オ-ストロメガバラヌス属 の1種	<i>Austromegabalanus nigrescens</i>		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-									
再検討	150	未定着	エルミナス・モDESTウス	<i>Elminus modestus</i>		○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-									
再検討	151	未定着	ヒラフジツボ属の1種	<i>Tetraclitella purpurascens</i>		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-									
再検討	152	分布拡大期～ま ん延期	ココボ-マアカフジツボ	<i>Megabalanus coccopoma</i>				-	-	-	-	-	-	-	○	○	潮下帯の岩場に固まって生息するほか、漁業用の浮きや航路ブイ、船舶の船体にも付着				茨城、千葉、愛知、和歌 山、高知				
再検討	153	定着初期／限定 分布	ウンキノキテレ・オッキデ ンタリス	<i>Uncinocythere occidentalis</i>				-	-	-	-	-	-	-	-	-									
再検討	154	定着初期／限定 分布	ツノオウミセミ	<i>Paracerceis sculpta</i>				-	-	-	-	-	-	-	-	○									
再検討	155	未定着	スフェロマ・クワイアナム	<i>Sphaeroma quoianum</i>		○	-	-	-	-	○	-	-	-	○	-				○					
再検討	156	未定着	オルコネクテス・ビリス	<i>Orconectes virilis</i>		○	-	○	-	○	○	-	-	-	-	-				○					
再検討	157	分布拡大期～ま ん延期	イッカククモガニ	<i>Pyromaia tuberculata</i>				-	-	-	-	-	-	-	-	○					千葉、愛知、京都、和歌 山、高知、福岡				
再検討	158	未定着	カリブディス・ヘレルイ	<i>Charybdis helleri</i>		◎	-	○	-	-	-	-	-	-	○	-				○					
再検討	159	定着初期／限定 分布	ミナトオウギガニ	<i>Rhithropanopeus harrisi</i>				○	-	-	-	-	-	-	○	-				○	千葉、愛知				
再検討 (候補)	160	分布拡大期～ま ん延期	外来カワリヌマエビ属の 全種(シナヌマエビを除く)	<i>Neocaridina</i> spp.	I			◎	-	-	-	-	-	-	-	-	河川水辺の国勢調査等により、近年、急速な分布域の拡大が確認され、在来エビ類との競争的置換が確認されている。					中井委員、 地方公共団 体			
再検討 (候補)	161	分布拡大期～ま ん延期	チュウゴクスジエビ	<i>Palaemon sinensis</i>	IV			○	○	-	-	-	-	-	-	-	旧学名： <i>Palaemonetes sinensis</i> 河川水辺の国勢調査等により、近年、急速な分布域の拡大が確認され、在来スジエビへの影響が懸念される。				茨城	中井委員、 環境省関 東、地方公共 団体			
再検討 (候補)	162	分布拡大期～ま ん延期	オオマリコケムシ	<i>Pectinatella magnifica</i>	IV			○	-	-	-	-	-	-	○	-	各地の水域で突然大規模な発生が生じることがある。取水施設での取水障害等の被害が生じる可能性がある。				青森、福島、茨城、愛 知、京都、高知、福岡	中井委員			
再検討	163	定着初期／限定 分布	フサコケムシ科の一種	<i>Bugula stolonifera</i>				-	-	-	-	-	-	-	-	○					愛知				
再検討	164	定着初期／限定 分布	マンハッタンボヤ	<i>Molgula manhattensis</i>				○	-	-	-	-	-	-	○	-	○					京都、福岡			
再検討	165	定着初期／限定 分布	クロマメイタボヤ	<i>Polyandrocarpa zorritensis</i>				○	-	-	-	-	-	-	○	-	○					京都、高知、福岡			

リスト加除対象の候補種一覧<動物(その他無脊椎動物)>

：今回の検討から新たに候補として加わった種

- 継続

再検討

再検討(候補)

新規

新規(候補)
- ：現リストの掲載種

：現リスト作成時に非掲載となった種で、今回も事務局としては非掲載と判断した種

：現リスト作成時に非掲載となった種で、今回は事務局で掲載候補と判断した種

：現リスト作成時に候補となっておらず、今回新たに検討対象としたが事務局で非掲載と判断した種

：現リスト作成時に候補となっておらず、今回新たに検討対象とした結果、事務局で掲載候補と判断した種

【国外由来の外来種】

リスト作成後の情報追加により新たに検討を行う種

2024.9.17版

検討 区分	No	定着段階	和名	学名	選定理由	評価項目														備考	抽出方法					
						定着可能性		生態系被害				分布拡大		重要 地域	特に問題と なる被害		逸出・拡散		①外来法		②W100	③GISD	④各県	⑤意向調査	⑥その他	
						生物	導入	競合	交雑	捕食 摂食	生態 系改 変	繁殖	気候		人体	経済 産業	利用	付着 混入								
新規	166	分布拡大期～ま ん延期	マツモトカイメン	<i>Heterorotula multidentata</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	○	-	○					愛知			
新規	167	分布拡大期～ま ん延期	ミマサカジ-カイメン	<i>Trochospongilla pennsylvanica</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	国内に分布拡大しているらしいが、ほかの情報は不明				高知			
新規	168	定着初期／限定 分布	イボヤギ	<i>Tubastraea coccinea</i>				○	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-				○				
新規 (候補)	169	分布拡大期～ま ん延期	アメリカツノウズムシ	<i>Girardia dorocephala</i>	Ⅳ			-	-	○	-	○	○	-	-	-	-	○	河川水辺の国勢調査等により、近年、急速な分布域の拡大と 個体数の増加が確認されている。ウズムシ類は捕食性であ り、在来水生動物に影響が懸念される。				茨城、和歌山、高知、福 島、京都、福岡	中井委員		
新規 (候補)	170	定着初期／限定 分布	エリマキコウガイビル	<i>Bipalium vagum</i>	Ⅰ、Ⅱ			-	-	◎	-	-	-	小笠 原	-	-	-	○	アジアベッコウマイマイやエリマキコウガイビルの分布拡大、オ ガサワラベッコウの急激な減少。					環境省関東 、地方公共団 体		
新規 (候補)	171	定着初期／限定 分布	ブラティデムス属の1種	<i>Platydemus</i> sp.2	Ⅱ			-	-	◎	-	-	-	小笠 原	-	-	-	○	節足動物を捕食。絶滅危機の固有トンボ成虫の捕食が確認さ れた。					環境省関東		
新規 (候補)	172	定着初期／限定 分布	オガサワラリクヒモムシ	<i>Geonemertes pelaensis</i>	Ⅰ、Ⅱ			-	-	◎	○	-	-	小笠 原	-	○	-	○	多様な節足動物を捕食。特に小笠原諸島の侵入地では土壌 動物が壊滅状態。				沖縄(オガサワラリクヒモ ムシ類似種)	環境省関東 (リクヒモム シ)、環境省 沖縄奄美(オ ガサワラリク ヒモムシ)、 地方公共団 体(オガサワ ラリクヒモム シ)		
新規	173	定着初期／限定 分布	シマミズウドンゲ	<i>Urnatella gracilis</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-					茨城、福岡			
新規	174	定着初期／限定 分布	ジャガイモシロシストセン チュウ	<i>Globodera pallida</i>				-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	平成28年10月より植物防疫法に基づく緊急防除を開始				茨城			
新規	175	分布拡大期～ま ん延期	レンコンネモグリセンチュ ウ	<i>Hirschmanniella diversa</i>				-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-					千葉			
新規	176	定着初期／限定 分布	テンサイシストセンチュウ	<i>Heterodera schachtii</i>				-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	農林水産省による発生範囲調査、蔓延防止対策、検討会議				茨城			
新規	177	定着初期／限定 分布	アカナタネ	<i>Paralaoma servilis</i>				○	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-					茨城			
新規	178	定着初期／限定 分布	アサリ近似種	<i>Ruditapes</i> sp. cf. <i>philippinarum</i>				○	○	-	-	-	○	-	-	-	○	-					千葉			
新規	179	定着初期／限定 分布	イスパニアマイマイ	<i>Eobania vermiculata</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	○	-	-	広東住血線虫の中間宿主の可能性。				千葉			
新規	180	定着初期／限定 分布	インドヒラマキガイ	<i>Indoplanorbis exustus</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	○					和歌山、山口、鹿児島、 茨城、北海道、福岡、千 葉、滋賀			
新規	181	定着初期／限定 分布	ウスシジミ	<i>Corbicula papyracea</i>				-	○	-	-	-	○	-	-	-	-	-					茨城、千葉			
新規	182	分布拡大期～ま ん延期	オオコハクガイ	<i>Zonitoides nitidus</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	○	-	-	マメ科牧草の葉を食う				山口			
新規	183	定着初期／限定 分布	オオネズミガイ	<i>Mammilla kurodai</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-					和歌山			
新規	184	分布拡大期～ま ん延期	オナジマイマイ	<i>Bradybaena similaris</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-					北海道、茨城、愛知、高 知、山口、宮崎、千葉、 滋賀、京都、福岡			
新規	185	未定着	オリイレサカマキガイ	<i>Amerianna carinata</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	同科に侵略的外来種が存在する。人間活動で拡がる。				京都、福岡			
新規	186	未定着	キビガイ類	<i>"Kaliella" sp.</i>		○	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-					茨城			
新規	187	分布拡大期～ま ん延期	クロコソデウミウシ	<i>Polycera hedgpethi</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	○					愛知			
新規	188	定着初期／限定 分布	ケシガイ類の一種	<i>Carychium</i> sp.		○	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-					茨城			
新規	189	定着初期／限定 分布	コビトノボウシザラ	<i>Pettancylus pettardi</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	○					千葉			
新規	190	-	ゴマフダマ	<i>Paratectonatica tigrina</i>						○						○			アサリへの被害 Natica tigrinalはシノニム				千葉			
新規	191	定着初期／限定 分布	シジミ属の一種(バチ型シ ジミ／北浦シジミ)	<i>Corbicula</i> sp. cf. <i>largillerti</i>		○	-	○	○	-	-	-	○	-	-	-	-	-					茨城、千葉			
新規	192	分布拡大期～ま ん延期	シロタエミノウミウシ属の 一種	<i>Tenellia adspersa</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	○					愛知			
新規	193	定着初期／限定 分布	メリケンコザラ	<i>Ferrissia californica</i>				○	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	スジイリカワコザラ(<i>F. japonica</i>)はシノニム				茨城、愛知			
新規	194	定着初期／限定 分布	ゾウアメフラシ	<i>Aplysia gigantea</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-					高知			
新規	195	定着初期／限定 分布	ツヤミジンマイマイ?	<i>Valonia pulchella</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-					千葉			
新規	196	定着初期／限定 分布	ソメワケダワラ	<i>Indoennea bicolor</i>				-	-	○	-	-	○	-	-	-	-	○	固有種陸産貝類の捕食・絶滅。重要防除種。				宮崎、鹿児島			

リスト加除対象の候補種一覧<動物(その他無脊椎動物)>

：今回の検討から新たに候補として加わった種



- 継続：現リストの掲載種
- 再検討：現リスト作成時に非掲載となった種で、今回も事務局としては非掲載と判断した種
- 再検討(候補)：現リスト作成時に非掲載となった種で、今回は事務局で掲載候補と判断した種
- 新規：現リスト作成時に候補となっておらず、今回新たに検討対象としたが事務局で非掲載と判断した種
- 新規(候補)：現リスト作成時に候補となっておらず、今回新たに検討対象とした結果、事務局で掲載候補と判断した種

【国外由来の外来種】

2024.9.17版

リスト作成後の情報追加により新たに検討を行う種

検討 区分	No	定着段階	和名	学名	選定理由	評価項目													備考	抽出方法						
						定着可能性		生態系被害				分布拡大		重要 地域	特に問題と なる被害		逸出・拡散			①外来法	②W100	③GISD	④各県	⑤意向調査	⑥その他	
						生物	導入	競合	交雑	捕食 摂食	生態 系改 変	繁殖	気候		人体	経済 産業	利用	付着 混入								
新規	197	定着初期／限定 分布	タイワンドブガイ	<i>Sinanodonta woodiana</i>				○	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-					茨城			
新規	198	未定着	タイワンハマグリ	<i>Meretrix sp.</i>		○	○	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-					千葉			
新規	199	定着初期／限定 分布	タイワンレイシ	<i>Mancinella bufo</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-					和歌山			
新規	200	定着初期／限定 分布	タスキガケサカマキガイ	<i>Physa sp. cf. gyrina</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-					茨城、千葉			
新規	201	定着初期／限定 分布	タンガレキシワタ	<i>Melanochlamys kohi</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-					千葉			
新規	202	分布拡大期～ま ん延期	チョウセンハマグリ	<i>Meretrix lamarckii</i>				○	○	-	-	-	-	-	-	-	○	-					鹿児島			
新規	203	定着初期／限定 分布	ドブガイ類の一種	<i>Sinanodonta sp.</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-					茨城			
新規	204	定着初期／限定 分布	ニワコウラナメクジ	<i>Milax gagates</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	○	-	-					千葉			
新規	205	定着初期／限定 分布	ヒメベッコウ類の一種	<i>“microcystis” sp.</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-					茨城			
新規	206	定着初期／限定 分布	ヒメマルマメタニシ類似種	<i>Bithynia sp.</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	寄生虫の宿主の可能性				茨城、千葉			
新規	207	分布拡大期～ま ん延期	ヒメモノアラガイ	<i>Austropeplea ollula</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	在来生物への病気や寄生虫の媒介。				北海道			
新規	208	定着初期／限定 分布	ヒラタヌマコダキガイ	<i>Potamocorbula laevis</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	人間活動で拡がる。				福岡			
新規	209	定着初期／限定 分布	ヒラマキミズマイマイ類	<i>Gyraulus sp. cf. illibatus</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-					千葉			
新規 (候補)	210	分布拡大期～ま ん延期	ヒロマキミズマイマイ	<i>Menetus dilatatus</i>	Ⅳ			○	-	-	-	○	○	-	-	-	-	○	川水辺の国勢調査等により、近年、急速な分布域の拡大が確認され、ハブタエモノアラガイと同様に生態系被害が想定される。				愛知、京都、福島、滋賀、福岡	中井委員		
新規	211	分布拡大期～ま ん延期	ホソオカチョウジガイ	<i>Allopeas pyrgula</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-					北海道			
新規	212	定着初期／限定 分布	ホソヤツメタ	<i>Glossaulax hosoyai</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-					千葉			
新規	213	分布拡大期～ま ん延期	マルナタネ	<i>Pupisoma orcula</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-					茨城、宮崎、鳥取			
新規	214	定着初期／限定 分布	メリケンスナガイ	<i>Gastrocopta contracta</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-					愛知			
新規	215	定着初期／限定 分布	ヤマトシジミ種群	<i>Corbicula sp. cf. japonica</i>				○	○	-	-	-	○	-	-	-	-	-					茨城、千葉			
新規	216	定着初期／限定 分布	ヨソカラモノアラガイ	<i>Radix plicatula</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-					茨城			
新規	217	定着初期／限定 分布	ケショウオカモノアラガイ	<i>Succinea cf. luteora</i>				○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	寄生虫を在来の貝類に移す恐れがある				沖縄			
新規 (候補)	218	定着初期／限定 分布	アジアベッコウ	<i>Tanychlamys indica</i>	Ⅰ、Ⅱ			○	-	◎	-	-	-	小笠原	-	○	-	○	小笠原諸島母島で急速に分布拡大。陸貝の生貝の捕食を確認。植物の流通を介して拡散したと考えられる。				沖縄	環境省 関東、環境省 沖縄奄美、地方公共団体		
新規	219	定着初期／限定 分布	サンカクシタラ	<i>Kaliella microconus</i>				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					沖縄			
新規	220	定着初期／限定 分布	セルピリススナガイ	<i>Gastrocopta servilis</i>				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○					沖縄			
新規	221	定着初期／限定 分布	コウワンミノウミウシ	<i>Trinchesia perca</i>				-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-					沖縄			
新規	222	分布拡大期～ま ん延期	ヒメタニシ	<i>Sinotaia quadrata</i>				-	-	○	-	-	○	-	-	-	-	○	九州、東日本、西日本に生息するヒメタニシは、いずれも自然的要因または人為的に中国から日本に侵入、移植され、その後互いに交雑を繰り返した外来種と考えられる。(ただし、人による移動は8000年～1200年前ごろ)				北海道、茨城			
新規	223	定着初期／限定 分布	コシタカオカモノアラガイ	<i>Succinea sp.</i>				○	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	同じ属の何種は繁殖力が高くて侵入種として認識されている				宮崎			
新規	224	定着初期／限定 分布	アシナガゴカイ	<i>Neanthes succinea</i>				-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-					茨城、福岡			
新規 (候補)	225	未定着	ザリガニ科の全種(ウチダザリガニ(タンカイザリガニを含む)を除く)	Astacidaeの全種(<i>Pacifastacus leniusculus</i> を除く)	Ⅰ	○	-	◎	-	○	○	-	◎	-	-	○	-	-	令和2年、特定外来生物に指定							
新規 (候補)	226	未定着	アメリカザリガニ科の全種(アメリカザリガニを除く)	Cambaridaeの全種(<i>Procambarus clarkii</i> を除く)	Ⅰ	○	-	◎	-	○	○	○	◎	-	-	○	-	-	令和2年、特定外来生物に指定							
新規 (候補)	227	未定着	アジアザリガニ科の全種(ニホンザリガニを除く)	Cambaroididaeの全種(<i>Cambaroides japonicus</i> を除く)	Ⅰ	○	-	○	-	○	○	-	○	-	-	○	-	-	令和2年、特定外来生物に指定							
新規 (候補)	228	未定着	ミナミザリガニ科の全種	Parastacidae	Ⅰ	○	-	◎	-	○	○	○	◎	-	-	○	-	-	令和2年、特定外来生物に指定							

リスト加除対象の候補種一覧<動物(その他無脊椎動物)>

 : 今回の検討から新たに候補として加わった種

- 継続

再検討

再検討(候補)

新規

新規(候補)
- : 現リストの掲載種

: 現リスト作成時に非掲載となった種で、今回も事務局としては非掲載と判断した種

: 現リスト作成時に非掲載となった種で、今回は事務局で掲載候補と判断した種

: 現リスト作成時に候補となっておらず、今回新たに検討対象としたが事務局で非掲載と判断した種

: 現リスト作成時に候補となっておらず、今回新たに検討対象とした結果、事務局で掲載候補と判断した種

【国外由来の外来種】

2024.9.17版

リスト作成後の情報追加により新たに検討を行う種

検討 区分	No	定着段階	和名	学名	選定理由	評価項目														備考	抽出方法					
						定着可能性		生態系被害				分布拡大		重要 地域	特に問題と なる被害		逸出・拡散		①外来法		②W100	③GISD	④各県	⑤意向調査	⑥その他	
						生物	導入	競合	交雑	捕食 摂食	生態 系改 変	繁殖	気候		人体	経済 産業	利用	付着 混入								
新規	229	未定着	アオガニ	Callinectes sapidus		○	○	-	-	-	-	○	-	-	-	○	-					高知				
新規	230	定着初期／限定 分布	オオビワミジンコ	Daphnia pulicaria		／	／	-	◎	-	-	○	-	-	-	-	○					滋賀				
新規	231	未定着	オオミジンコ	Daphnia magna		○	◎	-	-	-	-	○	-	-	-	◎	-					滋賀				
新規	232	未定着	カイアシ類の一種	Lamproglana chinensis		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					京都				
新規 (候補)	233	-	シナヌマエビ	Neocaridina davidi	I	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	○	-	水槽の掃除屋として飼育されるものの、魚が死んだ際に残ったエビ類だけが放流される可能性。釣り餌として販売され、餌として使用されなかったものが放逐される可能性。				千葉、滋賀、福岡				
新規	234	定着初期／限定 分布	シラハマオーストラリアカ ブトエビ	Triops strenuus		／	／	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-					和歌山				
新規	235	定着初期／限定 分布	ホンコンシオマネキ	Gelasimus borealis		／	／	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-					宮崎				
新規	236	分布拡大期～ま ん延期	モンツキイシガニ	Charybdis lucifera		／	／	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-					高知				
新規	237		外国産スジエビ	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	情報不足。滋賀県外来種リスト2019では、侵入警戒外来種に指定。				滋賀				
新規	238	分布拡大期～ま ん延期	ビーシュリンプ等のカワリヌ マエビ属改良品種	Neocaridina sp.		／	／	○	○	-	-	○	-	-	-	◎	-					沖縄				
新規	239	未定着	エルミニウス属の1種	Elminius modestus		○	◎	○	-	-	-	○	-	-	-	-	-				○					
新規	240	分布拡大期～ま ん延期	ナンオウフジツボ	Perforatus perforatus		／	／	○	-	-	-	○	-	-	○	-	○					福岡				
新規	241	定着初期／限定 分布	ハクライオウギガニ	Acantholobulus pacificus		／	／	-	-	-	-	○	-	-	-	-	○					愛知、千葉				
新規	242	分布拡大期～ま ん延期	フサコケムシ	Bugula neritina		／	／	○	-	-	-	-	-	-	○	-	-				○					
新規	243	-	コケムシ類の1種	Watersipora subtorquata		-	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-	-				○					

リスト加除対象の候補種一覧　＜動物(その他無脊椎動物)＞

 : 今回の検討から新たに候補として加わった種

- ＝

＝

＝

＝

＝
- 継続

再検討

再検討(候補)

新規

新規(候補)
- : 現リストの掲載種

: 現リスト作成時に非掲載となった種で、今回も事務局としては非掲載と判断した種

: 現リスト作成時に非掲載となった種で、今回は事務局で掲載候補と判断した種

: 現リスト作成時に候補となっておらず、今回新たに検討対象としたが事務局で非掲載と判断した種

: 現リスト作成時に候補となっておらず、今回新たに検討対象とした結果、事務局で掲載候補と判断した種

【国内由来の外来種・国内に自然分布域を持つ国外由来の外来種】

2024.9.17版

現リスト掲載種

検討 区分	No	定着段階	和名	学名	選定理由	評価項目												備考	抽出方法						
						定着可能性		生態系被害				分布拡大		重要 地域	特に問題と なる被害		逸出・拡散		①外来法	②W100	③GISD	④各県	⑤意向調査	⑥その他	
						生物	導入	競合	交雑	捕食 摂食	生態 系改 変	繁殖	気候		人体	経済 産業	利用								付着 混入
継続	1	国内に自然分布域を持つ国外由来の外来種	自然分布域外のサキグロタマツメタ	Euspira fortunei	I ,Ⅲ			-	-	◎		-	○	-	-	◎	-	◎	外国産アサリの種苗放流に伴い、各地に侵入したと考えられ、侵入地の二枚貝に甚大な影響を与えている。				静岡、長崎		

リスト作成後の情報追加により再検討を行う種

検討 区分	No	定着段階	和名	学名	選定理由	評価項目													備考	抽出方法																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
						定着可能性		生態系被害				分布拡大		重要 地域	特に問題と なる被害		逸出・拡散			①外来法	②W100	③GISD	④各県	⑤意向調査	⑥その他																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
						生物	導入	競合	交雑	捕食 摂食	生態系改 変	繁殖	気候		人体	経済 産業	利用	付着 混入																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
再検討	2		マシジミ	<i>Corbicula laena</i>																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	

リスト加除対象の候補種一覧　＜動物(その他無脊椎動物)＞

：今回の検討から新たに候補として加わった種

- 継続

再検討

再検討(候補)

新規

新規(候補)
- : 現リストの掲載種

: 現リスト作成時に非掲載となった種で、今回も事務局としては非掲載と判断した種

: 現リスト作成時に非掲載となった種で、今回は事務局で掲載候補と判断した種

: 現リスト作成時に候補となっており、今回新たに検討対象としたが事務局で非掲載と判断した種

: 現リスト作成時に候補となっており、今回新たに検討対象とした結果、事務局で掲載候補と判断した種

【国内由来の外来種・国内に自然分布域を持つ国外由来の外来種】

2024.9.17版

リスト作成後の情報追加により新たに検討を行う種

検討 区分	No	定着段階	和名	学名	選定理由	評価項目													備考	抽出方法						
						定着可能性		生態系被害				分布拡大		重要 地域	特に問題と なる被害		逸出・拡散			①外来法	②W100	③GISD	④各県	⑤意向調査	⑥その他	
						生物	導入	競合	交雑	捕食 摂食	生態 系改 変	繁殖	気候		人体	経済 産業	利用	付着 混入								
新規	4	国内由来の外 来種	エビヤドリツノムシ (県外産個体群)	Scutariella japonica				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	カワリヌマエビ属に付着する。				滋賀				
新規	5	国内由来の外 来種	コガタウズムシ	Phagocata kawakatsui				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	琵琶湖では1990年に初めて確認、国内外来種と思われる。				滋賀				
新規	6	国内由来の外 来種	イケチョウガイ	Sinohyriopsis schlegeli				-	-	-	-	-	-	-	-	○	-				茨城					
新規	7	国内由来の外 来種	イシガイ (琵琶湖型)	Nadularia douglasiae [Lake Biwa-ko type]				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				茨城					
新規	8	国内由来の外 来種	イボカワニナ	Biwamelania multigranosa				-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	生態系被害。				茨城				
新規	9	国内由来の外 来種	ウスイロオカチグサ	Solenonphala debilis				○	-	-	-	-	○	-	-	-	-				愛知、高知、宮崎、千 葉、滋賀、京都					
新規	10	国内由来の外 来種	ウスカフマイマイ	Acusta sieboldiana				-	-	-	-	-	-	-	○	-	○				北海道					
新規	11	国内由来の外 来種	ウメノハナガイモドキ	Felaniella sowerbyi				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				千葉					
新規	12	国内由来の外 来種	オオトカラノミギセル	Metazaptix saccatibasis				○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	ゴミの移動に伴い導入され、ゴミ捨て場に定着。日本固有種。				鹿児島				
新規	13	国内由来の外 来種	カワアイ	Pirenella pupiformis				-	-	-	-	-	-	-	-	-	○				千葉					
新規	14	国内由来の外 来種	カワシンジュガイ	Margaritifera laevis				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				千葉					
新規	15	国内由来の外 来種	キュウシュウナミコギセル	Tauphadusa subaculus				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				千葉					
新規	16	国内由来の外 来種	クルマヒラマキガイ	Hippeutis cantori				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				滋賀					
新規	17	国内由来の外 来種	コガタカワシンジュガイ	Margaritifera togakushiensis				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				茨城					
新規	18	国内由来の外 来種	コケガラス	Modiolus metcalfei				-	-	-	-	-	-	-	-	-	○				千葉					
新規	19	国内由来の外 来種	コハクオナジマイマイ	Bradybaena pellucida				-	-	-	-	-	-	-	○	-	-				茨城、愛知、福島、千 葉、滋賀、京都					
新規	20	国内由来の外 来種	スナガイの一種	Gastrocopta sp.				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				千葉					
新規	21	国内由来の外 来種	チリメンカワニナ	Semisulcospira reiniana				○	-	-	-	-	-	-	-	-	-				茨城、千葉					
新規	22	国内由来の外 来種	ナミマイマイ	Euhadra sandai communis				○	-	-	-	-	-	-	-	-	-				宮崎					
新規	23	国内由来の外 来種	ノミギセル類	Zaptix sp.				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				茨城					
新規	24	国内由来の外 来種	ハゴロモガイ (浦ノ内湾個体群)	Diluvarca ferruginea				○	-	-	-	-	-	-	-	-	-				高知					
新規	25	国内由来の外 来種	バツラマイマイ	Discus pauper				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	広東住血線虫の中間宿主の可能性。植栽と混入。				茨城、千葉				
新規	26	国内由来の外 来種	ハマグリ	Meretrix lusoria				○	○	-	-	-	-	-	-	○	-				千葉					
新規	27	国内由来の外 来種	ヒタチマイマイ	Euhadra brandtii brandtii				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	広東住血線虫の中間宿主の可能性。千葉県では定着は小面積だが、保護されている場所なので本種だけの駆除は難しい。				千葉				
新規	28	国内由来の外 来種	ヒダリマキマイマイ	Euhadra quaesita				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				滋賀					
新規	29	国内由来の外 来種	ヘソカドケマイマイ	Aegista (Plectotropis) conompha				-	-	-	-	-	-	-	○	-	-				宮崎					
新規	30	国内由来の外 来種	ホソウミニナ	Batillaria attramentaria				○	○	-	-	-	-	-	-	-	-				千葉					
新規	31	国内由来の外 来種	マルドブガイ	Anodonta calipygos				-	-	-	-	-	-	-	-	○	-				鳥取					
新規	32	国内由来の外 来種	ミジンマイマイ	Valonia pulchellula				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				茨城、千葉					
新規	33	国内由来の外 来種	ヤマクルマ	Spirostomajaponicum japonicum				-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	広東住血線虫の中間宿主の可能性。観葉植物との混入。				千葉				
新規	34	国内由来の外 来種	ウスレイソジミ	Nuttallia obscurata				-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	食用関連の廃棄で混入。				千葉				
新規	35	国内由来の外 来種	シュリマイマイ	Satsuma mercatoria				○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	自然分布域外に拡大している。				沖縄				
新規	36	国内由来の外 来種	ミヤコマイマイ	Satsuma miyakoensis				○	-	-	-	-	-	-	-	-	-				沖縄					
新規	37	国内由来の外 来種	日本本土のカワニナ類	Semisulcospira spp. (S. libertina, S. reiniana)				-	○	-	-	-	-	-	-	-	-				沖縄					
新規	38	国内由来の外 来種	アサリ	Ruditapes philippinarum				○	-	-	-	-	-	-	-	○	-	産業管理種				鹿児島、千葉				
新規	39	国内由来の外 来種	ウネナシトマヤガイ	Neotrapezium liratum				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				茨城、千葉					

リスト加除対象の候補種一覧　＜動物(その他無脊椎動物)＞

 : 今回の検討から新たに候補として加わった種

- 継続

再検討

再検討(候補)

新規

新規(候補)
- : 現リストの掲載種

: 現リスト作成時に非掲載となった種で、今回も事務局としては非掲載と判断した種

: 現リスト作成時に非掲載となった種で、今回は事務局で掲載候補と判断した種

: 現リスト作成時に候補となっておらず、今回新たに検討対象としたが事務局で非掲載と判断した種

: 現リスト作成時に候補となっておらず、今回新たに検討対象とした結果、事務局で掲載候補と判断した種

【国内由来の外来種・国内に自然分布域を持つ国外由来の外来種】

2024.9.17版

リスト作成後の情報追加により新たに検討を行う種

検討 区分	No	定着段階	和名	学名	選定理由	評価項目													備考	抽出方法						
						定着可能性		生態系被害				分布拡大		重要 地域	特に問題と なる被害		逸出・拡散			①外来法	②W100	③GISD	④各県	⑤意向調査	⑥その他	
						生物	導入	競合	交雑	捕食 摂食	生態 系改 変	繁殖	気候		人体	経済 産業	利用	付着 混入								
新規	40	国内由来の外来種	ナハキビ	<i>Parakaliella nahaensis</i>				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					茨城			
新規	41	国内由来の外来種	キカイノミギセル	<i>Zaptyx kikaiensis</i>				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					茨城			
新規 (候補)	42	国内由来の外来種	ヌノメカワニナ	<i>Melanoides tuberculata</i>	I			◎	-	-		○	-	小笠 原	-	-	-	-	固有のオガサワラカワニナとの競合・入れ替わりが確認されているため。					愛知、滋賀、和歌山、鹿 児島	地方公共団 体	
新規	43	国内由来の外来種	在来種(オキナワウスカフマイマイ・タ ママイマイ)以外のウスカフマイマイ属	<i>Acusta spp.</i>				-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	○					沖縄			
新規	44	国内由来の外来種	トガリオカクチキレ科の一種	<i>Ferussaciidae sp.</i>				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					沖縄			
新規	45	国内由来の外来種	サンカクフジツボ (浦戸湾個体群)	<i>Balanus trigonus</i>				○	-	-	-	○	○	-	-	○	-	○					高知			
新規	46	国内由来の外来種	ヌマエビ属 (ヌマエビ北中部群/ヌマエビ南部群・ 両側回遊種)	<i>Paratya sp.</i>				○	○	-	-	-	○	-	-	-	○	-	同属の在来種への影響。水族観賞用で導入。					北海道		
新規 (候補)	47	国内由来の外来種	ミナミヌマエビ	<i>Neocaridina denticulata denticulata</i>	IV			◎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	水槽の掃除屋として飼育されるものの、魚が死んだ際に残ったエビ類だけが放流される可能性。釣り餌として販売され、餌として使用されなかったものが放逐される可能性。					沖縄	地方公共団 体	
新規	48	国内由来の外来種	カイヤドリウミグモ	<i>Nymphonella tapetis</i>				-	-	◎	-	-	-	-	-	-	○	-	○					北海道		
新規	49	国内由来の外来種	ギボシムシの一種	-				○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	○						鹿児島		

候補種の抽出

- ①特定外来生物。(下記②～④で抽出された種で未判定外来生物にあたるものはその旨を記した。)
- ②IUCN及び日本のワースト100(在来種を除く全種が既に①に含まれている)。http://www.issg.org/database/species/search.asp?st=100ss&fr=1&str=&lang=EN
- ③Global Invasive Species Database 掲載種を追記する。
- ④都道府県の外来種リストに掲載されている種
- ⑤環境省の地方環境事務所、都道府県、地方公共団体、検討委員への意向調査による候補種
- ⑥その他:過去のリスト作成時の候補種(※)や事務局等の情報収集により、近年問題を及ぼしている/及ぼす可能性が危惧される種
※「外来種ハンドブック」日本生態学会編(2002)の外来種リスト等を元に、日本に定着している外来種をリスト化した上で以下のものについて追記を行い検討されたもの。